

令和7年度
大野城市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
調査結果報告書

令和8年3月
大野城市

目次

I	調査の概要.....	5
1	調査の目的.....	5
2	調査対象.....	5
3	調査期間.....	5
4	調査方法.....	5
5	回収状況.....	5
6	調査結果の表示方法.....	6
7	調査項目.....	6
	(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	6
	(2) 在宅介護実態調査.....	8
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果.....	10
問1	あなた（あて名のご本人）の状況について.....	10
問2	あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について.....	15
問3	からだを動かすことについて.....	23
問4	食べることについて.....	31
問5	毎日の生活について.....	37
問6	地域での活動について.....	49
問7	就労について.....	54
問8	たすけあいについて.....	56
問9	健康について.....	62
問10	認知症について.....	67
問11	成年後見制度について.....	71
III	在宅介護実態調査結果.....	81
A票	調査対象者ご本人の状況について.....	81
B票	主な介護者の方について.....	121
C票	ダブルケアについて.....	138

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、大野城市に在住する高齢者の日常生活や健康状態、在宅で生活する要介護者および介護者のニーズや実態を把握し、地域が抱える課題に対応して、今後の保健福祉行政に活かすとともに、「第10期大野城市介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画」策定のための基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

2 調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：大野城市にお住まいの65歳以上（令和7年10月1日現在）のうち在宅で生活している一般高齢者、総合事業対象者、要支援認定を受けた人の中から4,000人を対象に無作為に抽出

在宅介護実態調査：大野城市にお住まいで、在宅で生活している要支援・要介護認定を受けた人から1,000人を対象に無作為に抽出

3 調査期間

令和7年12月12日～令和8年1月13日

4 調査方法

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：郵送による配布・回収

在宅介護実態調査：郵送による配布・回収

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	4,000件	2,601件	65.0%
在宅介護実態調査	1,000件	496件	49.6%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

7 調査項目

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

区分	問番号	設問	国の項目		市
			基本項目	オプション項目	独自項目
基本情報	—	記入日/記入者	○		
本人の状況について	問1-(1)	お住まいの地域			○
	問1-(2)	性別			○
	問1-(3)	年齢			○
	問1-(4)	介護保険の認定状況			○
家族や生活状況について	問2-(1)	家族構成	○		
	問2-(2)	介護・介助の必要性	○		
	問2-(2)-①	介護・介助が必要になった主な原因		○	
	問2-(2)-②	どなたの介護・介助を受けているか		○	
	問2-(3)	現在の暮らしの経済的状況	○		
	問2-(4)	住まいの種類		○	
からだを動かすことについて	問3-(1)	階段や手すりの昇降	○		
	問3-(2)	椅子の立ち上がり	○		
	問3-(3)	15分位続けて歩いているか	○		
	問3-(4)	過去1年の転倒経験	○		
	問3-(5)	転倒に対する不安	○		
	問3-(6)	外出の頻度	○		
	問3-(7)	外出回数が減っているか	○		
	問3-(8)	外出を控えているか		○	
	問3-(8)-①	外出を控えている理由		○	
	問3-(9)	外出する際の移動手段		○	
食べることについて	問4-(1)	身長・体重	○		
	問4-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	○		
	問4-(3)	お茶や汁物等でむせることがあるか		○	
	問4-(4)	口の渇きが気になるか		○	
	問4-(5)	歯みがきを毎日しているか		○	
	問4-(6)	歯の数と入れ歯の利用状況	○		
	問4-(6)-①	噛み合わせの良さ		○	
	問4-(6)-②	毎日の入れ歯の手入れ		○	

区 分	問番号	設 問	国の項目		市
			基本項目	オプション項目	独自項目
	問 4-(7)	6か月間で2～3kgの体重減少		○	
	問 4-(8)	共食の機会	○		
毎日の生活について	問 5-(1)	もの忘れが多いと感じるか	○		
	問 5-(2)	電話をかけることができるか		○	
	問 5-(3)	日にちがわからない時があるか		○	
	問 5-(4)	バスや電車を使って1人で外出しているか	○		
	問 5-(5)	食品・日用品の買物をしているか	○		
	問 5-(6)	食事の用意をしているか	○		
	問 5-(7)	請求書の支払いをしているか	○		
	問 5-(8)	預貯金の出し入れをしているか	○		
	問 5-(9)	年金などの書類が書けるか		○	
	問 5-(10)	新聞を読んでいるか		○	
	問 5-(11)	本や雑誌を読んでいるか		○	
	問 5-(12)	健康についての記事や番組に関心があるか		○	
	問 5-(13)	友人の家を訪ねているか		○	
	問 5-(14)	家族や友人の相談にのっているか		○	
	問 5-(15)	病人を見舞うことができるか		○	
	問 5-(16)	若い人に自分から話しかけることがあるか		○	
	問 5-(17)	趣味はあるか		○	
	問 5-(18)	生きがいはあるか		○	
	問 5-(19)	普段の生活でよく行く場所			○
	問 5-(20)	パソコンやスマートフォン等を使用しているか			○
問 5-(20)-①	使用しているアプリ等について			○	
地域での活動について	問 6-(1)	会・グループ活動への参加頻度	○		
	問 6-(2)	地域づくりの活動に参加者として参加意向	○		
	問 6-(3)	地域づくりの活動に企画・運営として参加意向	○		
(新設) 就労について	問 7-(1)	現在の就労状態		○	
	問 7-(1)-①	引退した年		○	
たすけあいについて	問 8-(1)	心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	○		
	問 8-(2)	心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	○		
	問 8-(3)	病気の看病や世話をしてくれる人	○		
	問 8-(4)	病気の看病や世話をしてあげる人	○		
	問 8-(5)	家族や友人・知人以外で相談する相手		○	
	問 8-(6)	友人・知人と会う頻度		○	
	問 8-(7)	1か月間に会った友人・知人の数		○	
	問 8-(8)	よく会う友人・知人との関係		○	
健康について	問 9-(1)	主体的健康感	○		
	問 9-(2)	主体的幸福度	○		
	問 9-(3)	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあるか	○		
	問 9-(4)	物事に対して、興味がわからない、楽しめない感じがあるか	○		
	問 9-(5)	飲酒状況		○	
	問 9-(6)	喫煙状況	○		
	問 9-(7)	治療中、後遺症のある病気	○		
認知症について	問 10-(1)	認知症の理解度			○
	問 10-(2)	認知症のある人の社会参加			○
	問 10-(3)	認知症になったときの不安			○

区分	問番号	設問	国の項目		市
			基本項目	オプション項目	独自項目
	問 10-(4)	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	○		
	問 10-(5)	認知症に関する相談窓口の認知状況	○		
成年後見制度について	問 11-(1)	成年後見制度の認知状況			○
	問 11-(2)	成年後見制度の関心度			○
	問 11-(3)	成年後見制度に関する相談窓口の認知状況			○
	問 11-(4)	日常生活の中で将来不安に感じる事			○
	問 11-(5)	成年後見制度の利用意向			○
	問 11-(5)-①	成年後見制度を利用しない理由			○
	問 11-(6)	成年後見制度の利用促進のために必要だと思うこと			○
	問 11-(7)	市民後見人の認知状況			○
	問 11-(8)	市民後見人の活用意向			○
	問 11-(8)-①	市民後見人を活用しない理由			○

(2) 在宅介護実態調査

区分	問番号	設問	国の項目		市
			基本項目	オプション項目	独自項目
A票（調査対象者様ご本人について）					
回答者	問 1	調査票の回答者	○		
対象者ご自身について	問 2	世帯類型	○		
	問 3	現在の住まい			○
	問 4	調査対象者の性別	○		
	問 5	調査対象者の年齢	○		
	問 6	調査対象者の要介護度	○		
	問 7	施設等への入所・入居の検討状況	○		
	問 8	調査対象者が抱える傷病		○	
介護保険サービスの利用について	問 9	介護保険サービスの利用	○		
	問 10	1か月間のサービスの利用状況（A～L）	○		
	問 11	介護保険サービスを利用していない理由		○	
介護保険サービス以外の支援や利用について	問 12	現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス		○	
	問 13	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス		○	
	問 14	現在、訪問診療を利用しているか		○	
成年後見制度について	問 15	成年後見制度の認知状況			○
	問 16	成年後見制度の関心度			○
	問 17	成年後見制度に関する相談窓口の認知状況			○
	問 18	日常生活の中で将来不安に感じる事			○
	問 19	成年後見制度の利用意向			○
	問 20	成年後見制度を利用しない理由			○
	問 21	成年後見制度の利用の促進を図るために必要だと思うこと			○
	問 22	市民後見人の認知状況			○
	問 23	市民後見人の活用意向			○
	問 24	市民後見人を活用しない理由			○
介護の状況	問 25	家族や親族からの受ける介護の頻度	○		
自由回答	問 26	必要とする支援や近所等の協力			○

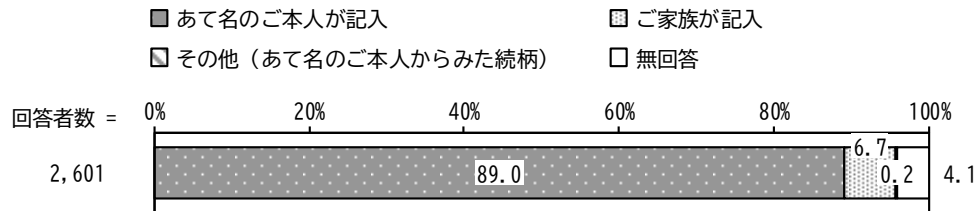
区分	問番号	設問	国の項目		市
			基本項目	オプション項目	独自項目
B票（主な介護者の方について）					
主な介護者ご自身について	問1	介護を理由として仕事を辞めた方がいるか	○		
	問2	主な介護者の続柄		○	
	問3	主な介護者の性別		○	
	問4	主な介護者の年齢	○		
介護内容について	問5	主な介護者が行っている介護の内容		○	
	問6	主な介護者が不安に感じる介護の内容	○		
主な介護者の勤務形態	問7	主な介護者の勤務形態	○		
	問8	主な介護者が介護をするにあたって、働き方の調整等をしているか	○		
	問9	仕事と介護の両方に効果があると思う勤め先からの支援		○	
	問10	今後も働きながら介護を続けていけそうか	○		
主な介護者の状況	問11	主な介護者の状況			○
	問12	必要とする支援や近所等の協力			○
C票（ダブルケアについて）					
ダブルケアの負担について	問1	ダブルケアによる精神的、体力的、経済的に負担①子育て ②介護			○
	問2	子育てに対して負担を感じる事			○
	問3	介護に対して負担を感じる事			○
	問4	ダブルケアのことを相談したことがあるか			○
ダブルケアの相談について	問5	ダブルケアについて相談した相手（機関）			○
	問6	ダブルケアについて相談したことがない理由			○
ダブルケアの支援策について	問7	ダブルケアに必要な支援策			○
自由回答	問8	必要とする支援や近所等の協力			○

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

問1 あなた（あて名のご本人）の状況について

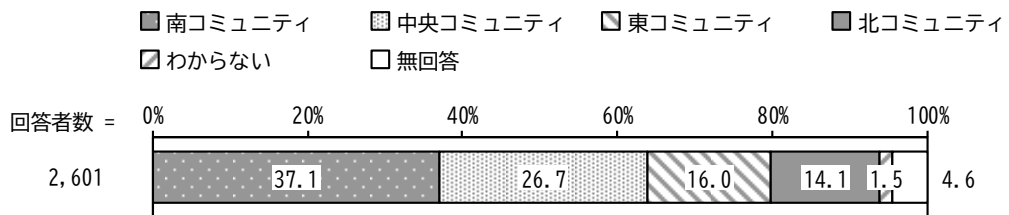
調査票を記入されたのはどなたですか。

「あて名のご本人が記入」の割合が89.0%、「ご家族が記入」の割合が6.7%、「その他（あて名のご本人からみた続柄）」の割合が0.2%となっています。



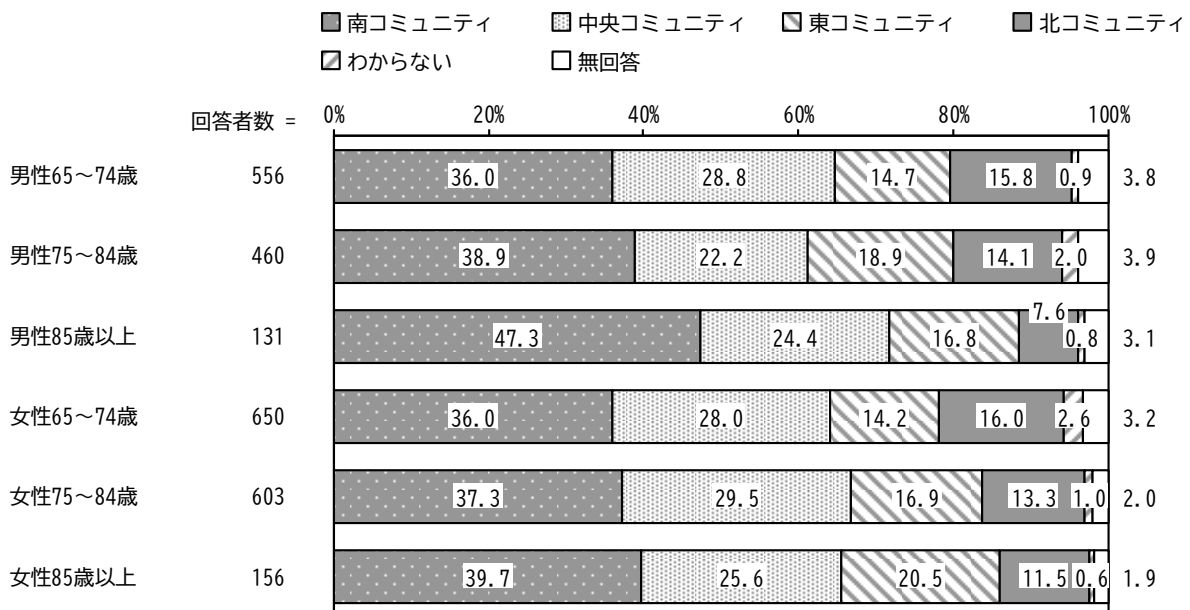
(1) お住まいの地域をお教えてください

「南コミュニティ」の割合が37.1%と最も高く、次いで「中央コミュニティ」の割合が26.7%、「東コミュニティ」の割合が16.0%となっています。



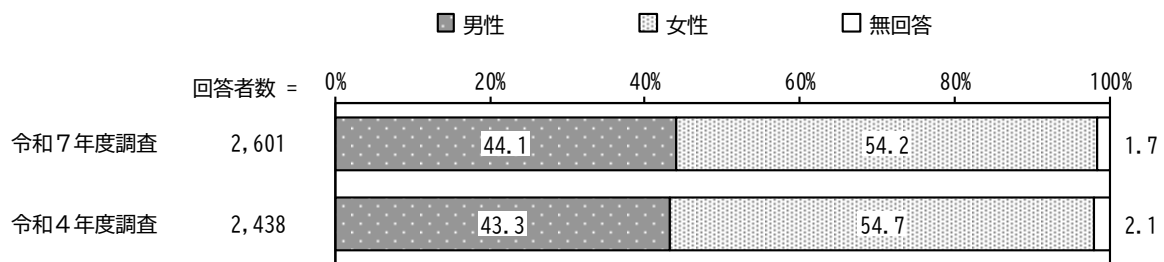
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「北コミュニティ」の割合が低く、男性では年齢が上がるほど「南コミュニティ」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「南コミュニティ」「東コミュニティ」の割合が高くなっています。



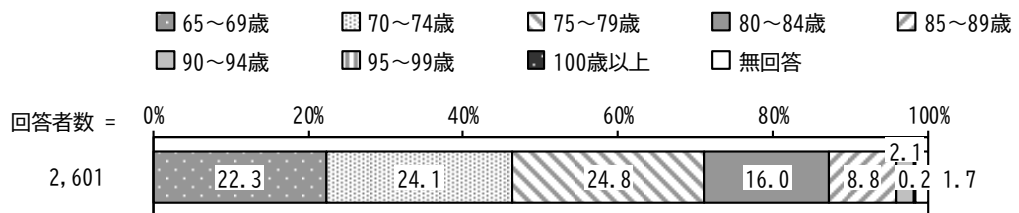
(2) 性別について、お教えてください

「男性」の割合が44.1%、「女性」の割合が54.2%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



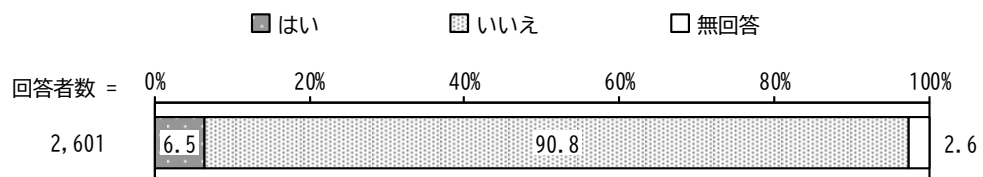
(3) 年齢（令和7年12月1日現在）について、お教えてください

「75～79歳」の割合が24.8%と最も高く、次いで「70～74歳」の割合が24.1%、「65～69歳」の割合が22.3%となっています。



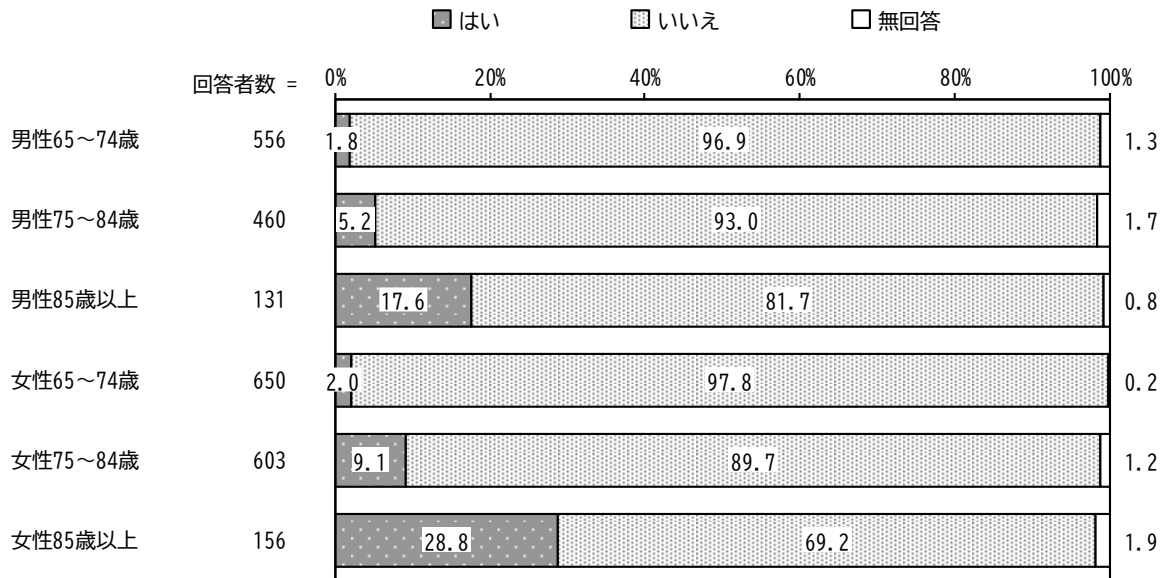
(4) あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか

「はい」の割合が6.5%、「いいえ」の割合が90.8%となっています。



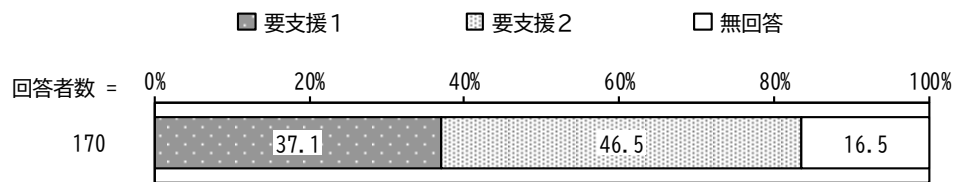
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、とくに女性85歳以上の「はい」の割合は3割近くになっています。



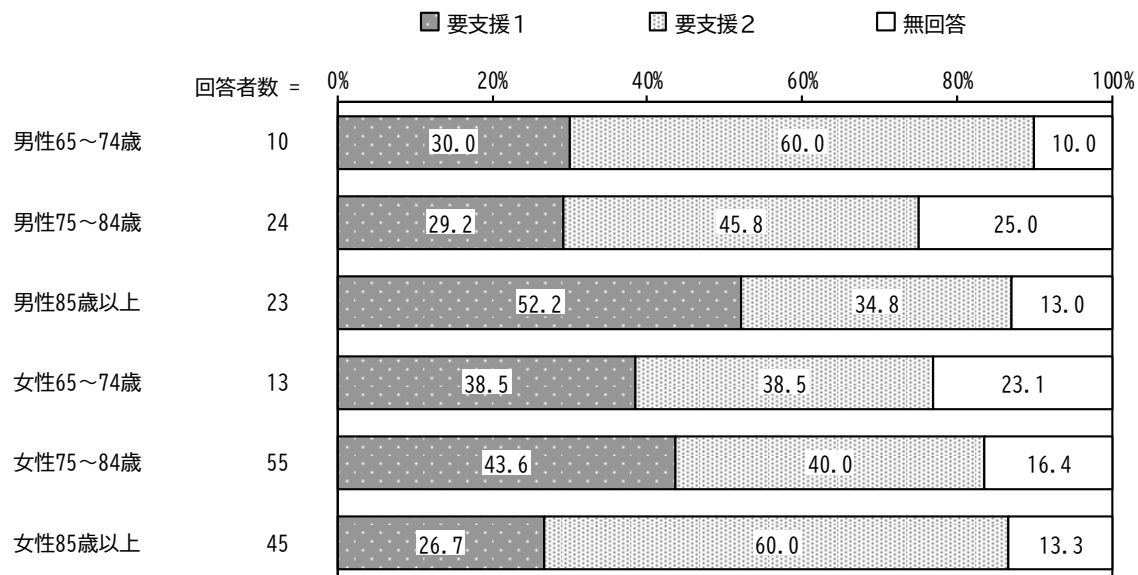
1. 要介護認定ありの方のみ

「要支援1」の割合が37.1%、「要支援2」の割合が46.5%となっています。



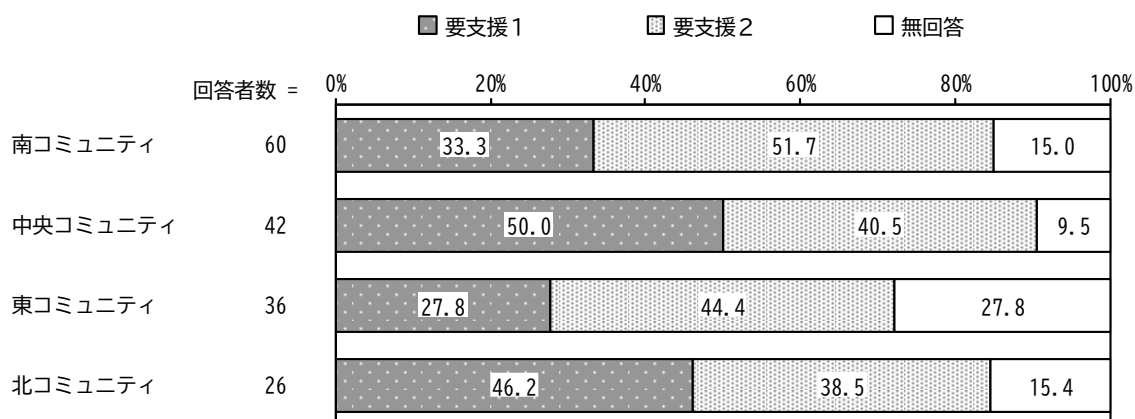
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「要支援2」の割合が高くなっています。また、男性85歳以上で「要支援1」の割合が高くなっています。



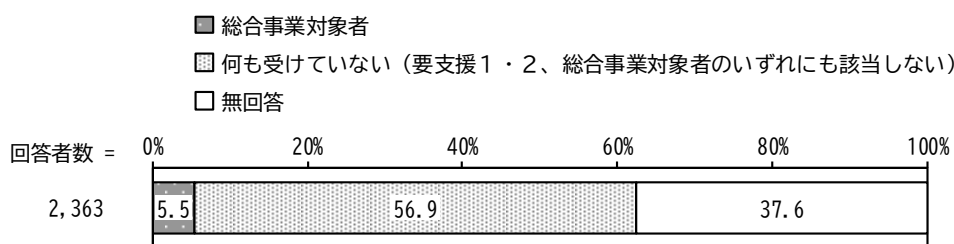
【圏域別】

圏域別にみると、中央コミュニティで「要支援1」の割合が高くなっています。



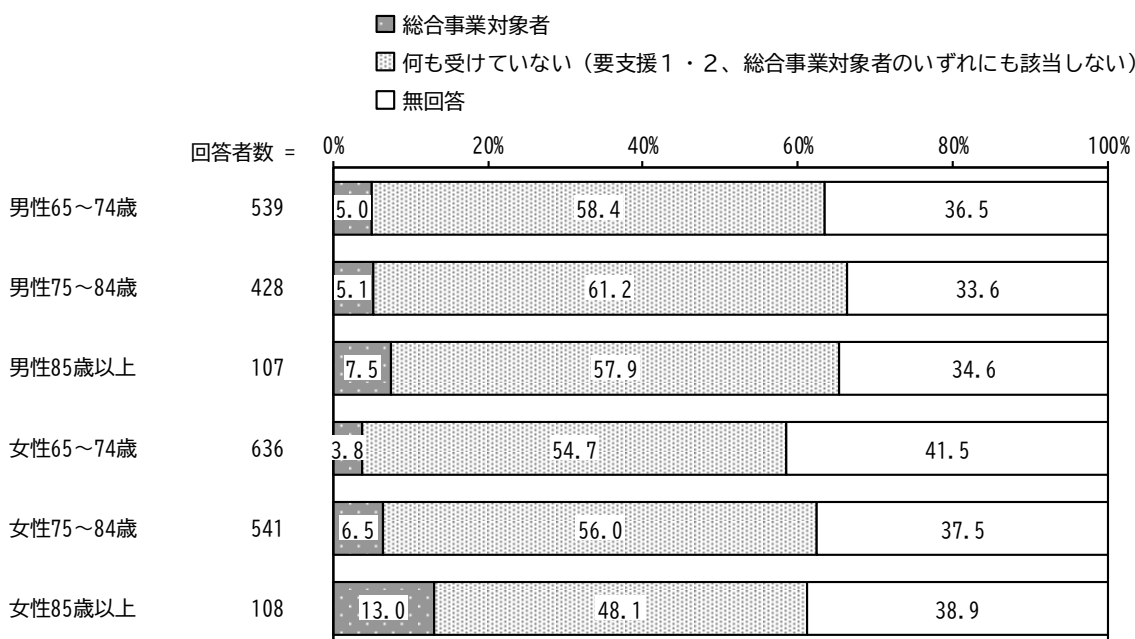
2. 要介護認定なしの方のみ

「総合事業対象者」の割合が 5.5%、「何も受けていない（要支援1・2、総合事業対象者のいずれにも該当しない）」の割合が 56.9%となっています。



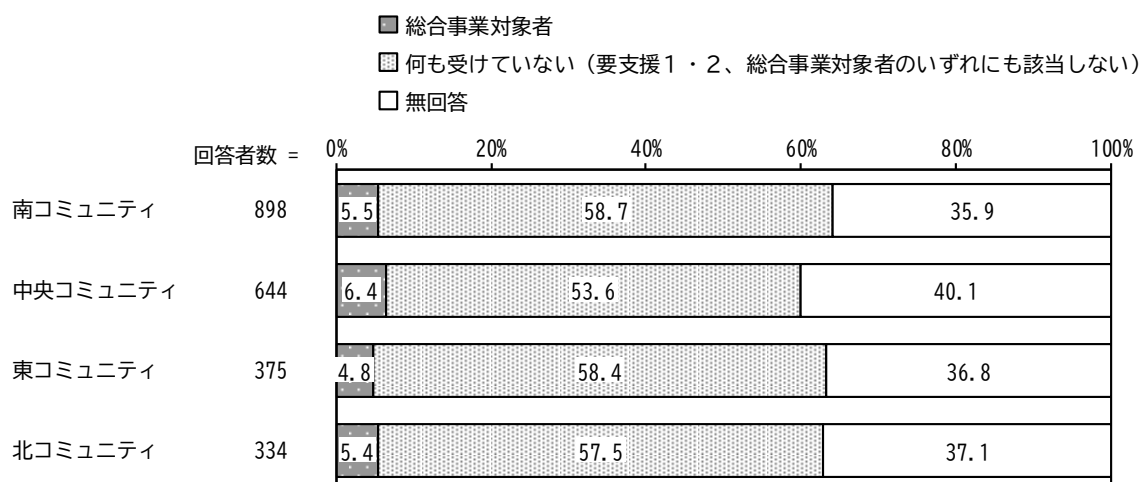
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「総合事業対象者」の割合が高くなっています。また、とくに女性は年齢が上がるほど「総合事業対象者」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

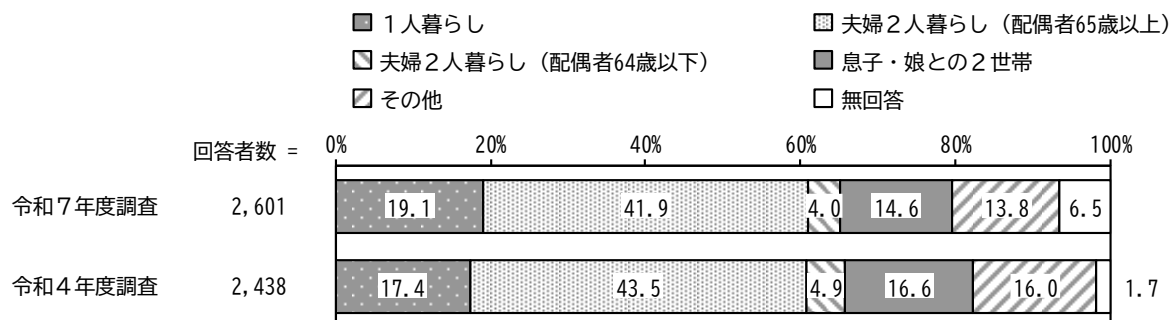


問2 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

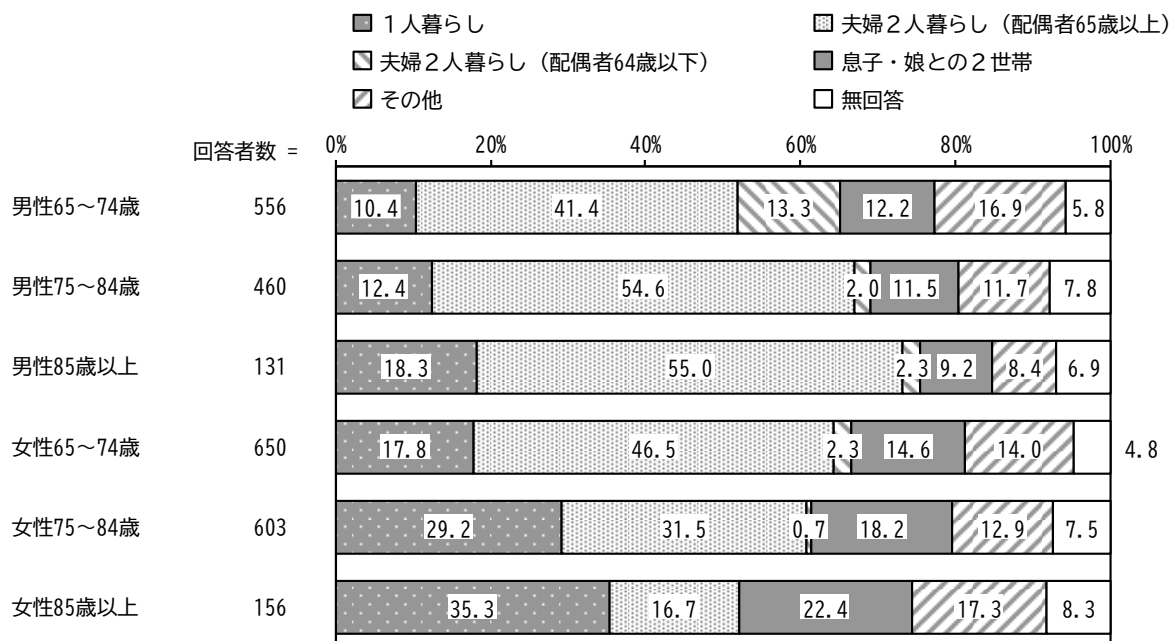
「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が41.9%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が19.1%、「息子・娘との2世帯」の割合が14.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



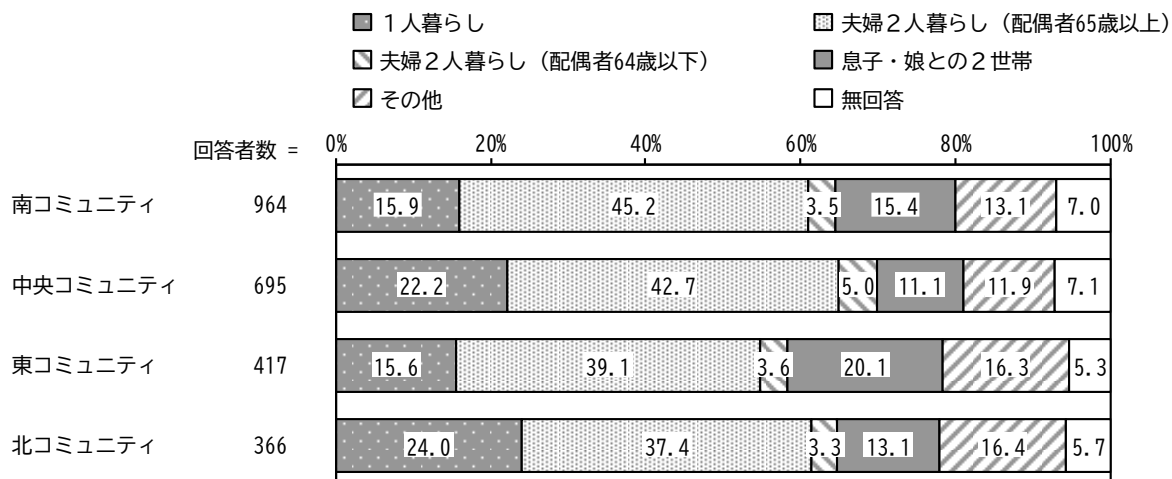
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「1人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」の割合が高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が低くなっています。



【圏域別】

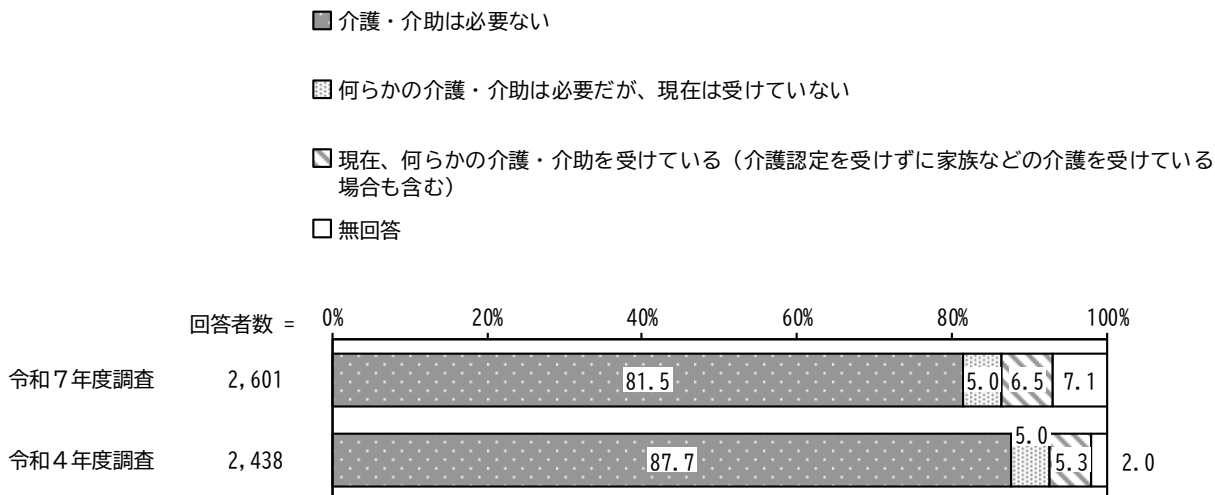
圏域別にみると、東コミュニティで「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

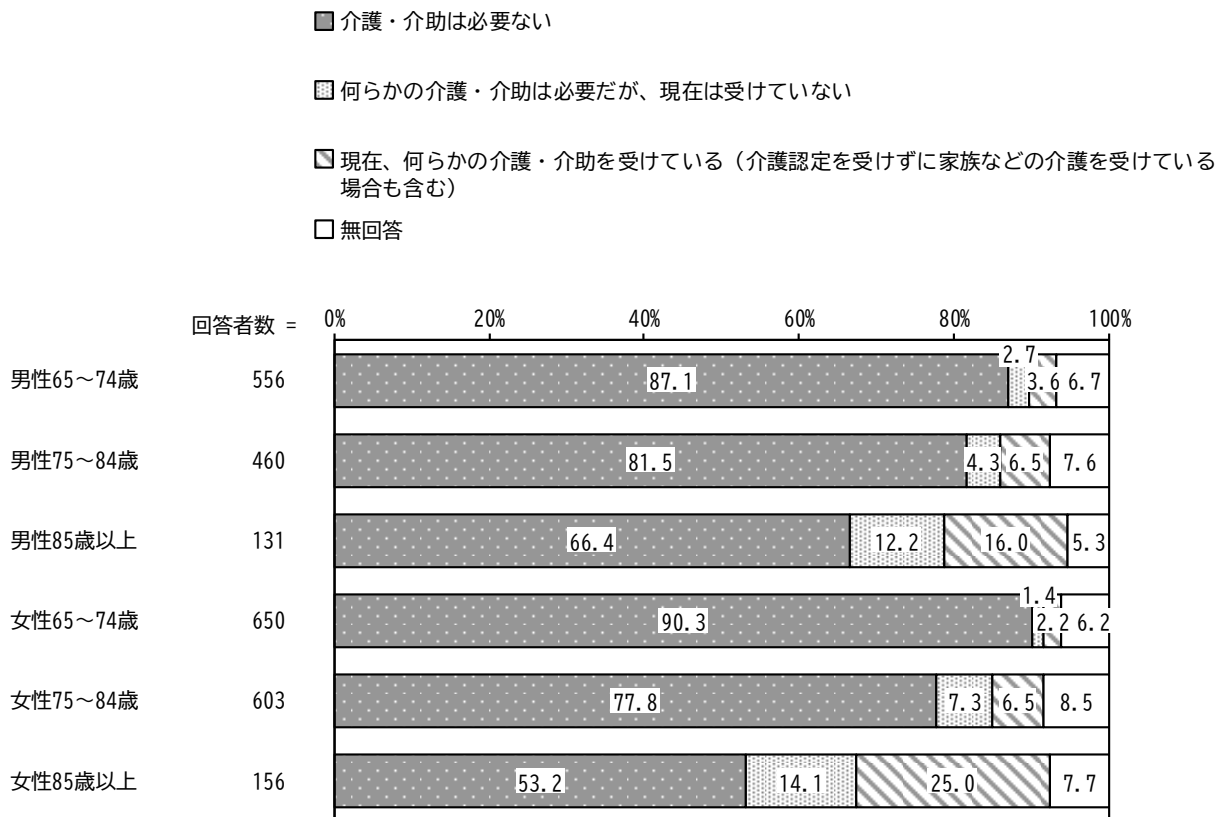
「介護・介助は必要ない」の割合が81.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が5.0%、「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が6.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護・介助は必要ない」の割合が減少しています。



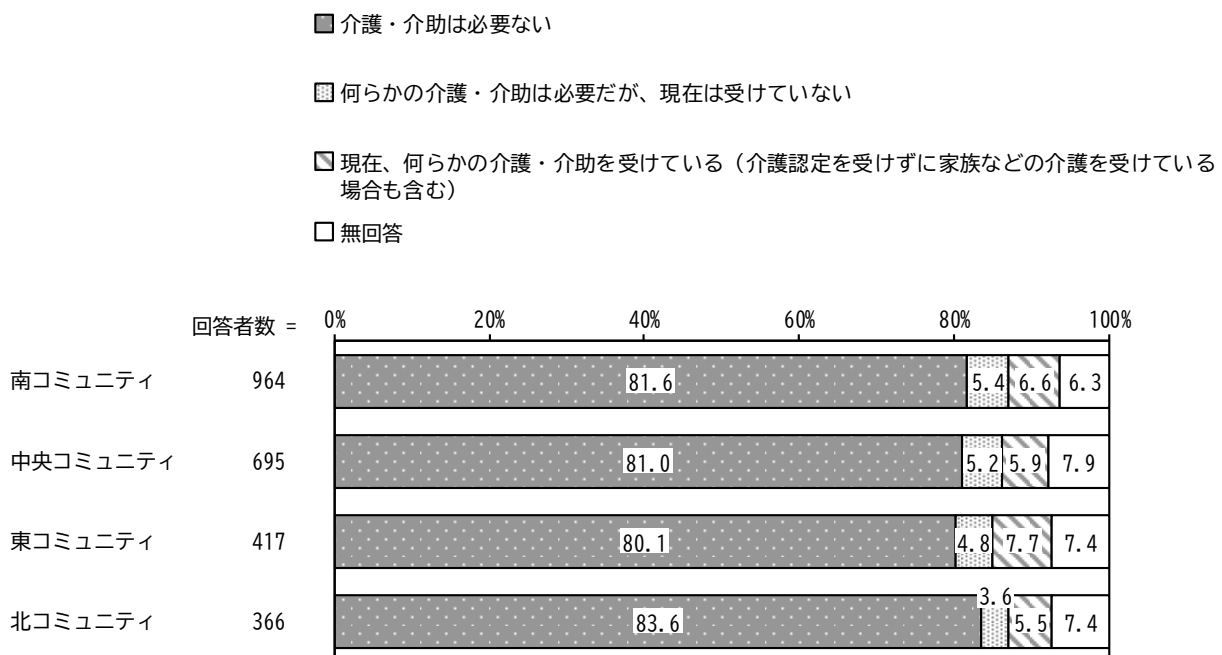
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高く、「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

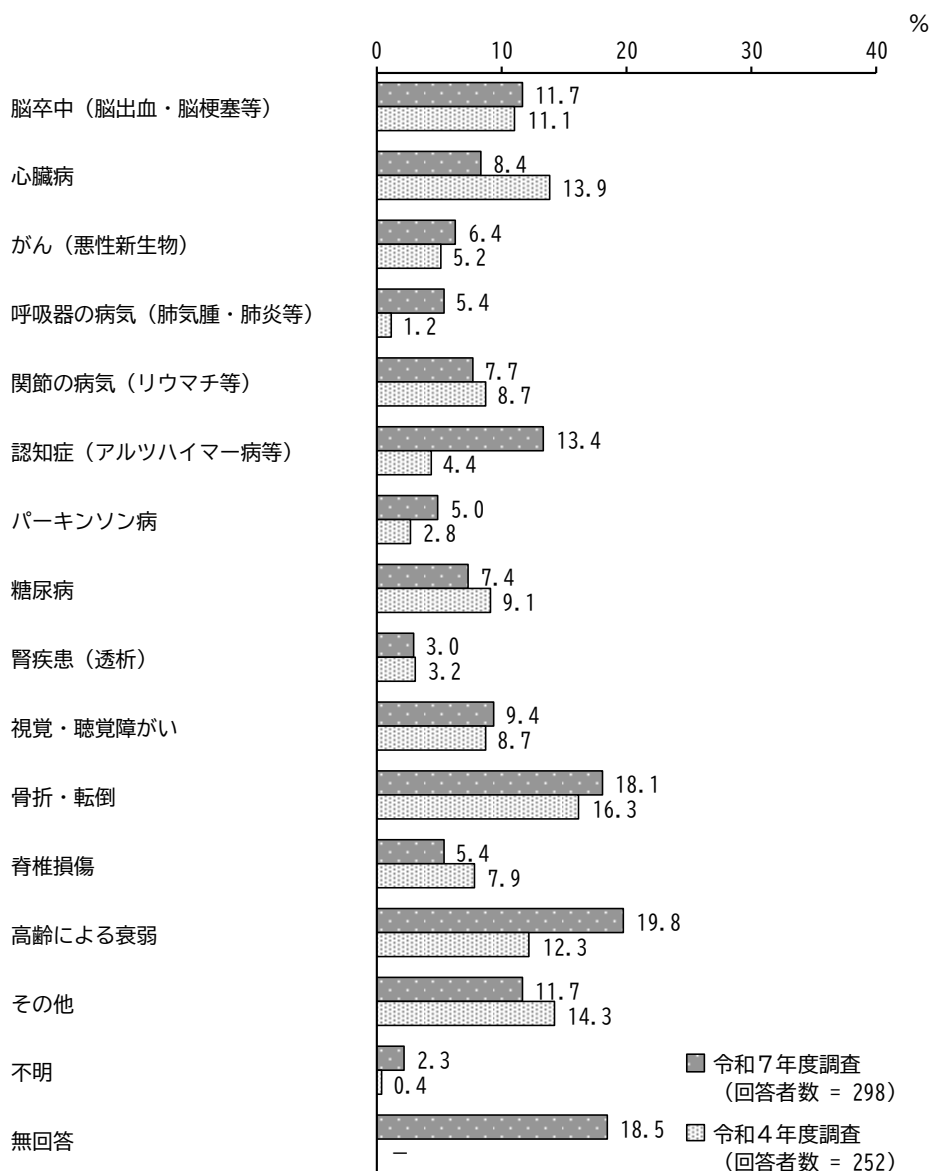


【(2) において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている」の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）

「高齢による衰弱」の割合が 19.8%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が 18.1%、「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が 13.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「認知症（アルツハイマー病等）」「高齢による衰弱」の割合が増加しています。一方、「心臓病」の割合が減少しています。

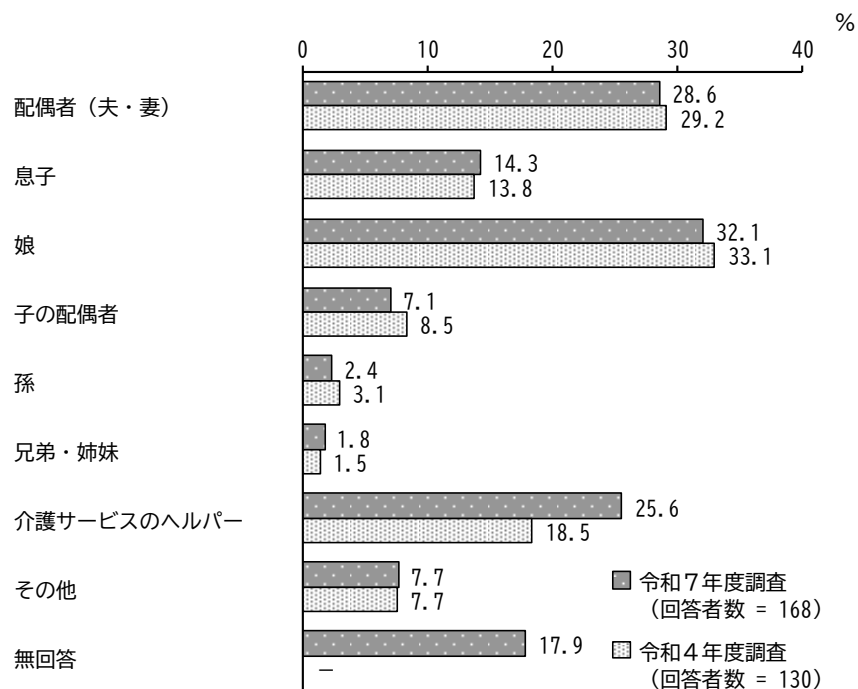


【(2) において「現在、何らかの介護・介助を受けている」の方のみ】

②主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

「娘」の割合が32.1%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」の割合が28.6%、「介護サービスのヘルパー」の割合が25.6%となっています。

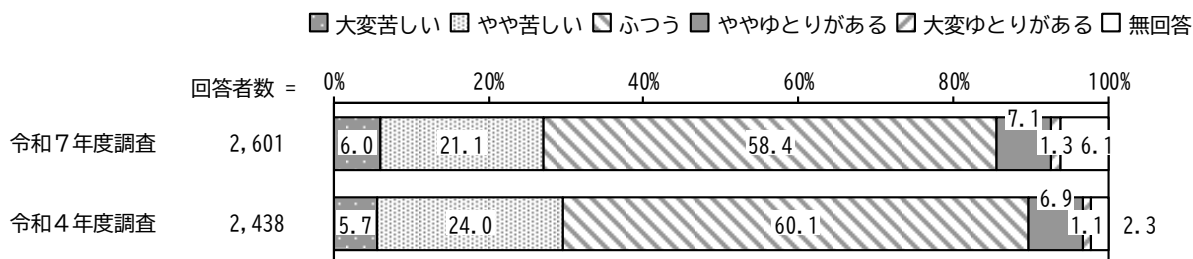
令和4年度調査と比較すると、「介護サービスのヘルパー」の割合が増加しています。



(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

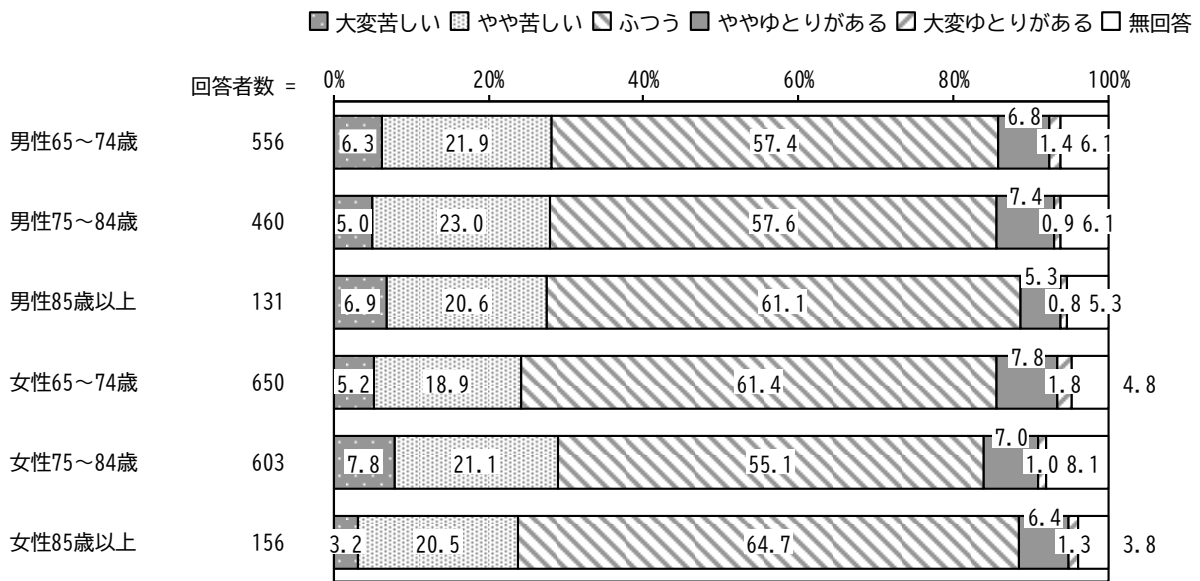
「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が27.1%、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が8.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



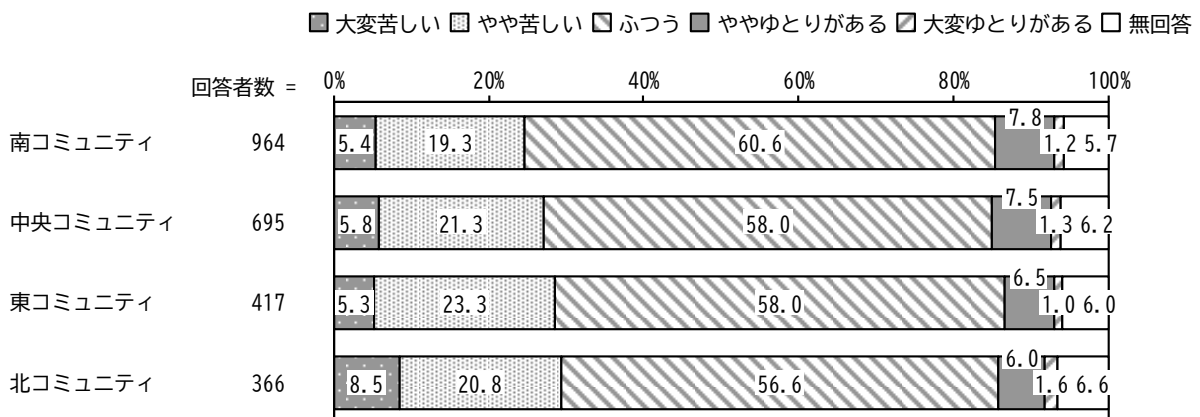
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、大きな差はみられません。



【圏域別】

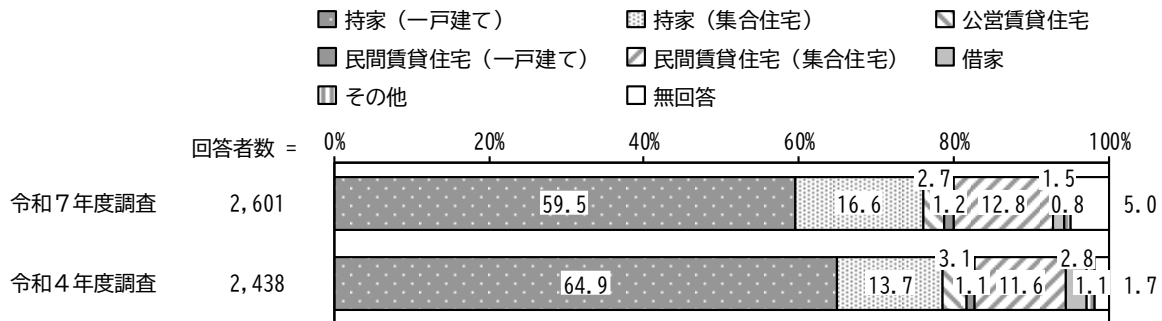
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

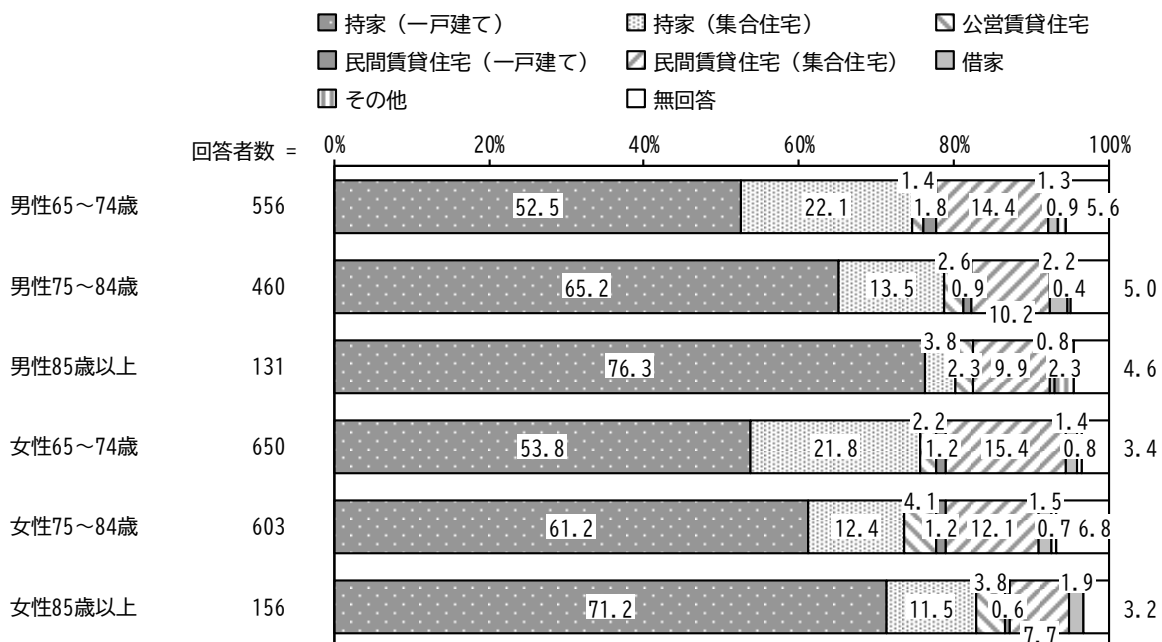
「持家（一戸建て）」の割合が59.5%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が16.6%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が12.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「持家（一戸建て）」の割合が減少しています。



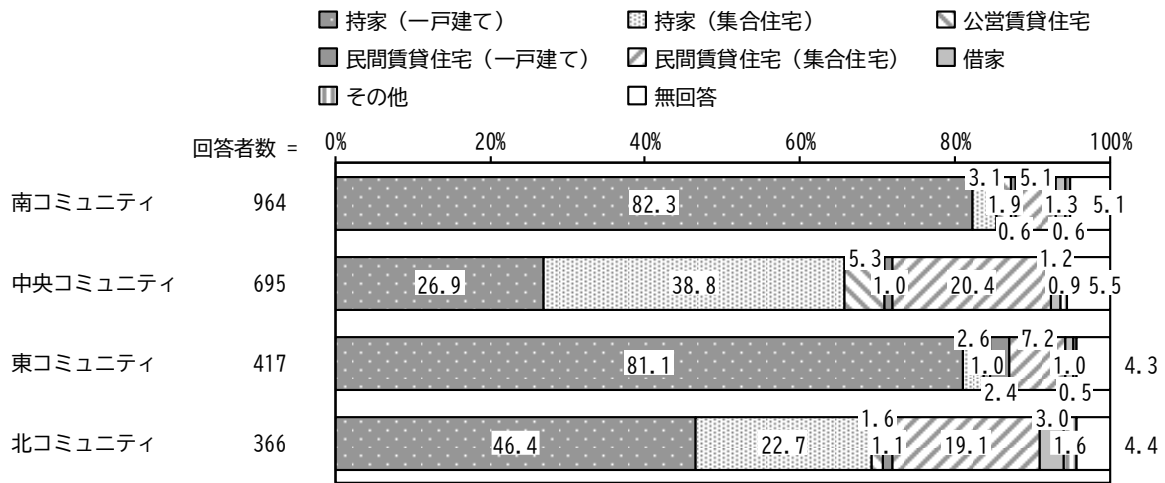
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「持家（集合住宅）」「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が高く、「持家（一戸建て）」の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、南コミュニティ、東コミュニティで「持家（一戸建て）」、中央コミュニティで「持家（集合住宅）」、中央コミュニティ、北コミュニティで「民間賃貸住宅（集合住宅）」の割合が高くなっています。

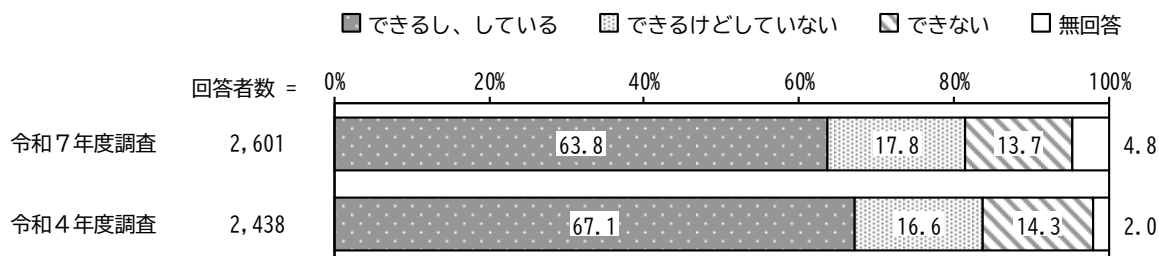


問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」の割合が 63.8%、「できるけどしていない」の割合が 17.8%、「できない」の割合が 13.7%となっています。

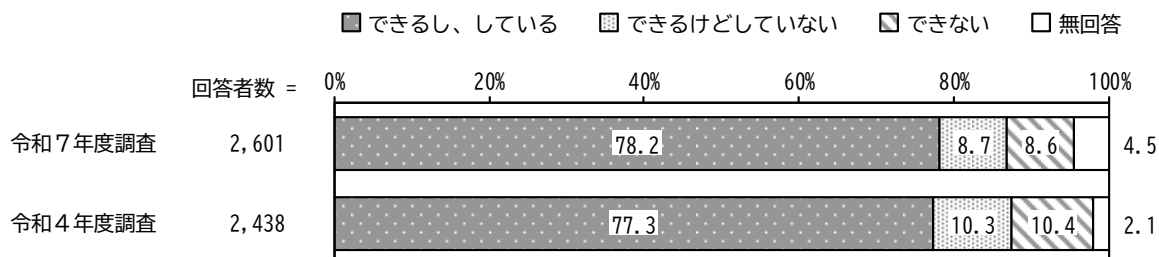
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」の割合が 78.2%、「できるけどしていない」の割合が 8.7%、「できない」の割合が 8.6%となっています。

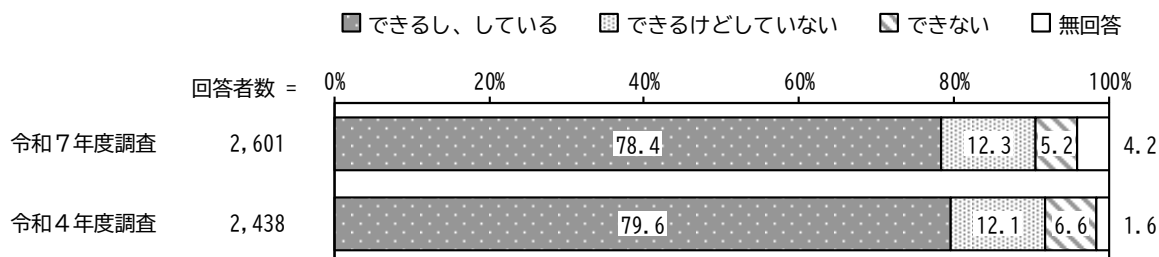
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 15分位続けて歩いていますか

「できるし、している」の割合が 78.4%、「できるけどしていない」の割合が 12.3%、「できない」の割合が 5.2%となっています。

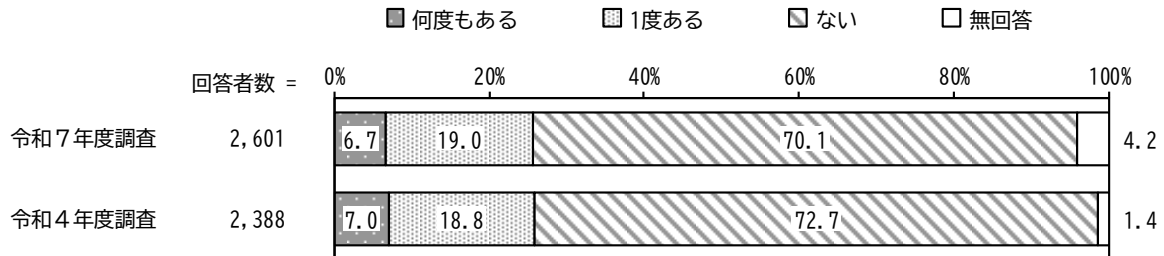
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

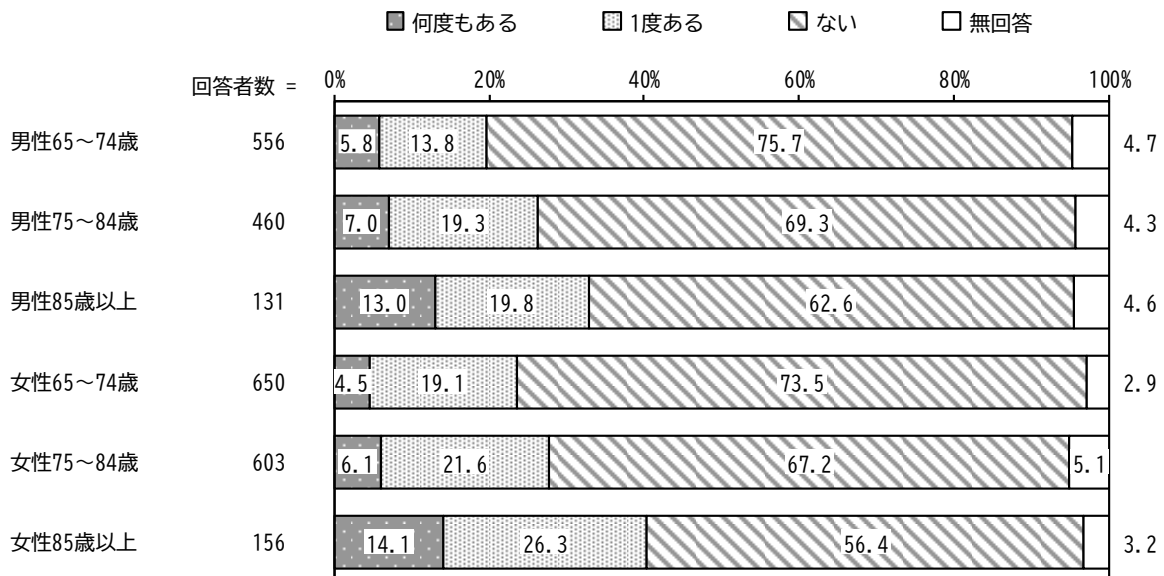
「何でもある」の割合が6.7%、「1度ある」の割合が19.0%、「ない」の割合が70.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



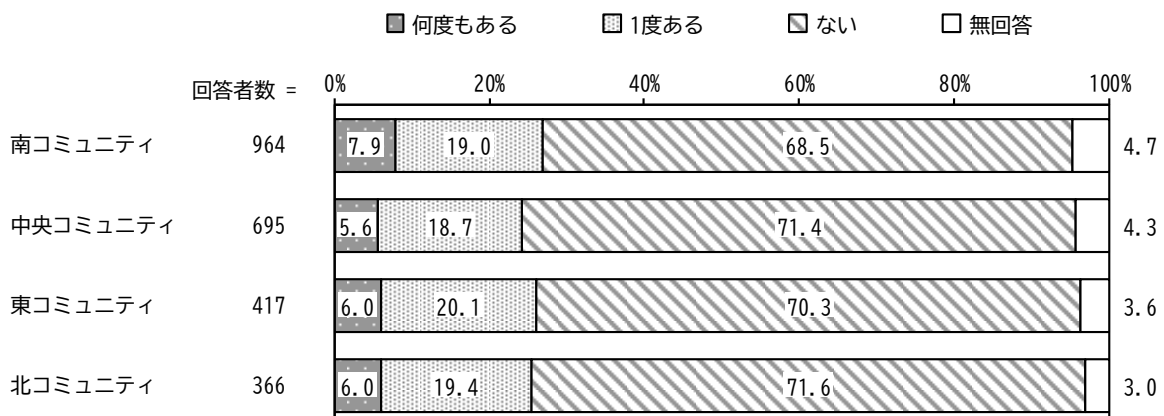
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何でもある」「1度ある」の割合が高く、「ない」の割合が低くなっています。



【圏域別】

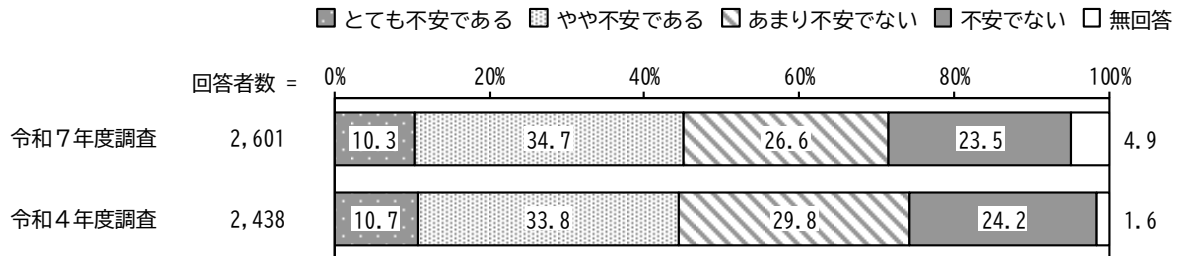
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(5) 転倒に対する不安は大きいですか

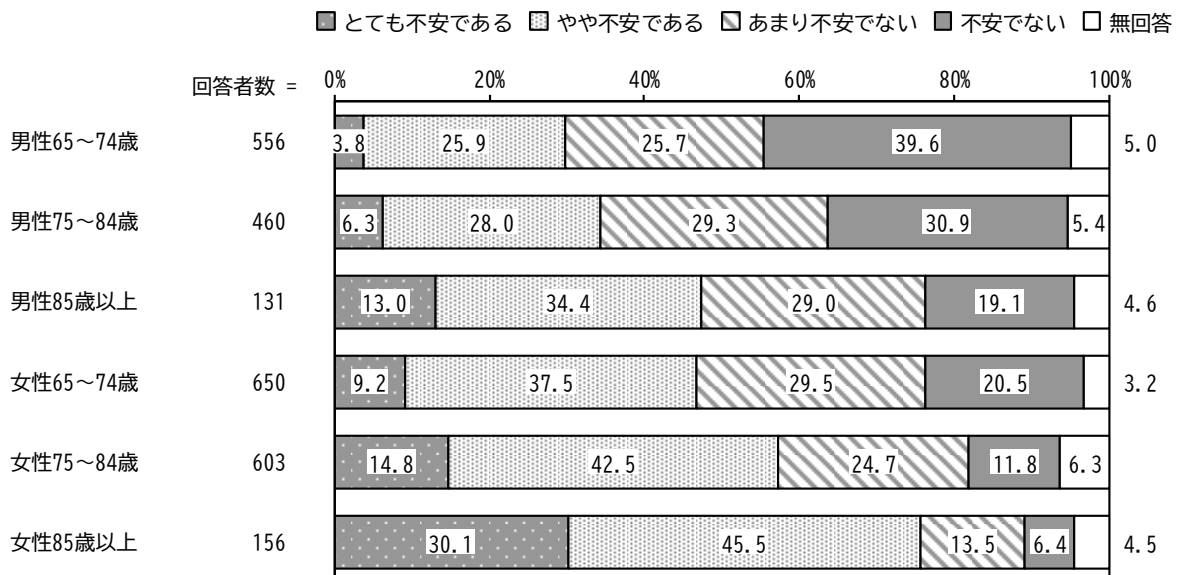
「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”の割合が45.0%、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた“不安でない”の割合が50.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



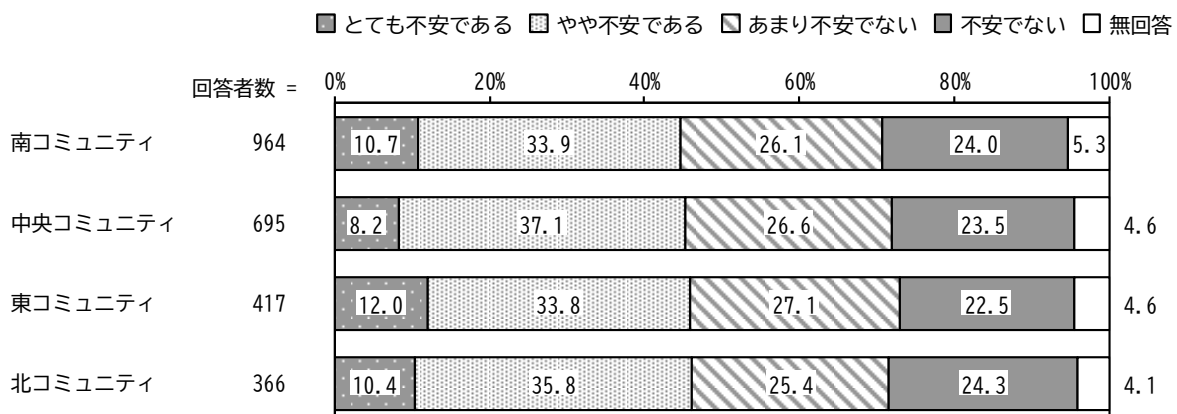
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“不安である”の割合が高くなっています。また、女性85歳以上で「とても不安である」「やや不安である」、男性65～74歳で「不安でない」の割合が高くなっています。



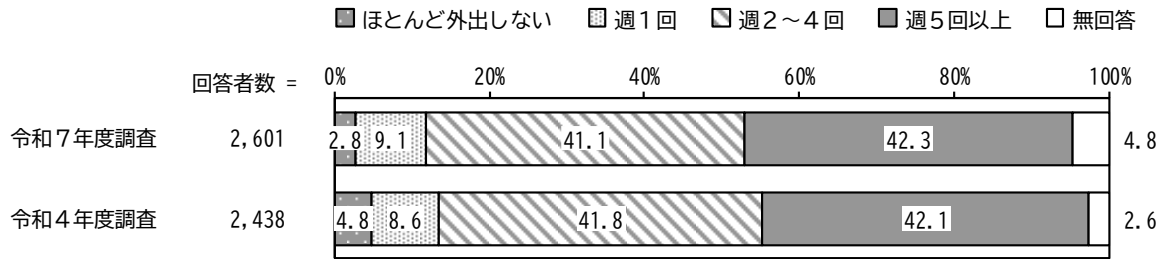
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



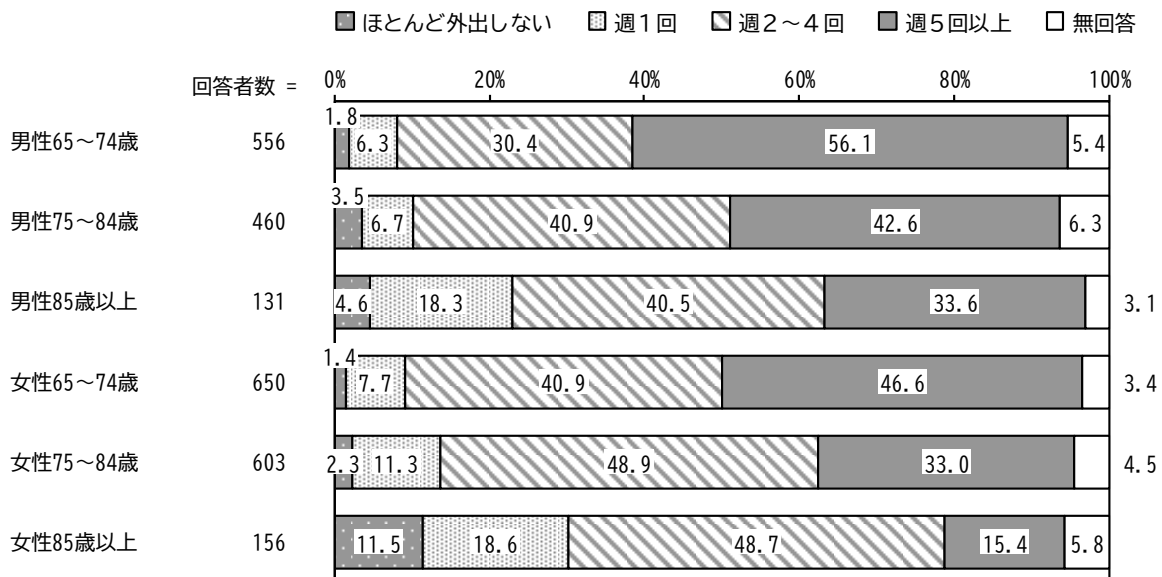
(6) 週に1回以上は外出していますか

「週5回以上」の割合が42.3%と最も高く、次いで「週2～4回」の割合が41.1%となっています。令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



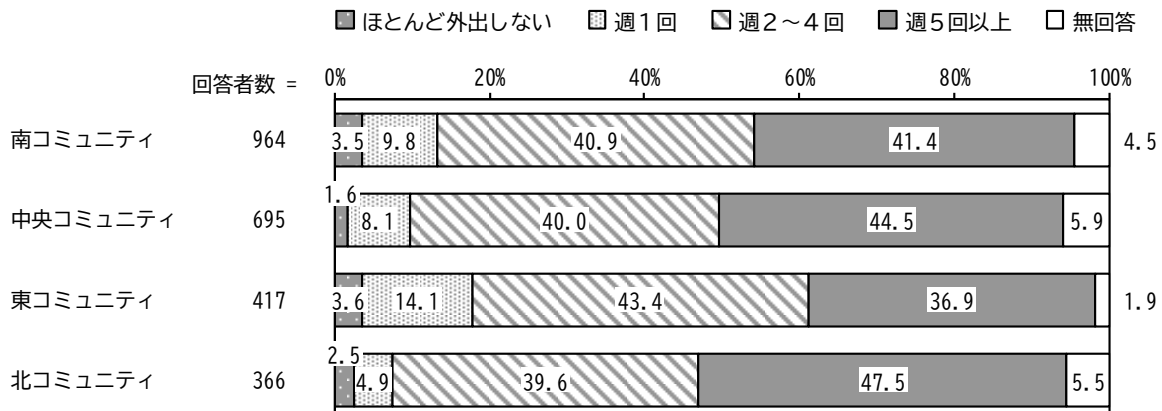
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「週5回以上」の割合が低く、男性では年齢が上がるほど「週1回」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「ほとんど外出しない」「週1回」の割合が高くなっています。また、男性65～74歳で「週2～4回」の割合が低くなっています。



【圏域別】

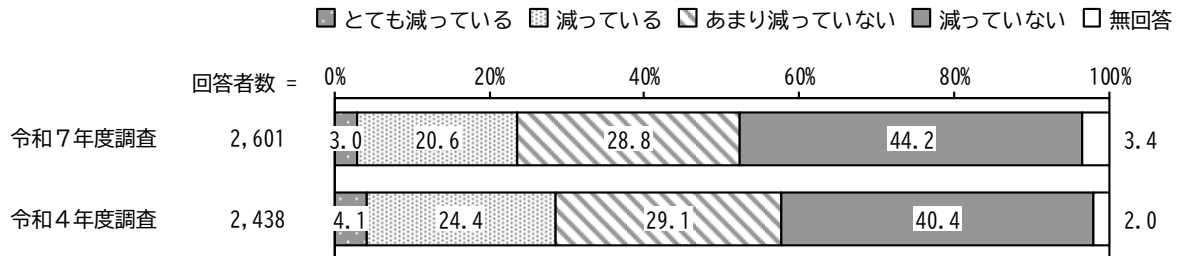
圏域別にみると、東コミュニティで「週1回」、北コミュニティで「週5回以上」の割合が高くなっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

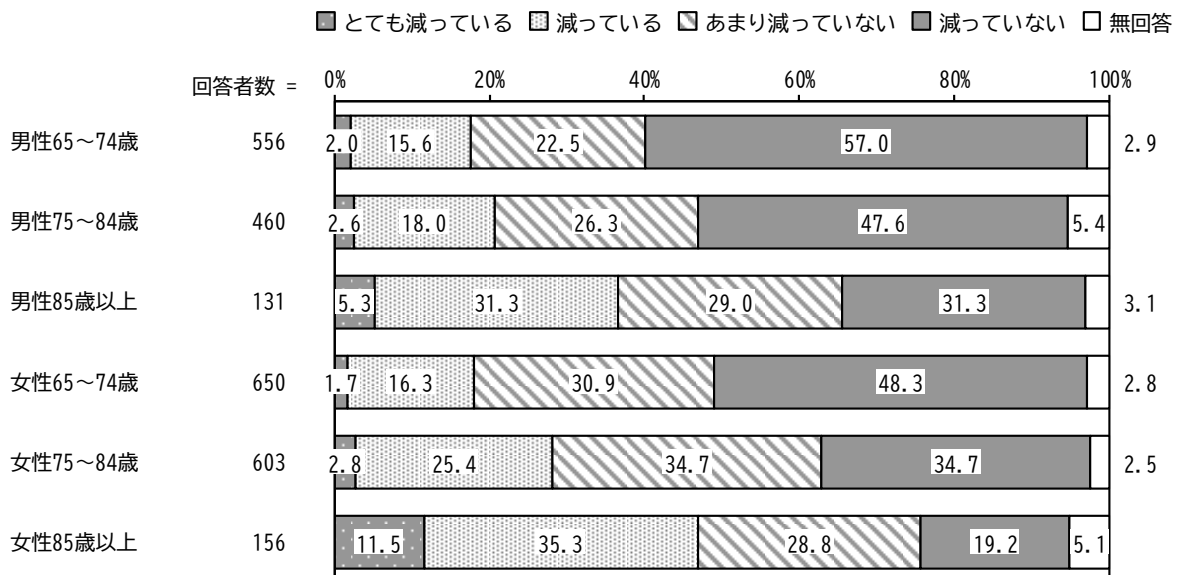
「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が23.6%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”の割合が73.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



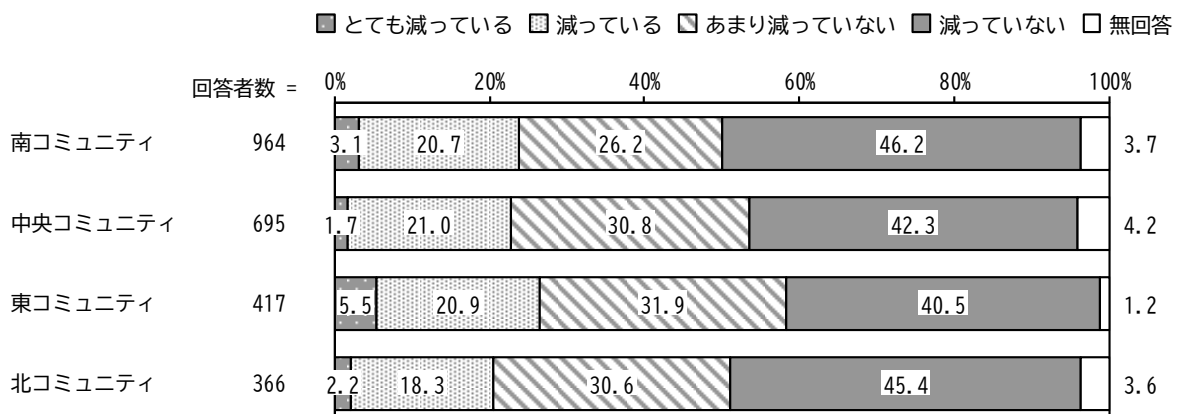
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど“減っている”の割合が高くなっています。また、女性85歳以上で「減っている」、男性65～74歳で「減っていない」の割合が高くなっています。



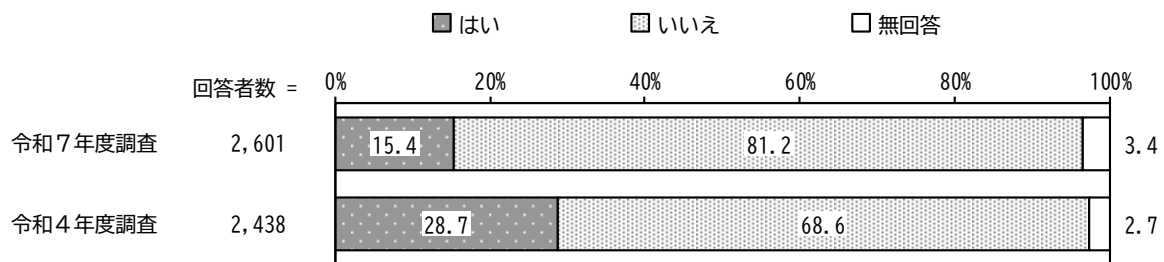
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



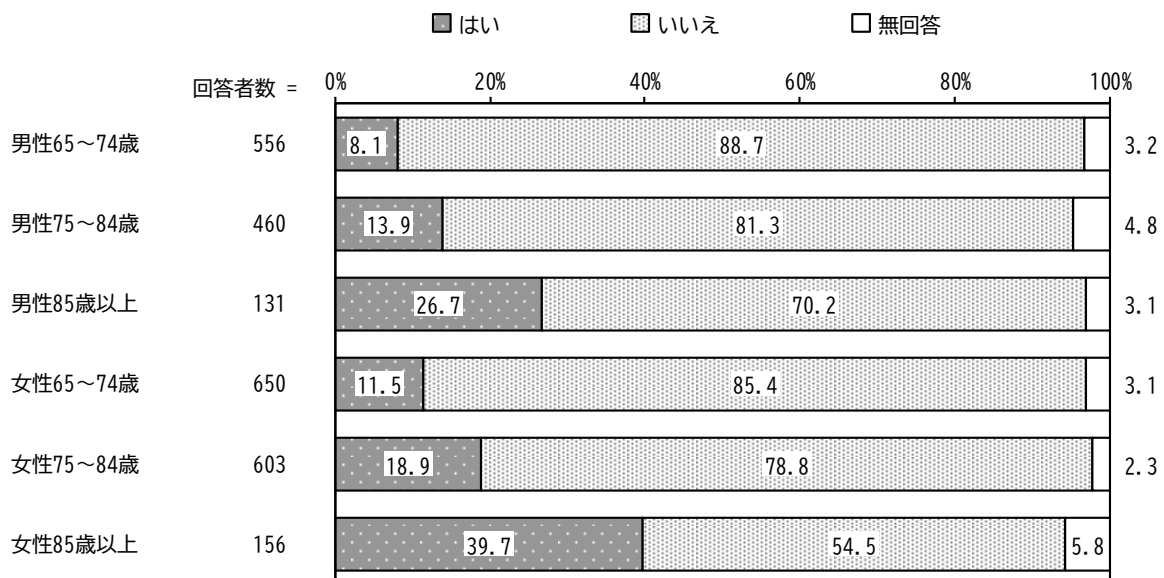
(8) 外出を控えていますか

「はい」の割合が15.4%、「いいえ」の割合が81.2%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



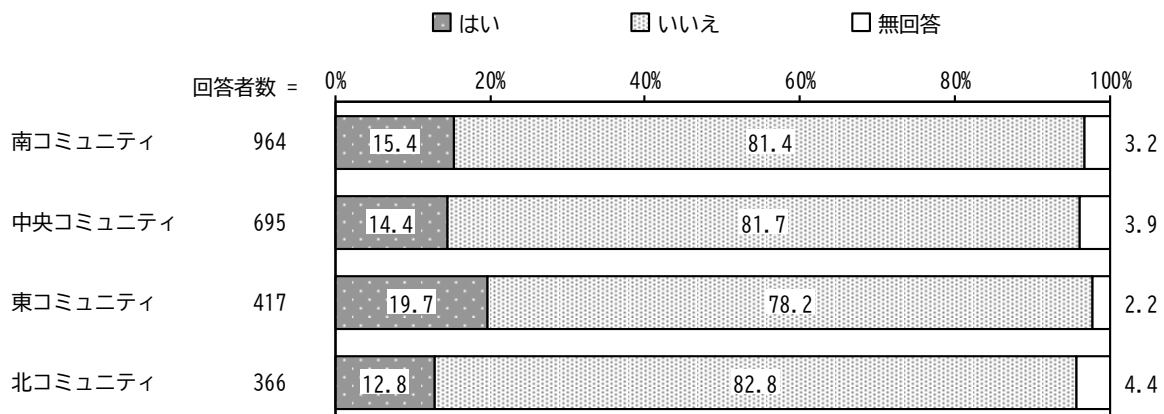
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。また、女性85歳以上で「いいえ」の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

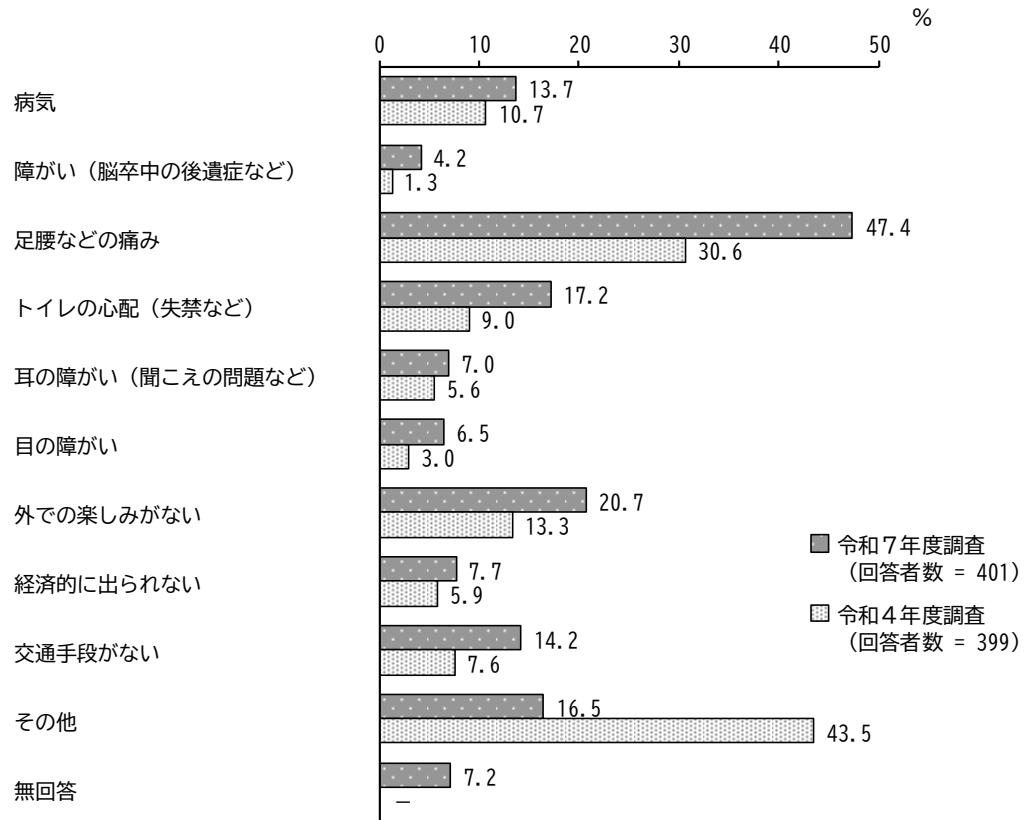


【(8)で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

「足腰などの痛み」の割合が47.4%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」の割合が20.7%、「トイレの心配(失禁など)」の割合が17.2%となっています。

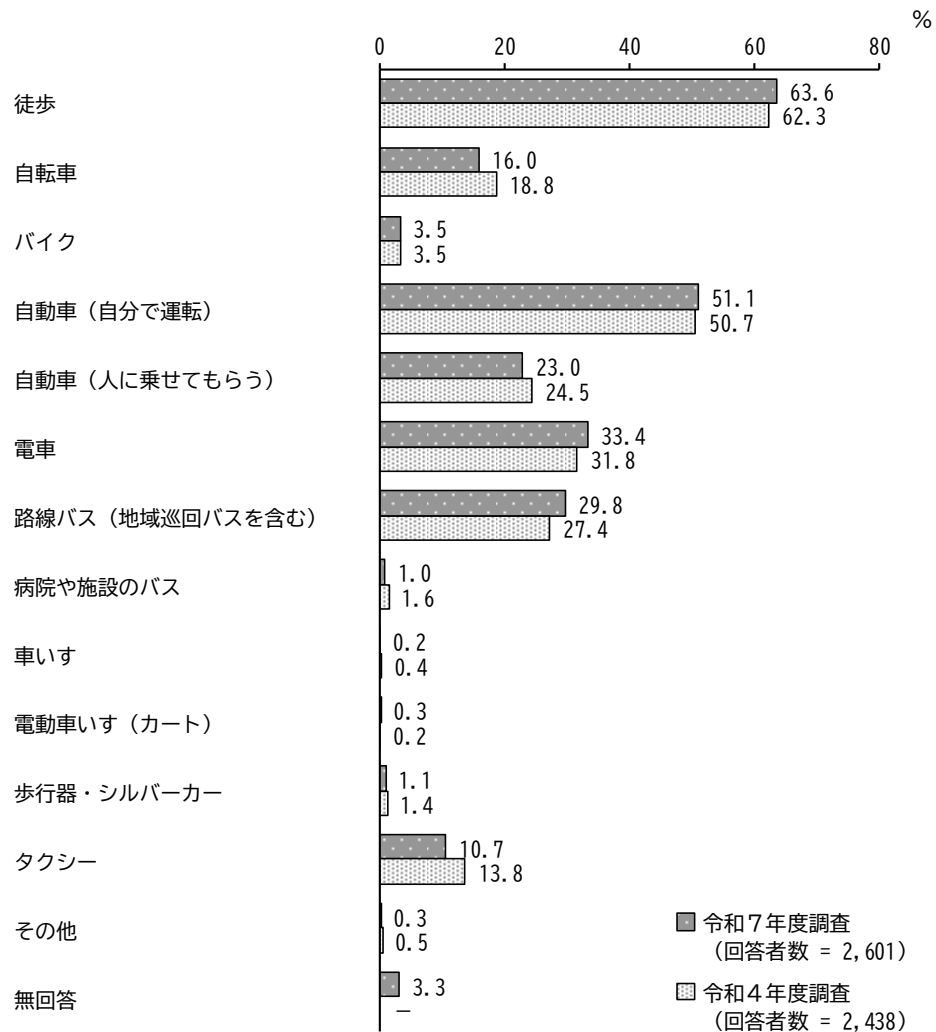
令和4年度調査と比較すると、「足腰などの痛み」「トイレの心配(失禁など)」「外での楽しみがない」「交通手段がない」の割合が増加しています。



(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

「徒歩」の割合が63.6%と最も高く、次いで「自動車 (自分で運転)」の割合が51.1%、「電車」の割合が33.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

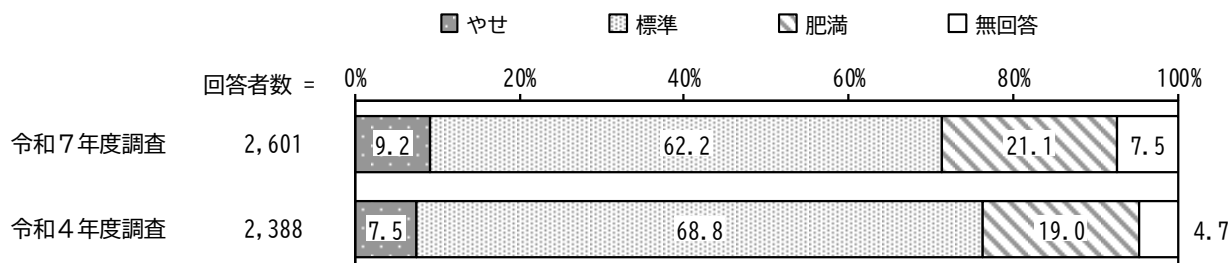


問4 食べることについて

(1) 身長・体重

BMI

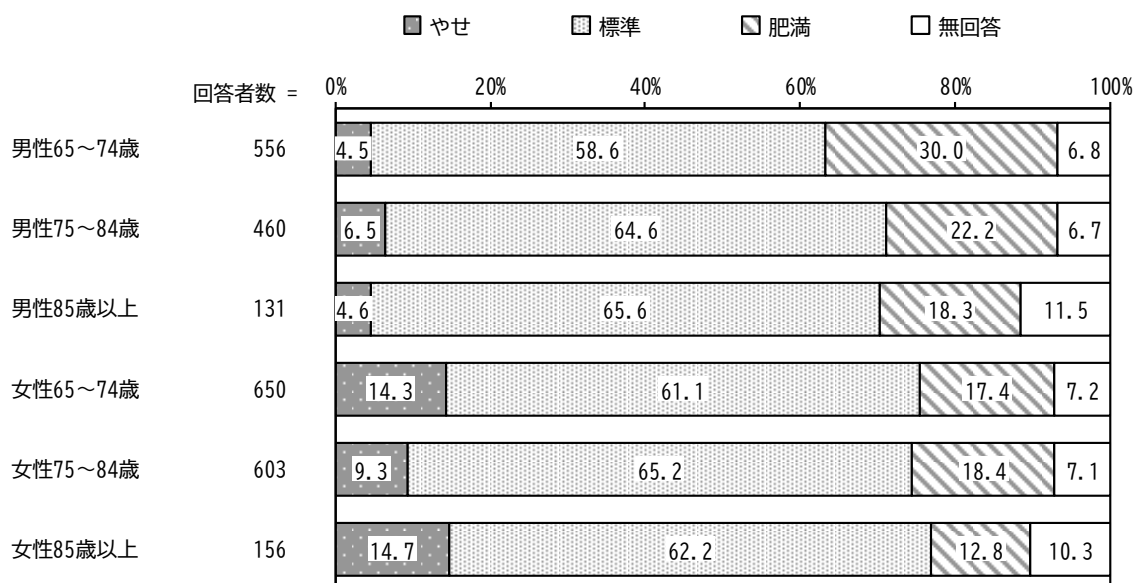
「やせ」の割合が9.2%、「標準」の割合が62.2%、「肥満」の割合が21.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「標準」が減少しています。



※令和4年度調査では、「無回答」が「不明」となっていました。

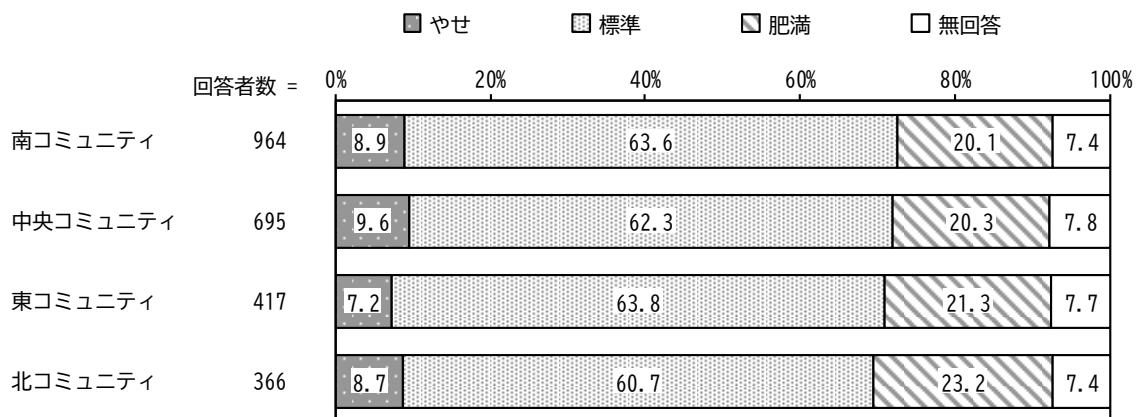
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「標準」の割合が高く、「肥満」の割合が低くなっています。



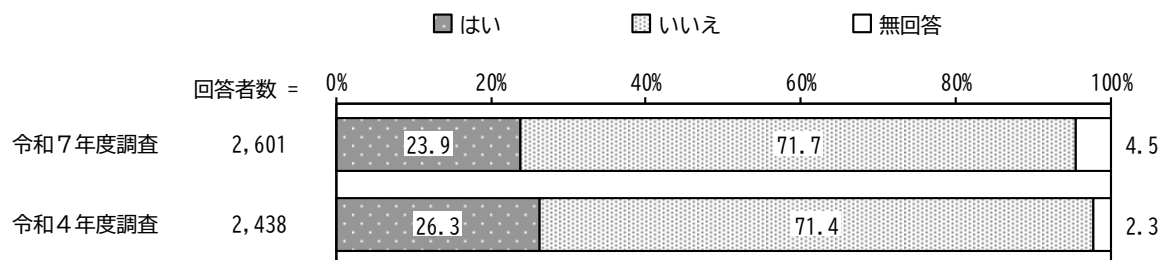
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



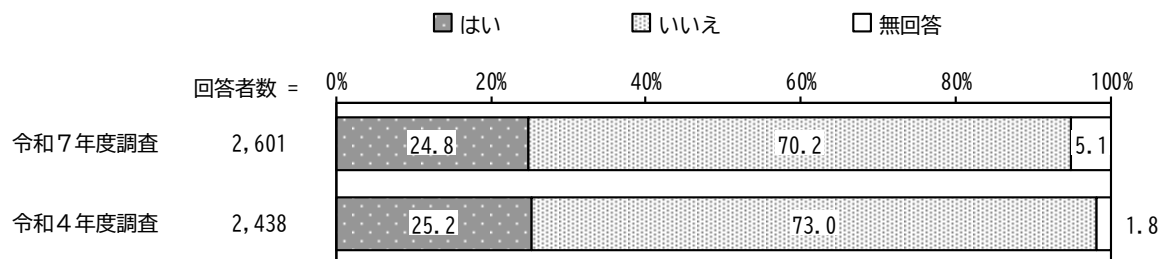
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」の割合が23.9%、「いいえ」の割合が71.7%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



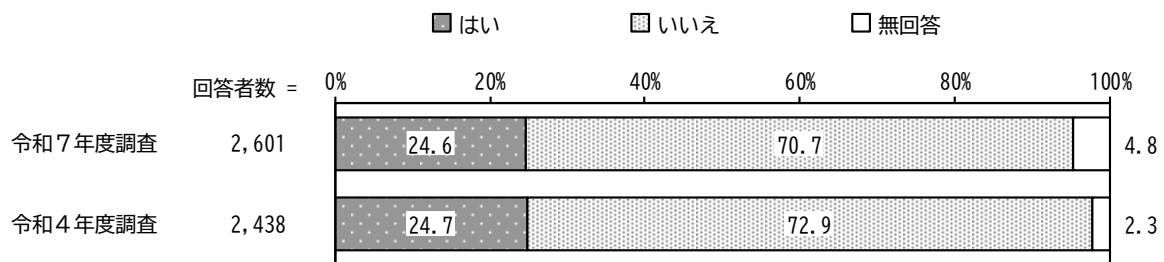
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」の割合が24.8%、「いいえ」の割合が70.2%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



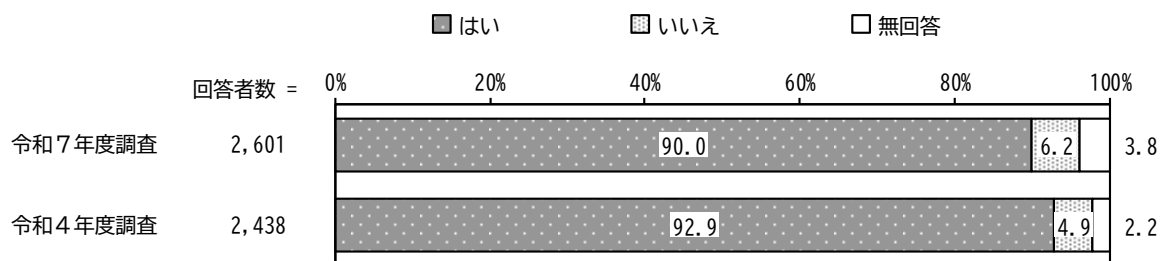
(4) 口の渇きが気になりますか

「はい」の割合が24.6%、「いいえ」の割合が70.7%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

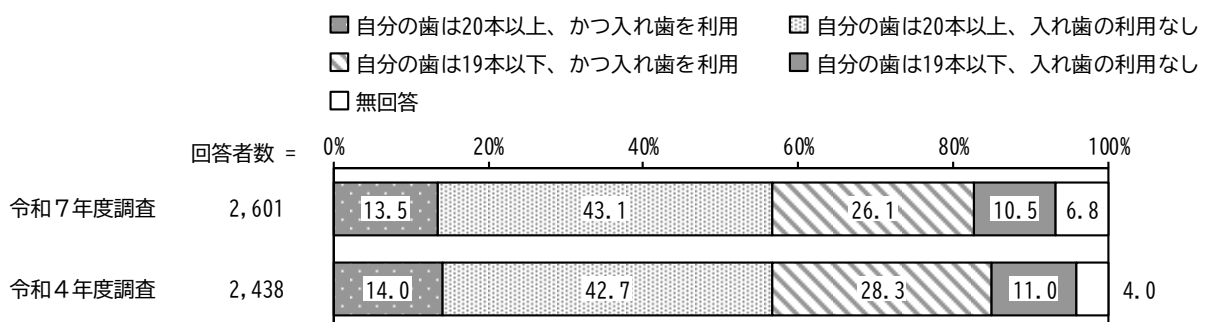
「はい」の割合が90.0%、「いいえ」の割合が6.2%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

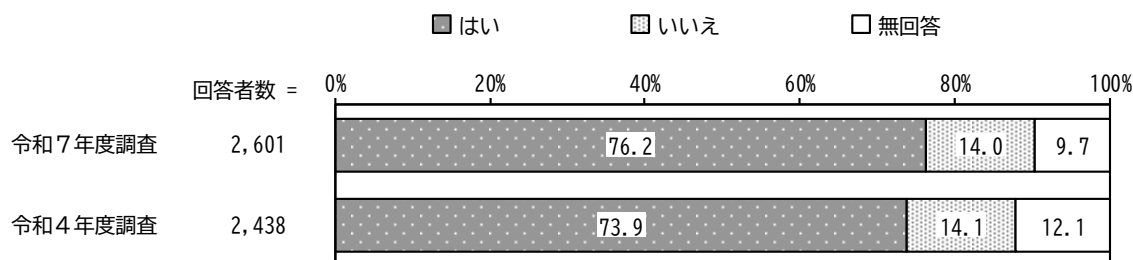
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が43.1%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が26.1%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が13.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



①噛み合わせは良いですか

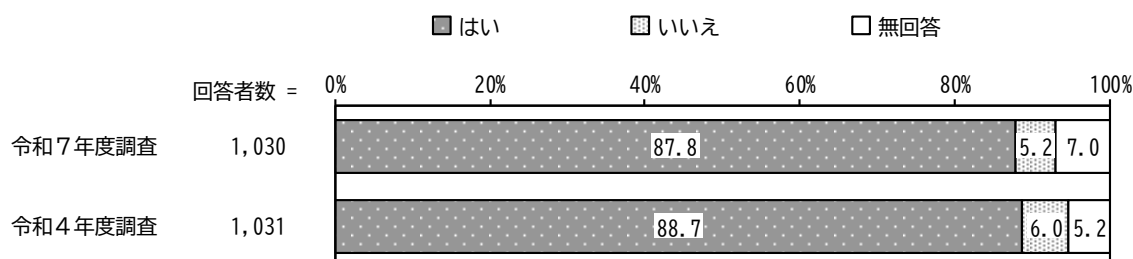
「はい」の割合が76.2%、「いいえ」の割合が14.0%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

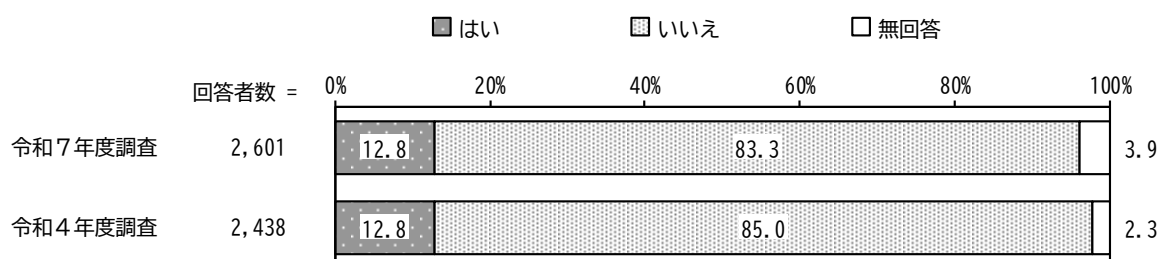
②毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」の割合が87.8%、「いいえ」の割合が5.2%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



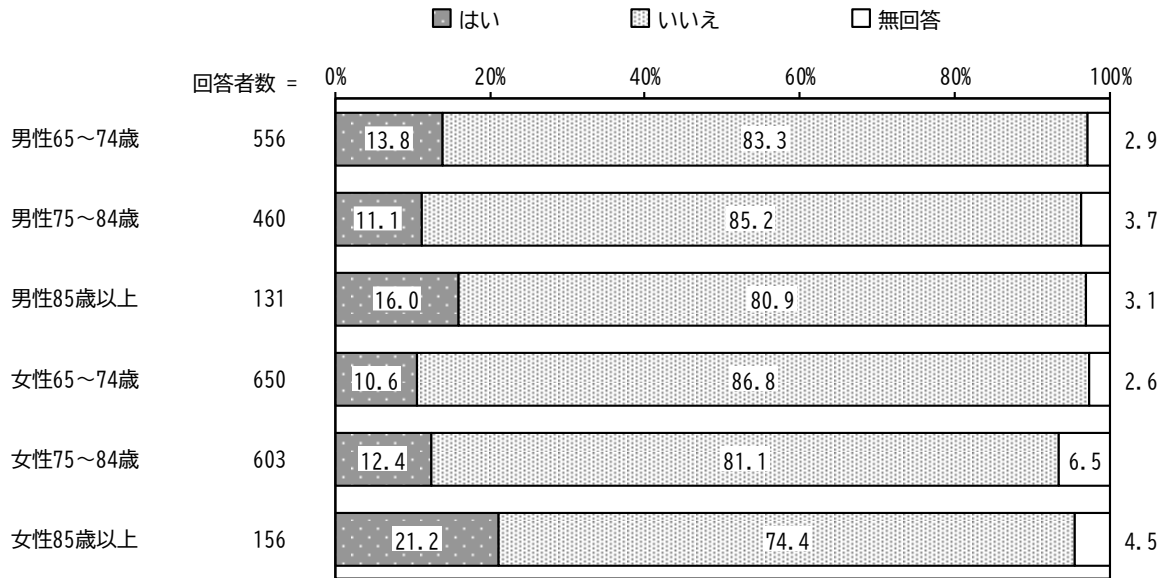
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

「はい」の割合が12.8%、「いいえ」の割合が83.3%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



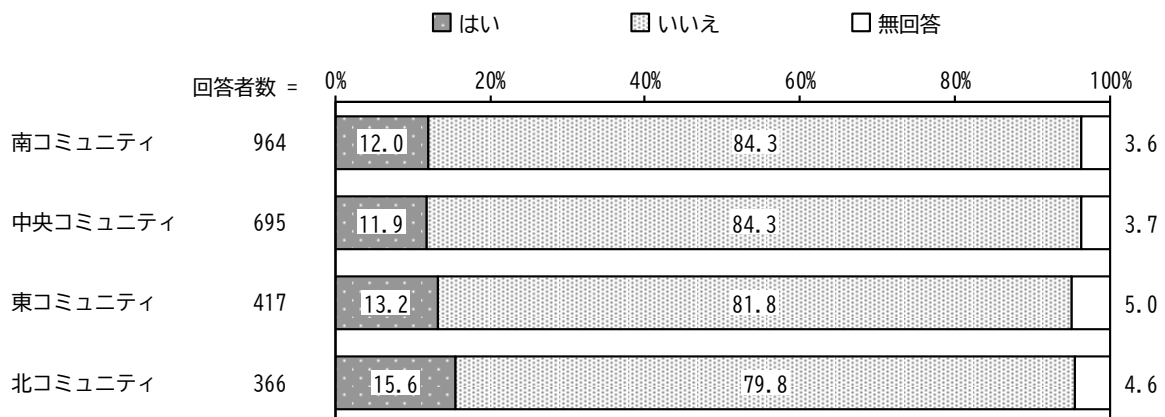
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【圏域別】

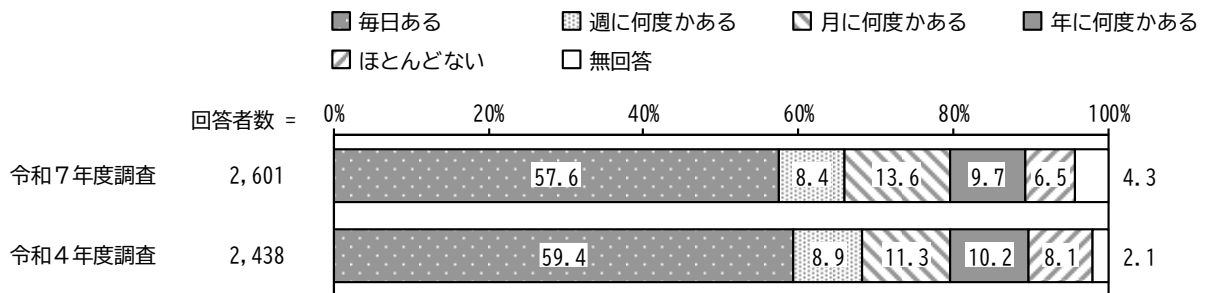
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

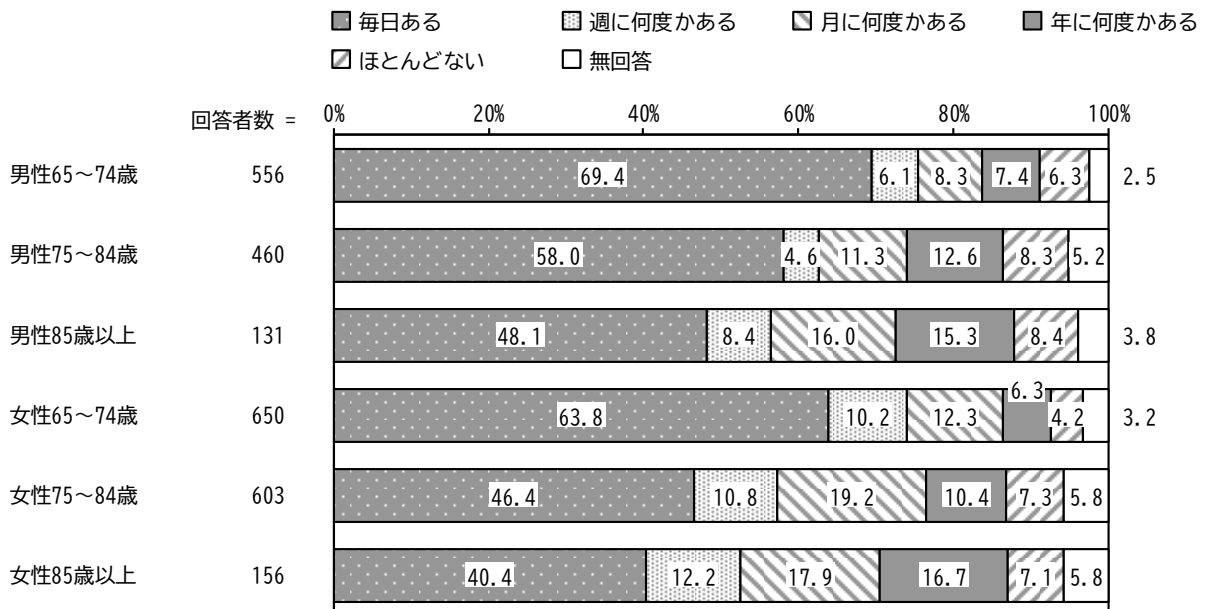
「毎日ある」の割合が57.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が13.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



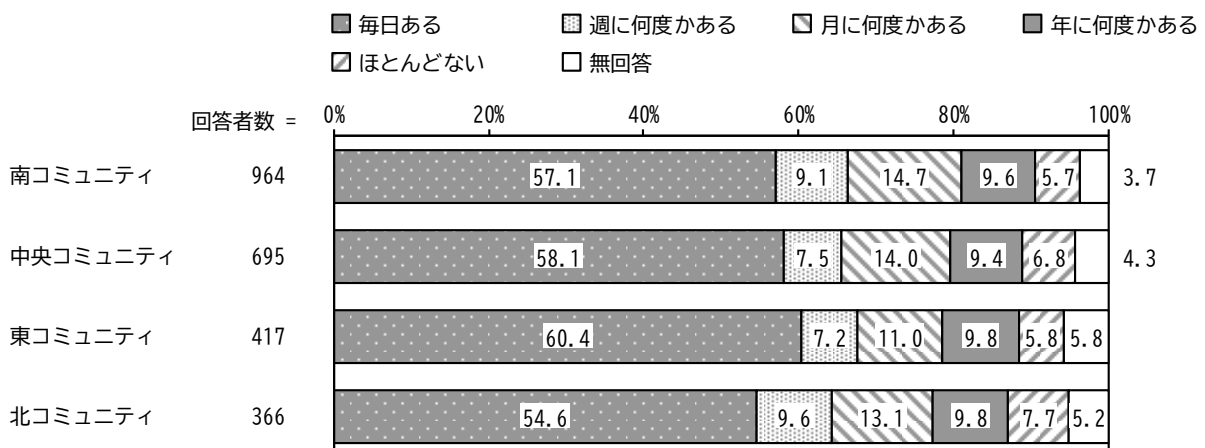
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「毎日ある」の割合が低く、男性では年齢が上がるほど「月に何度かある」「年に何度かある」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「年に何度かある」の割合が高くなっています。



【圏域別】

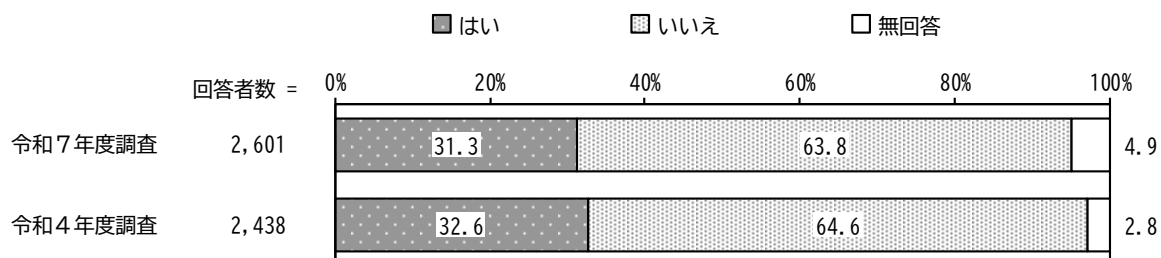
圏域別にみると、大きな差はみられません。



問5 毎日の生活について

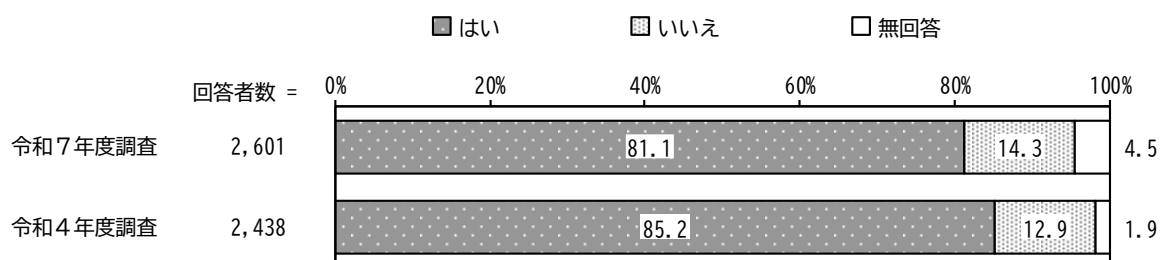
(1) 物忘れが多いと感じますか

「はい」の割合が31.3%、「いいえ」の割合が63.8%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



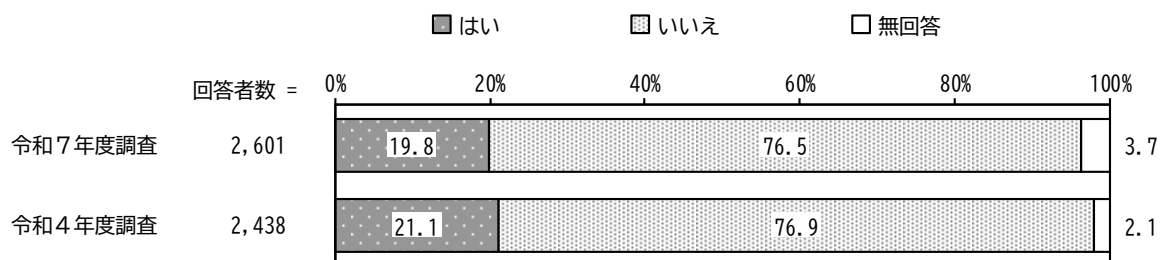
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」の割合が81.1%、「いいえ」の割合が14.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

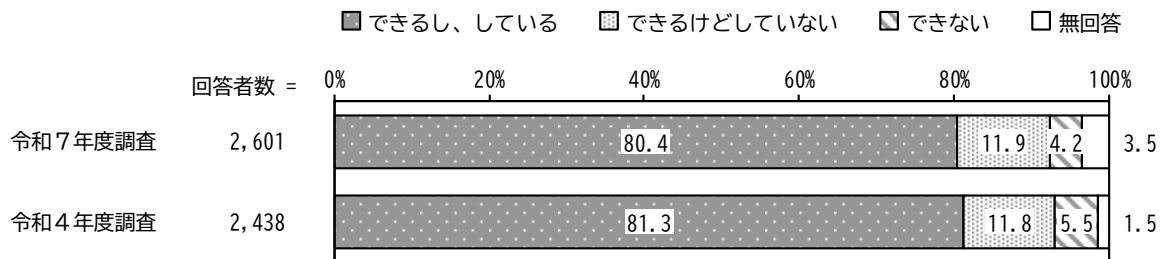
「はい」の割合が19.8%、「いいえ」の割合が76.5%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

「できるし、している」の割合が 80.4%、「できるけどしていない」の割合が 11.9%、「できない」の割合が 4.2%となっています。

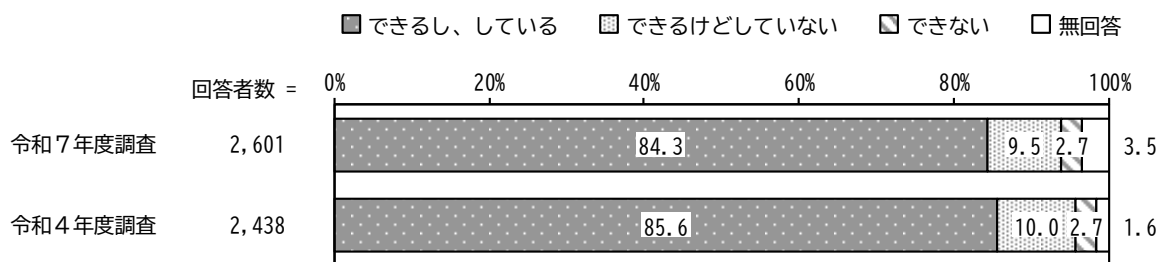
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」の割合が 84.3%、「できるけどしていない」の割合が 9.5%、「できない」の割合が 2.7%となっています。

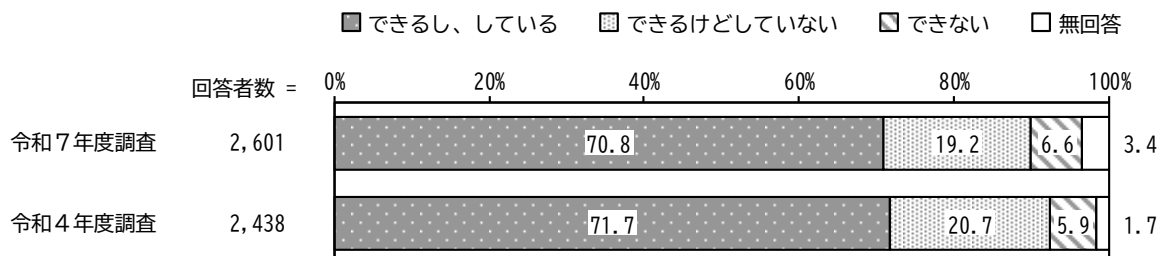
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) 自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」の割合が 70.8%、「できるけどしていない」の割合が 19.2%、「できない」の割合が 6.6%となっています。

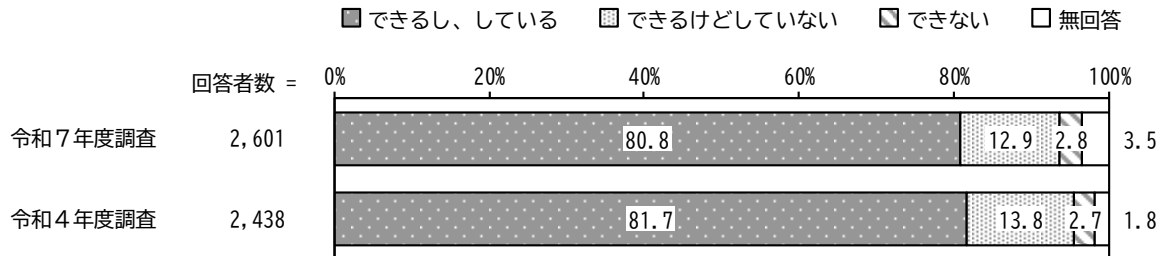
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」の割合が 80.8%、「できるけどしていない」の割合が 12.9%、「できない」の割合が 2.8%となっています。

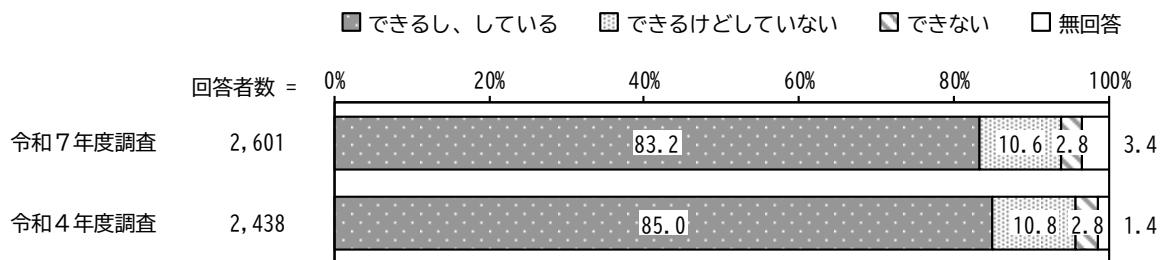
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

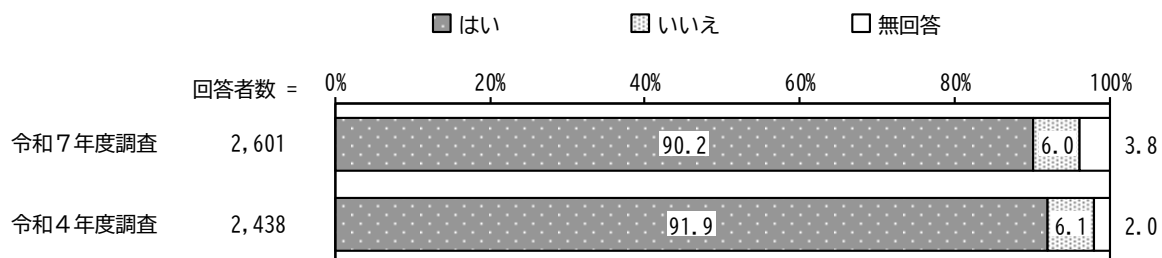
「できるし、している」の割合が 83.2%、「できるけどしていない」の割合が 10.6%、「できない」の割合が 2.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



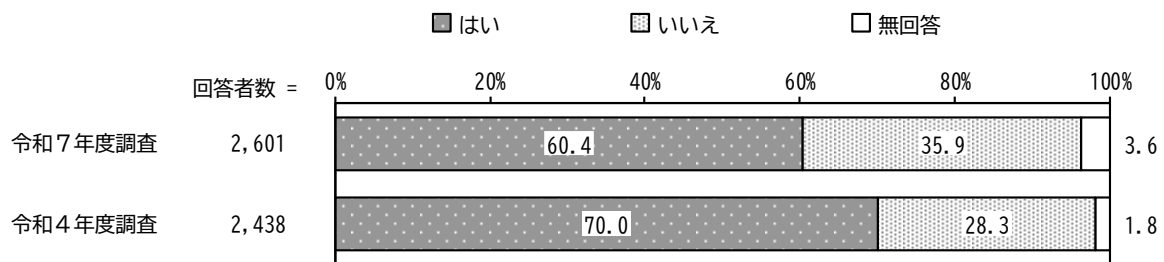
(9) 年金などの書類（市役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」の割合が 90.2%、「いいえ」の割合が 6.0%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



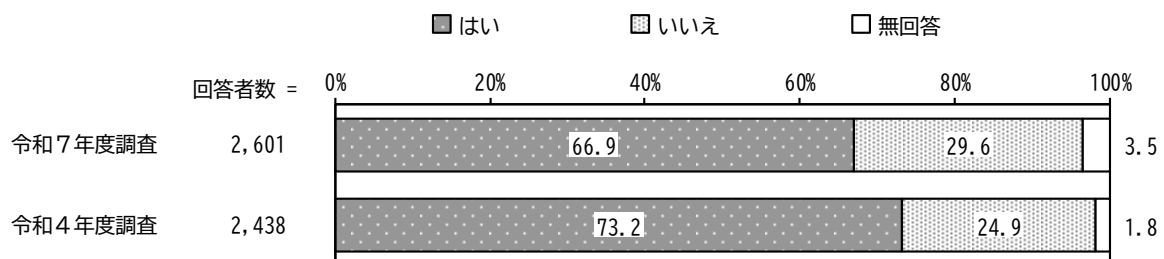
(10) 新聞を読んでいますか

「はい」の割合が60.4%、「いいえ」の割合が35.9%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



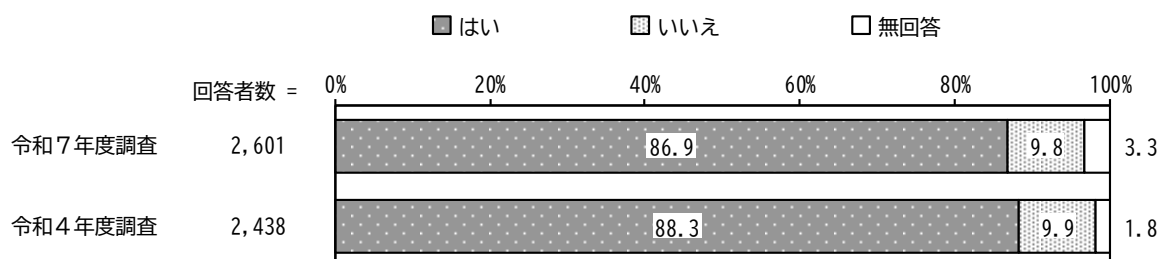
(11) 本や雑誌を読んでいますか

「はい」の割合が66.9%、「いいえ」の割合が29.6%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。



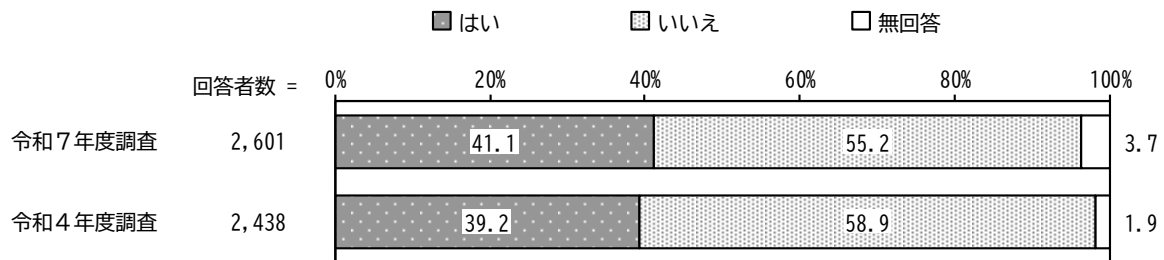
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」の割合が86.9%、「いいえ」の割合が9.8%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



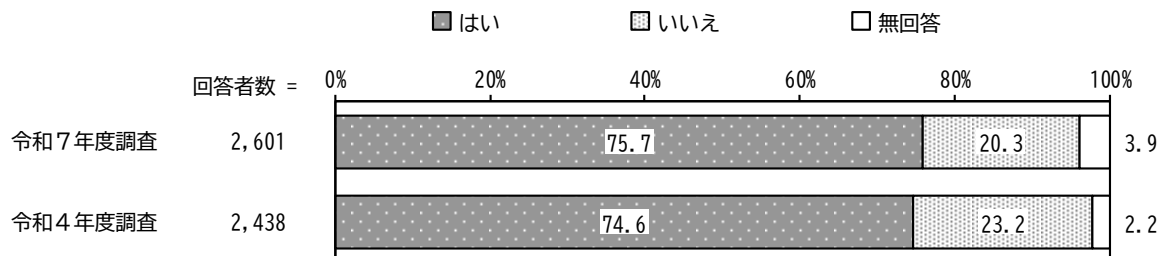
(13) 友人の家を訪ねていますか

「はい」の割合が41.1%、「いいえ」の割合が55.2%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



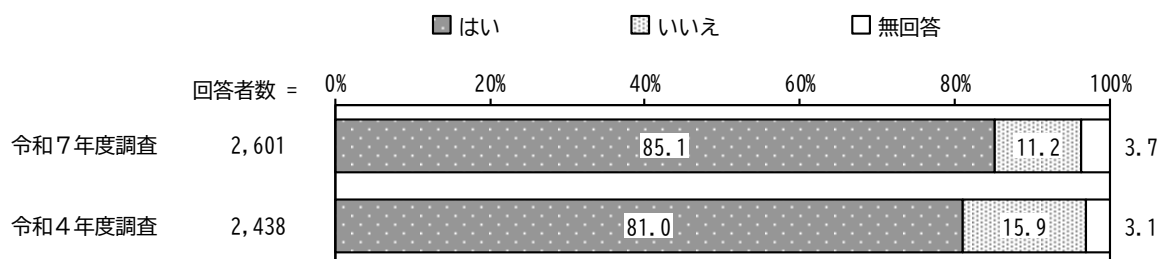
(14) 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」の割合が75.7%、「いいえ」の割合が20.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



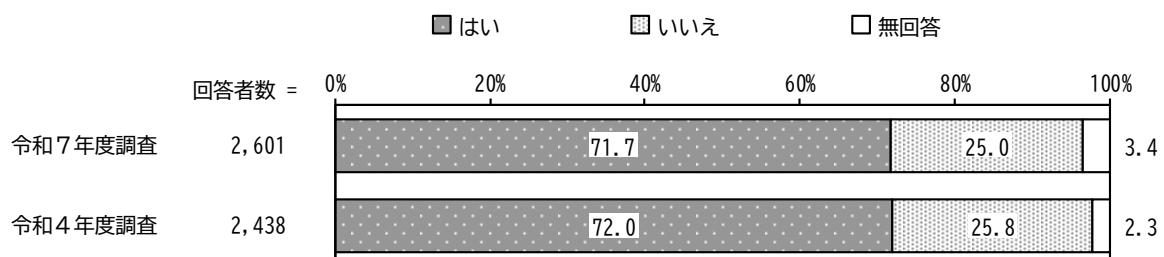
(15) 病人を見舞うことができますか

「はい」の割合が85.1%、「いいえ」の割合が11.2%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



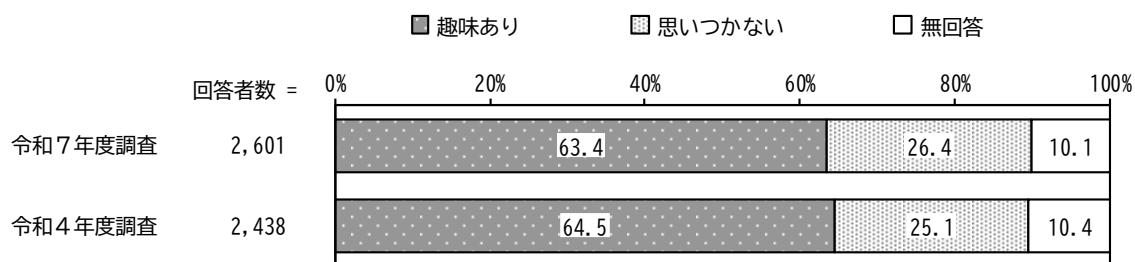
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」の割合が71.7%、「いいえ」の割合が25.0%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



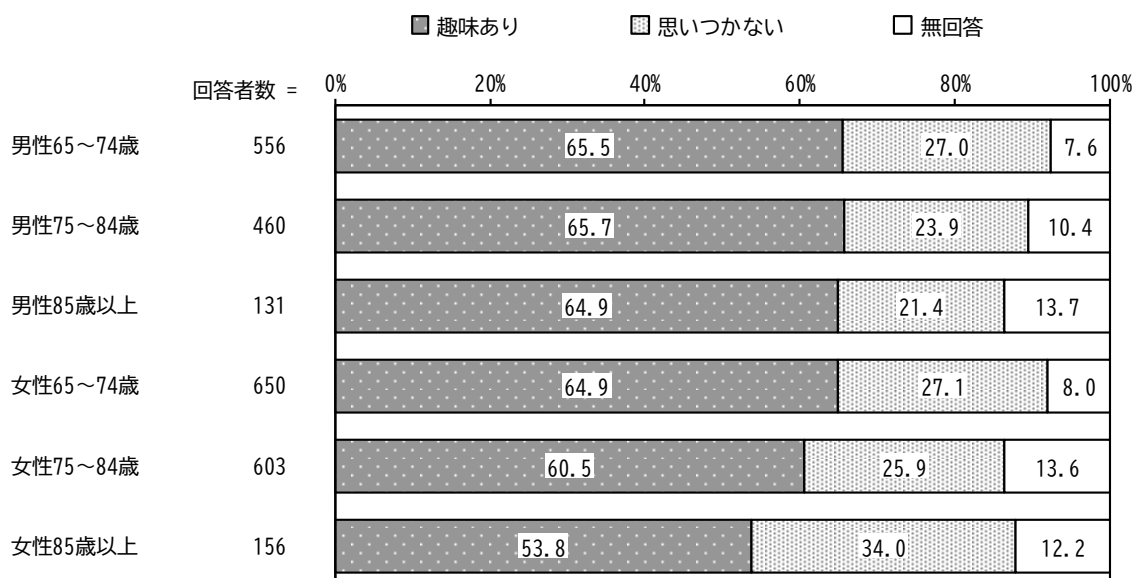
(17) 趣味はありますか（「趣味あり」と答えた方は具体的にお答えください）

「趣味あり」の割合が63.4%、「思いつかない」の割合が26.4%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



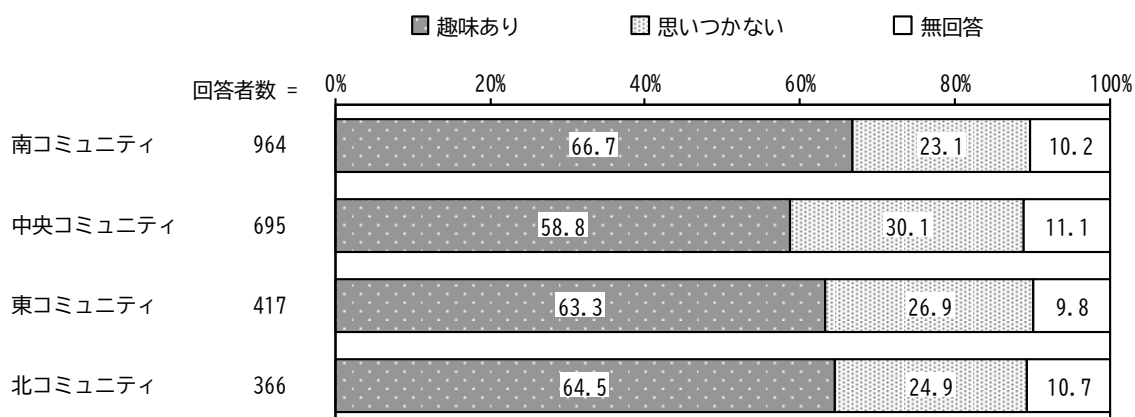
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「思いつかない」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「趣味あり」の割合が高くなっています。



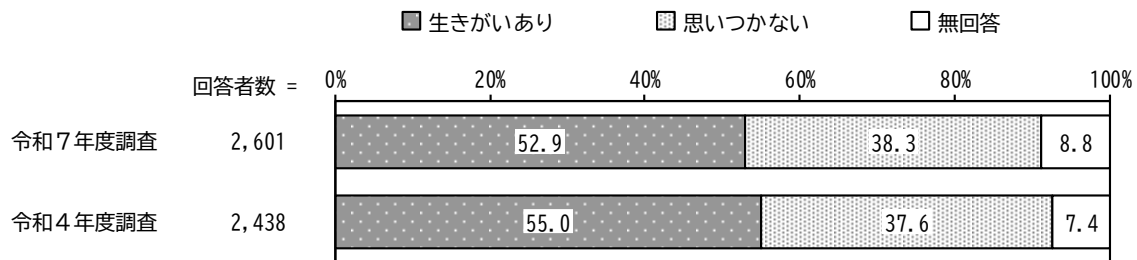
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



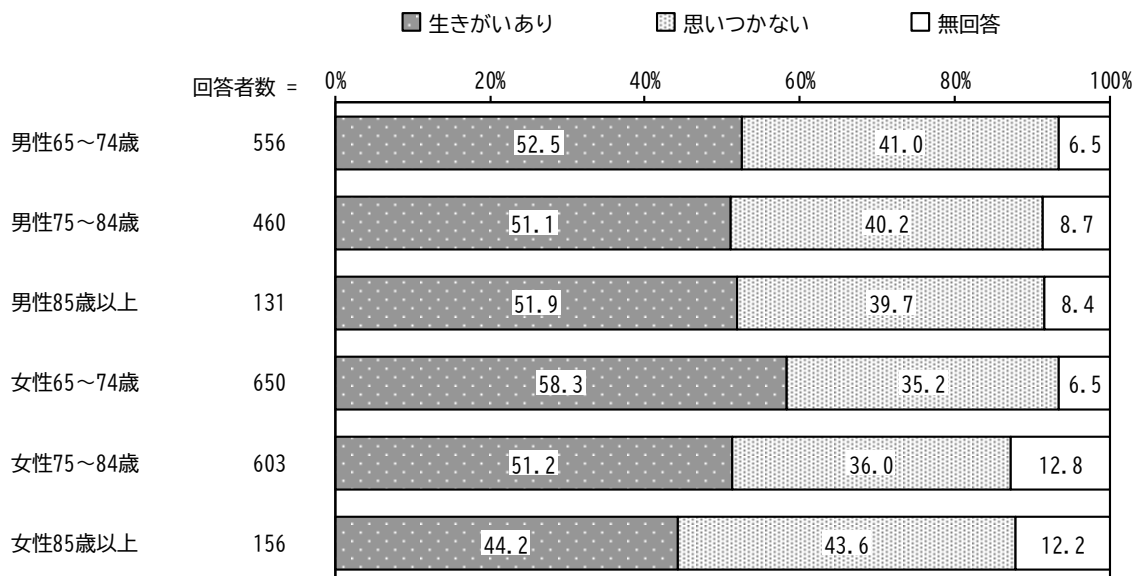
(18) 生きがいがありますか

「生きがいあり」の割合が52.9%、「思いつかない」の割合が38.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



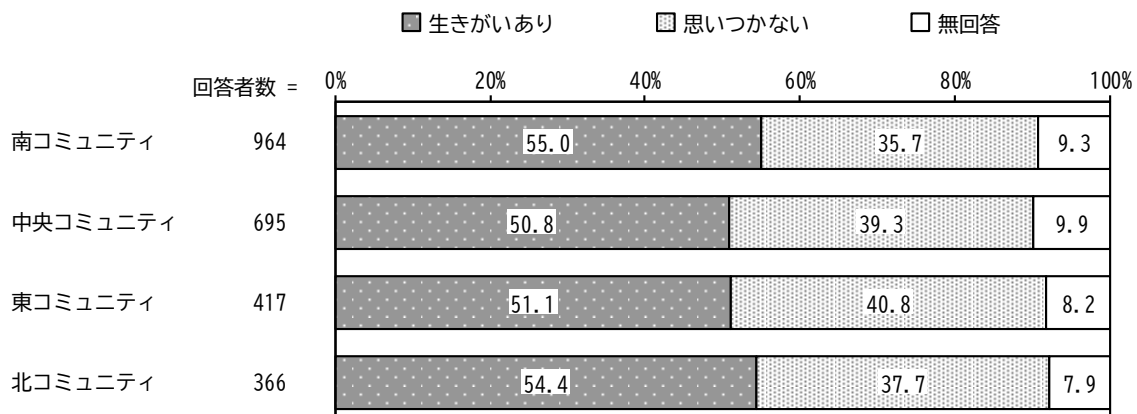
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「思いつかない」の割合が高くなっています。



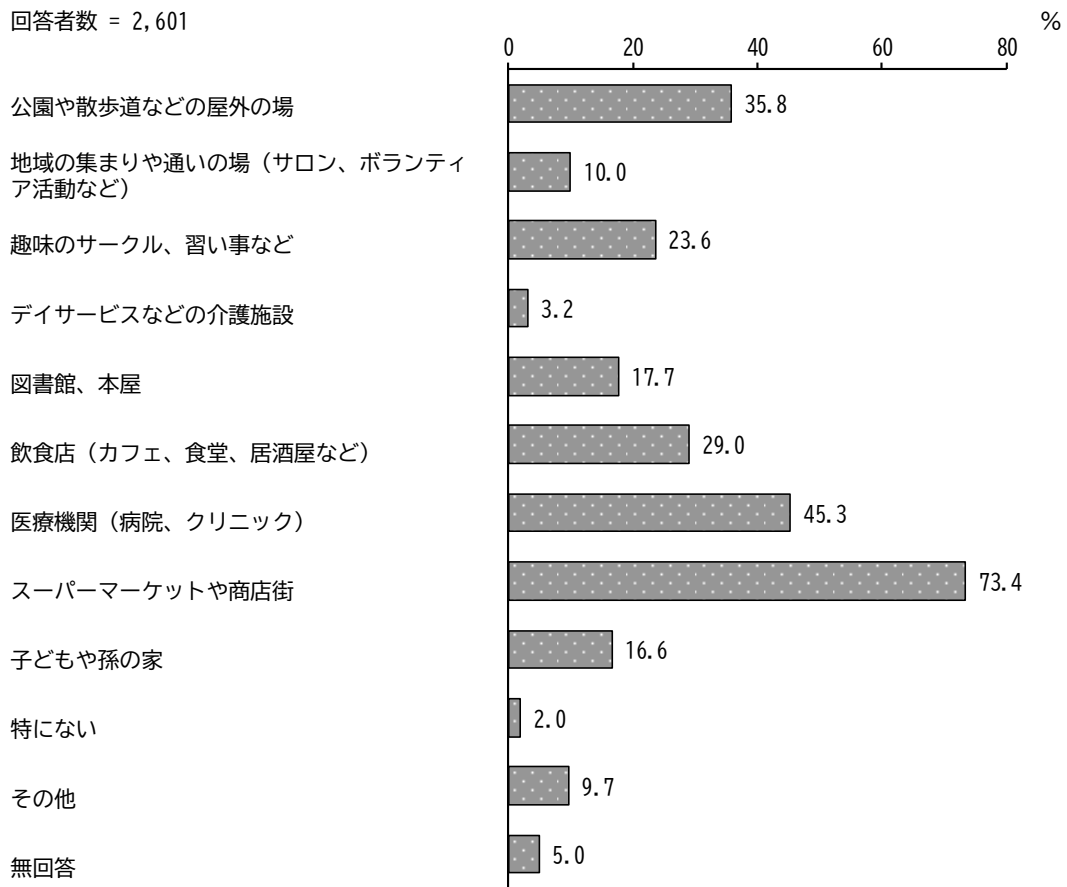
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



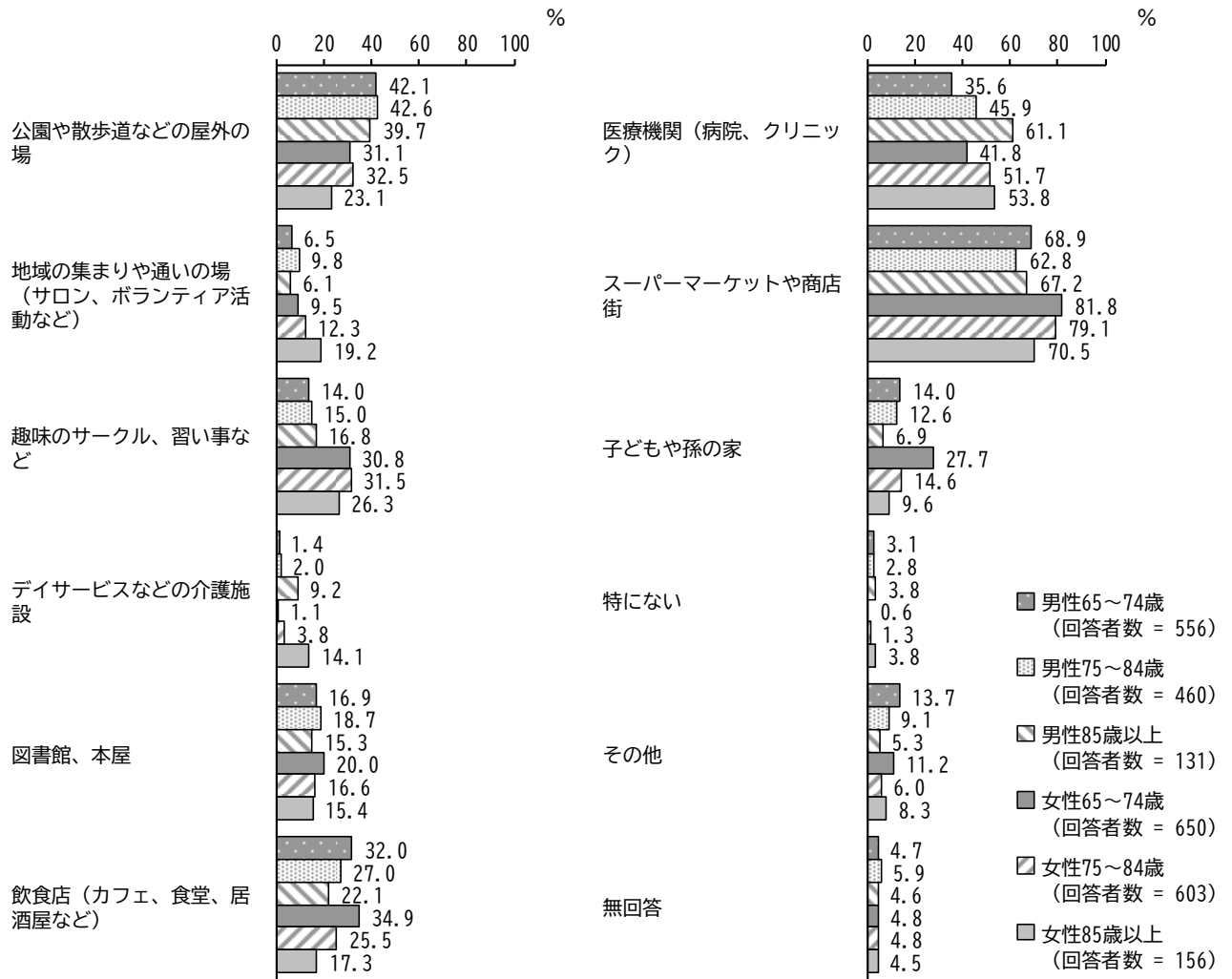
(19) 普段の生活の中で、自宅以外でよく行く場所はどこですか（いくつでも）

「スーパーマーケットや商店街」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「医療機関（病院、クリニック）」の割合が 45.3%、「公園や散歩道などの屋外の場」の割合が 35.8%となっています。



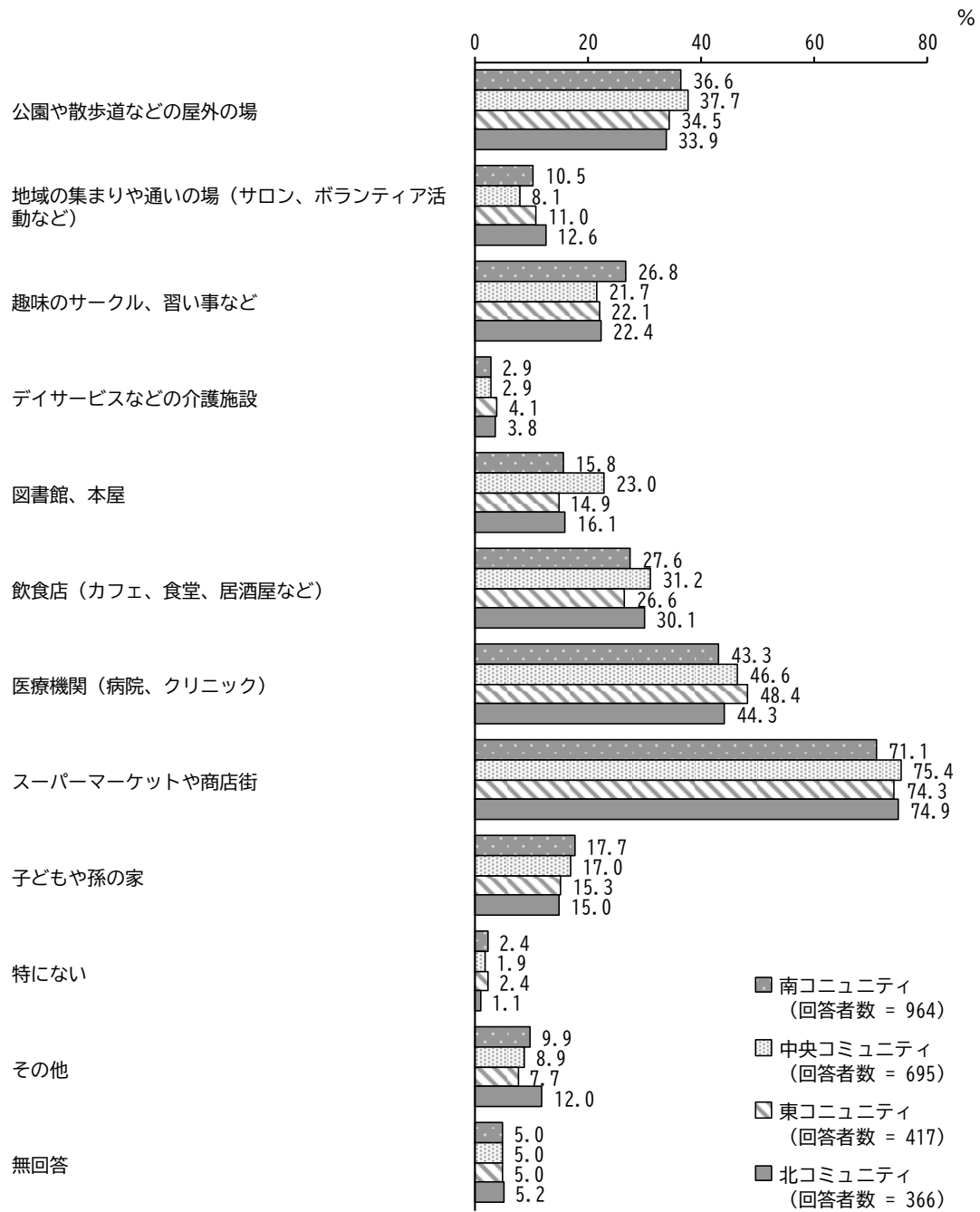
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「図書館、本屋」「飲食店（カフェ、食堂、居酒屋など）」「スーパーマーケットや商店街」「子どもや孫の家」の割合が高く、「地域の集まりや通いの場（サロン、ボランティア活動など）」「デイサービスなどの介護施設」「医療機関（病院、クリニック）」の割合が低くなっています。



【圏域別】

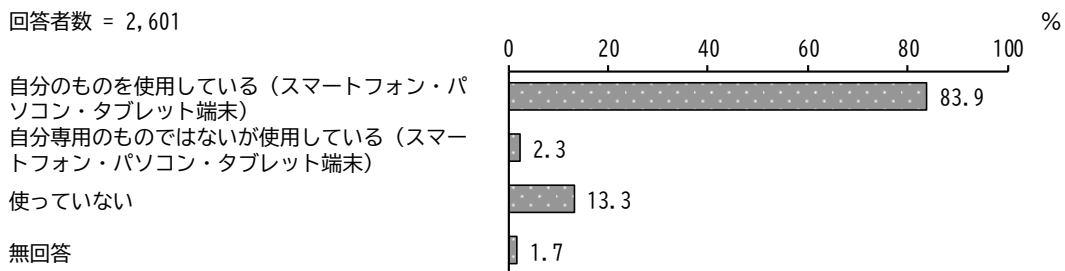
圏域別にみると、中央コミュニティで「図書館、本屋」の割合が高くなっています。



(20) スマートフォンやパソコンなどを使用していますか（頻度は問いません）

「自分のものを使用している（スマートフォン・パソコン・タブレット端末）」の割合が 83.9%、「自分専用のものではないが使用している（スマートフォン・パソコン・タブレット端末）」の割合が 2.3%、「使っていない」の割合が 13.3%となっています。

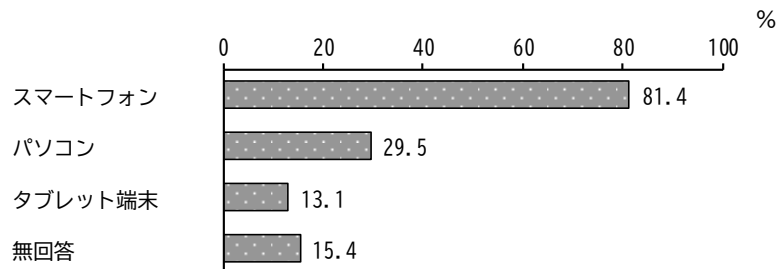
回答者数 = 2,601



1 自分のものを使用している方のみ

「スマートフォン」の割合が 81.4%、「パソコン」の割合が 29.5%、「タブレット端末」の割合が 13.1%となっています。

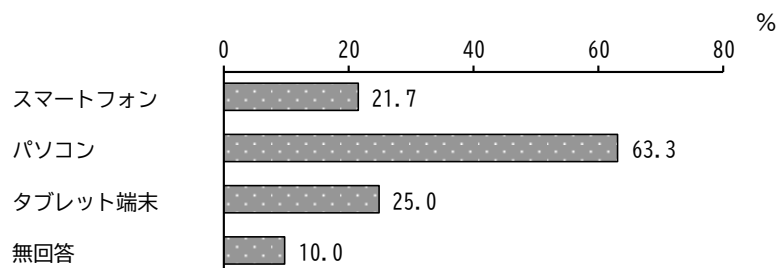
回答者数 = 2,183



2 自分専用のものではないが使用している方のみ

「スマートフォン」の割合が 21.7%、「パソコン」の割合が 63.3%、「タブレット端末」の割合が 25.0%となっています。

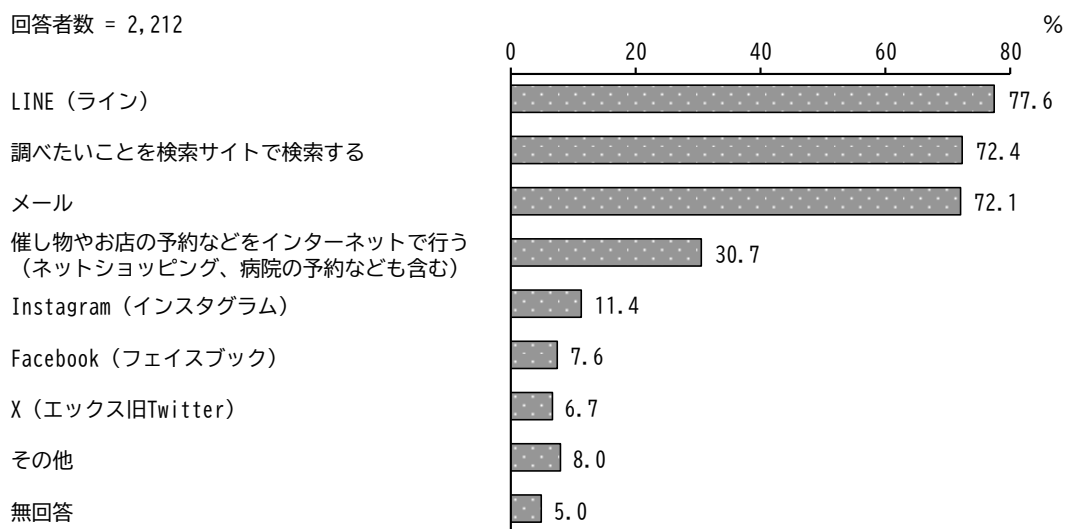
回答者数 = 60



【(20) で「自分のものを使用している」「自分専用のものではないが使用している」(使用している)の方のみ】

①使用しているもの(こと)は、どれですか(いくつでも。頻度は問いません。アプリは見るだけでも含みます。)

「LINE (ライン)」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「調べたいことを検索サイトで検索する」の割合が 72.4%、「メール」の割合が 72.1%となっています。



問6 地域での活動について

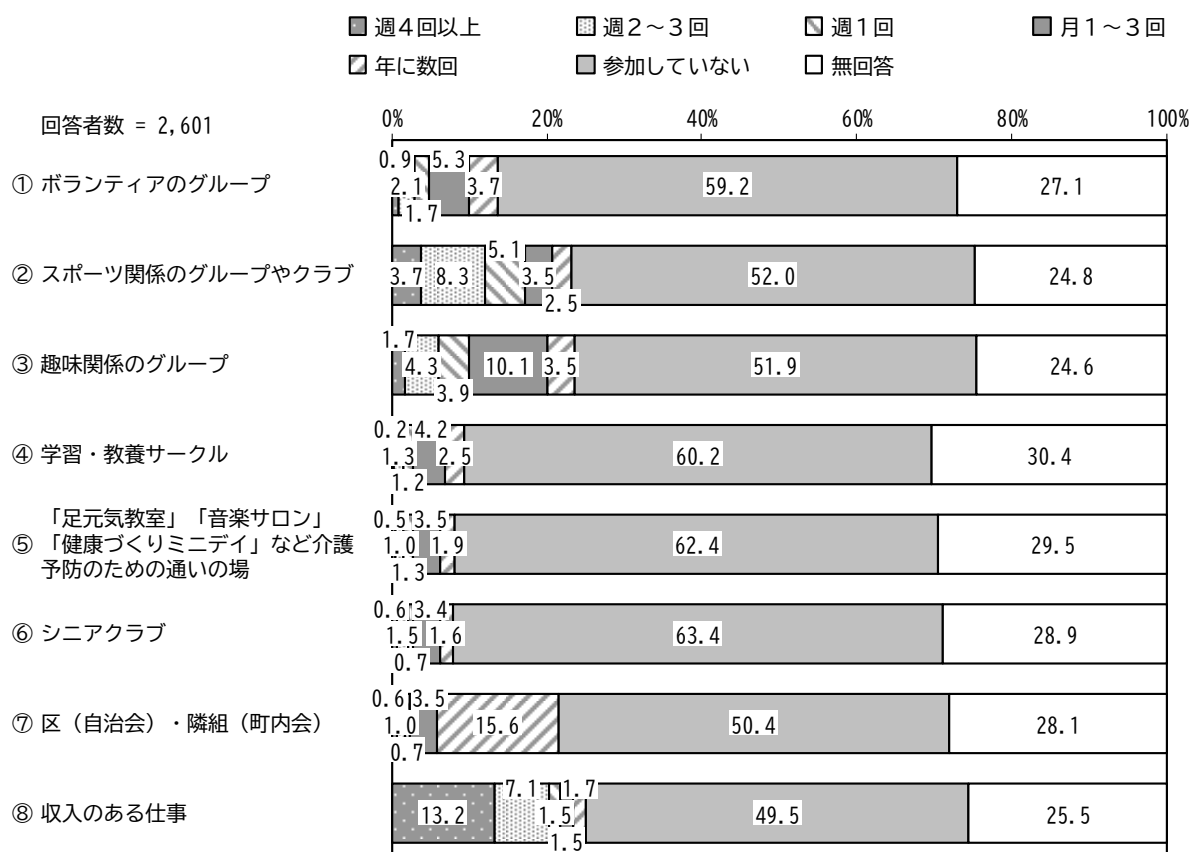
(1) 次のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

『⑧収入のある仕事』で「週4回以上」が、『②スポーツ関係のグループやクラブ』で「週2～3回」「週1回」が、『③趣味関係のグループ』で「月1～3回」が、『⑦区（自治会）・隣組（町内会）』で「年に数回」が、『⑥シニアクラブ』で「参加していない」が高くなっています。

また、大野城市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画、第2期成年後見制度利用促進基本計画で設定された指標、『地域での活動（社会参加）の割合』※1は53.3%、厚生労働省資料「総合事業の充実に向けたワークシート」における総合事業評価アウトカム指標の『社会参加率』※2は47.2%となっています。

※1 地域での活動（社会参加）の割合：①～⑧のいずれかに月1回以上参加

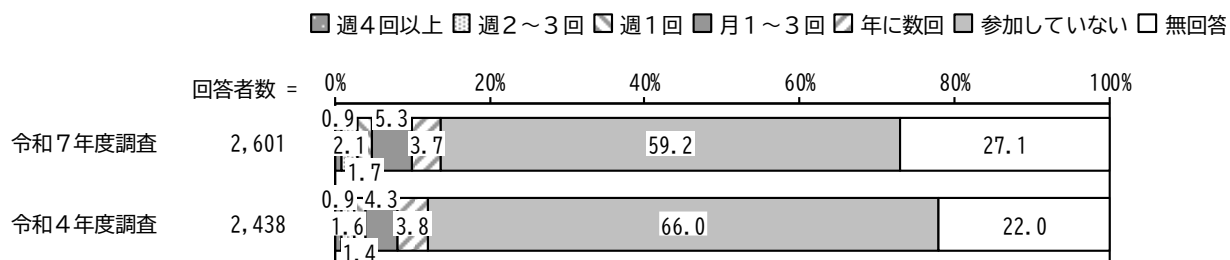
※2 社会参加率：①～⑧いずれかが週1回以上（月1～3回が2項目（または3項目）を含む）



①ボランティアのグループ

【経年比較】

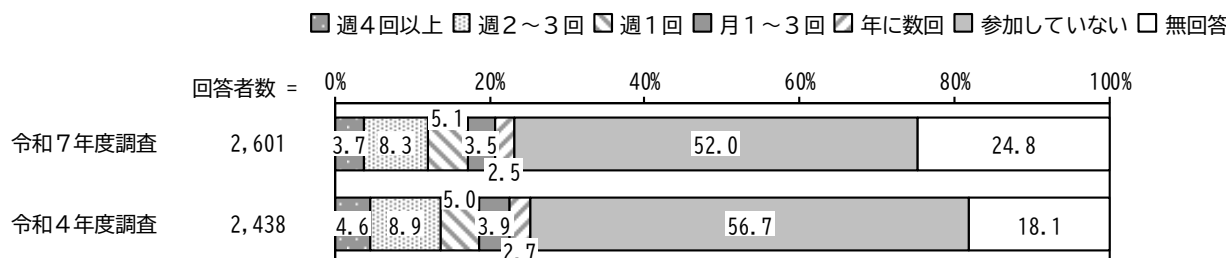
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

【経年比較】

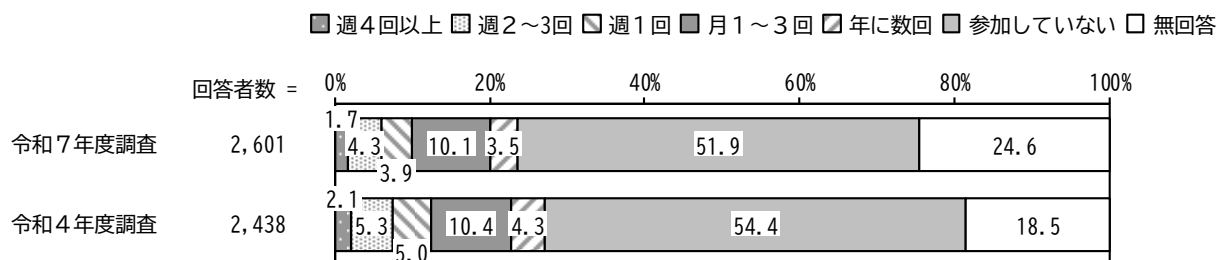
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



③趣味関係のグループ

【経年比較】

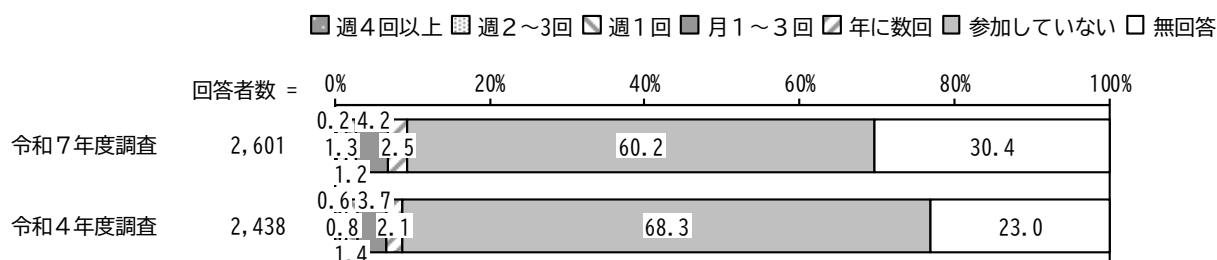
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



④学習・教養サークル

【経年比較】

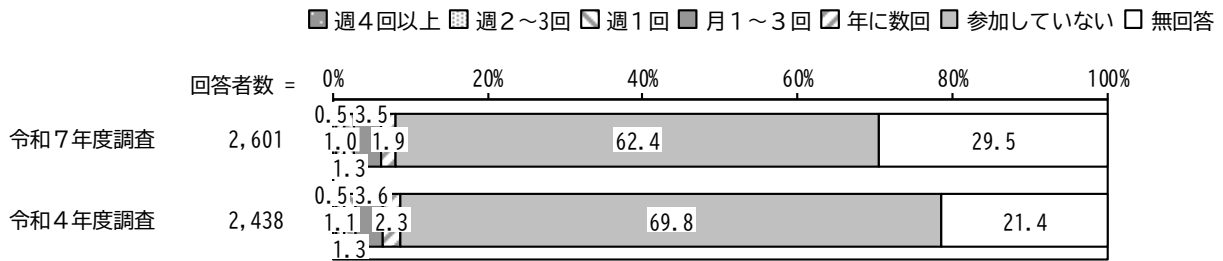
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



⑤「足元気教室」「音楽サロン」「健康づくりミニデイ」など介護予防のための通いの場

【経年比較】

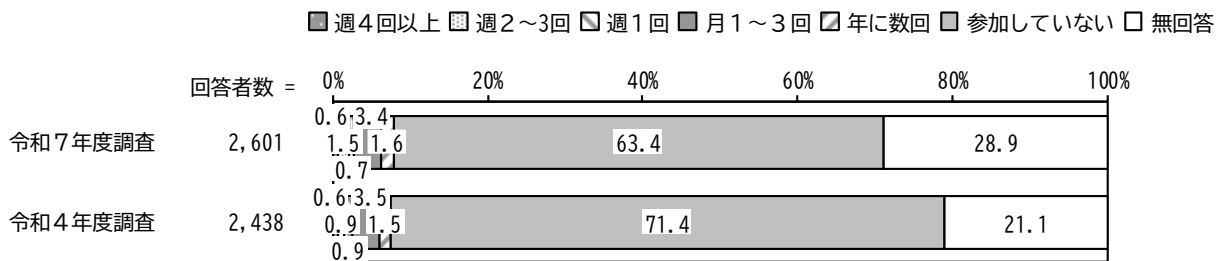
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



⑥シニアクラブ

【経年比較】

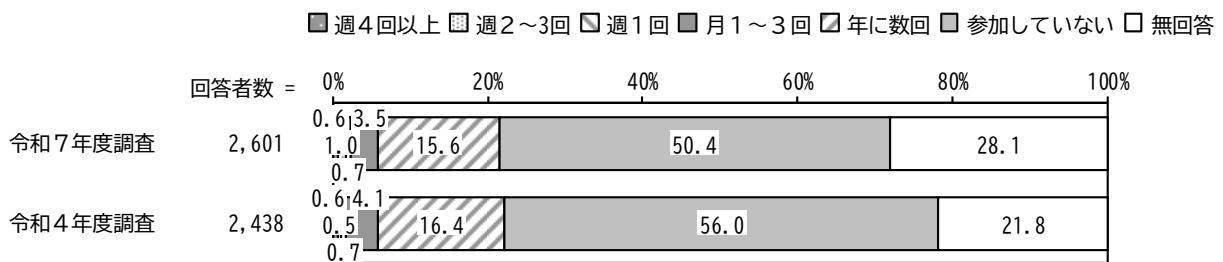
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



⑦区（自治会）・隣組（町内会）

【経年比較】

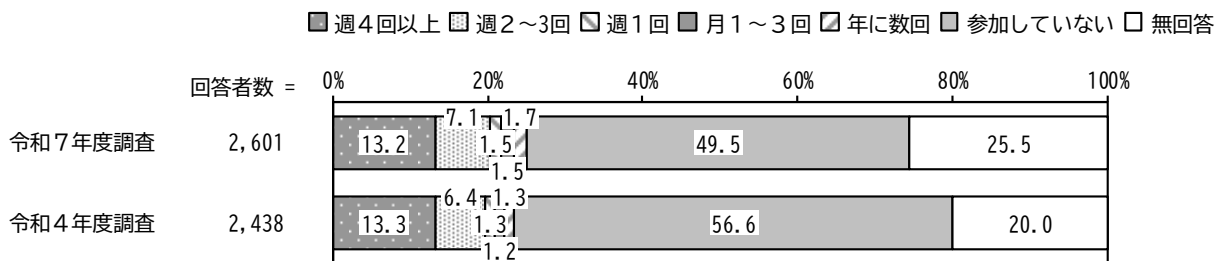
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



⑧収入のある仕事

【経年比較】

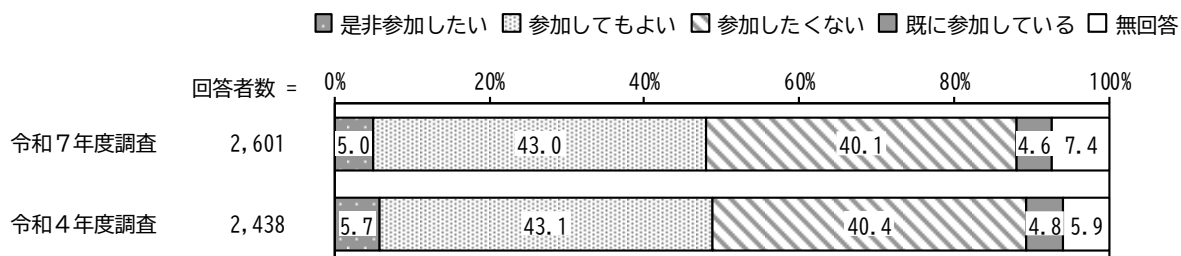
令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が減少しています。



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

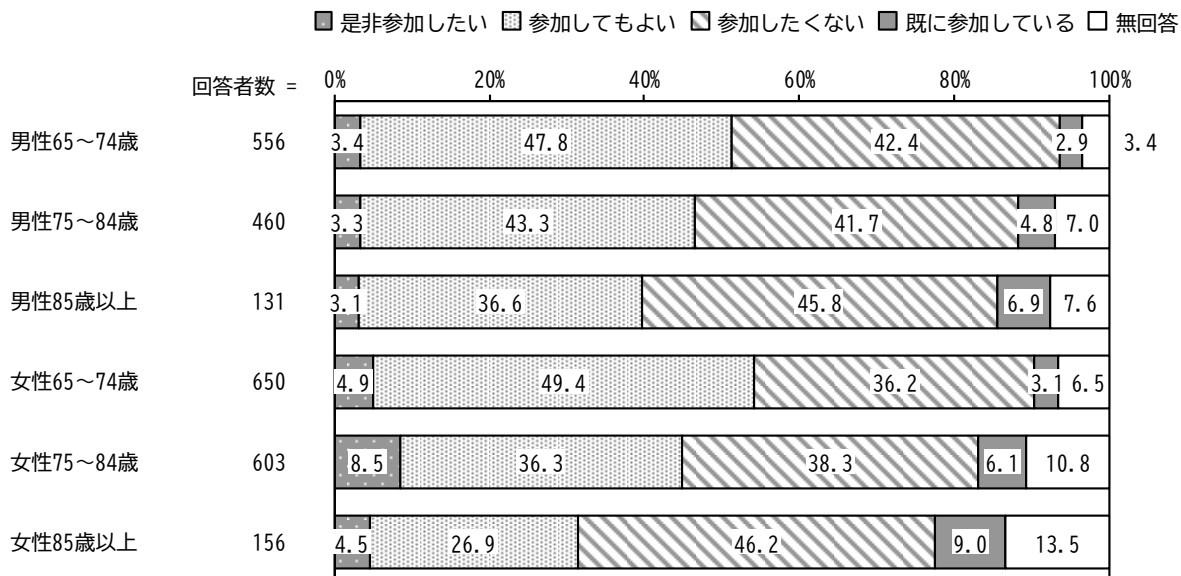
「参加してもよい」の割合が43.0%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が40.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



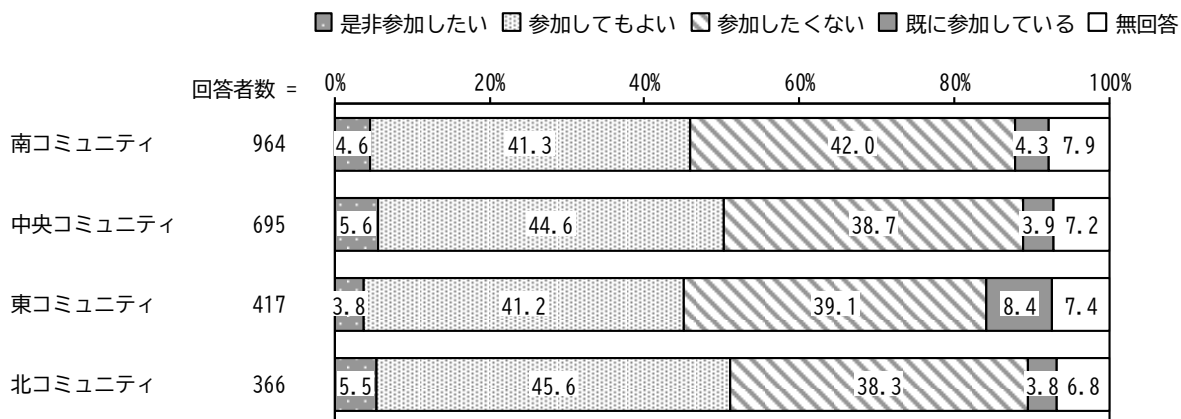
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加してもよい」の割合が高くなっています。



【圏域別】

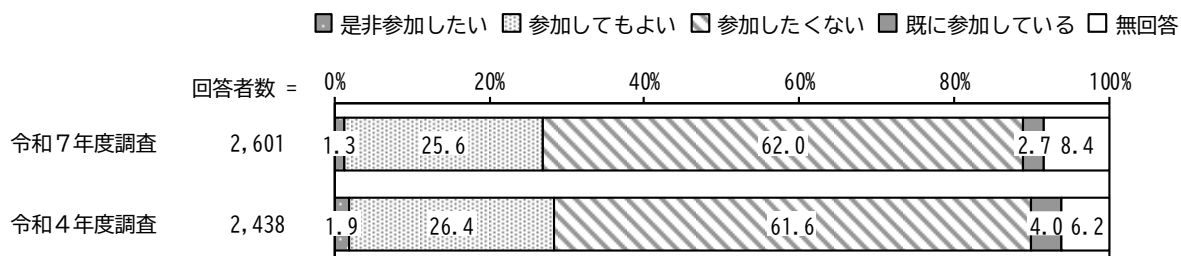
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

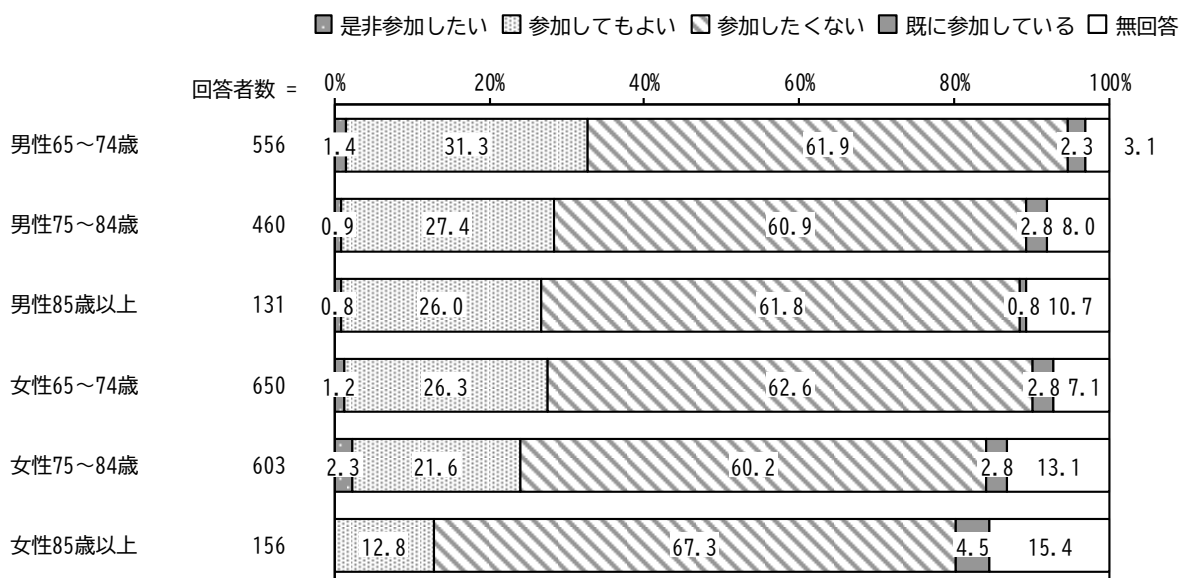
「参加したくない」の割合が62.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が25.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



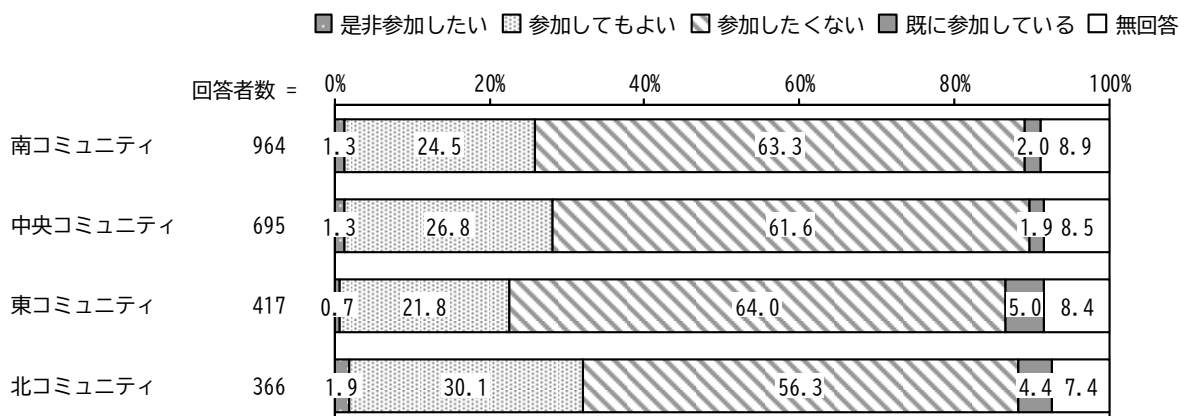
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「参加してもよい」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、北コミュニティで「参加したくない」の割合が低くなっています。

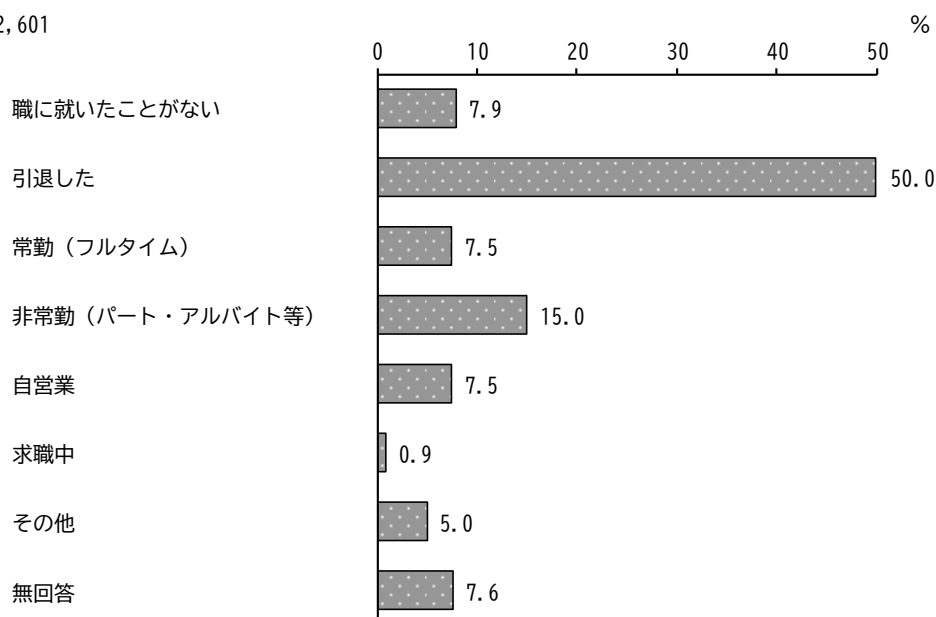


問7 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

「引退した」の割合が50.0%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が15.0%となっています。

回答者数 = 2,601



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女とも年齢が上がるほど「引退した」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全体	2,601	7.9	50.0	7.5	15.0	7.5	0.9	5.0	7.6
男性65～74歳	556	1.3	39.0	20.7	21.0	11.7	1.6	2.2	3.2
男性75～84歳	460	4.8	66.3	5.2	8.5	8.7	0.4	3.0	4.1
男性85歳以上	131	4.6	79.4	0.8	1.5	6.1	0.0	5.3	3.1
女性65～74歳	650	8.2	42.9	5.7	24.8	6.3	1.1	6.0	6.5
女性75～84歳	603	15.3	48.6	2.3	9.8	5.3	0.5	7.3	13.4
女性85歳以上	156	14.1	49.4	0.6	4.5	3.8	1.3	9.0	18.6

【圏域別】

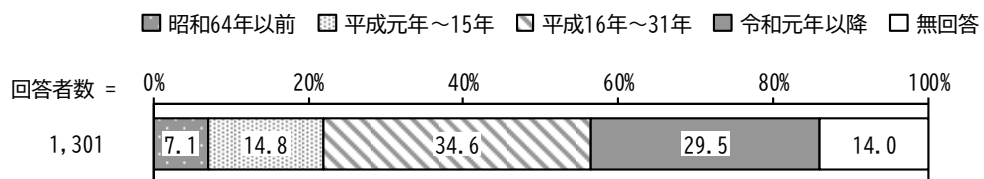
圏域別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	職に就いたことが ない	引退した	常勤(フルタイム)	非常勤(パート・ア ルバイト等)	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	2,601	7.9	50.0	7.5	15.0	7.5	0.9	5.0	7.6
南コミュニティ	964	8.5	52.0	7.2	13.9	5.8	0.6	5.3	8.0
中央コミュニティ	695	7.3	49.6	7.8	16.1	7.2	1.0	5.3	7.1
東コミュニティ	417	7.9	50.1	6.7	13.9	8.4	1.2	4.8	7.9
北コミュニティ	366	7.4	45.1	8.5	15.0	11.5	0.5	5.7	8.2

引退した年

「平成16年～31年」の割合が34.6%と最も高く、次いで「令和元年以降」の割合が29.5%、「平成元年～15年」の割合が14.8%となっています。

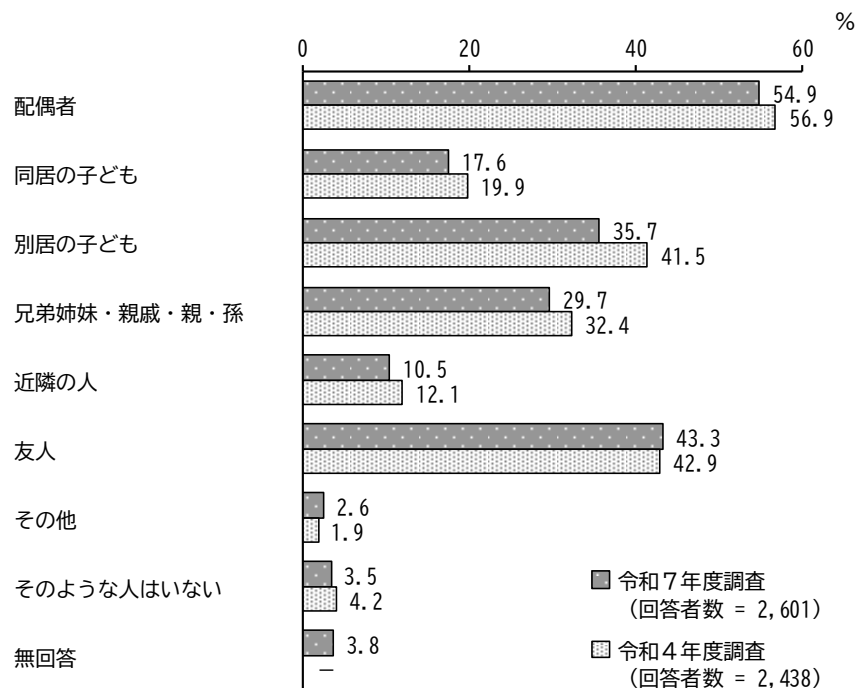


問8 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

「配偶者」の割合が54.9%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.3%、「別居の子ども」の割合が35.7%となっています。

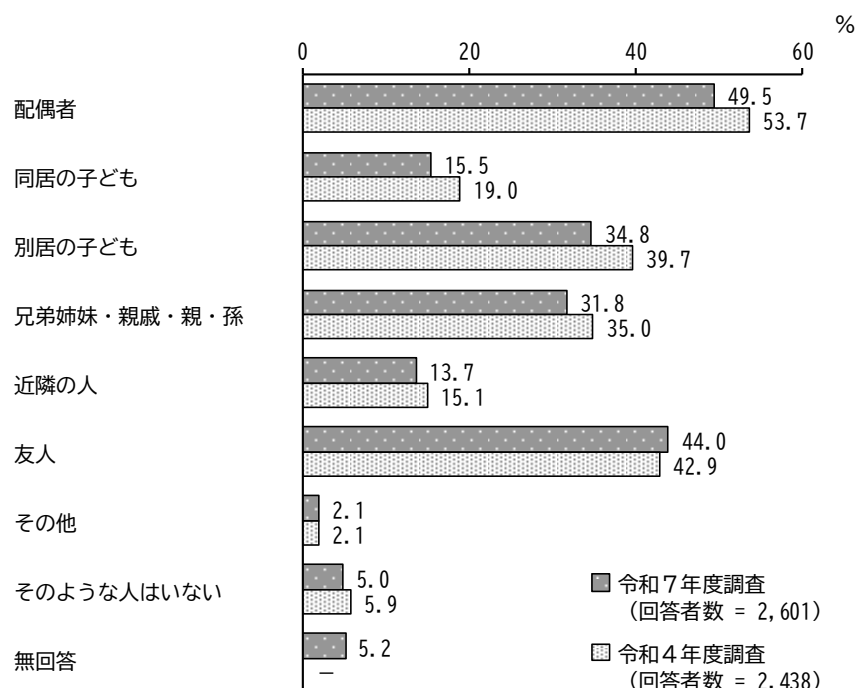
令和4年度調査と比較すると、「別居の子ども」の割合が減少しています。



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

「配偶者」の割合が49.5%と最も高く、次いで「友人」の割合が44.0%、「別居の子ども」の割合が34.8%となっています。

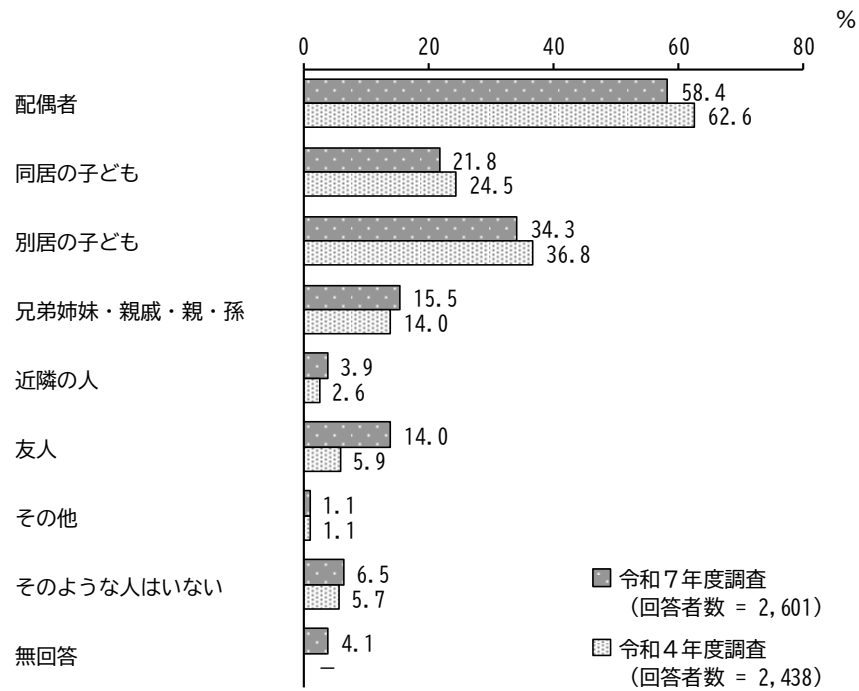
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が58.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が34.3%、「同居の子ども」の割合が21.8%となっています。

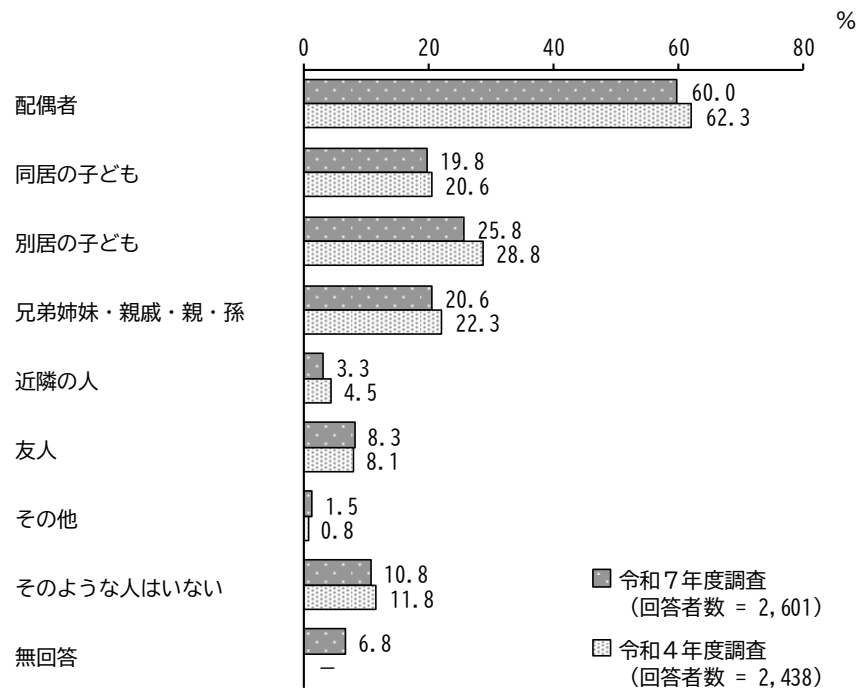
令和4年度調査と比較すると、「友人」の割合が増加しています。



(4) 反対に、看病や世話をしあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が60.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が25.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が20.6%となっています。

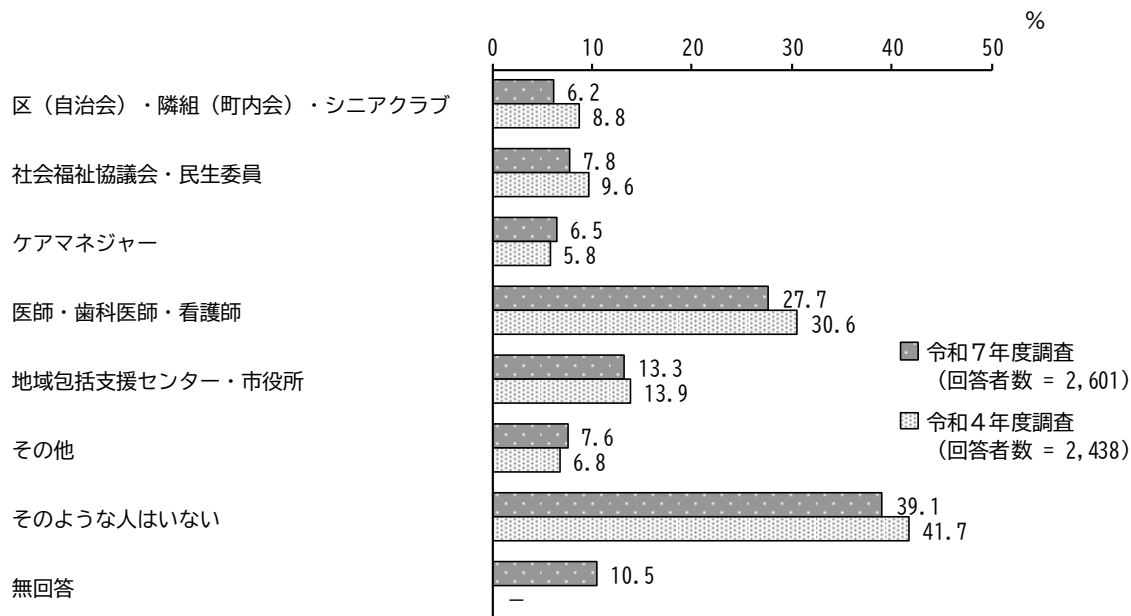
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

「医師・歯科医師・看護師」の割合が27.7%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」の割合が13.3%となっています。

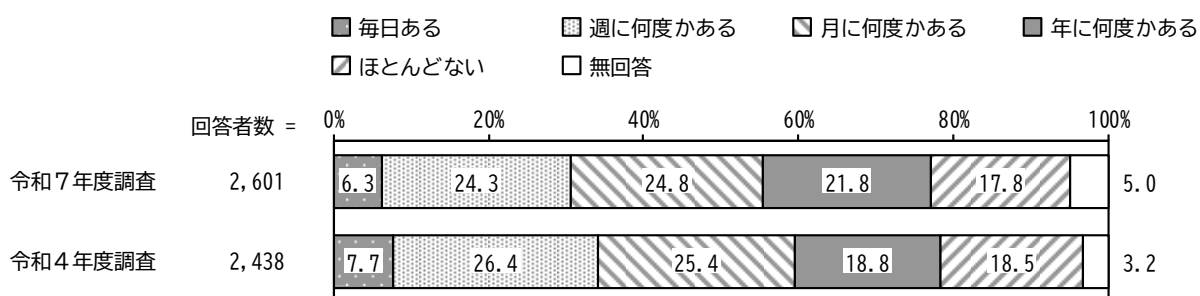
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

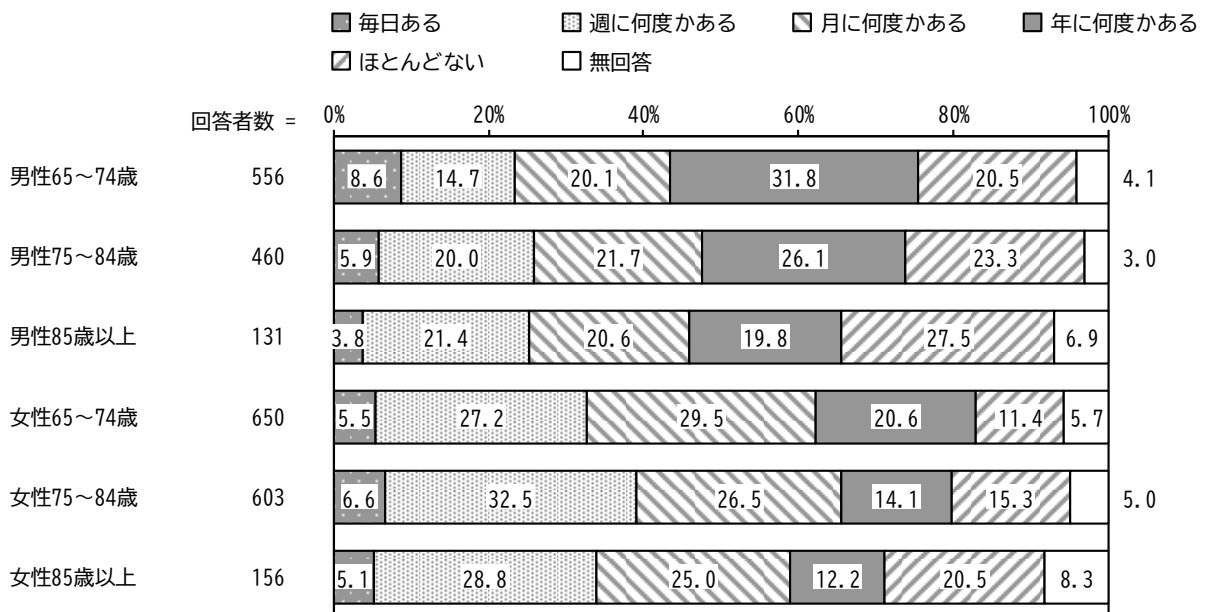
「月に何度かある」の割合が24.8%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が24.3%、「年に何度かある」の割合が21.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



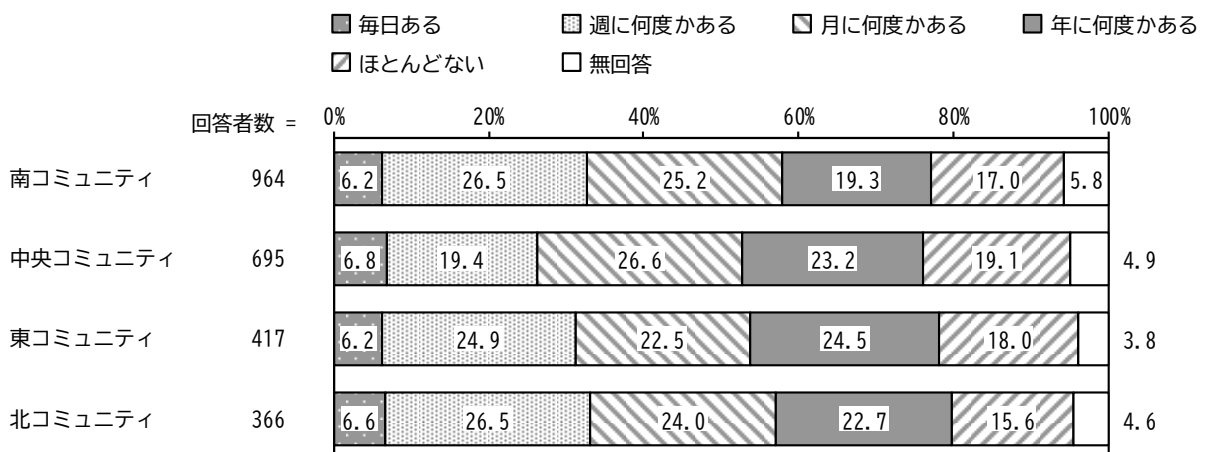
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「週に何度かある」「ほとんどない」の割合が高く、「年に何度かある」の割合が低く、女性では年齢が上がるほど「ほとんどない」の割合が高くなっていきます。



【圏域別】

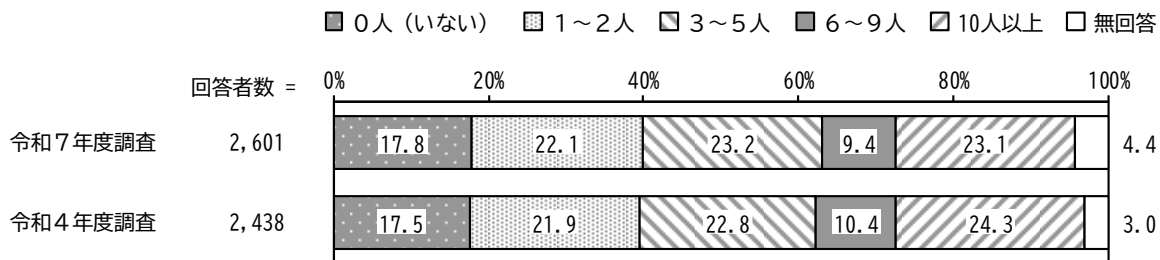
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

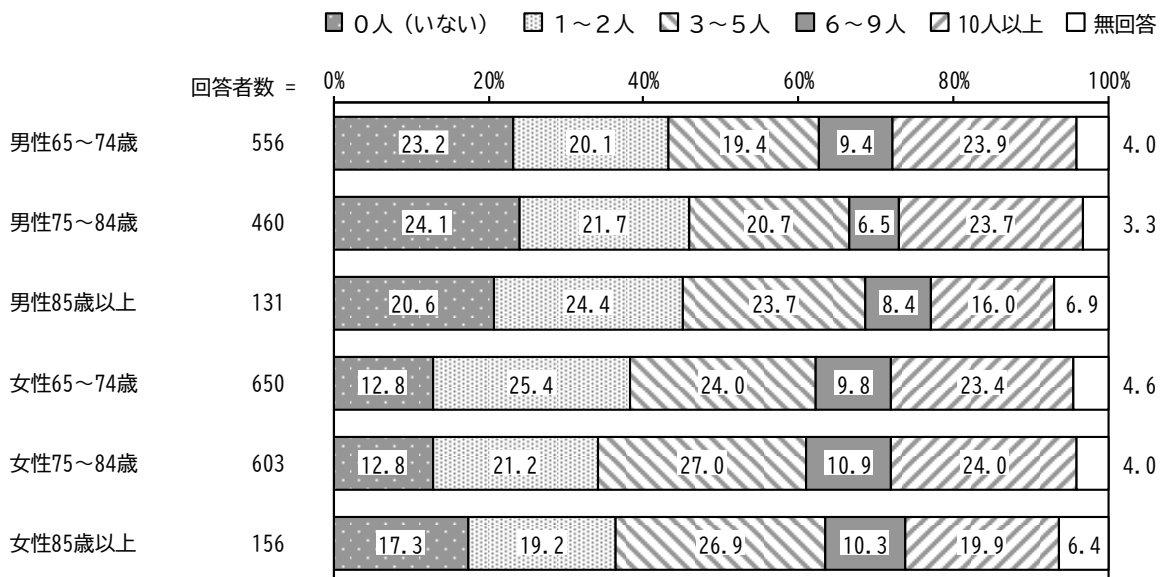
「3～5人」の割合が23.2%と最も高く、次いで「10人以上」の割合が23.1%、「1～2人」の割合が22.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



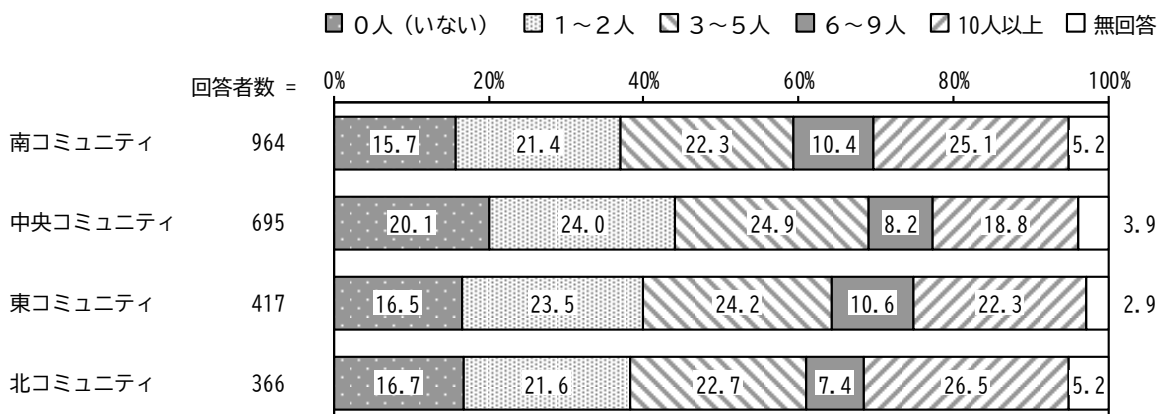
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「1～2人」「3～5人」の割合が高く、「10人以上」の割合が低くなっています。



【圏域別】

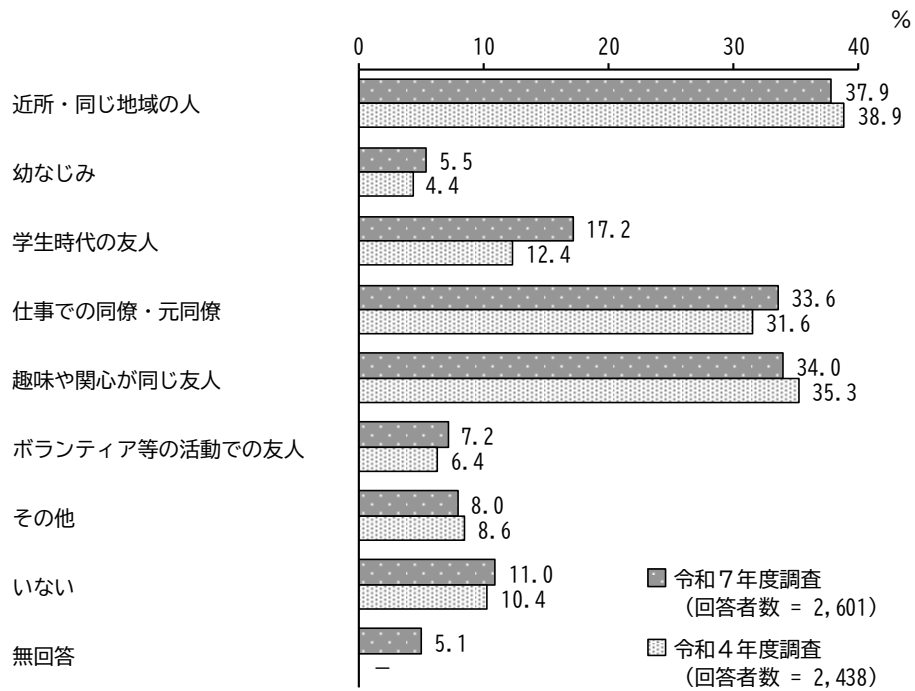
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

「近所・同じ地域の人」の割合が37.9%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が34.0%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が33.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

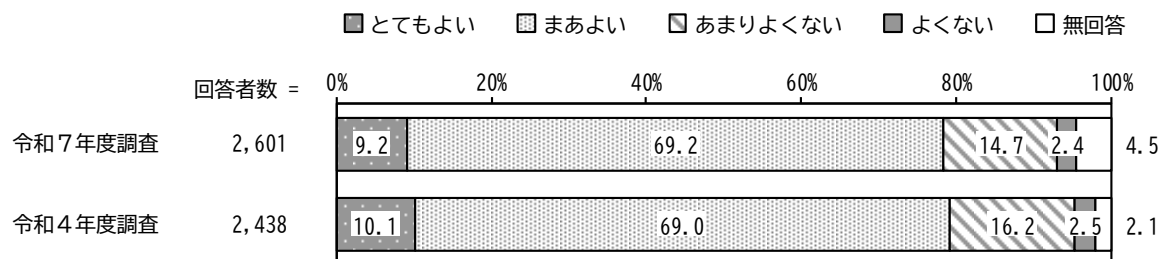


問9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

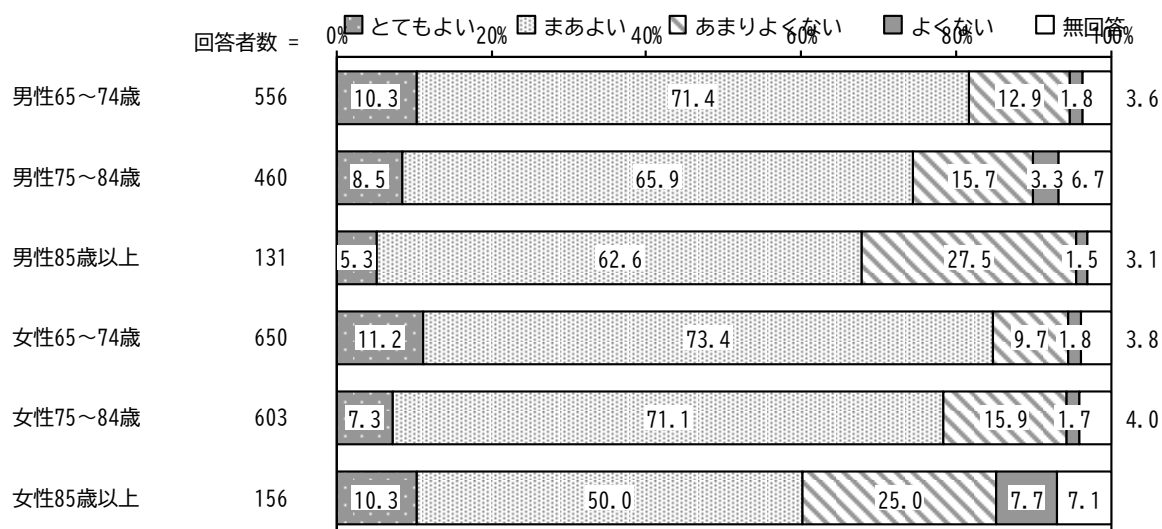
「まあよい」の割合が69.2%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が14.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



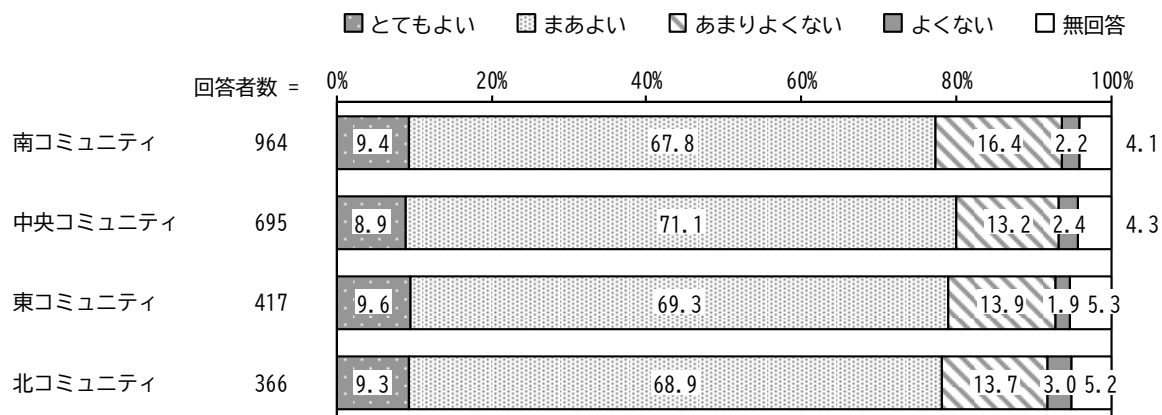
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「あまりよくない」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「あまりよくない」の割合が高く、「まあよい」の割合が低くなっています。



【圏域別】

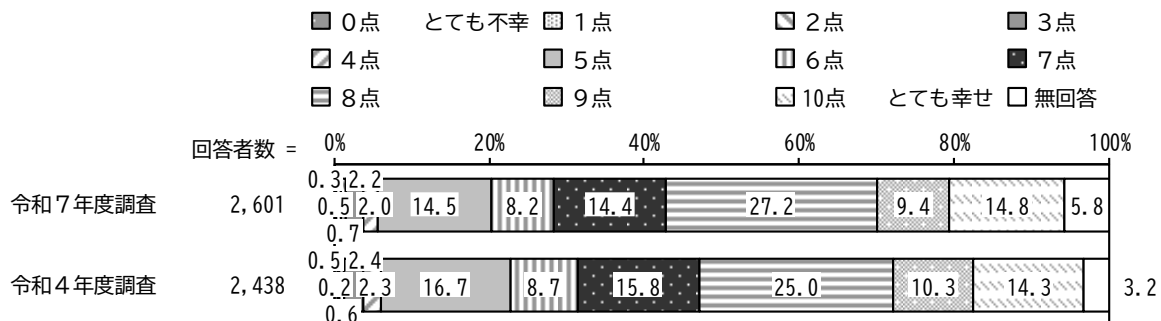
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とする)

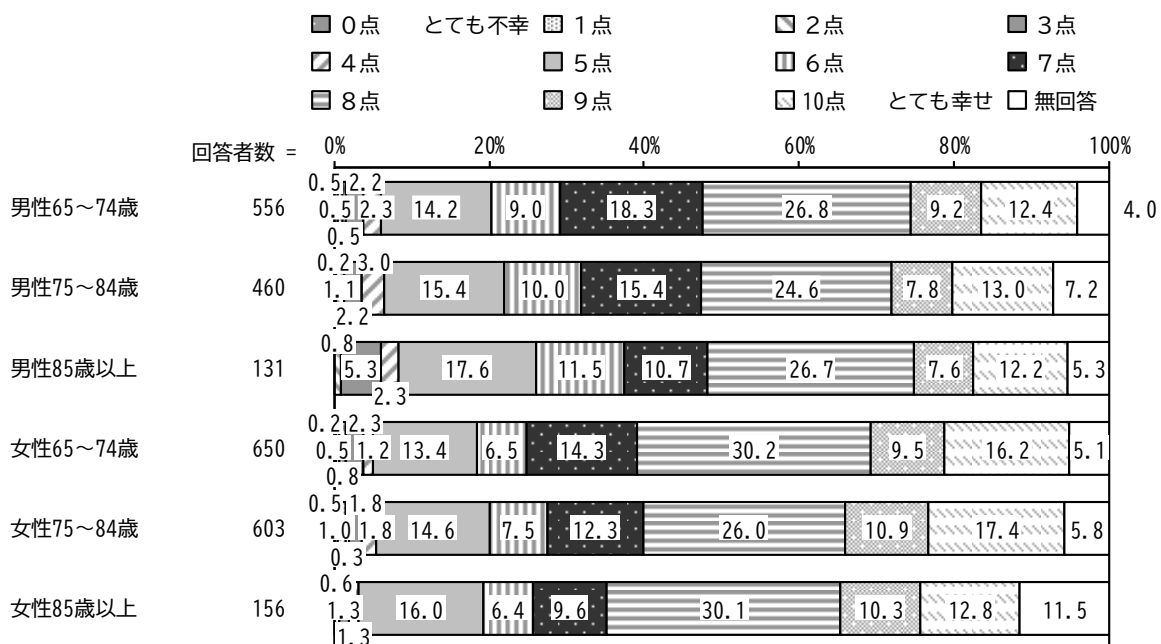
「8点」の割合が27.2%と最も高く、次いで「10点 とても幸せ」の割合が14.8%、「5点」の割合が14.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



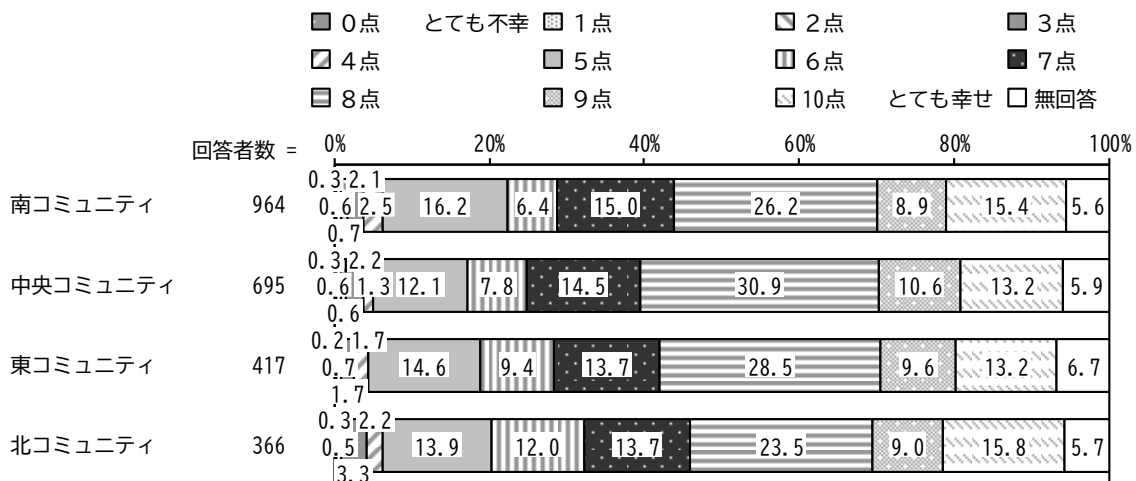
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「7点」の割合が高くなっています。



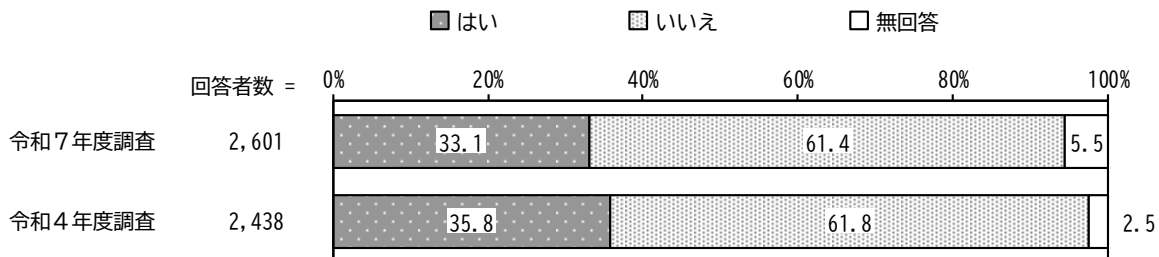
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



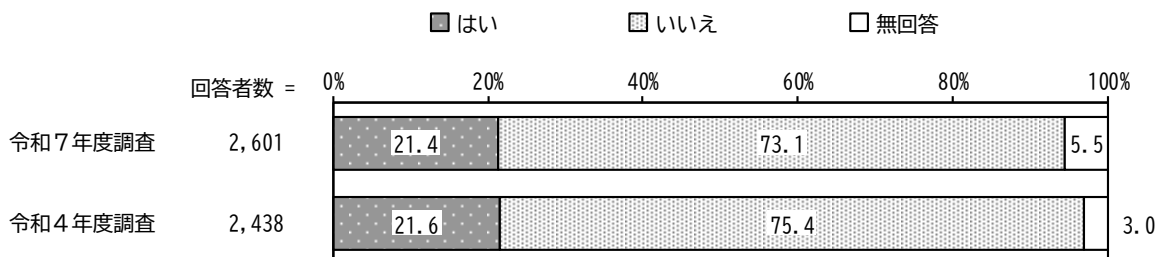
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」の割合が33.1%、「いいえ」の割合が61.4%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

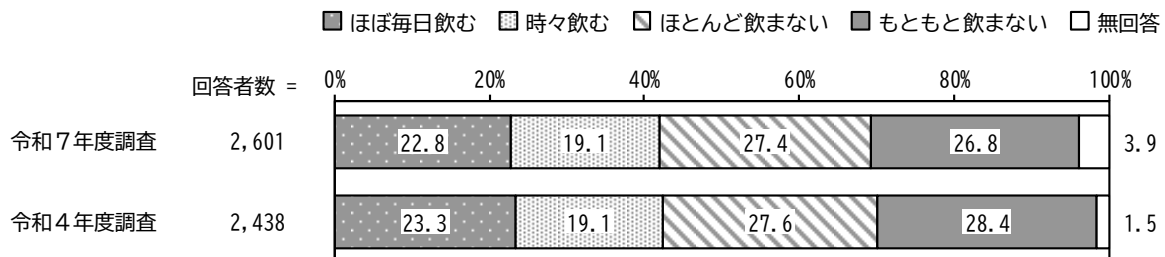
「はい」の割合が21.4%、「いいえ」の割合が73.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(5) お酒は飲みますか

「ほとんど飲まない」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「もともと飲まない」の割合が 26.8%、「ほぼ毎日飲む」の割合が 22.8%となっています。

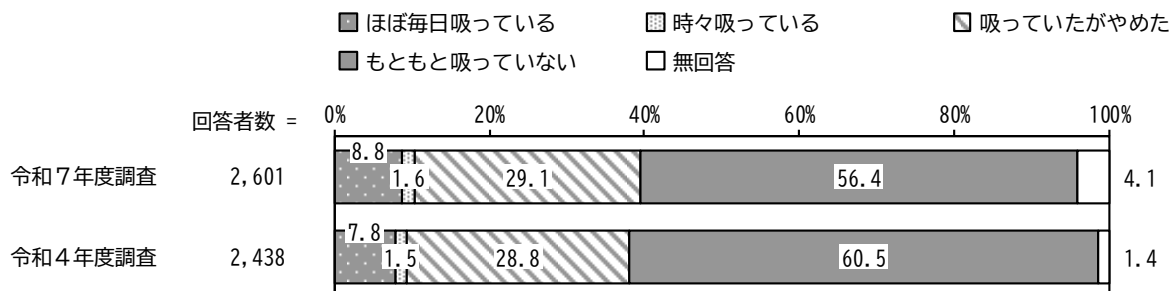
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 29.1%となっています。

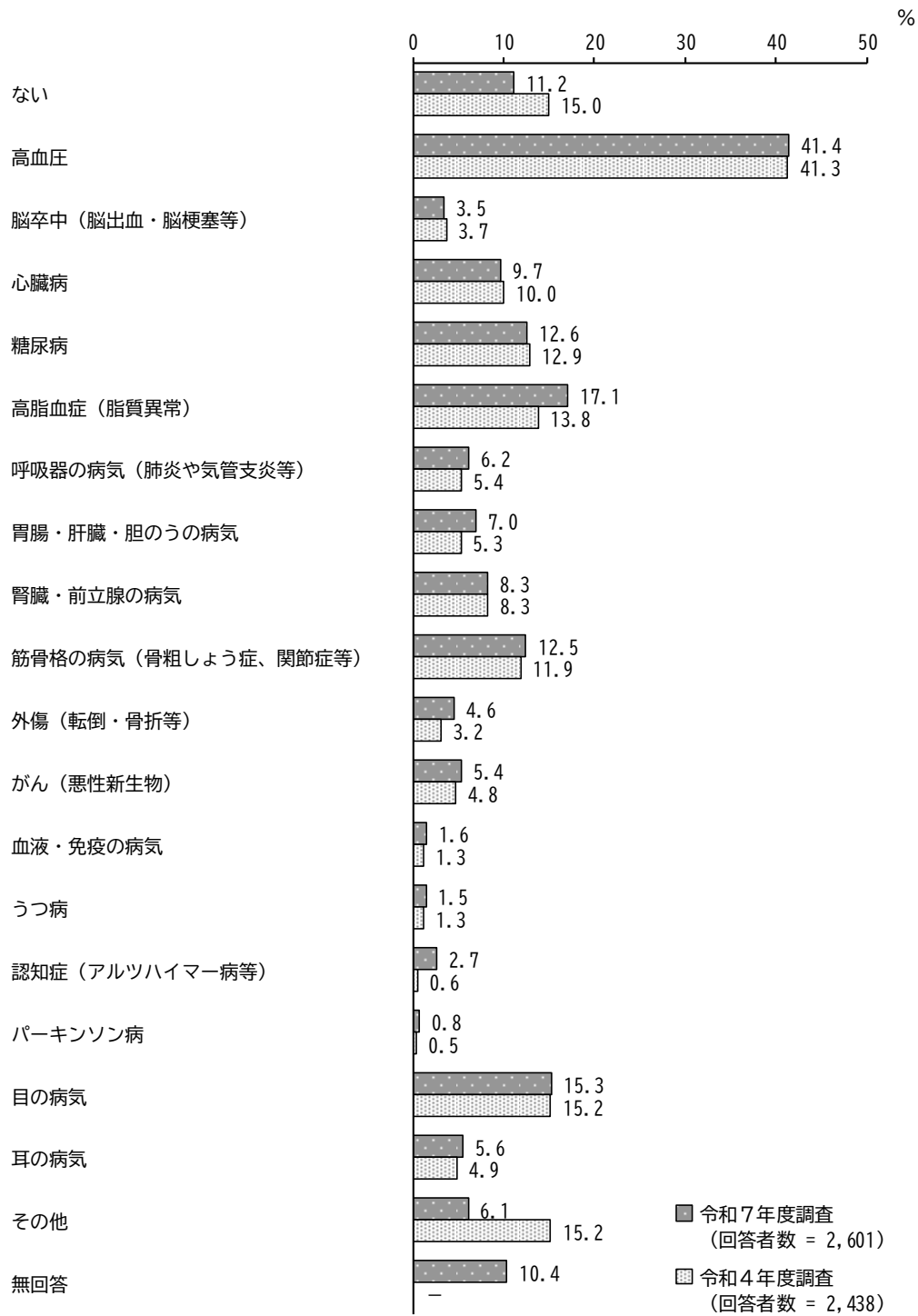
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

「高血圧」の割合が41.4%と最も高く、次いで「高脂血症 (脂質異常)」の割合が17.1%、「目の病気」の割合が15.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

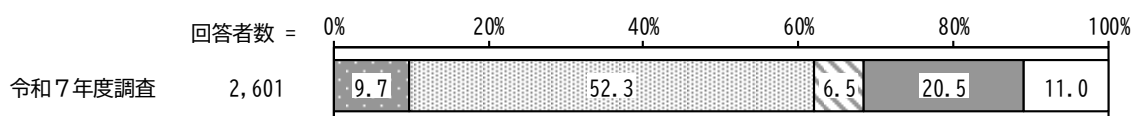


問 10 認知症について

(1) 認知症について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか

「認知症になっても、周囲の理解や支援があれば、自分らしい生活を続けることができる」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「家族だけで支えるのは大変なので、なるべく早く施設に入ったほうがよい」の割合が 20.5%となっています。

- 認知症になると自分でできることがほとんどなくなり、介護される側になる
- 認知症になっても、周囲の理解や支援があれば、自分らしい生活を続けることができる
- 気持ちや行動が不安定なので、一般の人が対応するのは難しい
- 家族だけで支えるのは大変なので、なるべく早く施設に入ったほうがよい
- 無回答



(2) 認知症の高齢者が地域で社会参加することについて、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか

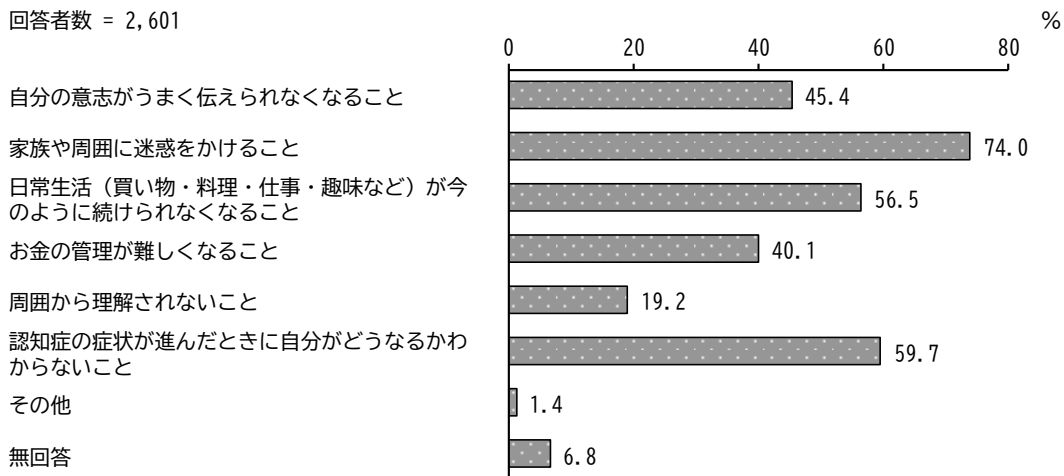
「活動内容によっては参加できると思うが、限定的だと思う」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「認知症でも、周囲の理解や支援があれば役割を持ち続けられると思う」の割合が 27.4%、「社会参加よりも、安全に施設で過ごす方が望ましいと思う」の割合が 13.6%となっています。

- 認知症でも、周囲の理解や支援があれば役割を持ち続けられると思う
- 活動内容によっては参加できると思うが、限定的だと思う
- 認知症の人が社会参加するのは、本人も周囲も負担になると思う
- 社会参加よりも、安全に施設で過ごす方が望ましいと思う
- 無回答



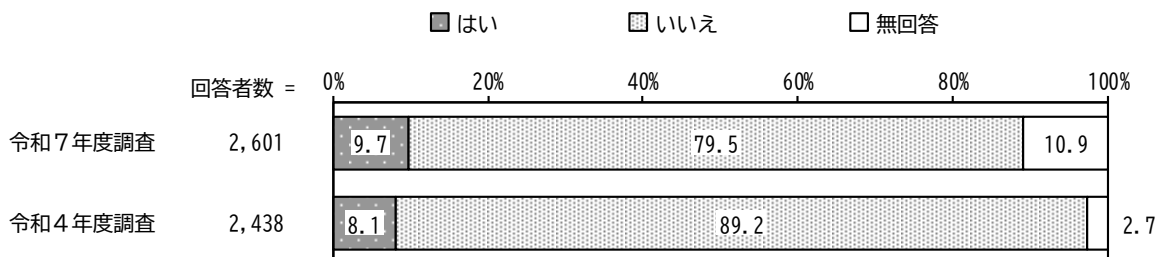
(3) 自分が認知症になったとき、どのようなことが不安ですか (いくつでも)

「家族や周囲に迷惑をかけること」の割合が 74.0%と最も高く、次いで「認知症の症状が進んだときに自分がどうなるかわからないこと」の割合が 59.7%、「日常生活 (買い物・料理・仕事・趣味など) が今のように続けられなくなること」の割合が 56.5%となっています。



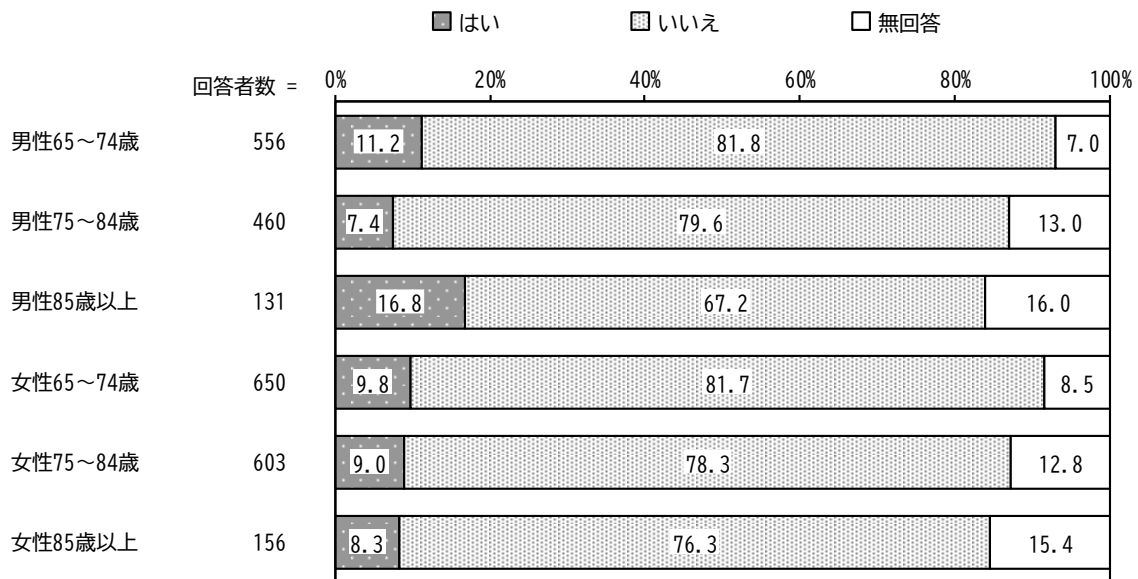
(4) 認知症の症状がある、または、家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」の割合が 9.7%、「いいえ」の割合が 79.5%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。



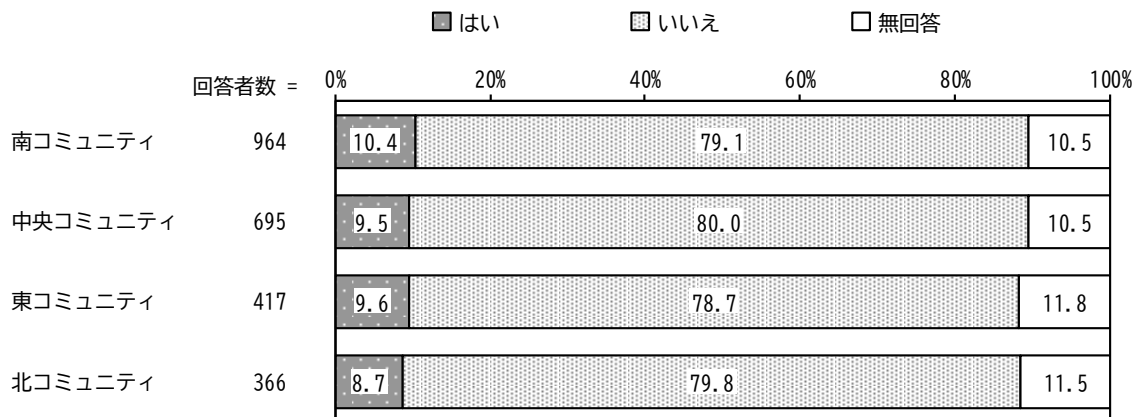
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「いいえ」の割合が高くなっています。



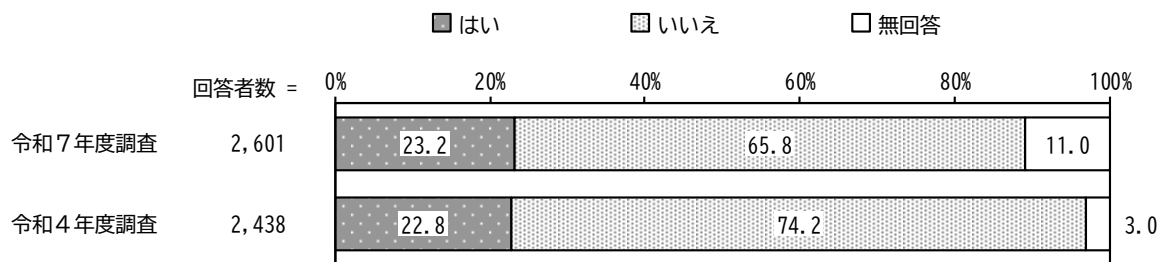
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



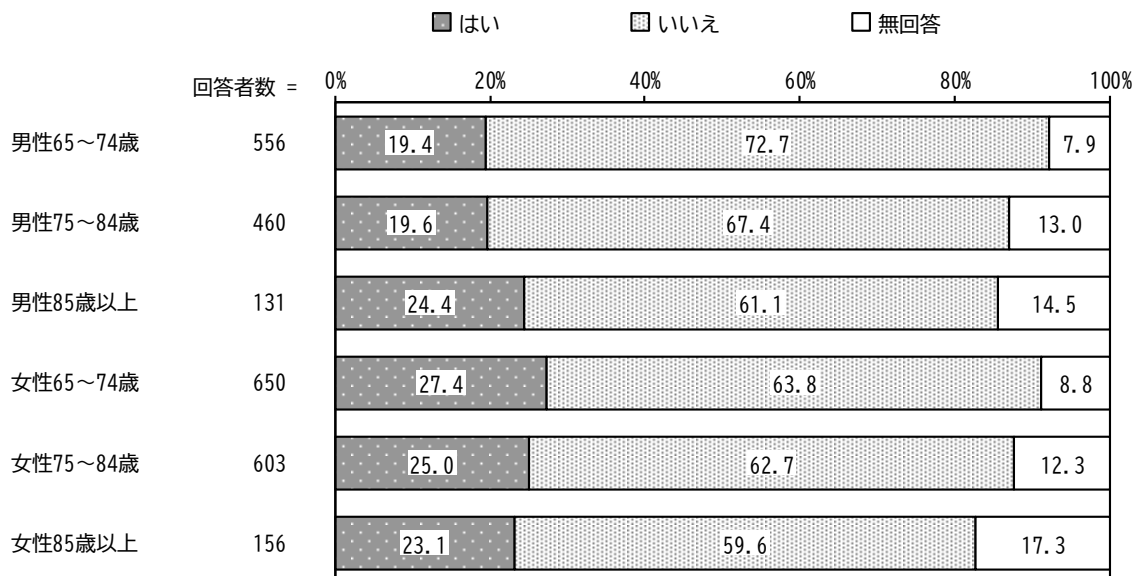
(5) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」の割合が23.2%、「いいえ」の割合が65.8%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が減少しています。



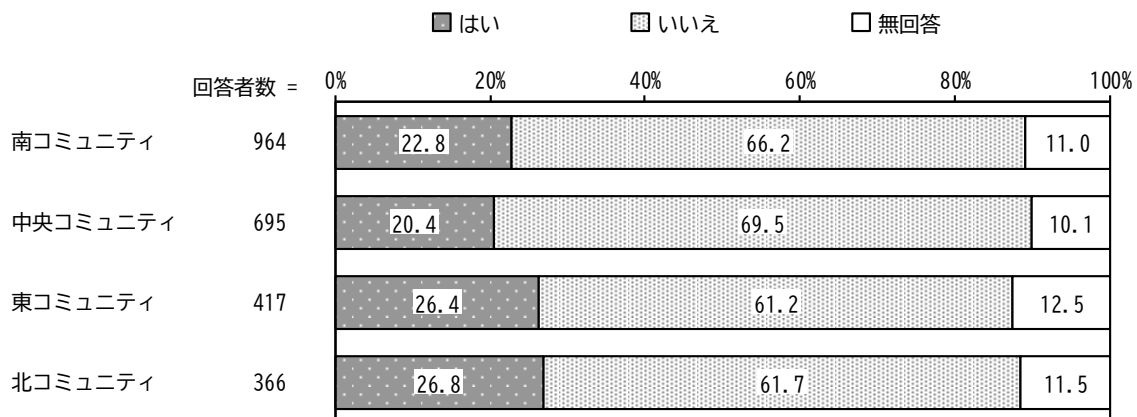
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「はい」の割合が高くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

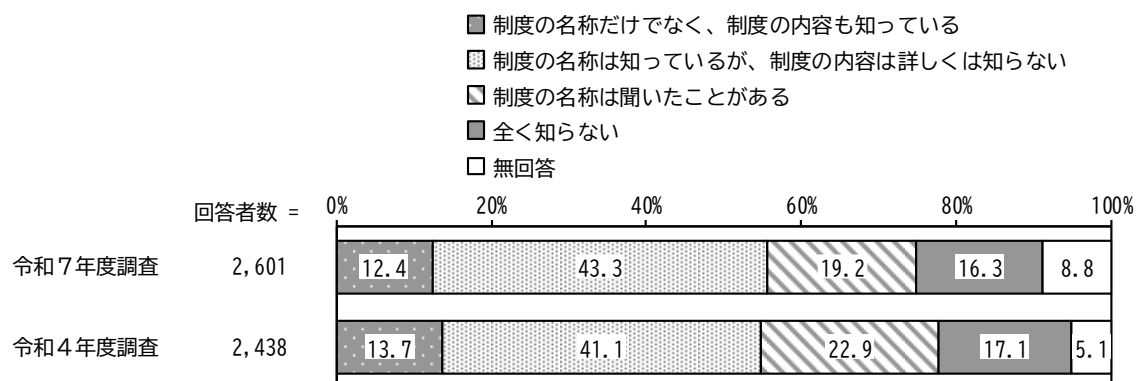


問 11 成年後見制度について

(1) 成年後見制度を知っていますか（1つを選択）

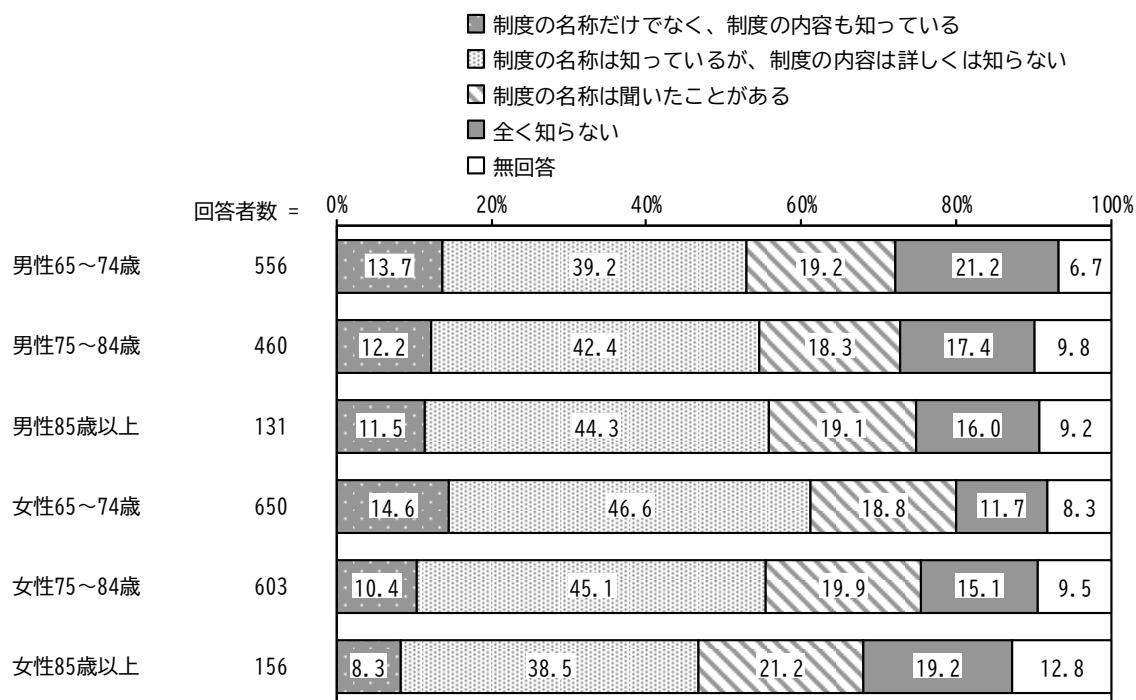
「制度の名称は知っているが、制度の内容は詳しくは知らない」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「制度の名称は聞いたことがある」の割合が 19.2%、「全く知らない」の割合が 16.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



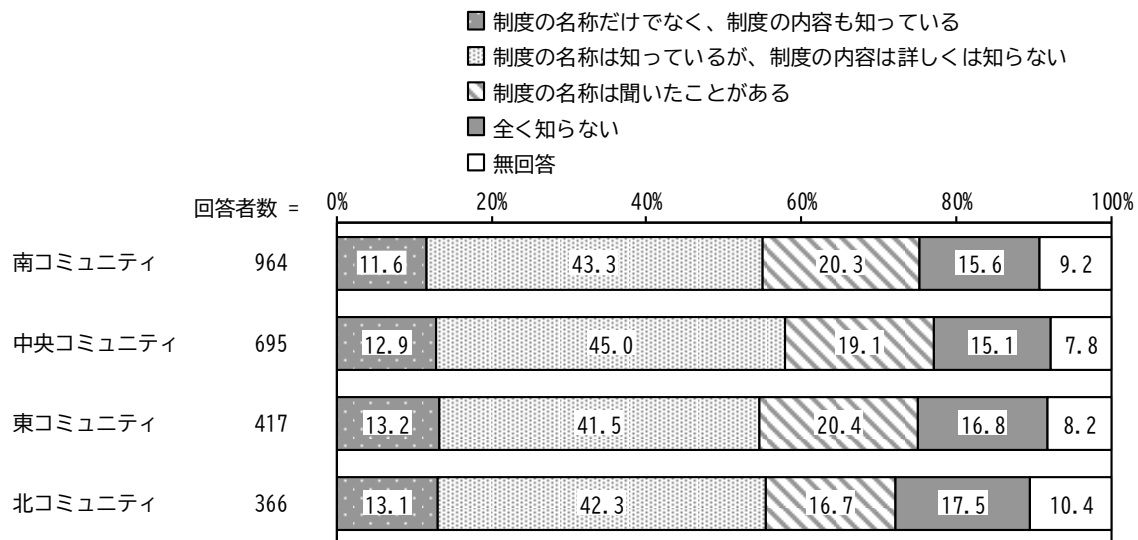
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「制度の名称は知っているが、制度の内容は詳しくは知らない」の割合が高く、「全く知らない」の割合が低く、女性では年齢が上がるほど「全く知らない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

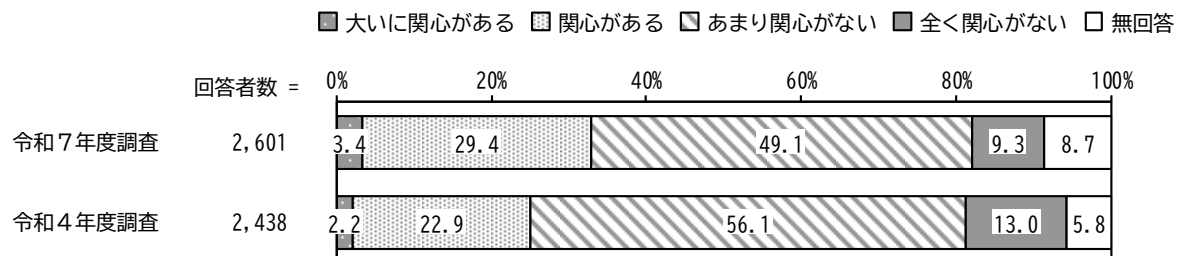
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(2) 成年後見制度に関心がありますか (1つを選択)

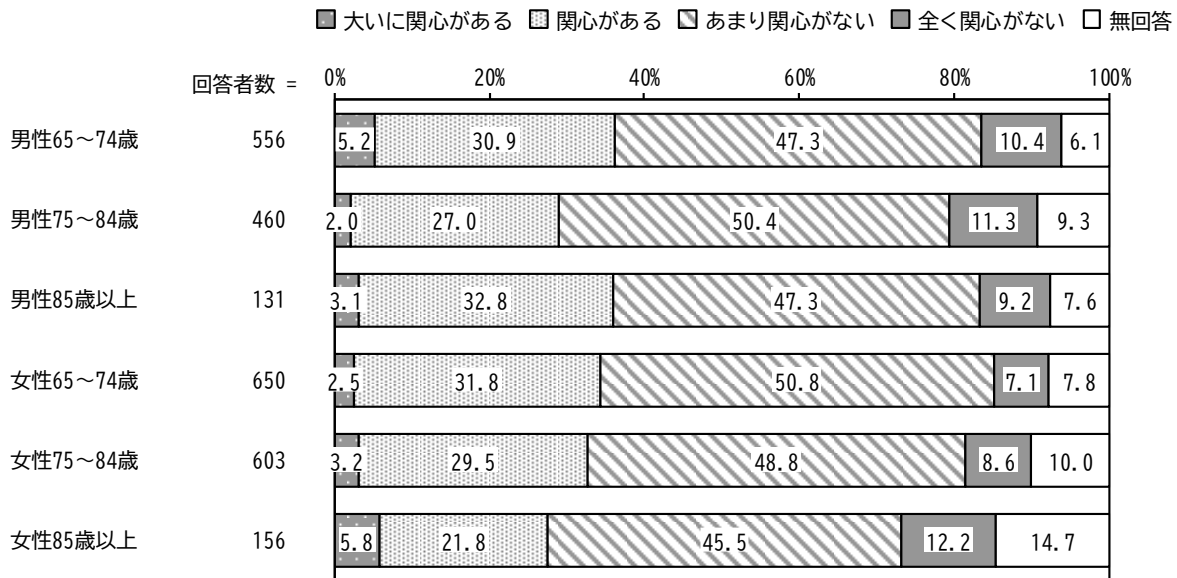
「あまり関心がない」の割合が49.1%と最も高く、次いで「関心がある」の割合が29.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「関心がある」の割合が増加しています。一方、「あまり関心がない」の割合が減少しています。



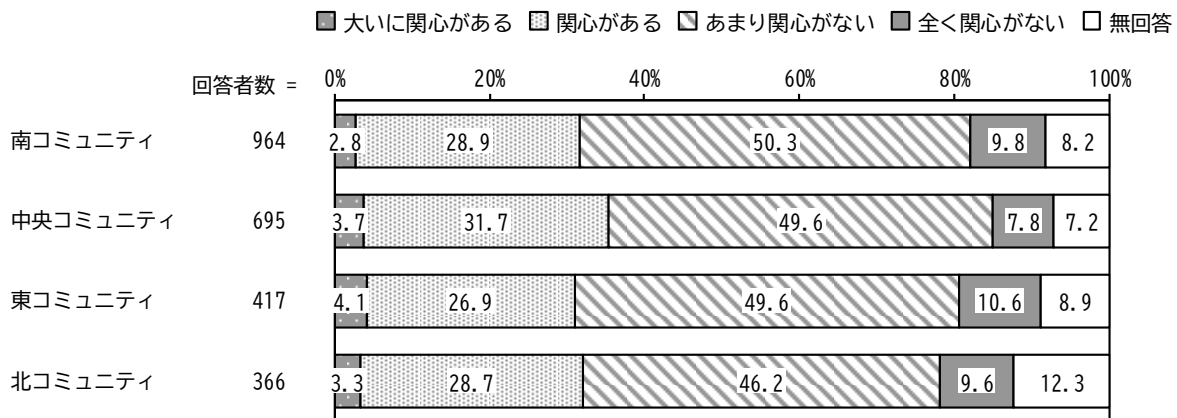
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「関心がある」「あまり関心がない」の割合が高く、「全く関心がない」の割合が低くなっています。



【圏域別】

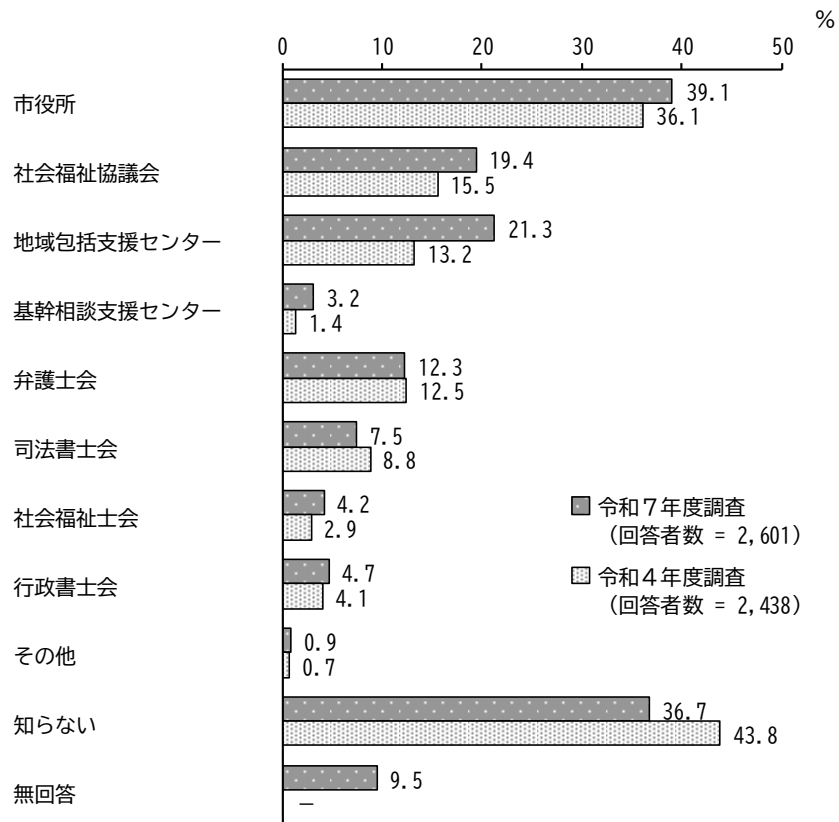
圏域別にみると、大きな差はみられません。



(3) 成年後見制度の相談窓口として知っている窓口はありますか (いくつでも)

「市役所」の割合が39.1%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が21.3%、「社会福祉協議会」の割合が19.4%となっています。

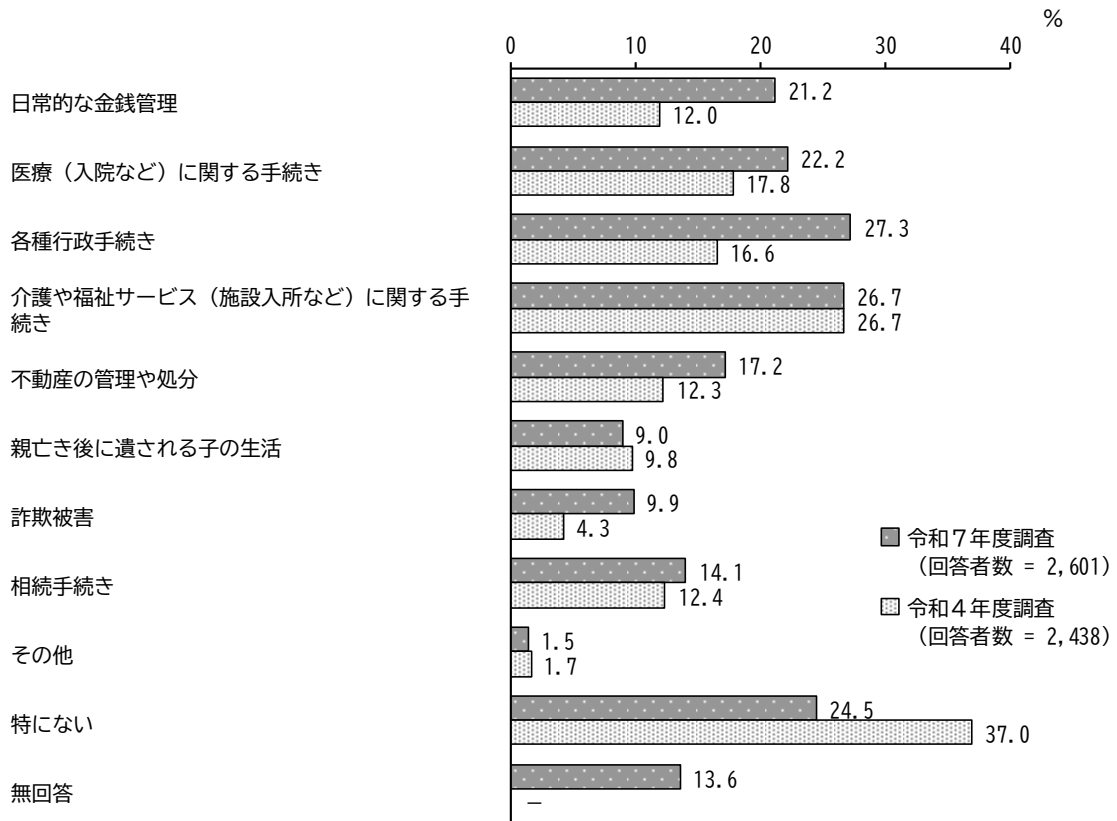
令和4年度調査と比較すると、「地域包括支援センター」の割合が増加しています。



(4) 日常生活の中で将来不安に感じられることがありますか（いくつでも）

「各種行政手続き」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「介護や福祉サービス（施設入所など）に関する手続き」の割合が 26.7%、「医療（入院など）に関する手続き」の割合が 22.2%となっています。

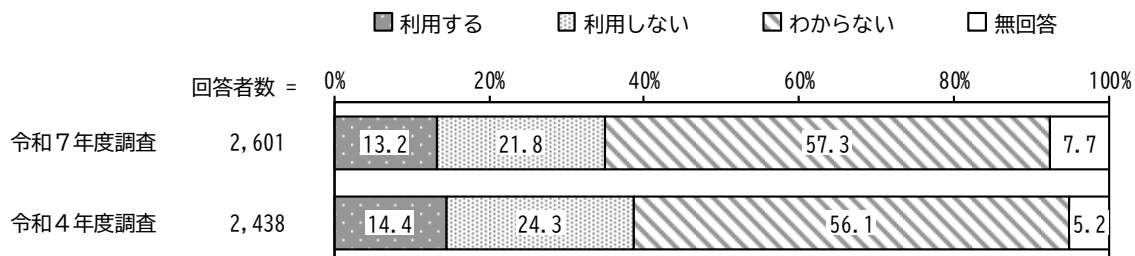
令和4年度調査と比較すると、「日常的な金銭管理」「各種行政手続き」「詐欺被害」の割合が増加しています。



(5) あなた自身や家族が認知症などで判断が十分にできなくなった場合に成年後見制度を利用したいと思いませんか（1つを選択）

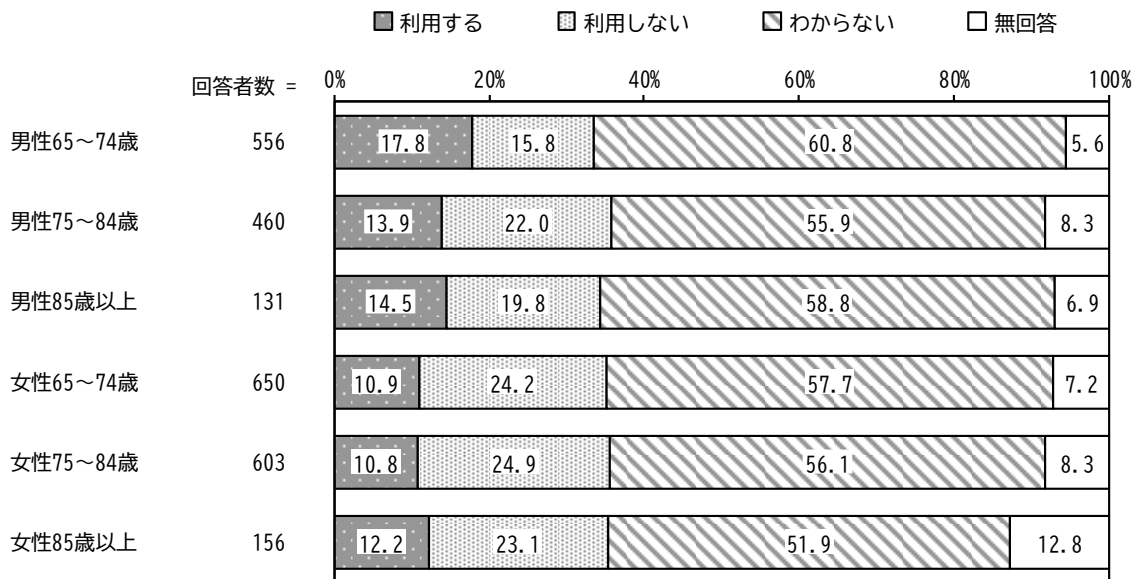
「利用する」の割合が 13.2%、「利用しない」の割合が 21.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



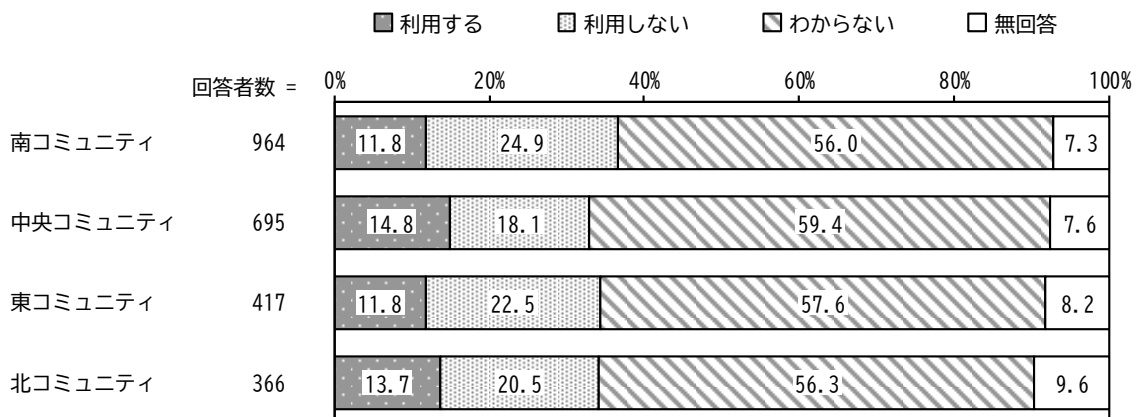
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性 65～74 歳で「利用しない」の割合が低くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

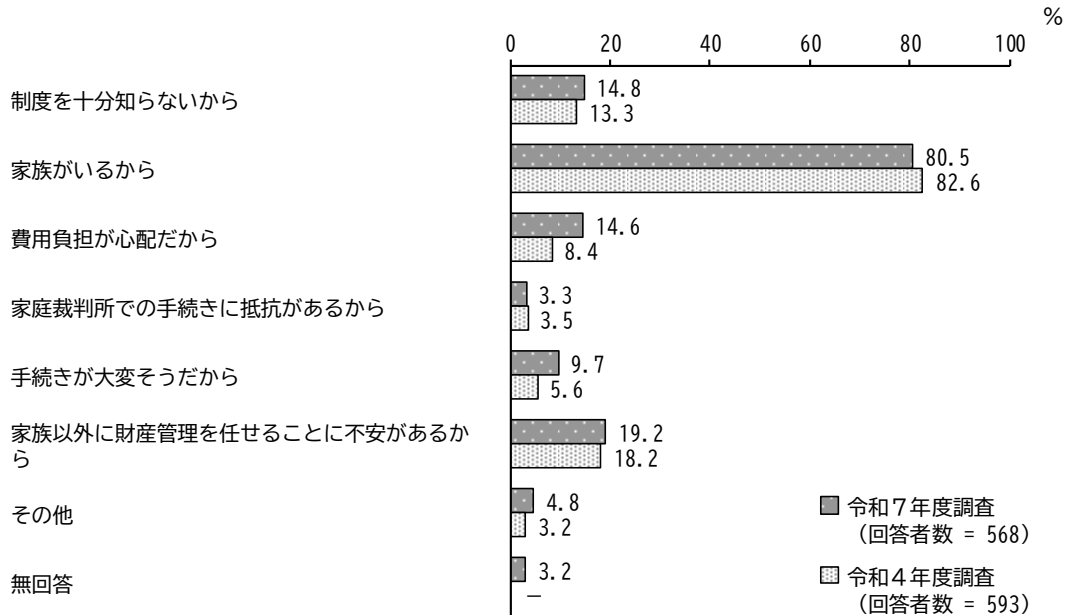


【(5) で「利用しない」の方のみ】

①制度を利用しない理由は何ですか（いくつでも）

「家族がいるから」の割合が 80.5%と最も高く、次いで「家族以外に財産管理を任せることに不安があるから」の割合が 19.2%、「制度を十分知らないから」の割合が 14.8%となっています。

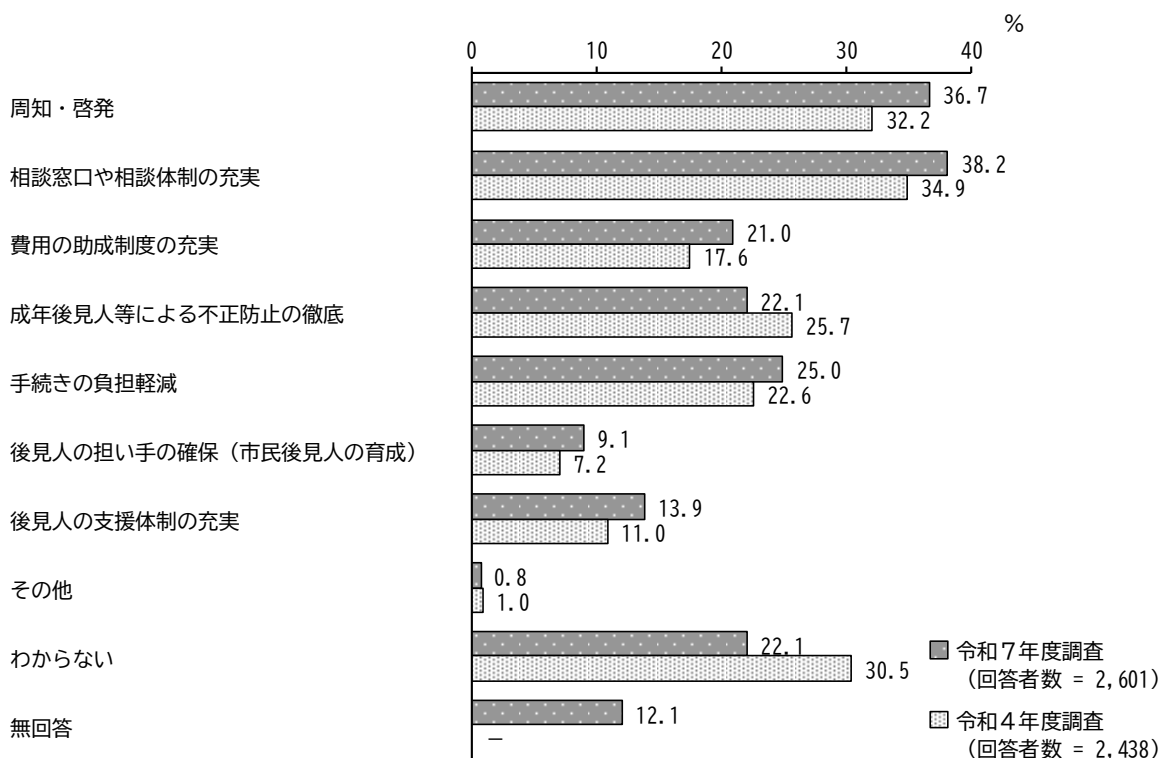
令和4年度調査と比較すると、「費用負担が心配だから」の割合が増加しています。



(6) 成年後見制度の利用の促進を図るためにはどのようなことが必要だと思いますか（いくつでも）

「相談窓口や相談体制の充実」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「周知・啓発」の割合が 36.7%、「手続きの負担軽減」の割合が 25.0%となっています。

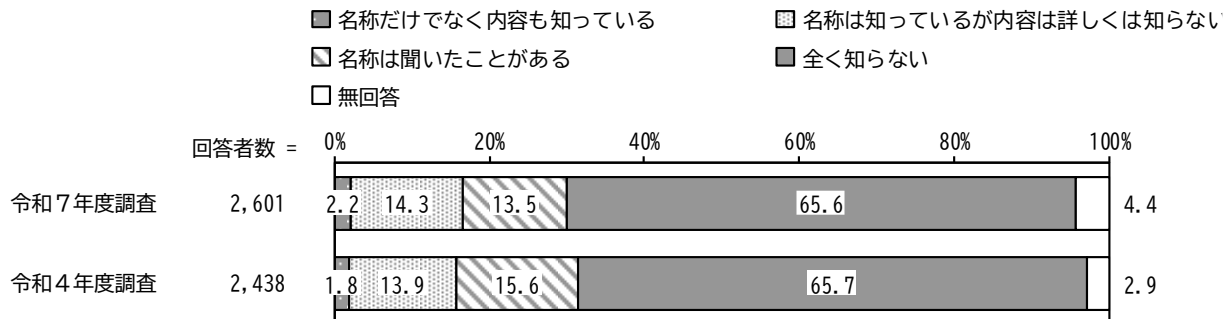
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(7) 市民後見人について知っていますか (1つを選択)

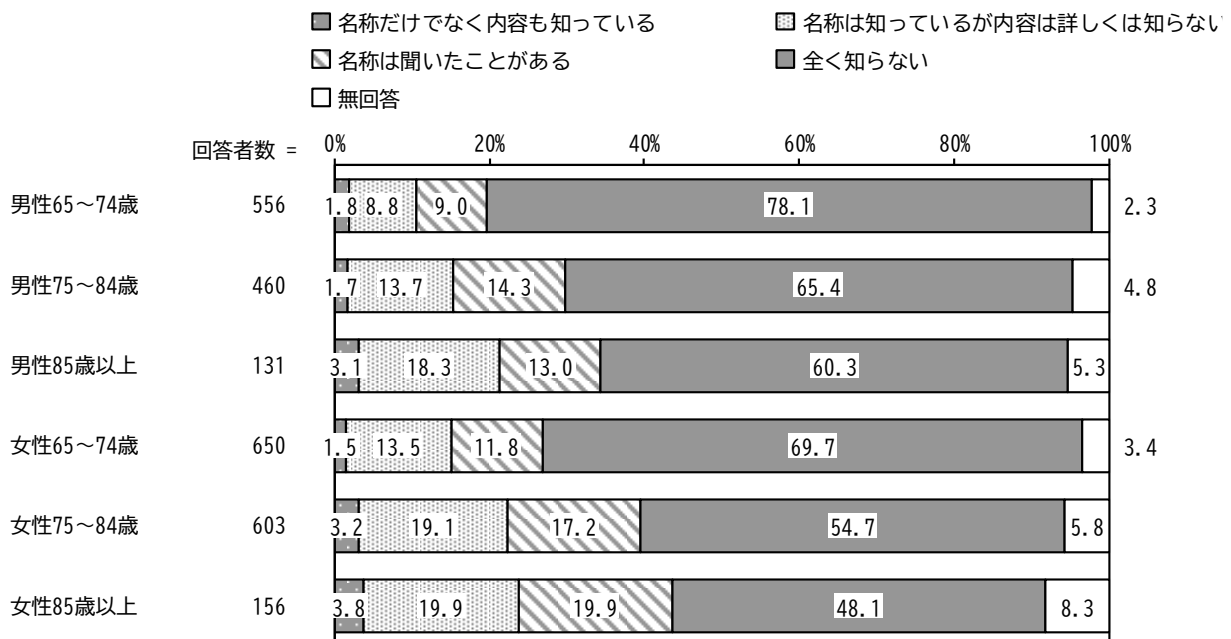
「全く知らない」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「名称は知っているが内容は詳しくは知らない」の割合が 14.3%、「名称は聞いたことがある」の割合が 13.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



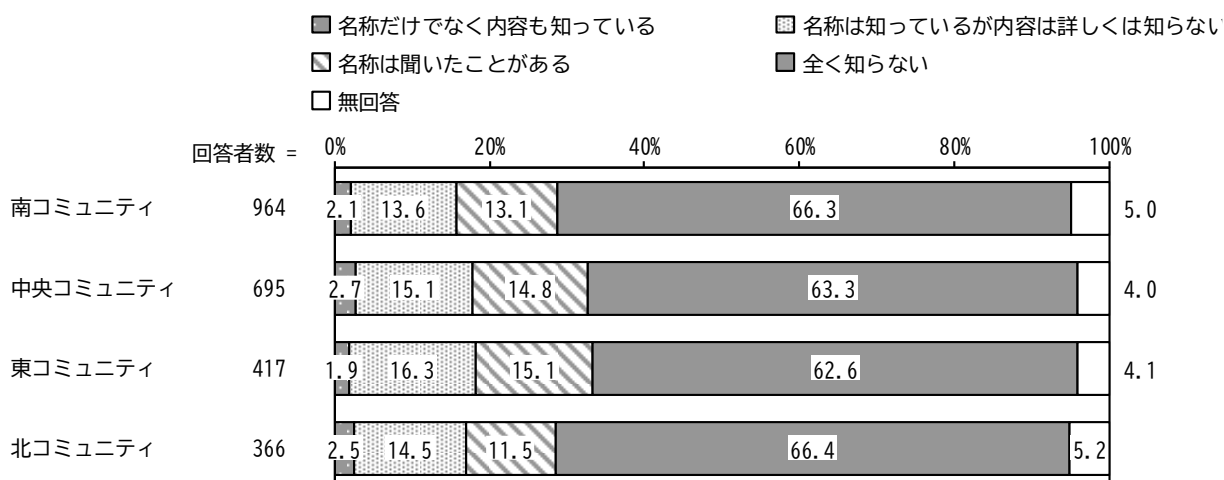
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「全く知らない」の割合が低く、男性では年齢が上がるほど「名称は知っているが内容は詳しくは知らない」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「名称は知っているが内容は詳しくは知らない」「名称は聞いたことがある」の割合が高くなっています。



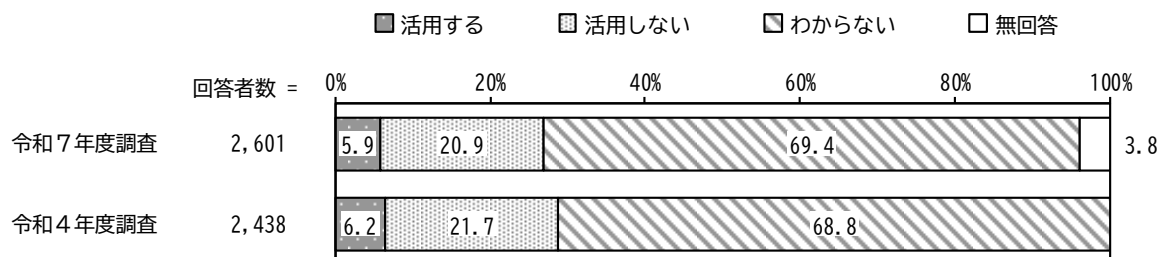
【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



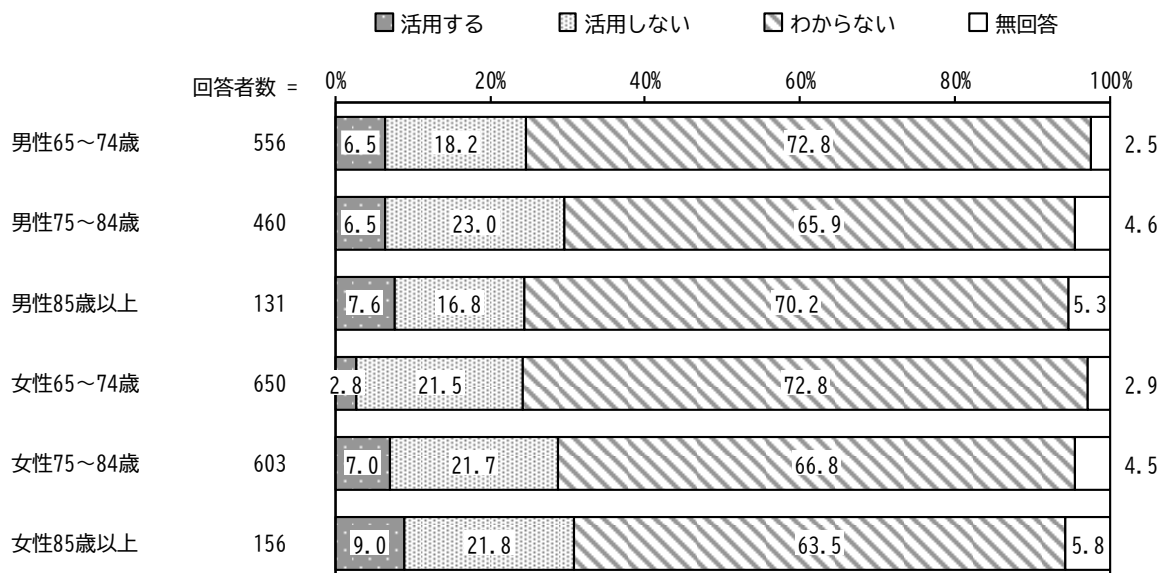
(8) あなた自身や家族が成年後見制度を利用することになった場合に市民後見人を活用したいと思いますか (1つを選択)

「活用する」の割合が5.9%、「活用しない」の割合が20.9%となっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



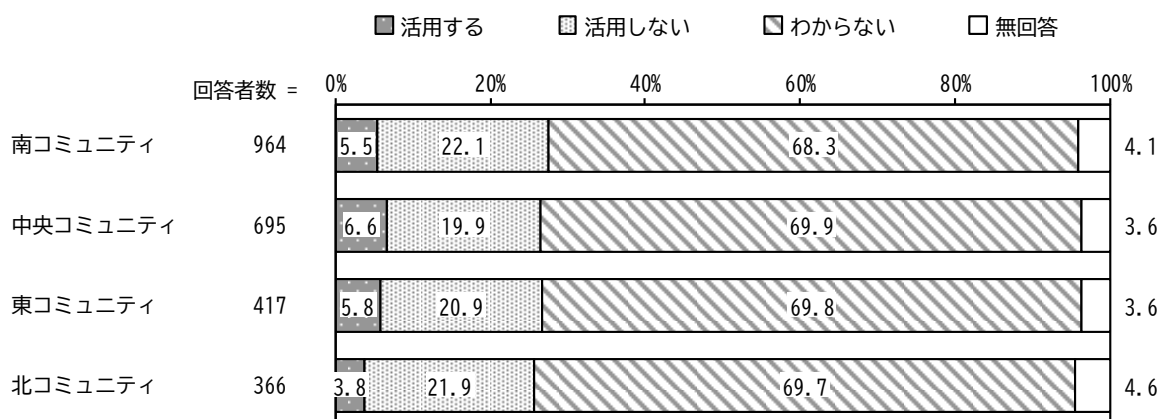
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、大きな差はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

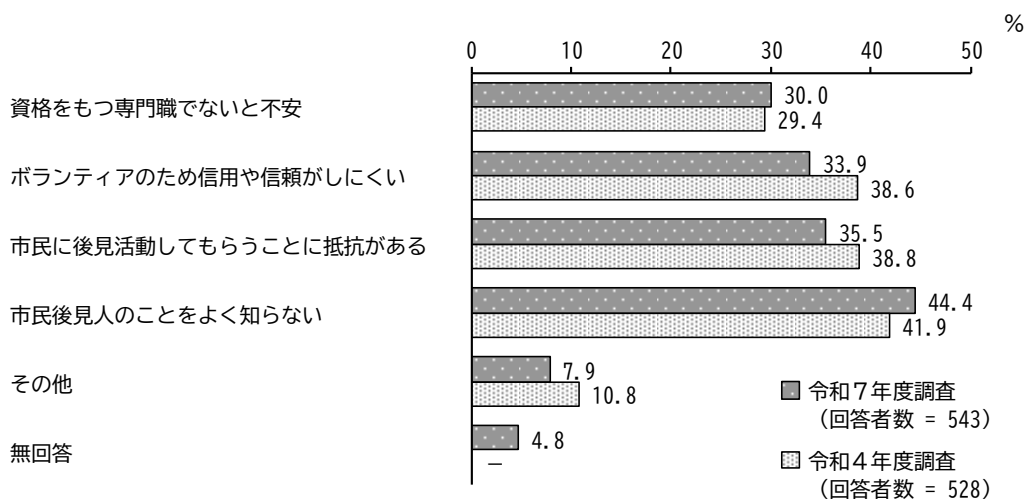


【(8)で「活用しない」の方のみ】

①制度を活用しない理由は何ですか。(いくつでも)

「市民後見人のことをよく知らない」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「市民に後見活動してもらうことに抵抗がある」の割合が 35.5%、「ボランティアのため信用や信頼がしにくい」の割合が 33.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



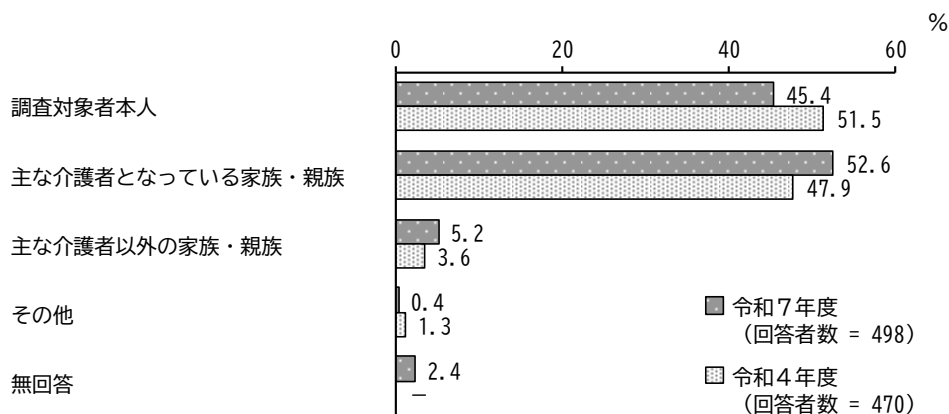
Ⅲ 在宅介護実態調査結果

A票 調査対象者ご本人の状況について

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか（いくつでも）

「調査対象者本人」の割合が45.4%、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が52.6%、「主な介護者以外の家族・親族」の割合が5.2%となっています。

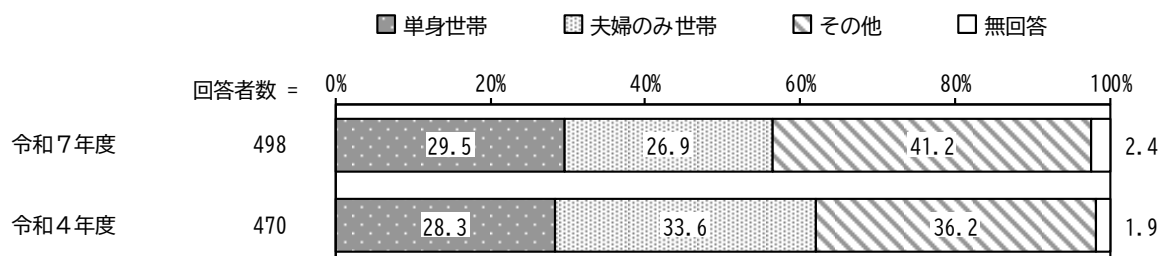
令和4年度と比較すると、「調査対象者本人」の割合が減少しています。



問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

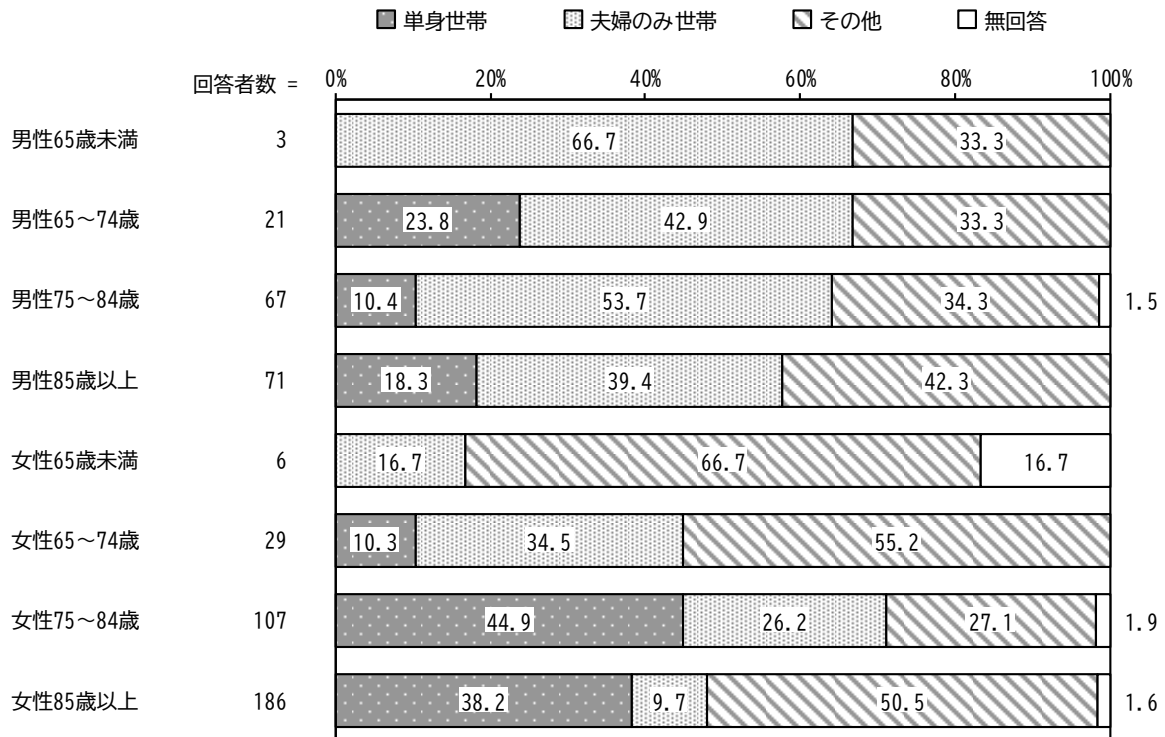
「単身世帯」の割合が29.5%、「夫婦のみ世帯」の割合が26.9%となっています。

令和4年度と比較すると、「夫婦のみ世帯」の割合が減少しています。



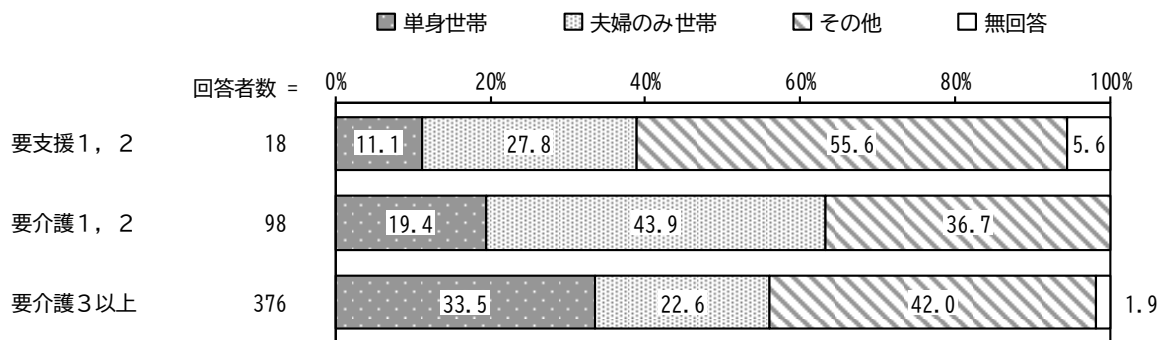
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では85歳以上から65～74歳まで年齢が下がるほど「夫婦のみ世帯」の割合が高くなっています。



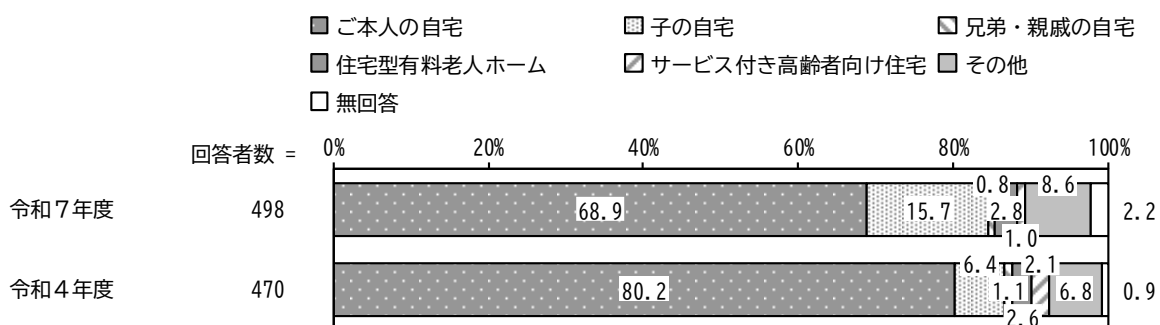
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「単身世帯」の割合が高くなっています。



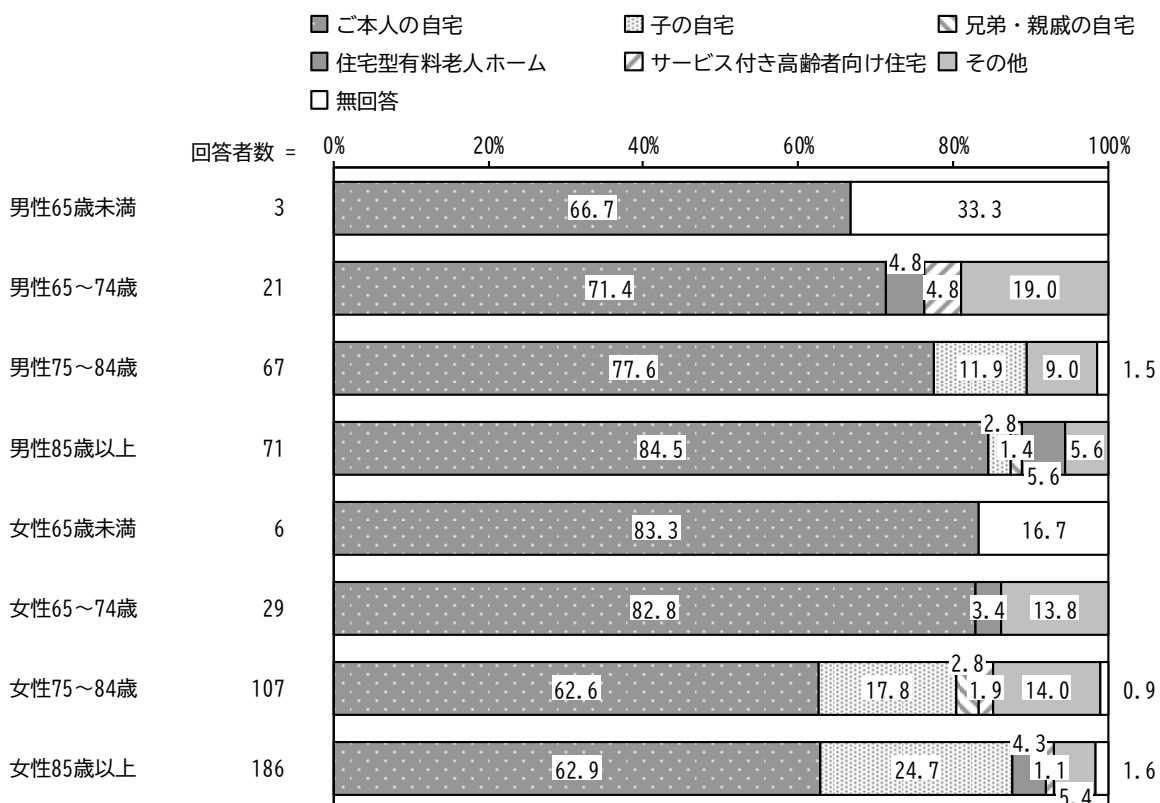
問3 ご本人の現在のお住まいについて、お答えください（1つを選択）

「ご本人の自宅」の割合が68.9%と最も高く、次いで「子の自宅」の割合が15.7%となっています。令和4年度と比較すると、「子の自宅」の割合が増加しています。一方、「ご本人の自宅」の割合が減少しています。



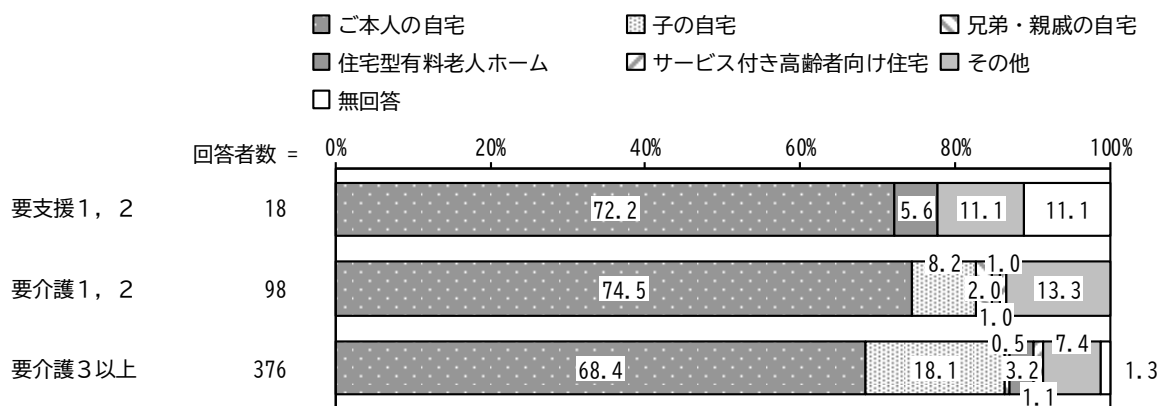
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「ご本人の自宅」の割合が高く、女性では「子の自宅」の割合が高い傾向にあります。



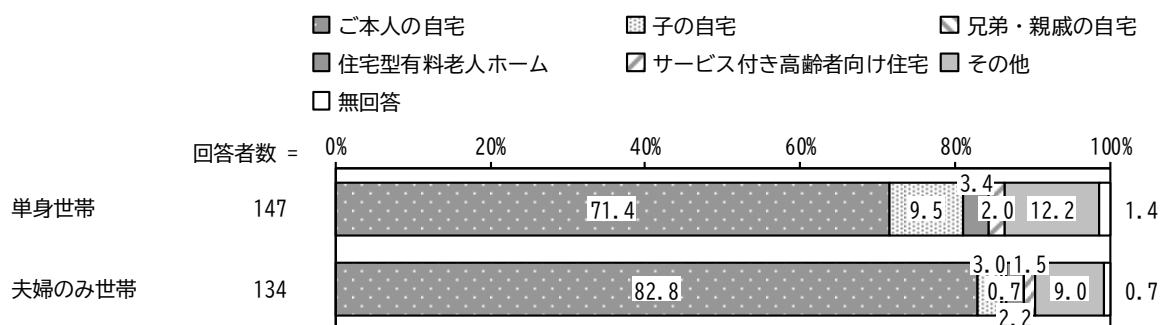
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「子の自宅」の割合が高くなっています。



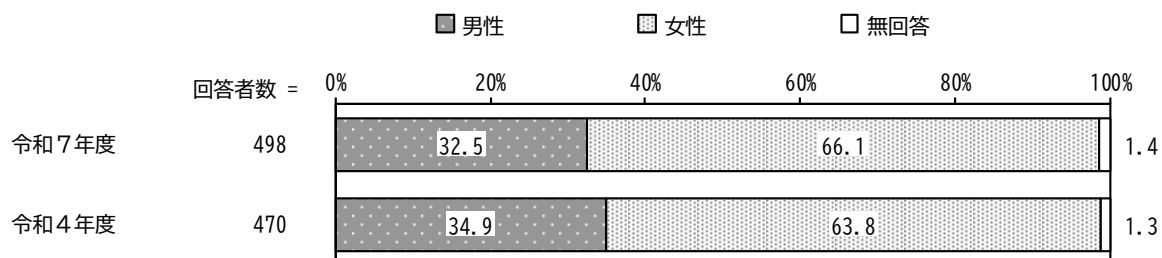
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、単身世帯で「子の自宅」の割合が高く、夫婦のみ世帯で「ご本人の自宅」の割合が高くなっています。



問4 ご本人の性別について、お答えください（1つを選択）

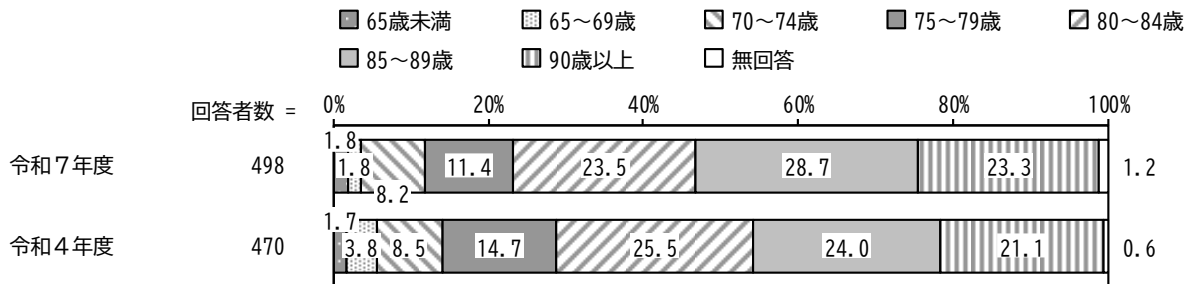
「男性」の割合が32.5%、「女性」の割合が66.1%となっています。
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



問5 ご本人の年齢（令和7年12月1日現在）について、お答えください（1つを選択）

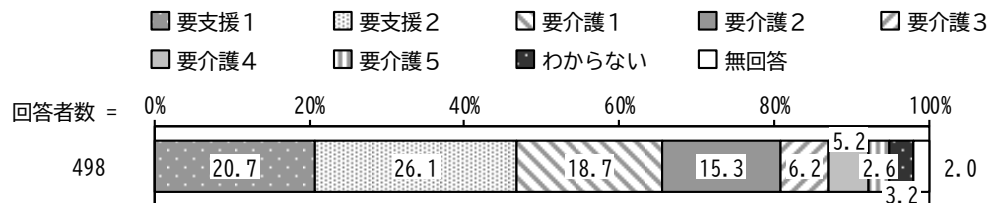
「85～89歳」の割合が28.7%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が23.3%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



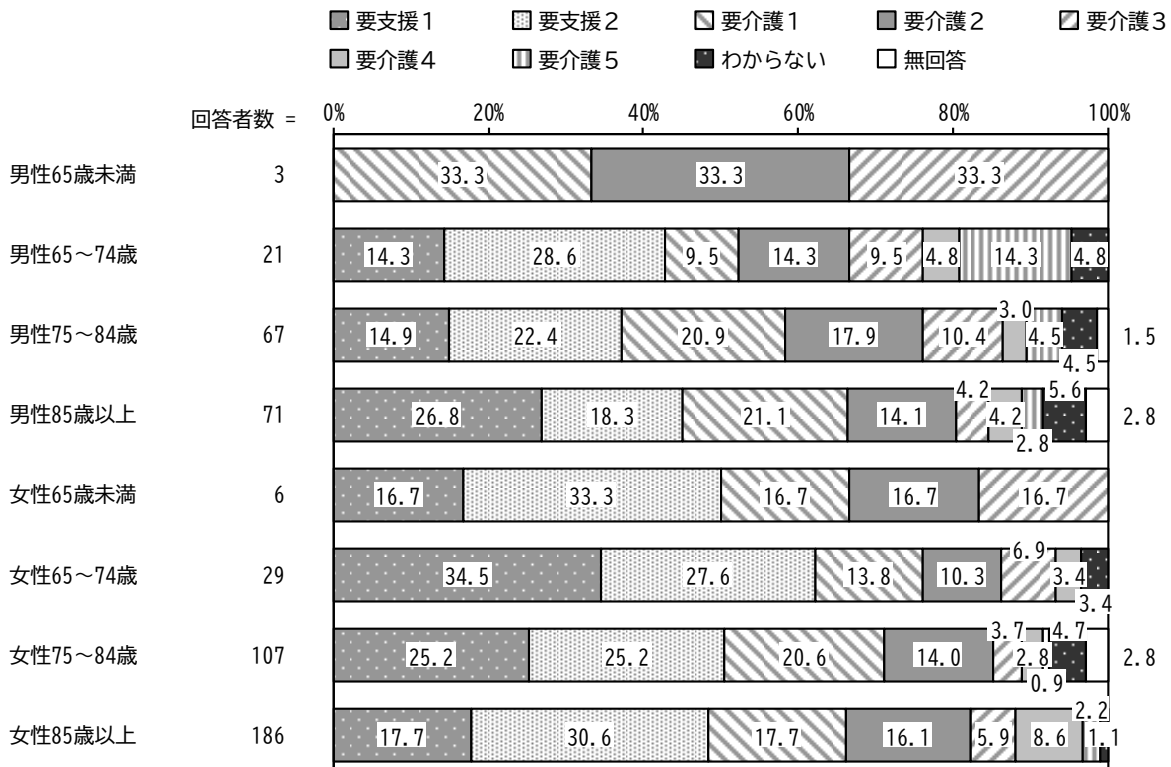
問6 ご本人の要介護度について、お答えください（1つを選択）

「要支援2」の割合が26.1%と最も高く、次いで「要支援1」の割合が20.7%、「要介護1」の割合が18.7%となっています。



【性・年齢別】

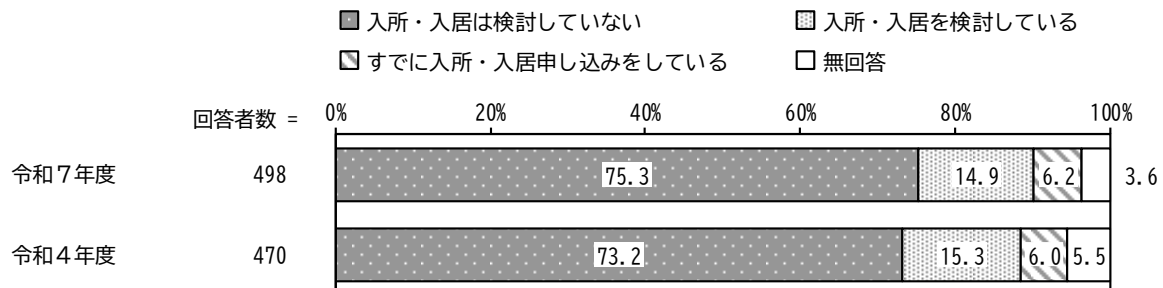
性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「要支援1」の割合が高く、女性では65～74歳から85歳以上まで年齢が上がるほど「要介護2」の割合が高く、「要支援1」の割合が低くなっています。



問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、お答えください
(1つを選択)

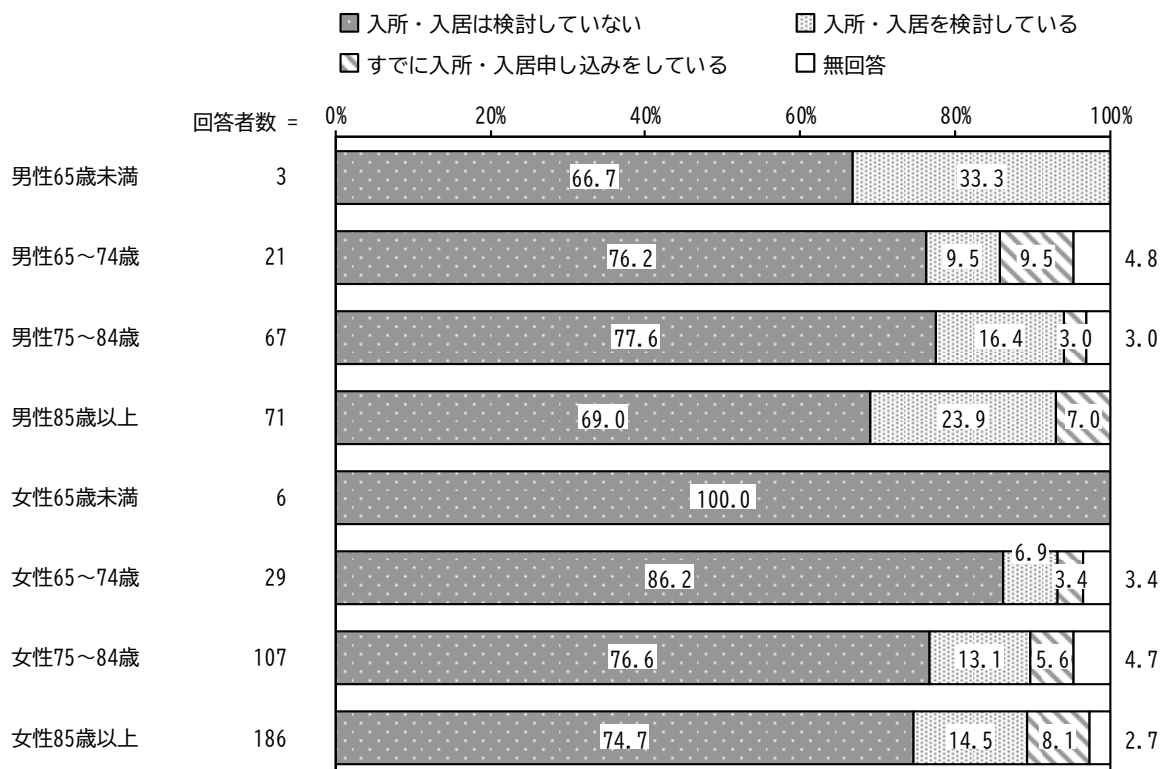
「入所・入居は検討していない」の割合が75.3%、「入所・入居を検討している」の割合が14.9%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が6.2%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



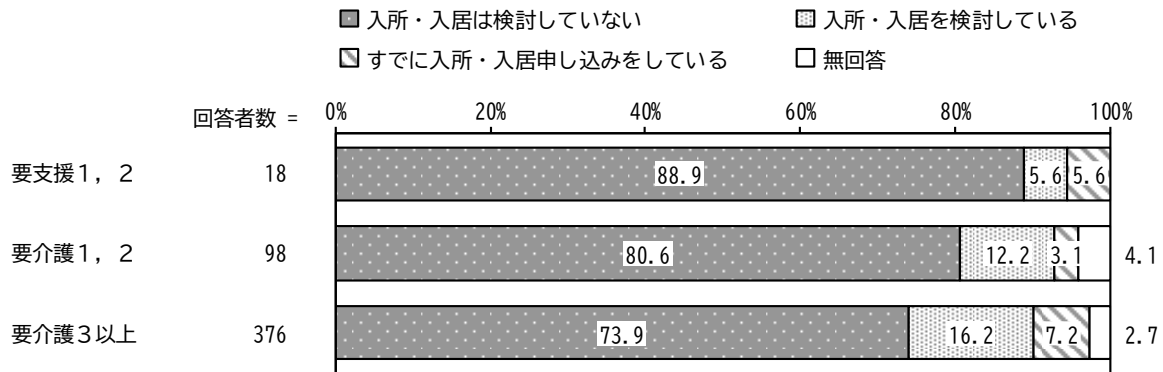
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では65～74歳から85歳以上まで年齢が上がるほど「入所・入居を検討している」の割合が高く、女性では年齢が上がるほど「入所・入居を検討している」の割合が高く、「入所・入居は検討していない」の割合が低くなっています。



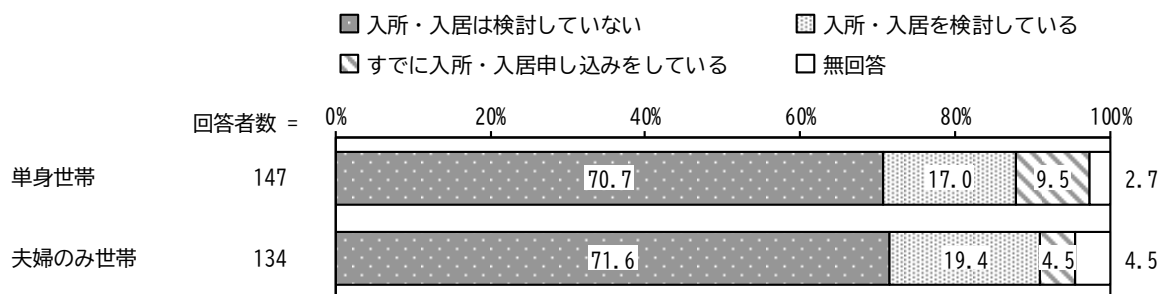
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「入所・入居を検討している」の割合が高く、「入所・入居は検討していない」の割合が低くなっています。



【世帯区分別】

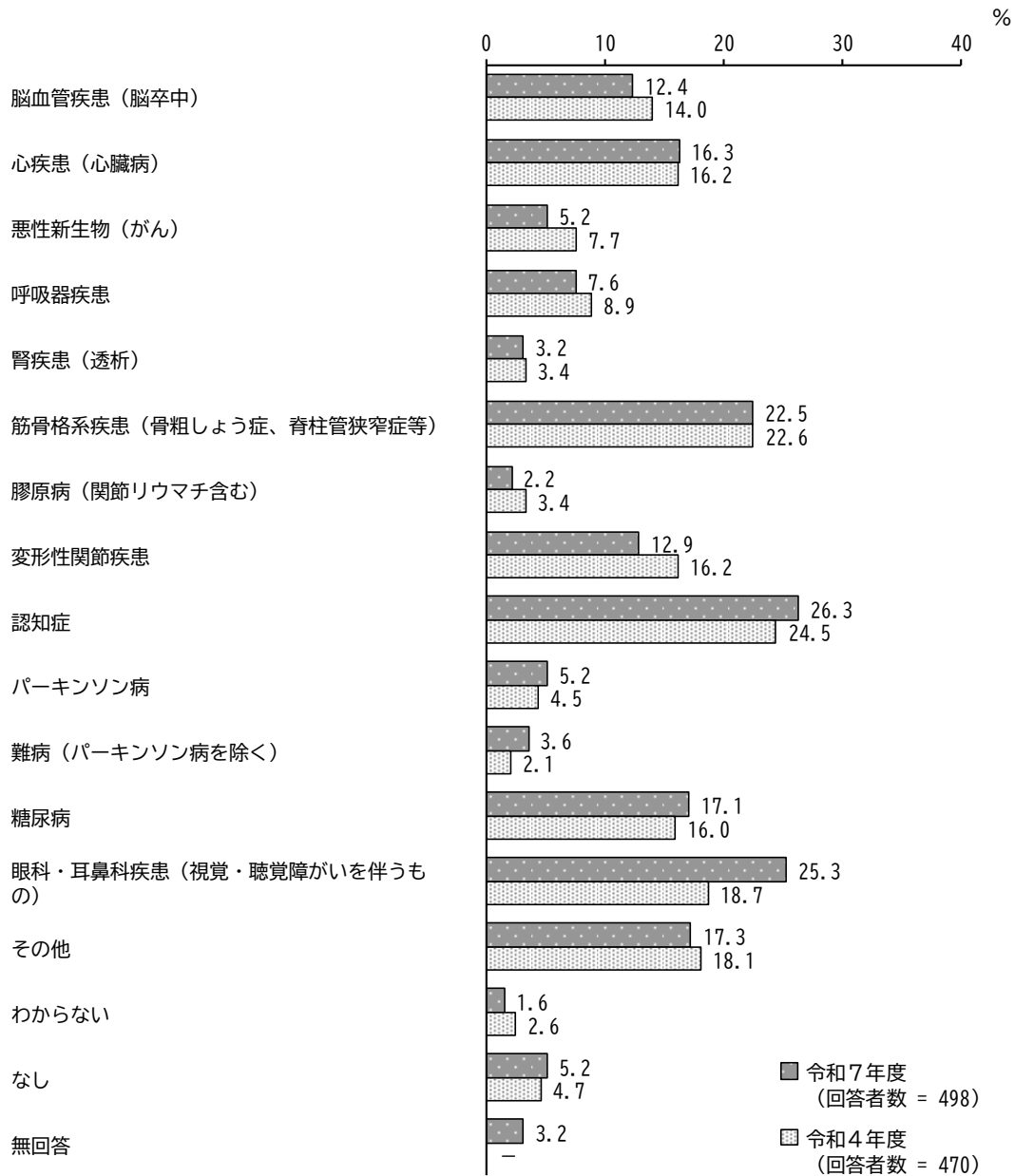
世帯区分別にみると、単身世帯で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。



問8 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、お答えください
（いくつでも）

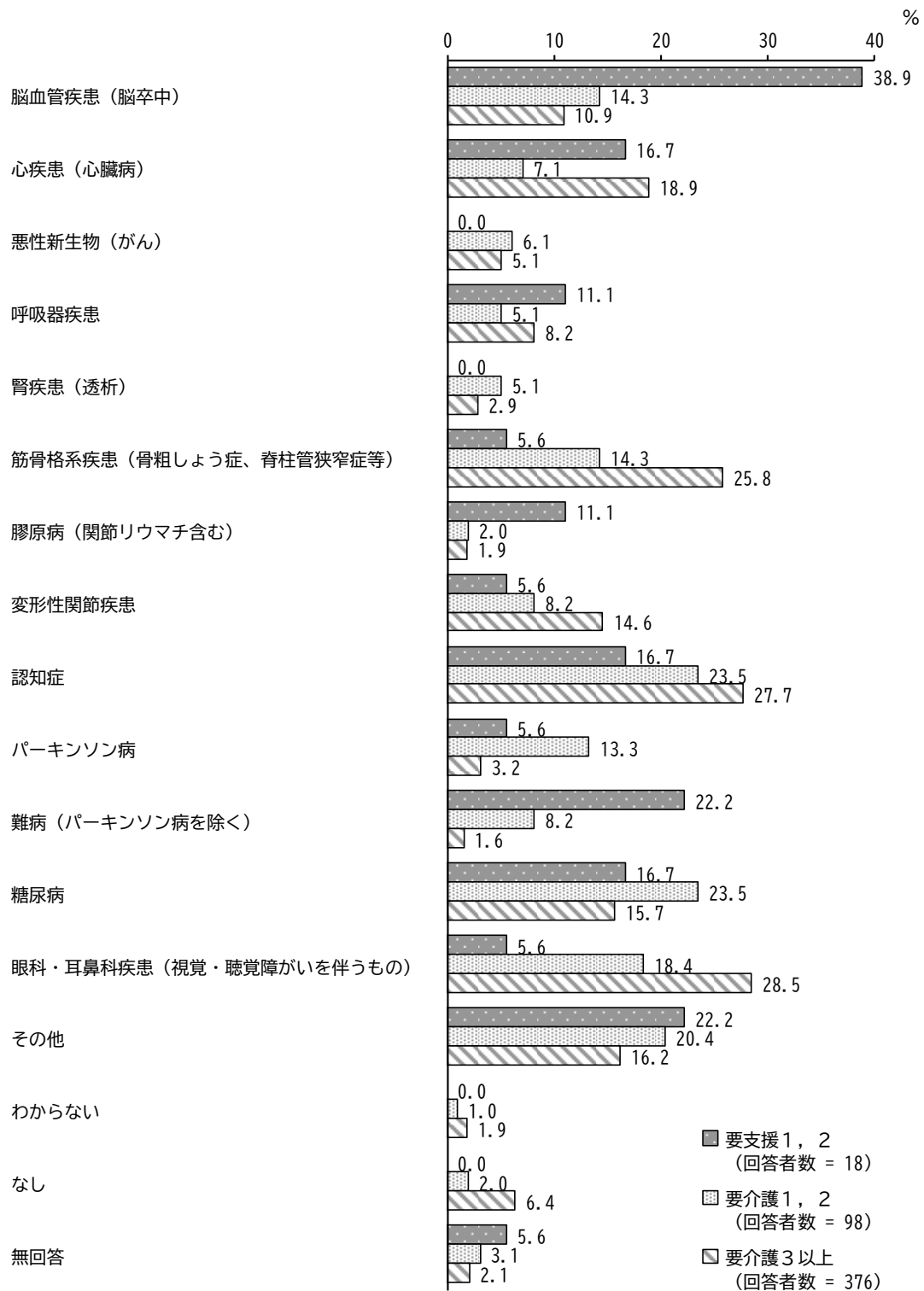
「認知症」の割合が26.3%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」の割合が25.3%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が22.5%となっています。

令和4年度と比較すると、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」の割合が増加しています。



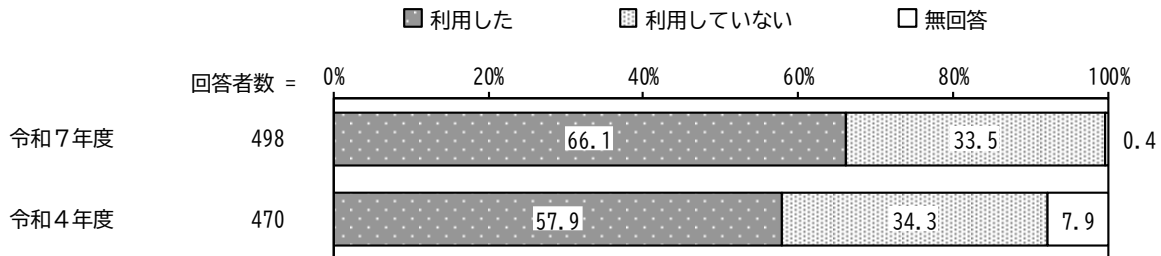
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が下がるほど「脳血管疾患（脳卒中）」の割合が高くなっています。



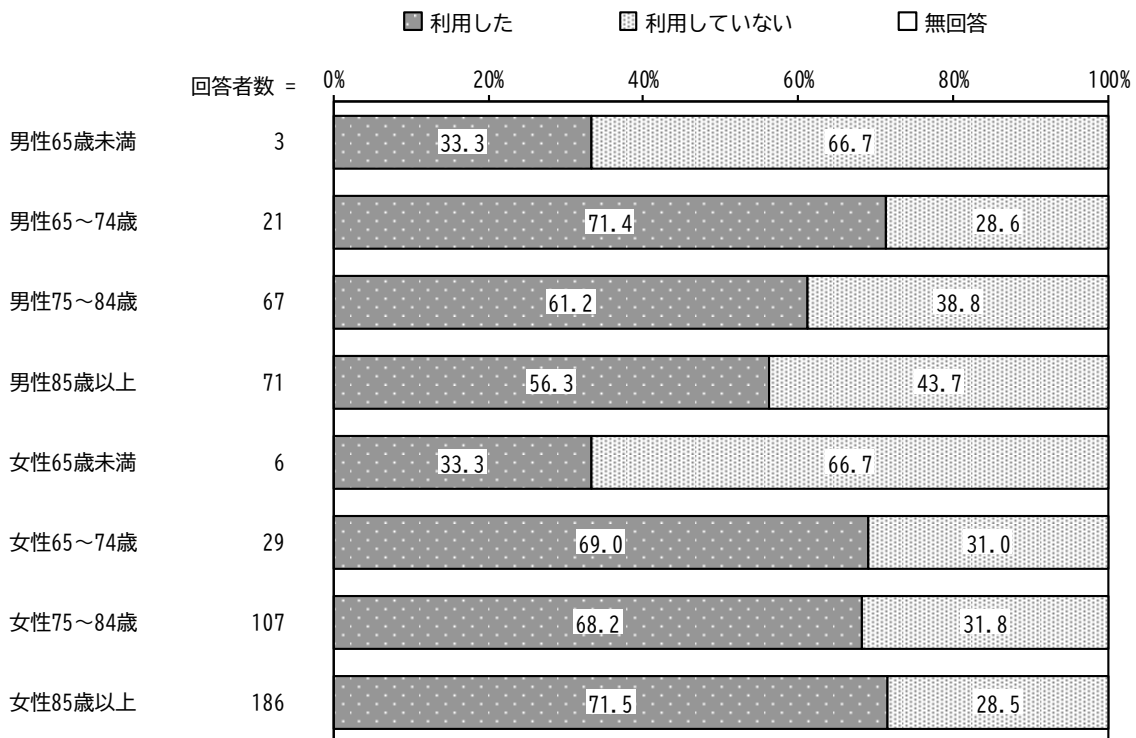
問9 令和7年11月の1か月の間に、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しましたか（1つを選択）

「利用した」の割合が66.1%、「利用していない」の割合が33.5%となっています。
 令和4年度と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。



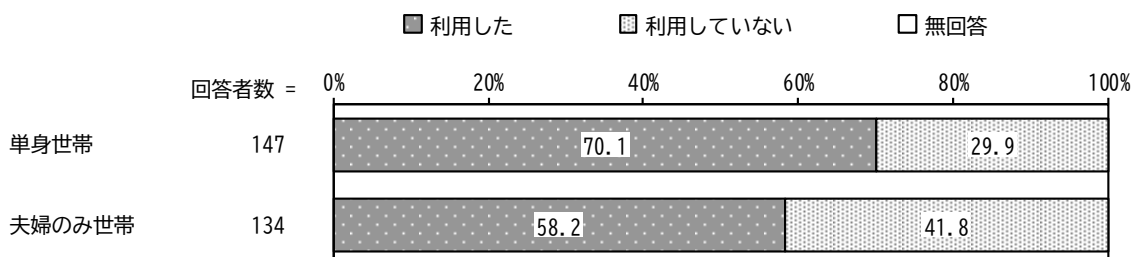
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では65～74歳から85歳以上まで年齢が上がるほど「利用していない」の割合が高くなっています。



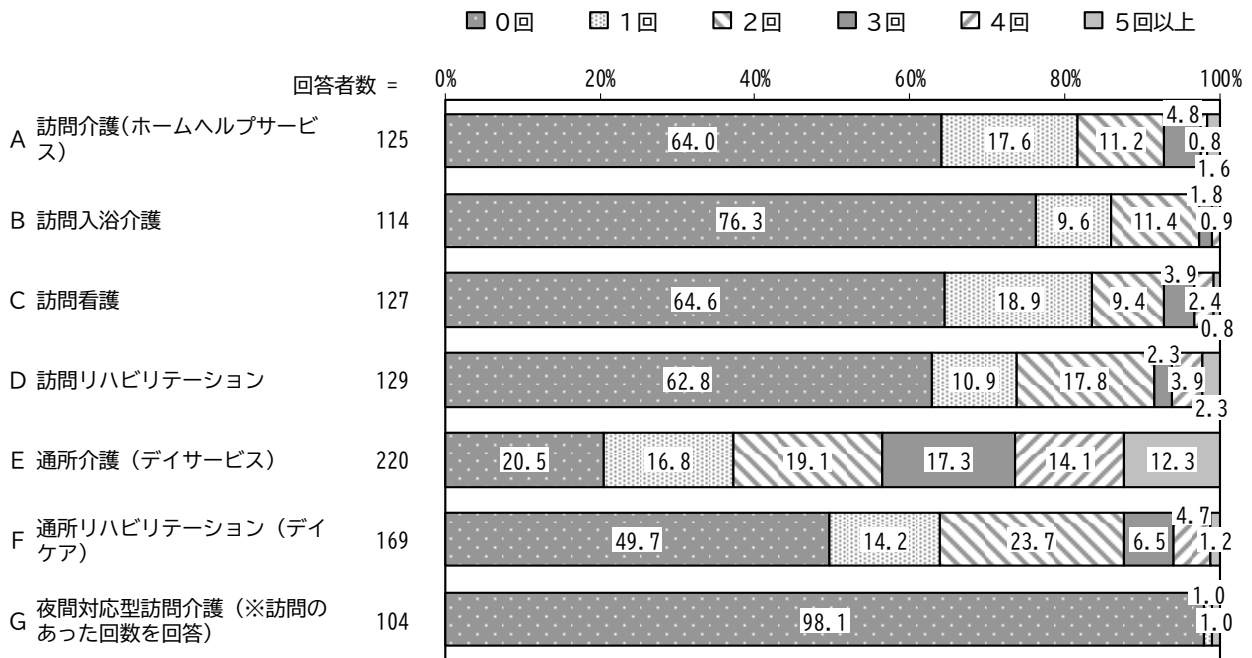
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、単身世帯で「利用した」の割合が高くなっています。



問10 【問9で「利用した」と回答した方のみ】以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をお答えください。（それぞれ1つに○）

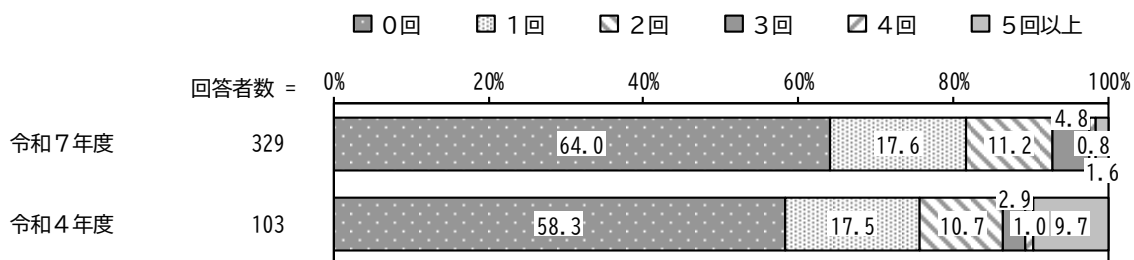
『G 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）』で「0回」が、『E 通所介護（デイサービス）』で「1回」「2回」「3回」「4回」「5回以上」が高くなっています。



A 訪問介護(ホームヘルプサービス)

【経年比較】

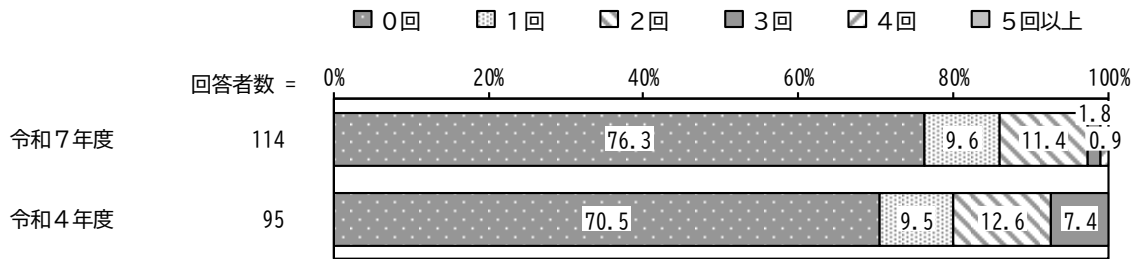
令和4年度と比較すると、「0回」の割合が増加しています。一方、「5回以上」の割合が減少しています。



B 訪問入浴介護

【経年比較】

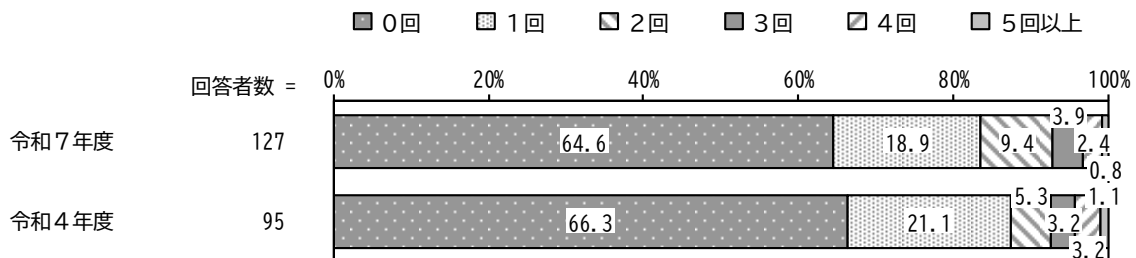
令和4年度と比較すると、「0回」の割合が増加しています。一方、「3回」の割合が減少しています。



C 訪問看護

【経年比較】

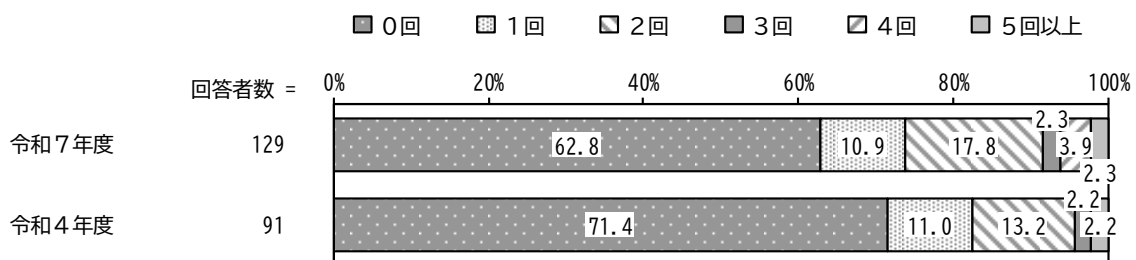
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



D 訪問リハビリテーション

【経年比較】

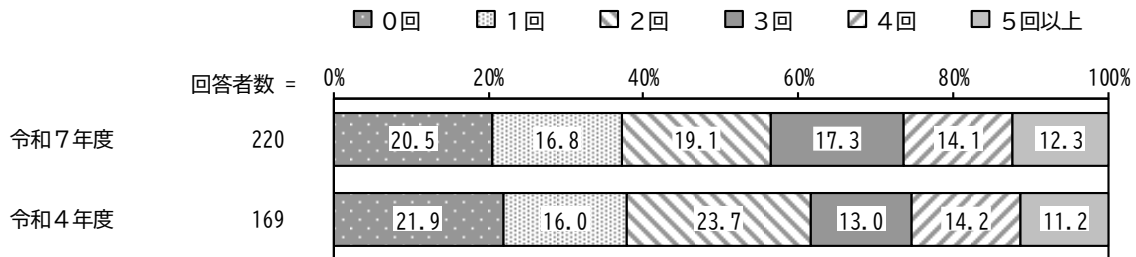
令和4年度と比較すると、「0回」の割合が減少しています。



E 通所介護（デイサービス）

【経年比較】

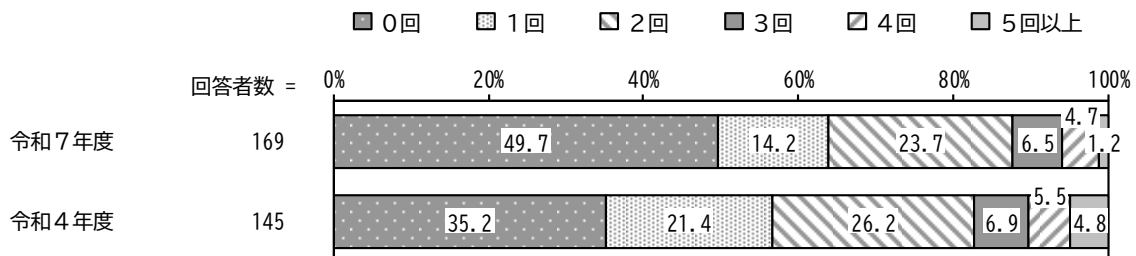
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



F 通所リハビリテーション（デイケア）

【経年比較】

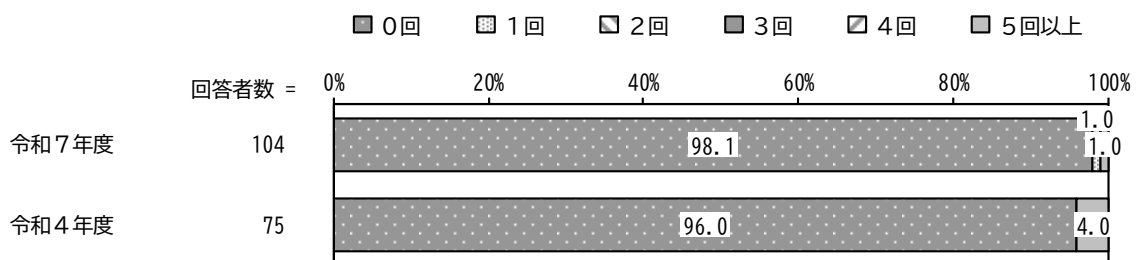
令和4年度と比較すると、「0回」の割合が増加しています。一方、「1回」の割合が減少しています。



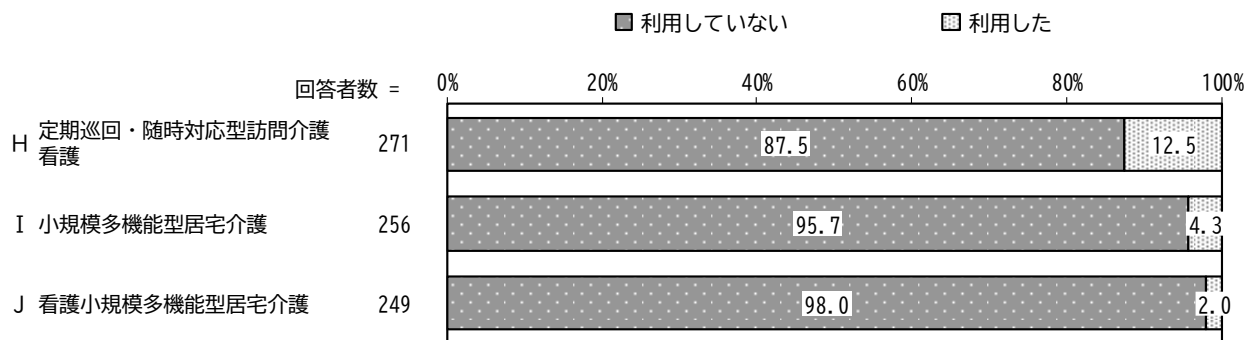
G 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）

【経年比較】

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



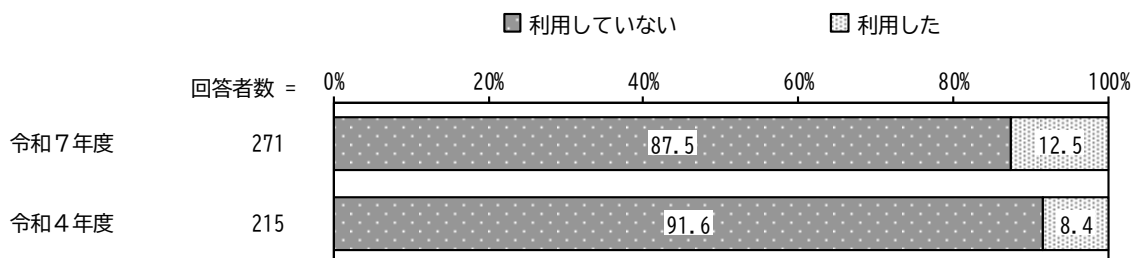
『H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護』で「利用した」が高くなっています。



H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

【経年比較】

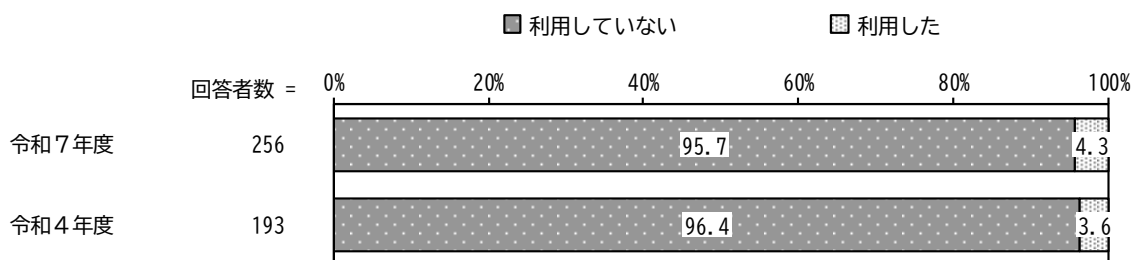
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



I 小規模多機能型居宅介護

【経年比較】

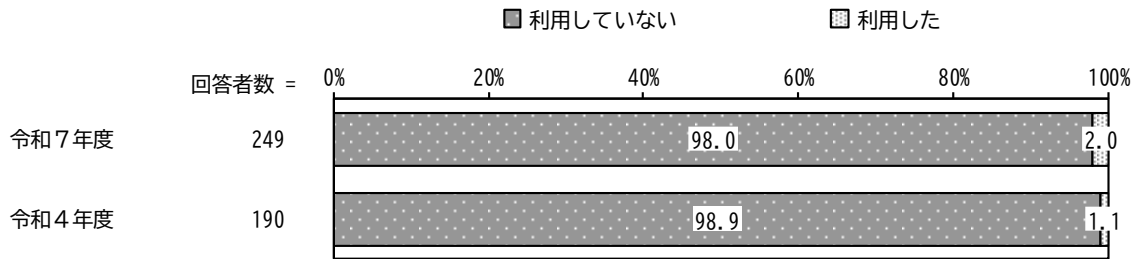
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



J 看護小規模多機能型居宅介護

【経年比較】

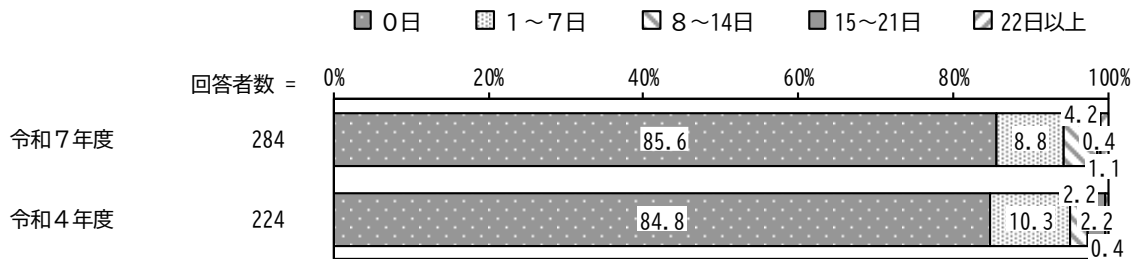
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



K ショートステイ

「0日」の割合が85.6%と最も高くなっています。

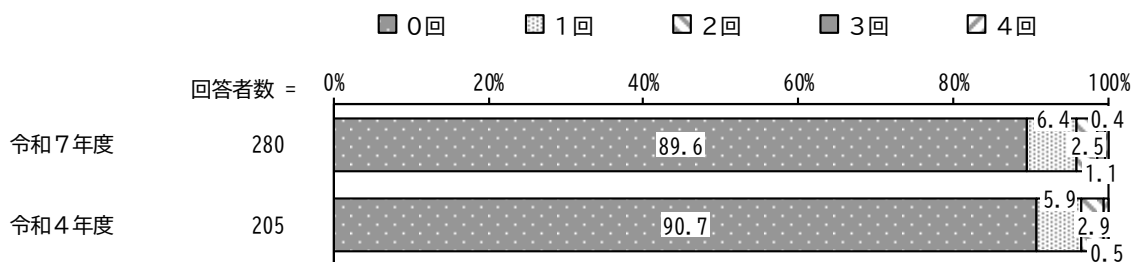
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



L 居宅療養管理指導

「0回」の割合が89.6%と最も高くなっています。

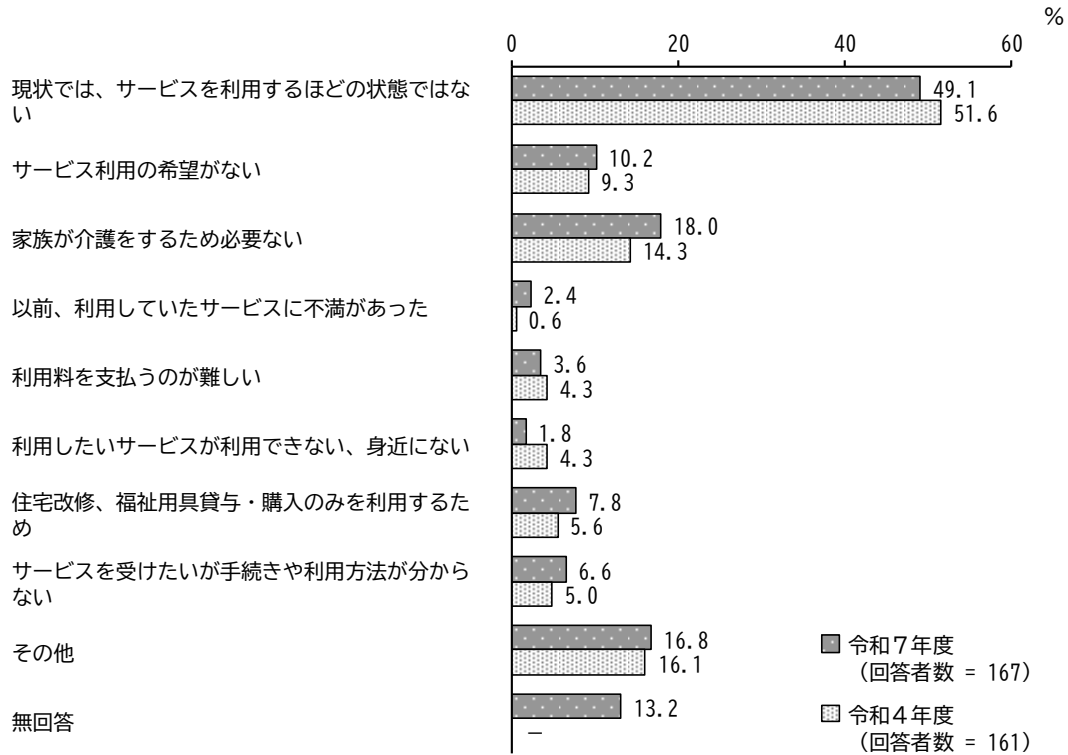
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



問11 【問9で「利用していない」と回答した方のみ】介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

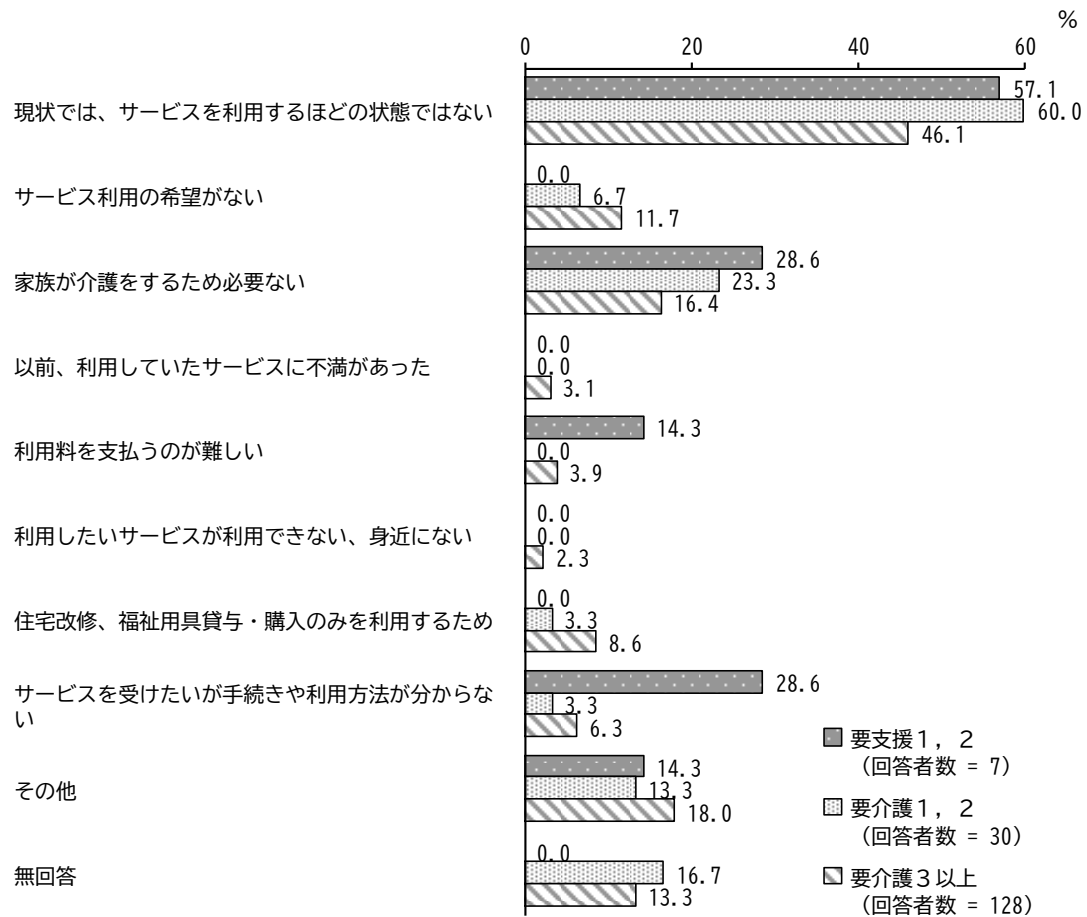
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が49.1%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」の割合が18.0%、「サービス利用の希望がない」の割合が10.2%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



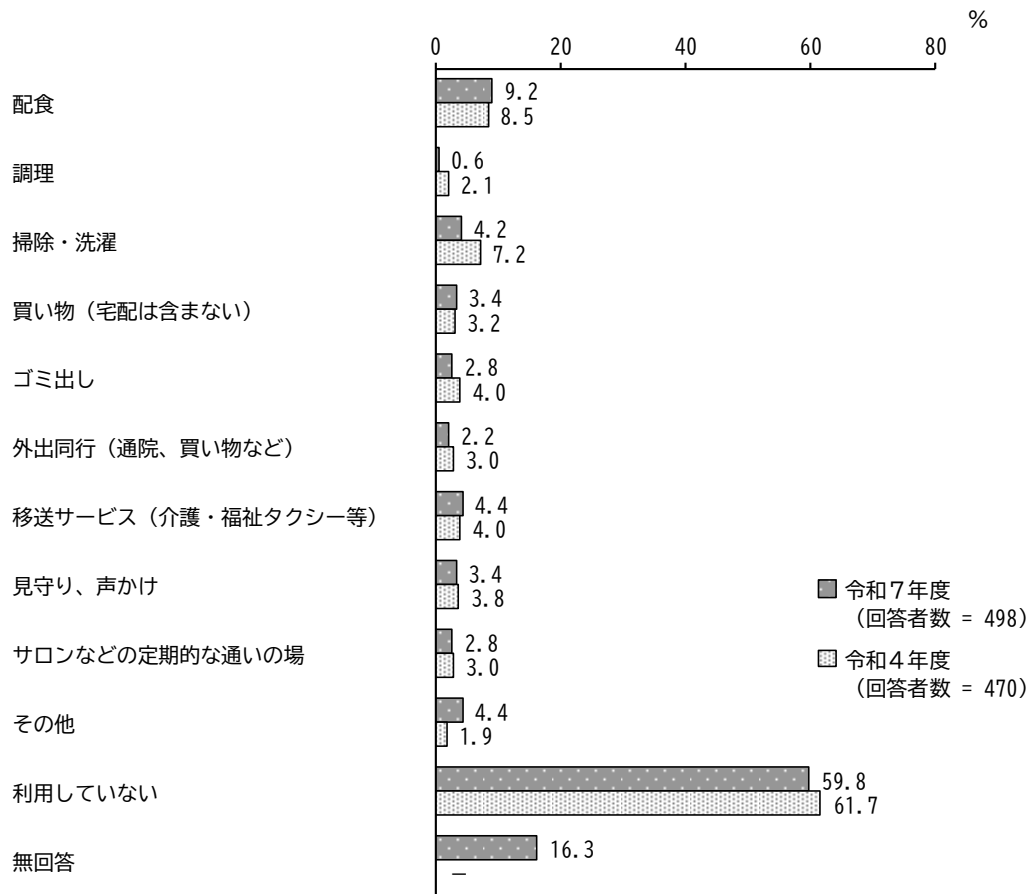
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「サービス利用の希望がない」の割合が高く、「家族が介護をするため必要ない」の割合が低くなっています。また、要介護1, 2で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「家族が介護をするため必要ない」の割合が高く、要介護3以上で「サービス利用の希望がない」「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」の割合が高くなっています。



問12 現在、利用している、「介護保険サービス以外」（市のサービス、民間サービス）の支援・サービスについて、お答えください（いくつでも）

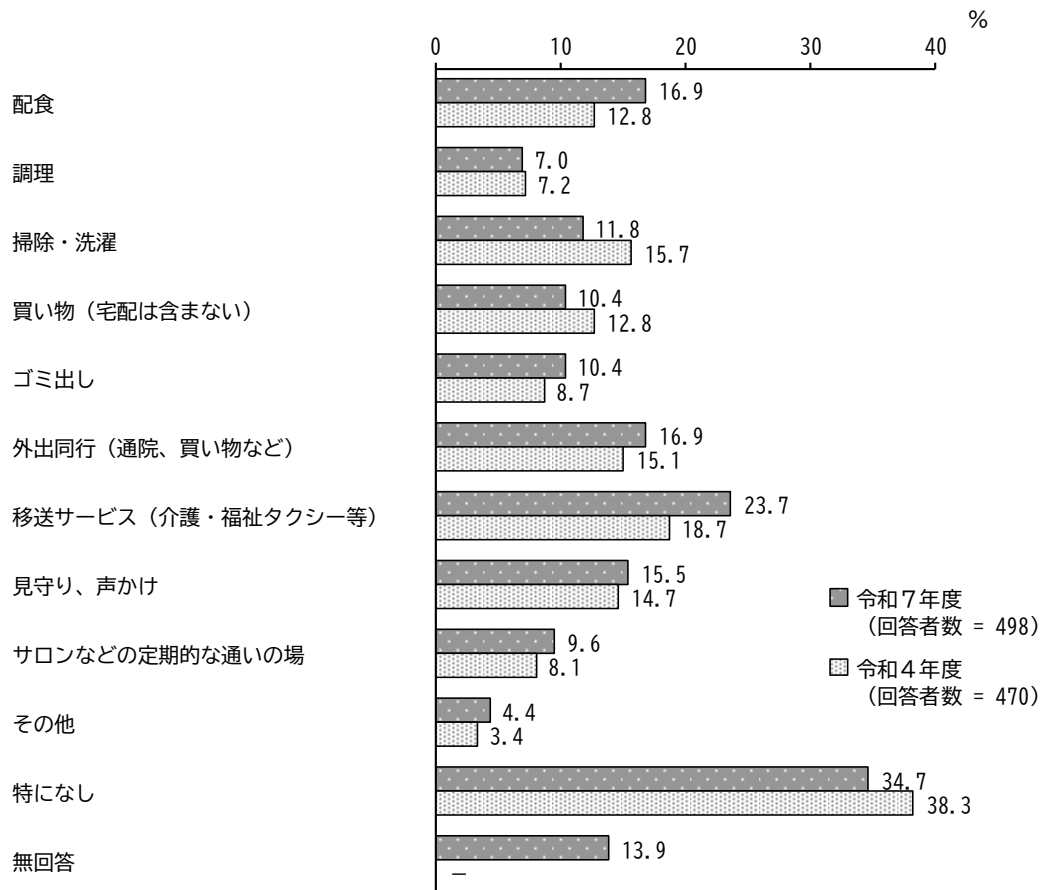
「配食」の割合が9.2%と最も高くなっています。
 令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



問13 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、お答えください（いくつでも）

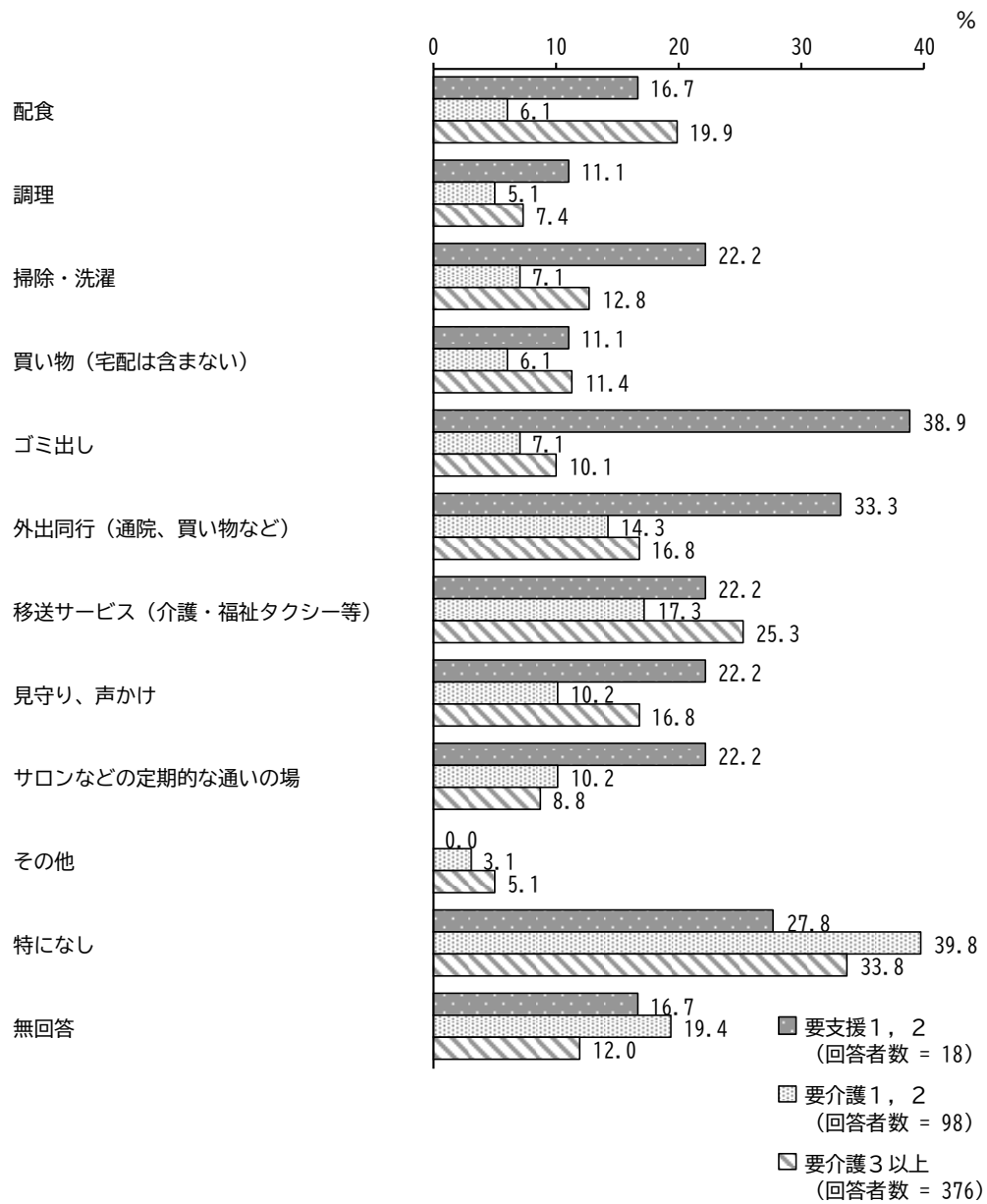
「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が23.7%と最も高く、次いで「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が16.9%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



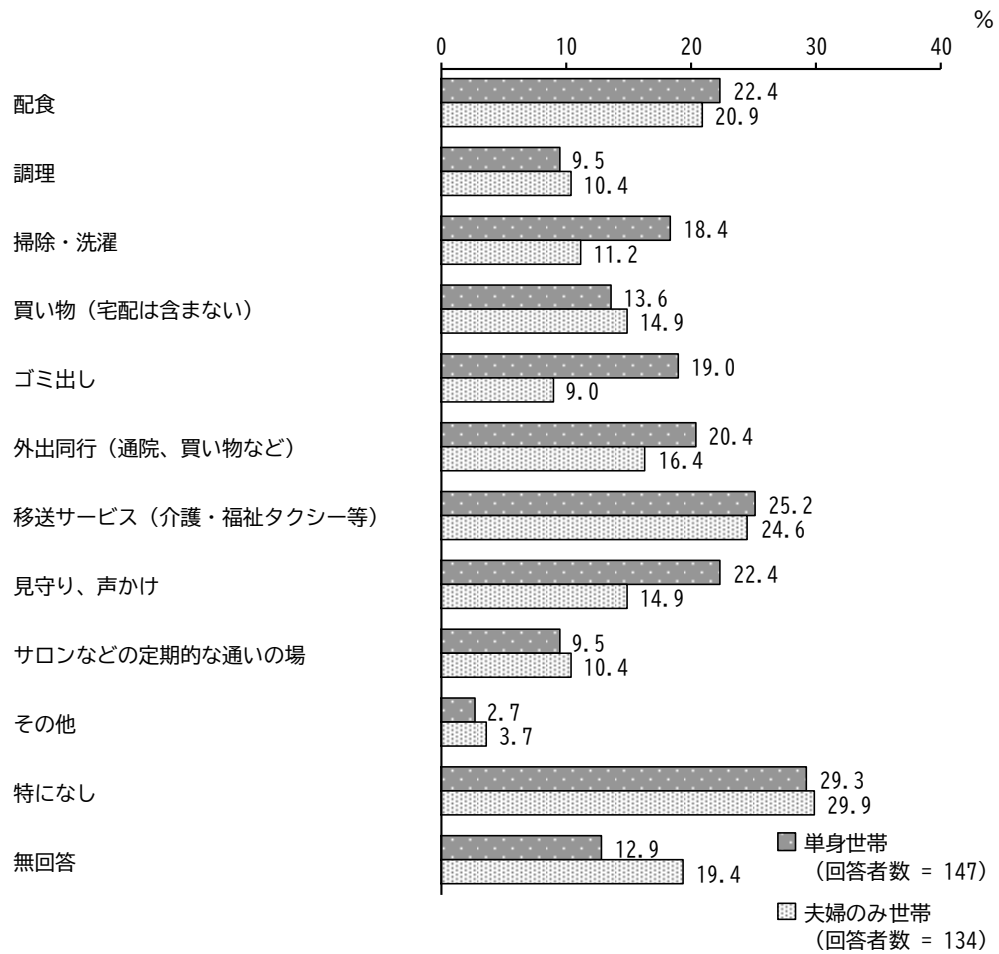
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が下がるほど「サロンなどの定期的な通いの場」の割合が高くなっています。



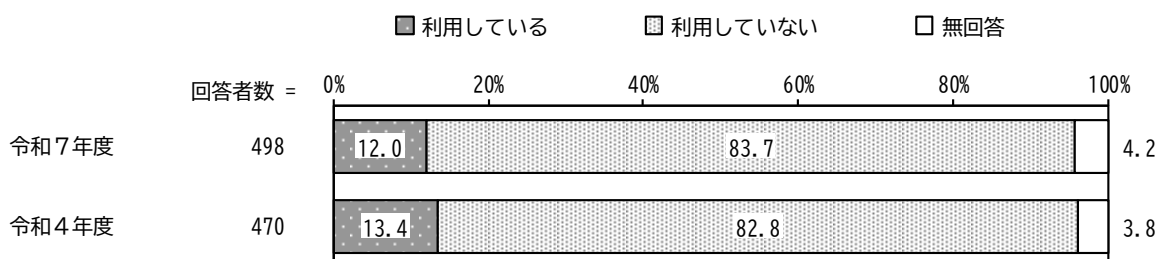
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、単身世帯で「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」の割合が高くなっています。



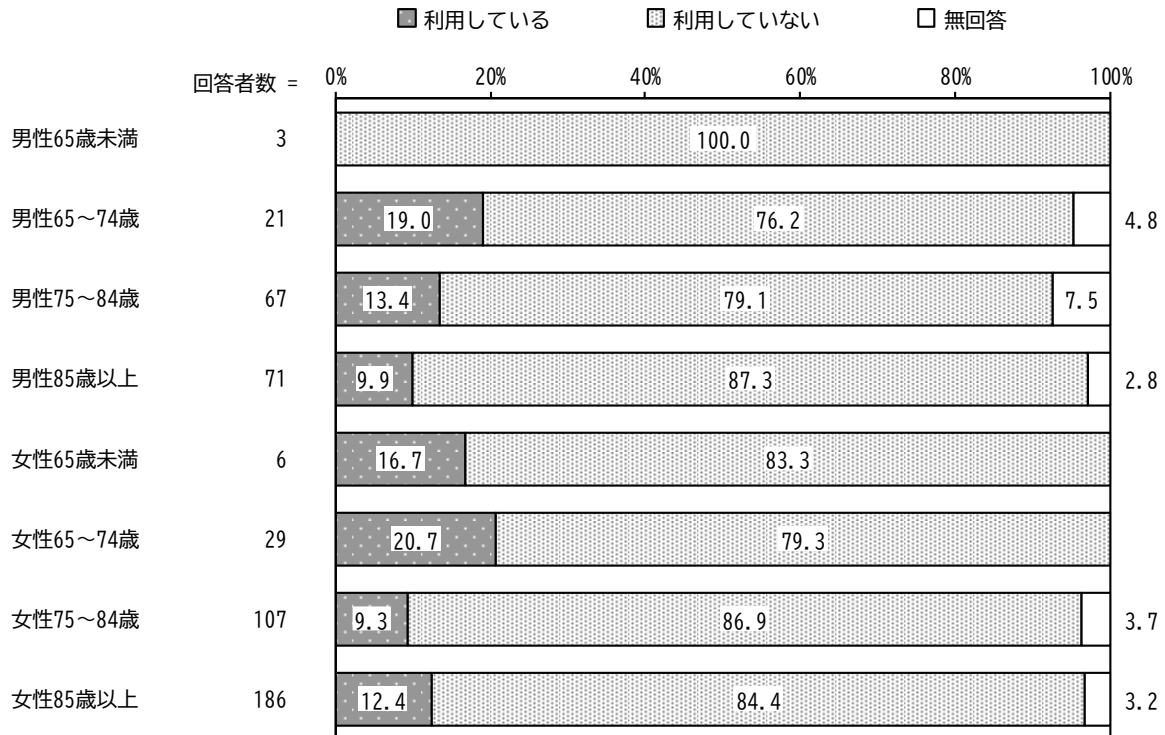
問 14 ご本人 (調査対象者) は、現在、訪問診療を利用していますか (1つを選択)

「利用している」の割合が12.0%、「利用していない」の割合が83.7%となっています。令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



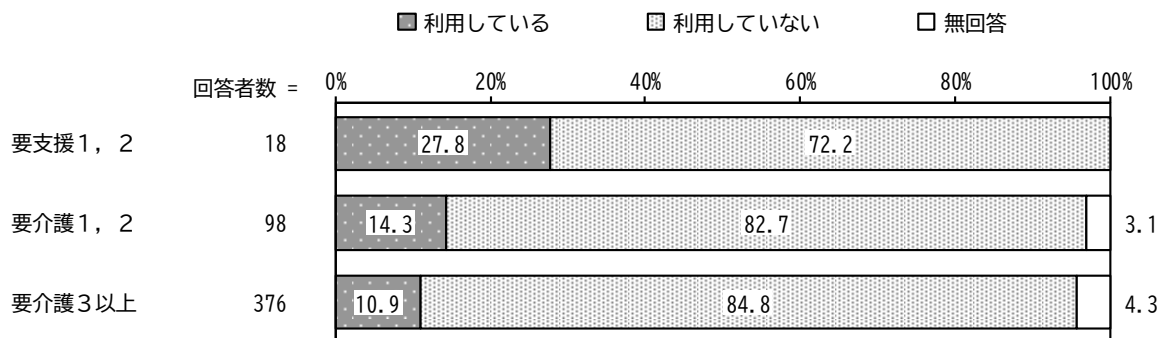
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では65～74歳から85歳以上まで年齢が上がるほど「利用していない」の割合が高くなっています。



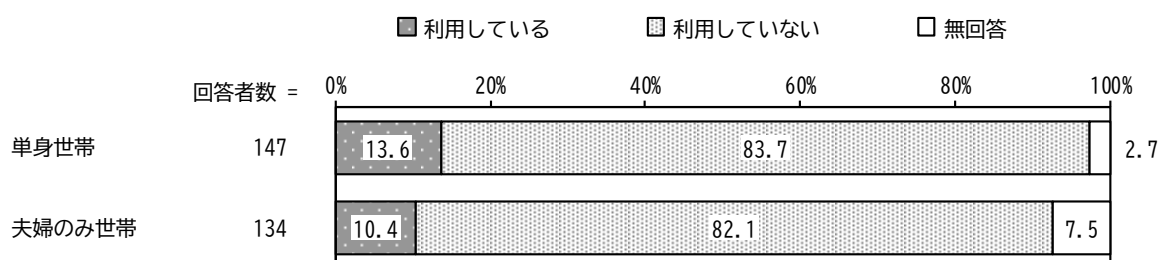
【要介護度区分別】

要介護度区別にみると、要介護度区分が上がるほど「利用していない」の割合が高くなっています。



【世帯区分別】

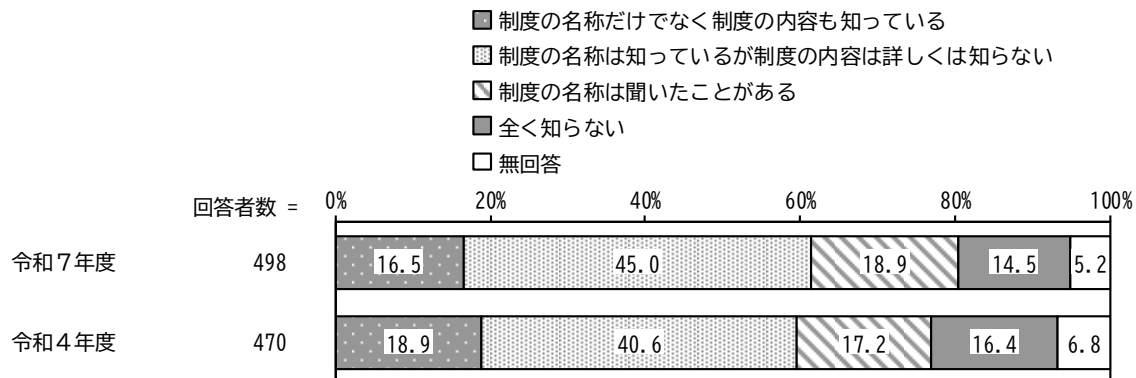
世帯区別にみると、大きな差はみられません。



問 15 成年後見制度を知っていますか（1つを選択）

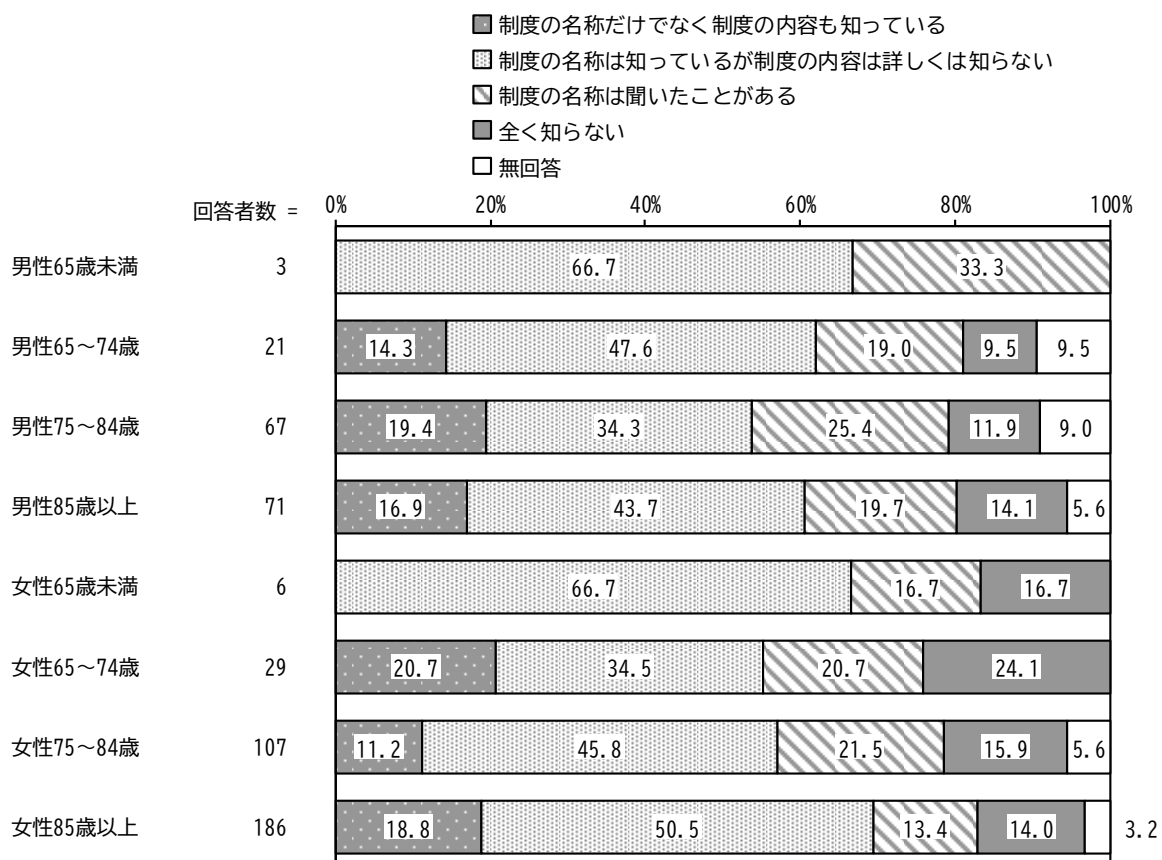
「制度の名称は知っているが制度の内容は詳しくは知らない」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「制度の名称は聞いたことがある」の割合が 18.9%、「制度の名称だけでなく制度の内容も知っている」の割合が 16.5%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



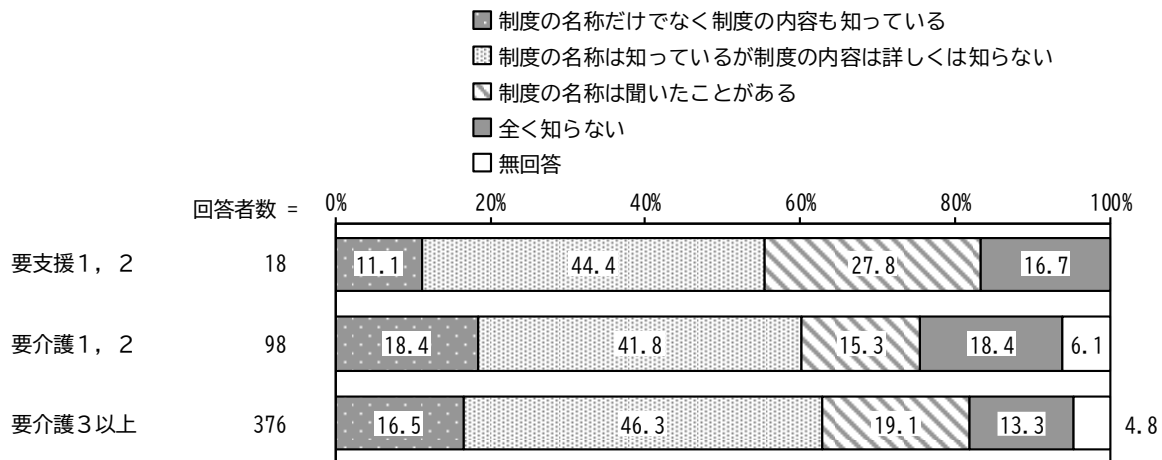
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「全く知らない」の割合が高く、女性では 65～74 歳から 85 歳以上まで年齢が上がるほど「制度の名称は知っているが制度の内容は詳しくは知らない」の割合が高く、「全く知らない」の割合が低くなっています。



【要介護度区分別】

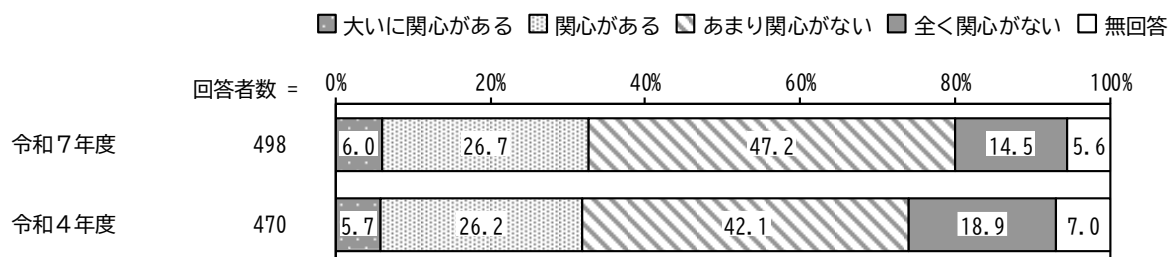
要介護度区分別にみると、要支援1，2で「制度の名称は聞いたことがある」の割合が高く、「制度の名称だけでなく制度の内容も知っている」の割合が低くなっています。



問 16 成年後見制度に関心がありますか（1つを選択）

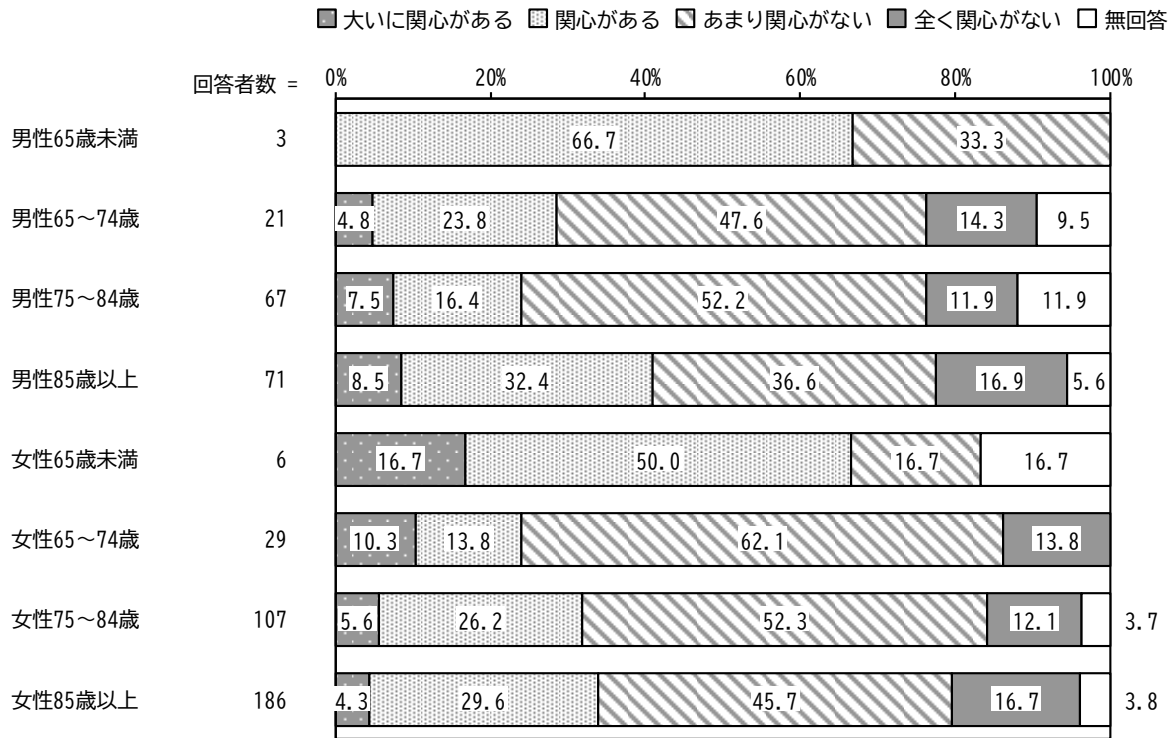
「大いに興味がある」「興味がある」を合わせた“興味がある”の割合が32.7%、「あまり興味がない」「全く興味がない」を合わせた“興味がない”の割合が61.7%となっています。

令和4年度と比較すると、「あまり興味がない」の割合が増加しています。



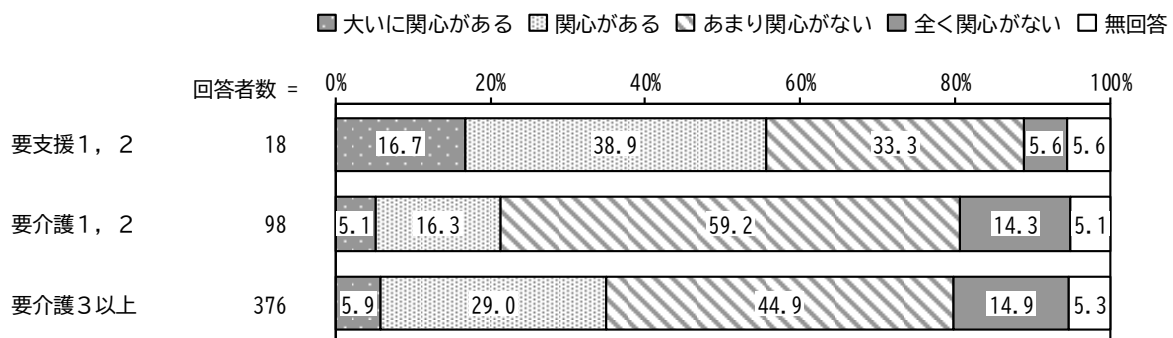
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では 65 歳未満から 75～84 歳まで年齢が上がるほど“関心がない”の割合が高く、女性では 65～74 歳から 85 歳以上まで年齢が上がるほど“関心がある”の割合が高くなっています。また、女性 65～74 歳で「あまり関心がない」の割合が高く、男性 75～84 歳、女性 65～74 歳で「関心がある」の割合が低くなっています。



【要介護度区分別】

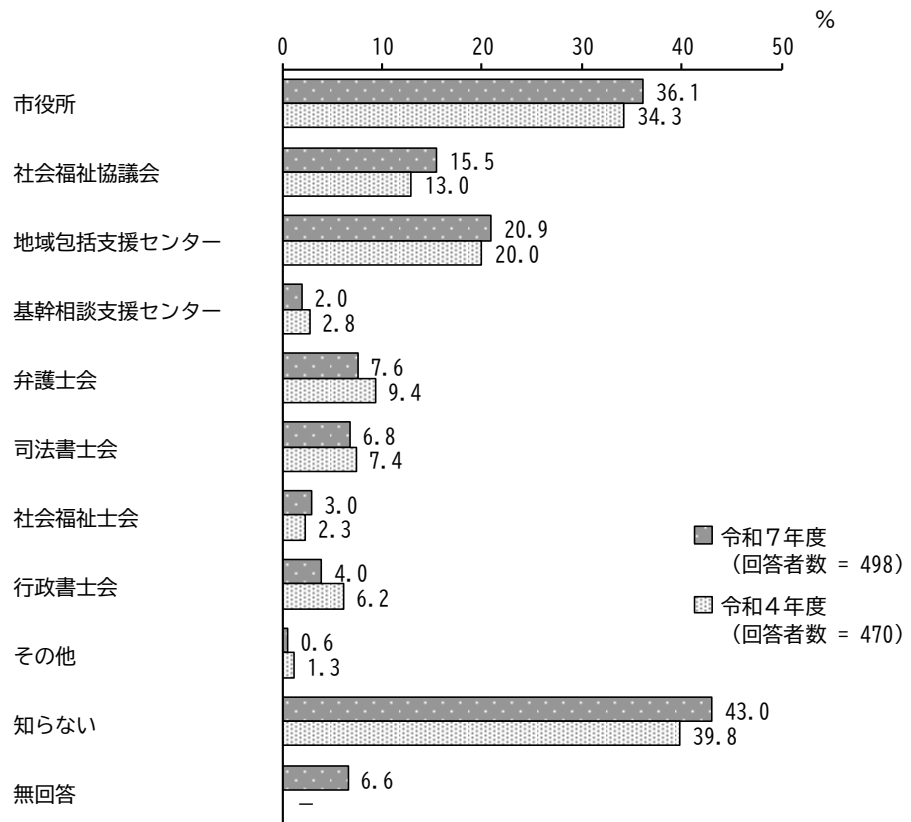
要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「全く関心がない」の割合が高くなっています。また、要介護 1，2 で「あまり関心がない」の割合が高くなっています。



問 17 成年後見制度の相談窓口として知っている窓口はありますか（いくつでも）

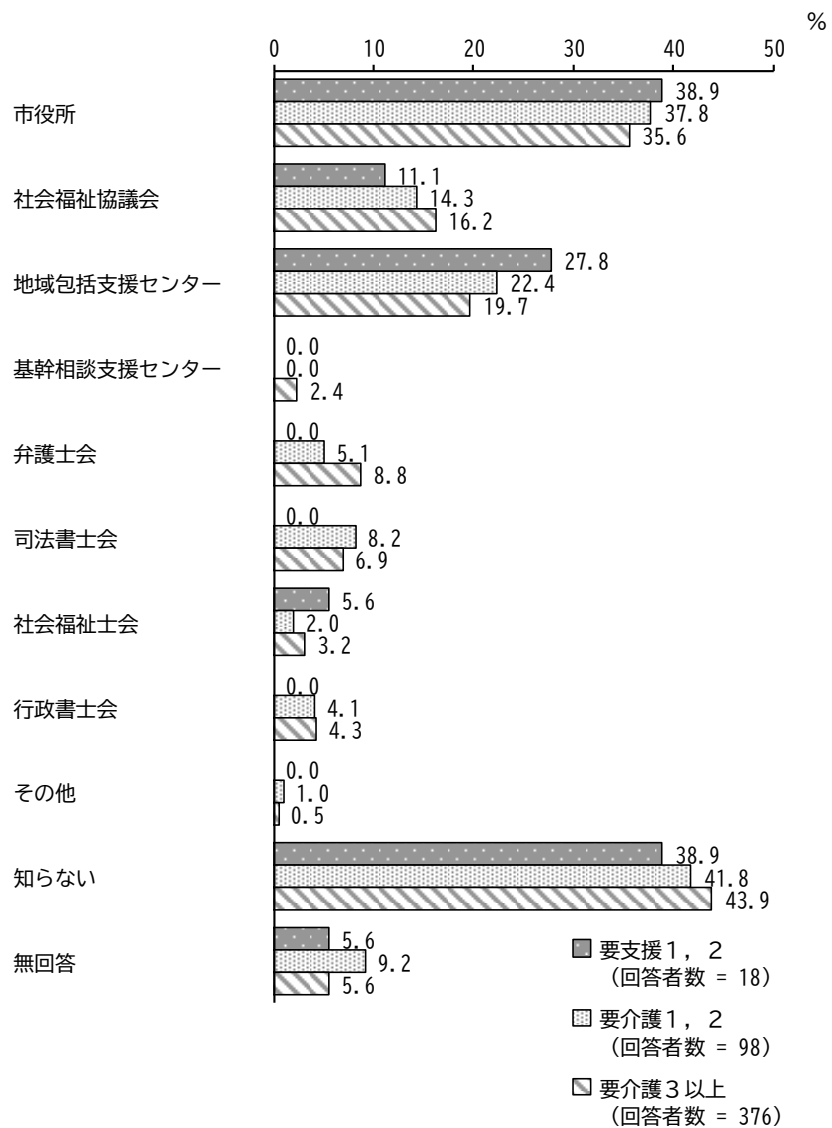
「市役所」の割合が36.1%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が20.9%、「社会福祉協議会」の割合が15.5%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【要介護度区分別】

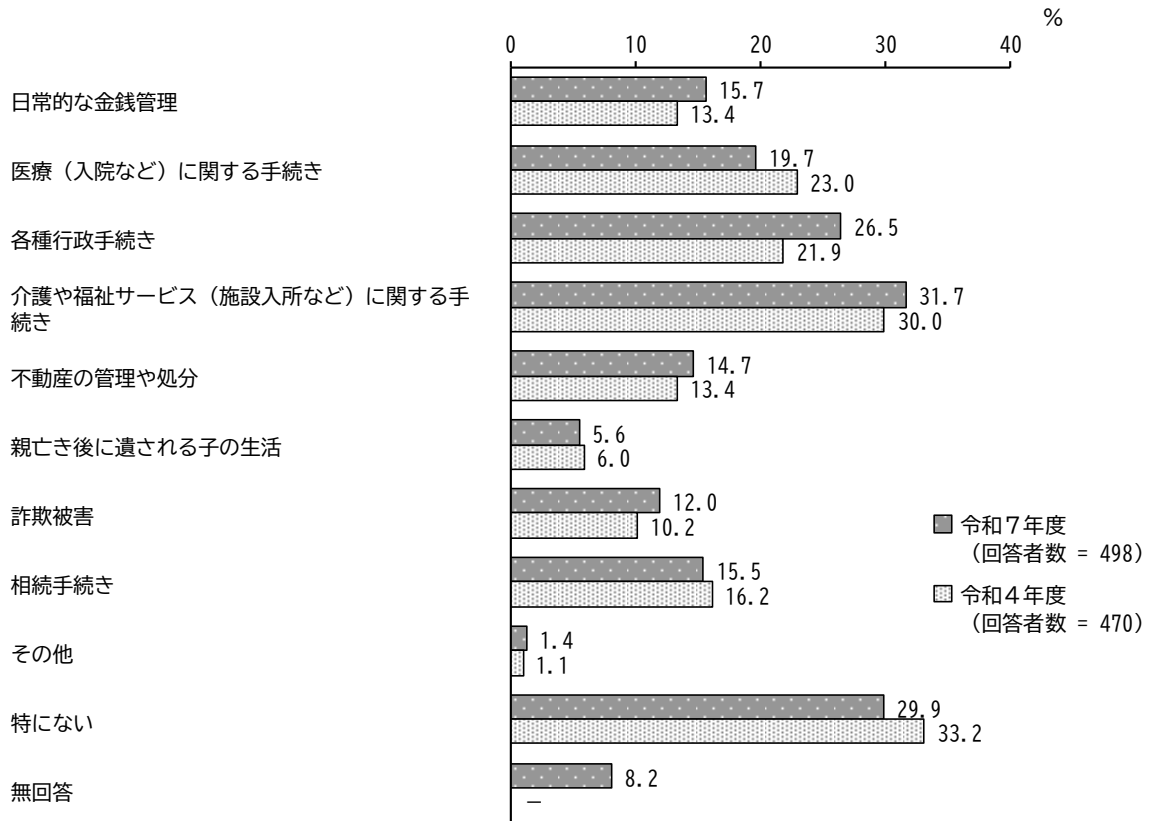
要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「社会福祉協議会」の割合が高く、「地域包括支援センター」の割合が低くなっています。



問 18 日常生活の中で将来不安に感じると思われることがありますか（いくつでも）

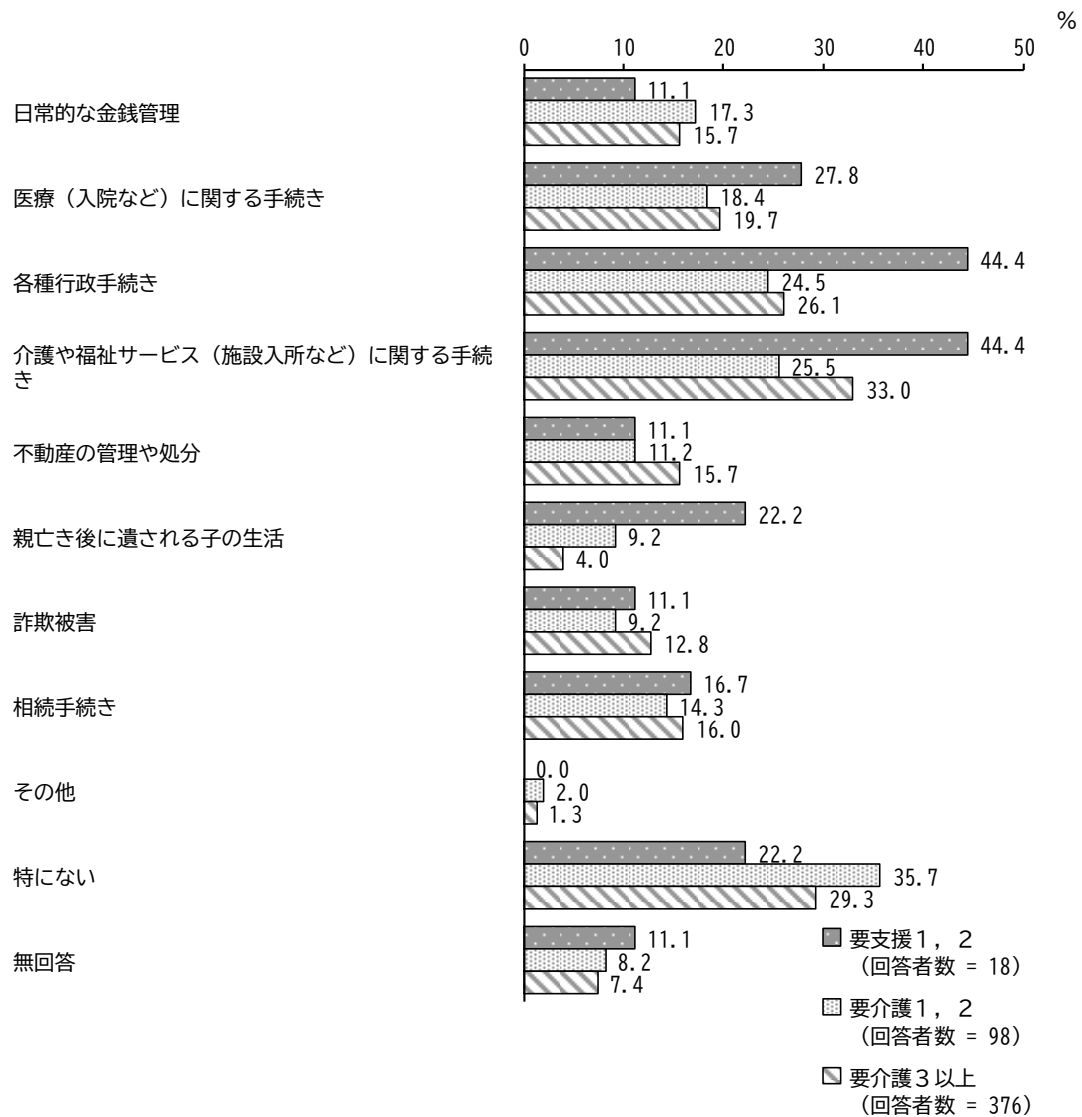
「介護や福祉サービス（施設入所など）に関する手続き」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「各種行政手続き」の割合が 26.5%、「医療（入院など）に関する手続き」の割合が 19.7%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



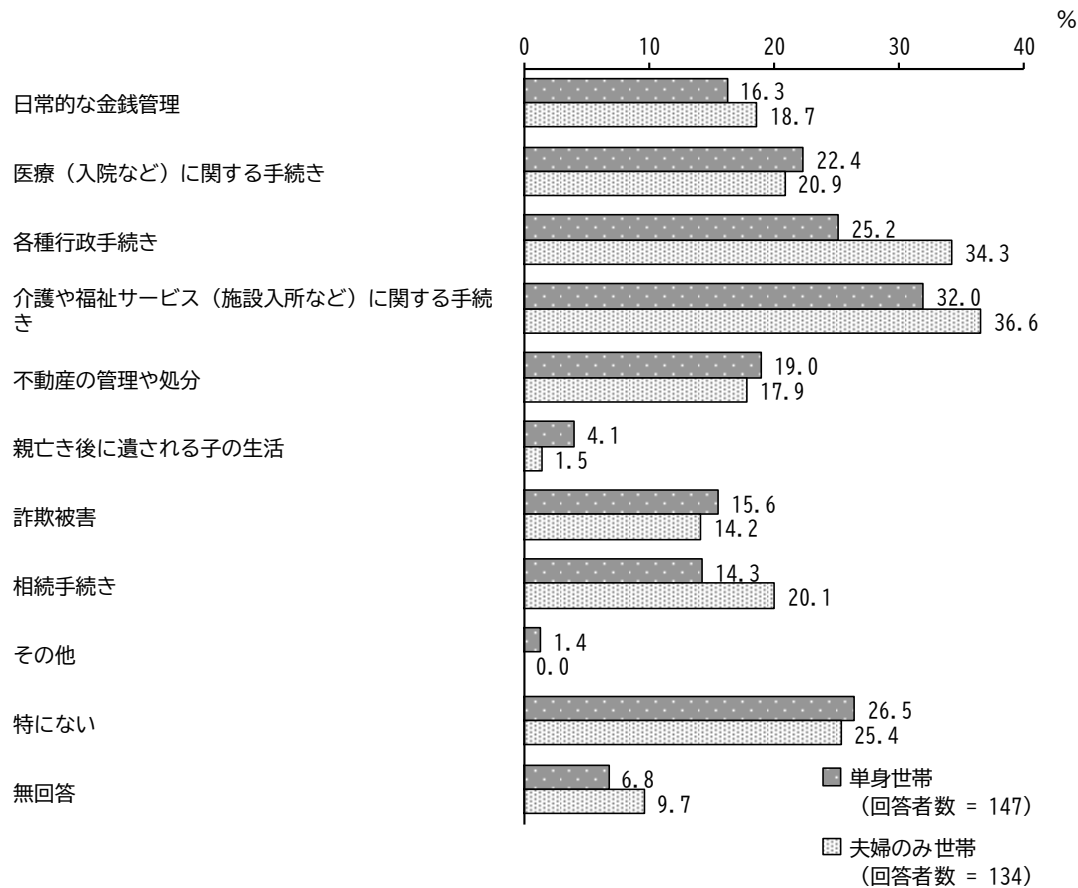
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「不動産の管理や処分」の割合が高く、「親亡き後に遺される子の生活」の割合が低くなっています。



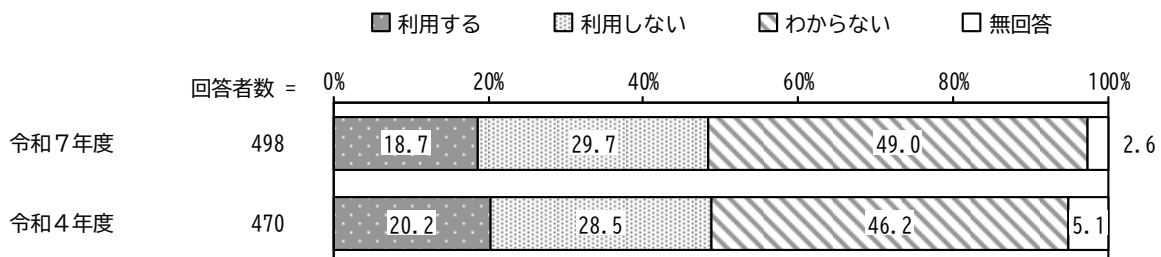
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、夫婦のみ世帯で「各種行政手続き」「相続手続き」の割合が高くなっています。



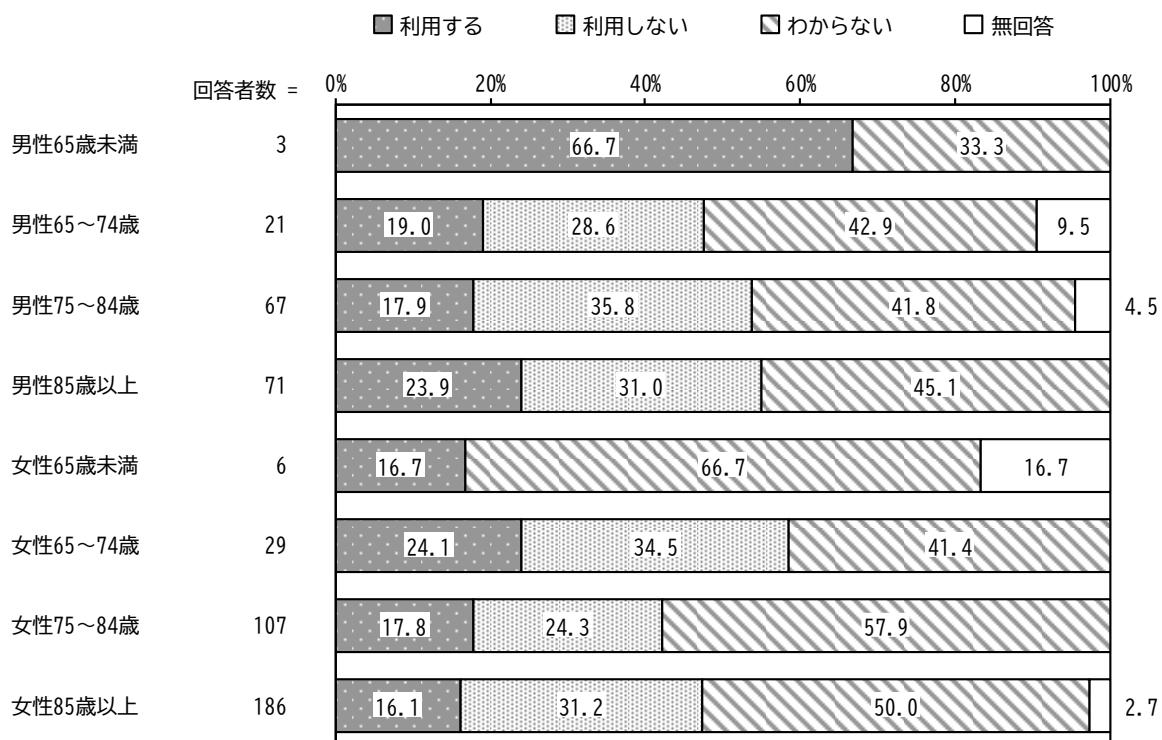
問 19 あなた自身や家族が認知症などで判断が十分にできなくなった場合に成年後見制度を利用したいと思いますか（1つを選択）

「利用する」の割合が18.7%、「利用しない」の割合が29.7%となっています。
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



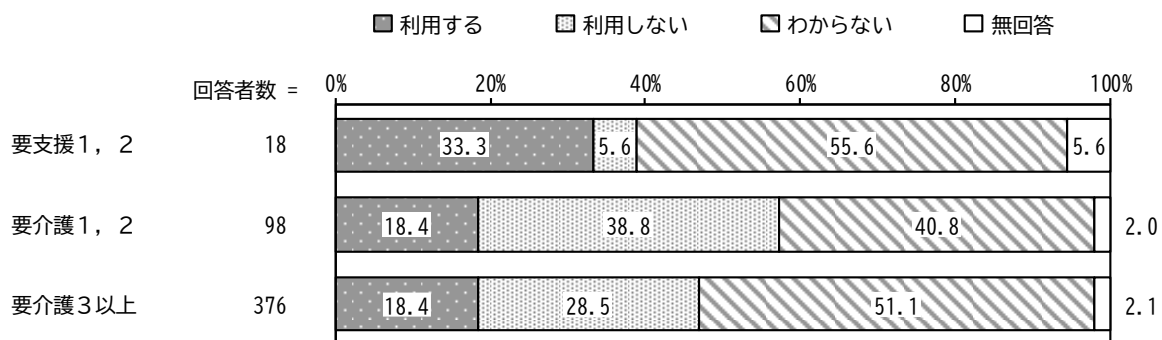
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では65歳未満から75～84歳まで年齢が上がるほど「利用しない」の割合が高く、女性では65～74歳から85歳以上まで年齢が上がるほど「利用する」の割合が低くなっています。



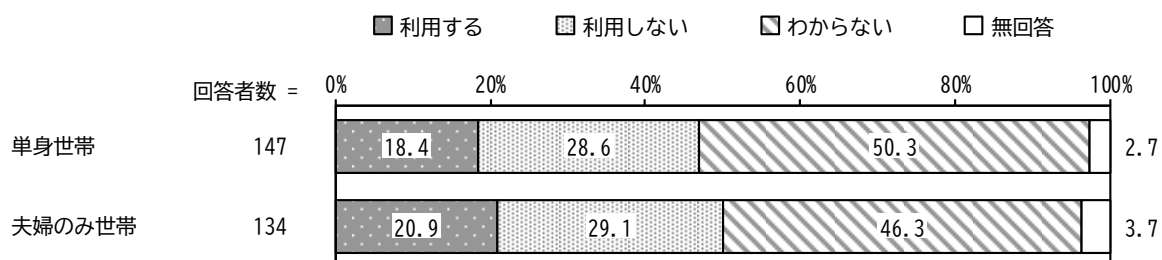
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要支援1，2で「利用する」の割合が高くなっています。



【世帯区分別】

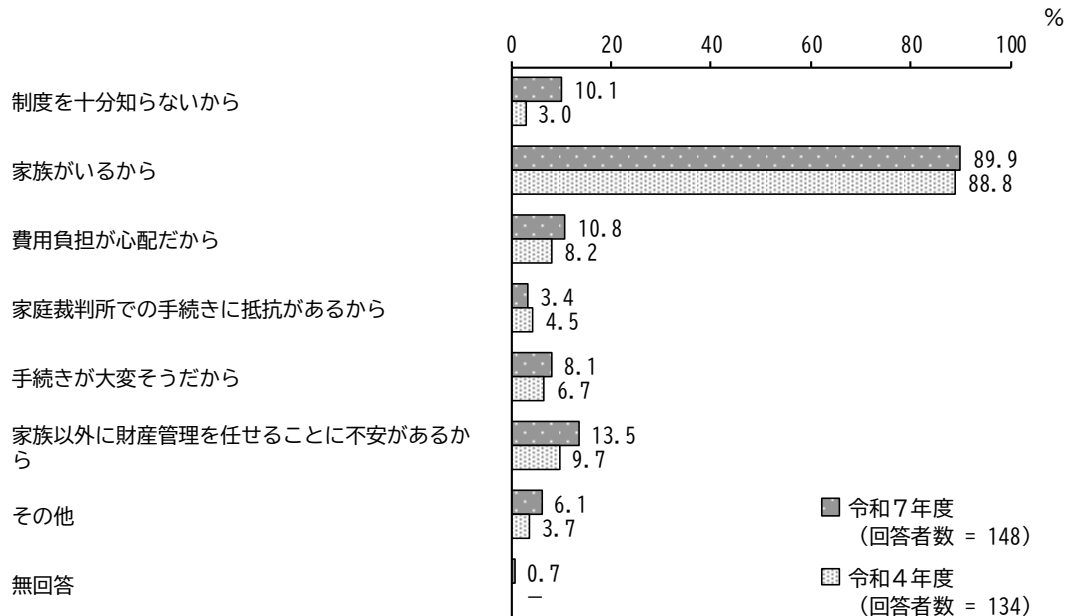
世帯区分別にみると、大きな差はみられません。



問20 【問19で「利用しない」と回答した方のみ】制度を利用しない理由は何ですか。(いくつかつでも)

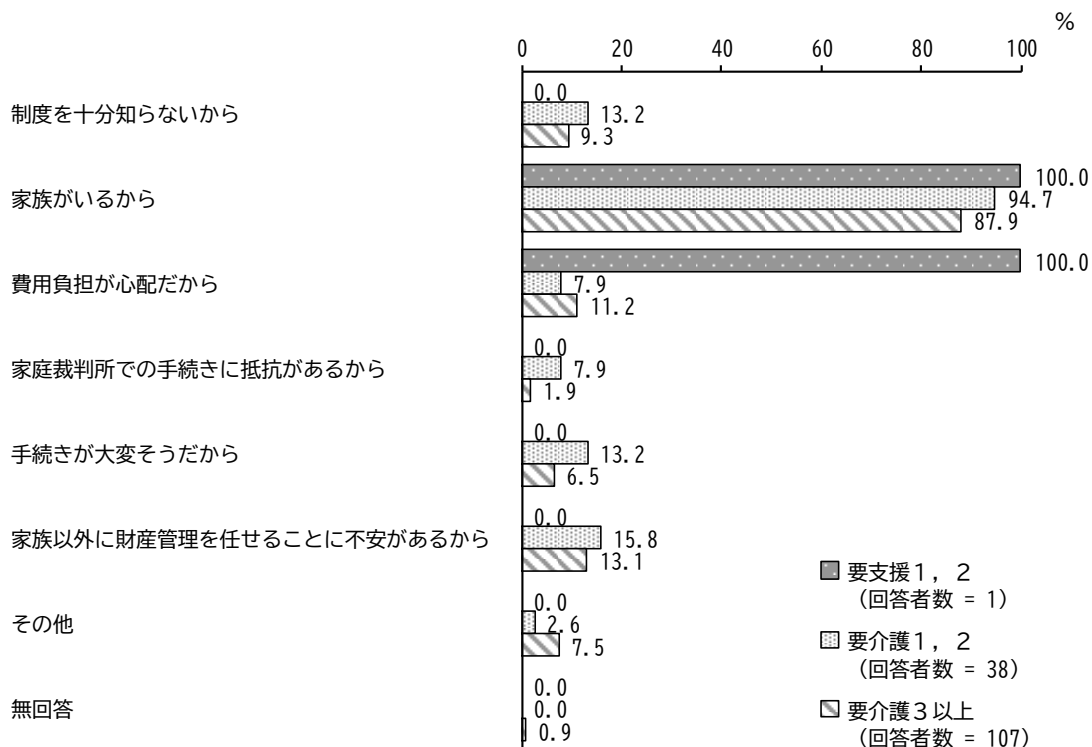
「家族がいるから」の割合が89.9%と最も高く、次いで「家族以外に財産管理を任せることに不安があるから」の割合が13.5%、「費用負担が心配だから」の割合が10.8%となっています。

令和4年度と比較すると、「制度を十分知らないから」の割合が増加しています。



【要介護度区分別】

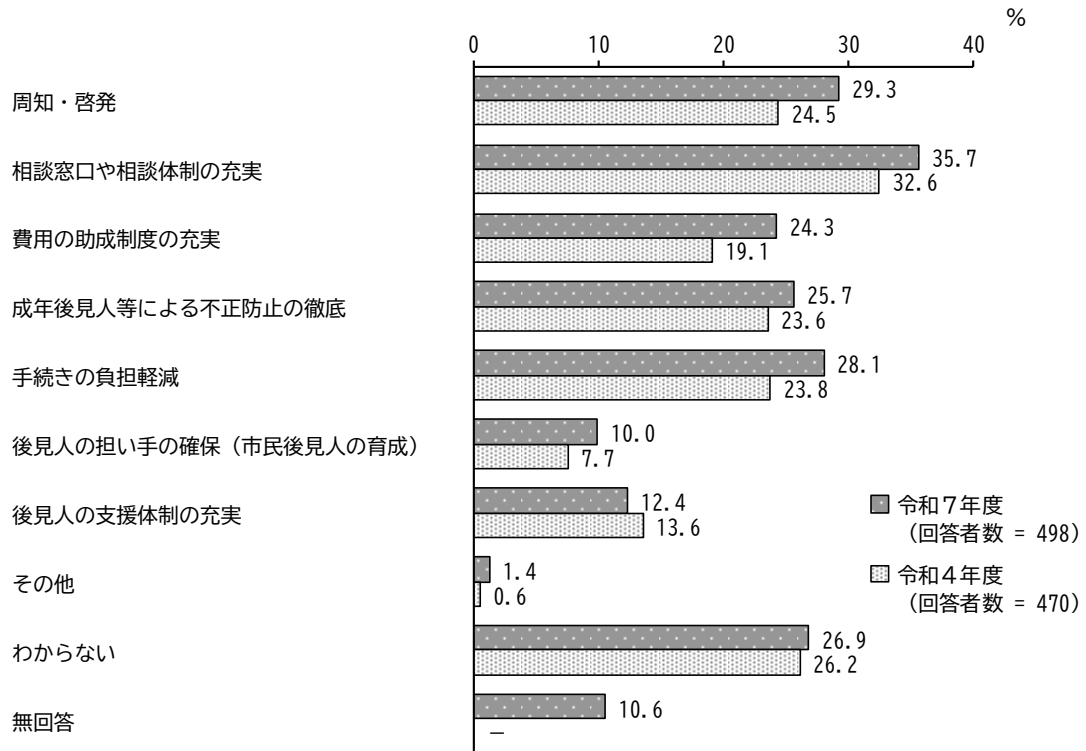
要介護度区分別にみると、要介護3以上から要介護1, 2まで要介護度区分が下がるほど「制度を十分知らないから」「家族がいるから」「手続きが大変そうだから」「家族以外に財産管理を任せることに不安があるから」の割合が高く、「費用負担が心配だから」の割合が低くなっています。また、要介護1, 2で「家族がいるから」「家庭裁判所での手続きに抵抗があるから」「手続きが大変そうだから」の割合が高くなっています。



問 21 成年後見制度の利用の促進を図るためにはどのようなことが必要だと思いますか
(いくつでも)

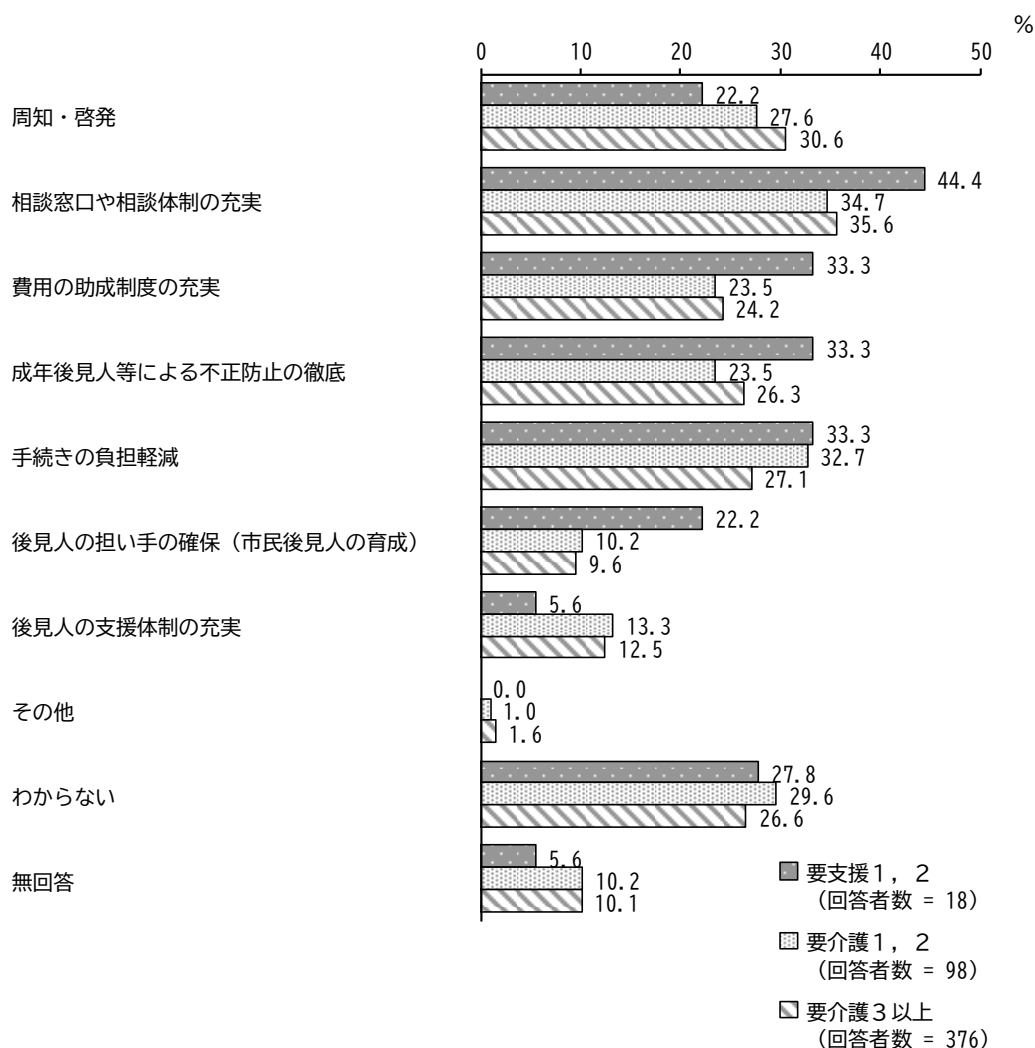
「相談窓口や相談体制の充実」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「周知・啓発」の割合が 29.3%、「手続きの負担軽減」の割合が 28.1%となっています。

令和4年度と比較すると、「費用の助成制度の充実」の割合が増加しています。



【要介護度区分別】

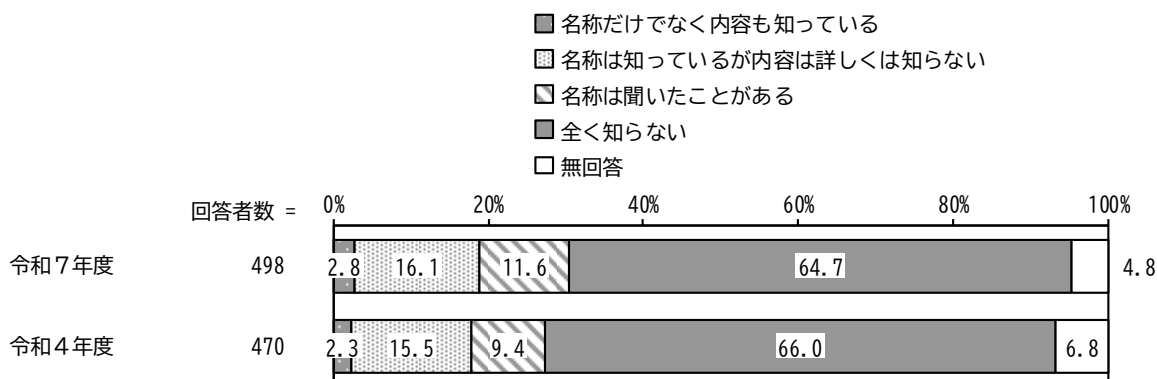
要介護度区分別にみると、要介護度区分が下がるほど「手続きの負担軽減」「後見人の担い手の確保（市民後見人の育成）」の割合が高く、「周知・啓発」の割合が低くなっています。



問 22 市民後見人について知っていますか（1つを選択）

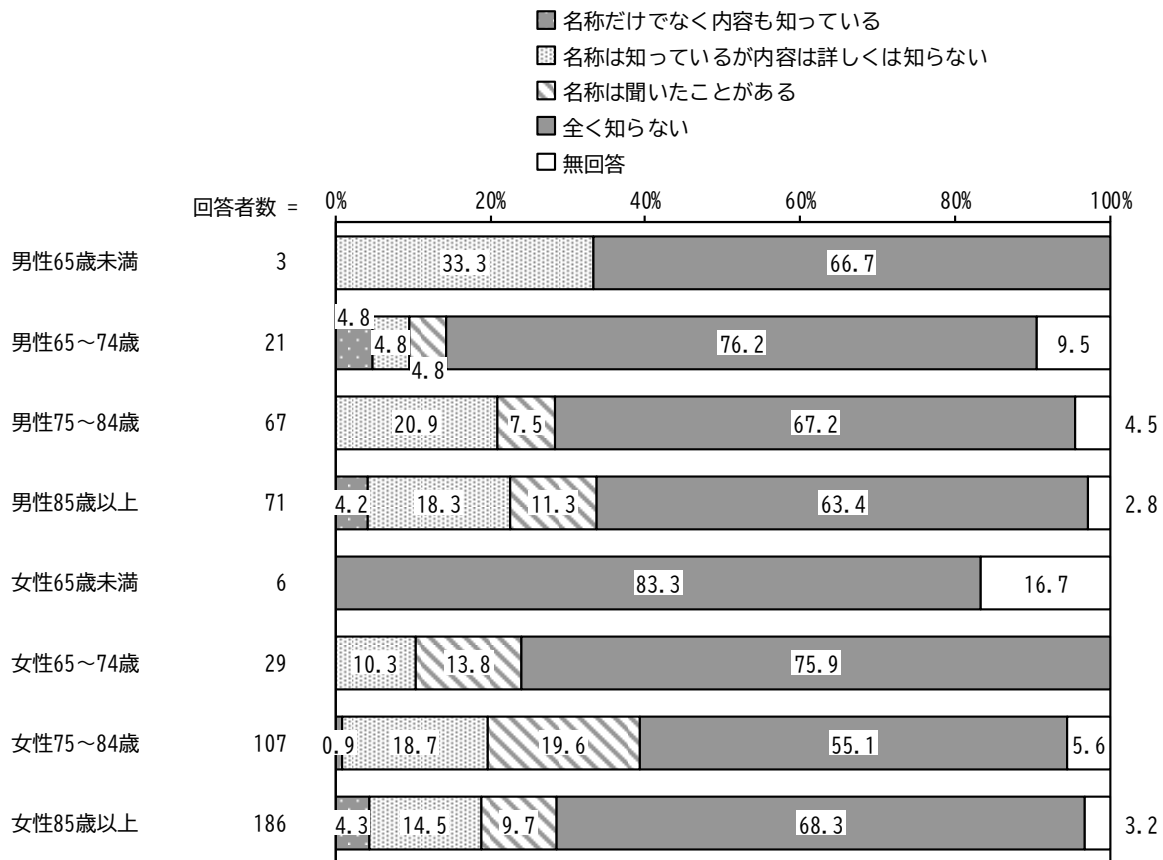
「全く知らない」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「名称は知っているが内容は詳しくは知らない」の割合が 16.1%、「名称は聞いたことがある」の割合が 11.6%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



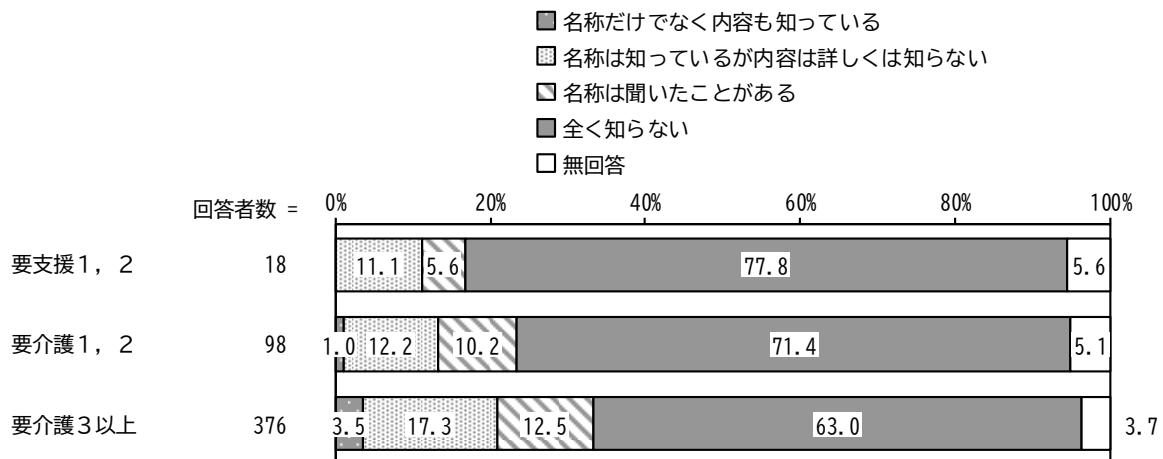
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「名称は聞いたことがある」の割合が高く、女性では65歳未満から75～84歳まで年齢が上がるほど「名称は知っているが内容は詳しくは知らない」「名称は聞いたことがある」の割合が高く、「全く知らない」の割合が低くなっています。



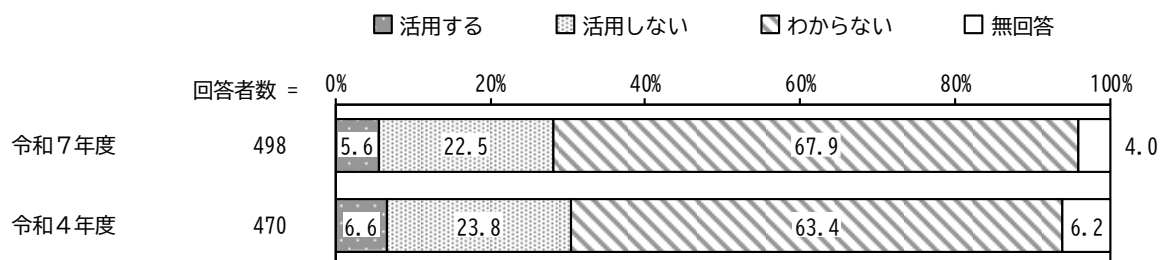
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「名称は知っているが内容は詳しくは知らない」「名称は聞いたことがある」の割合が高く、「全く知らない」の割合が低くなっています。



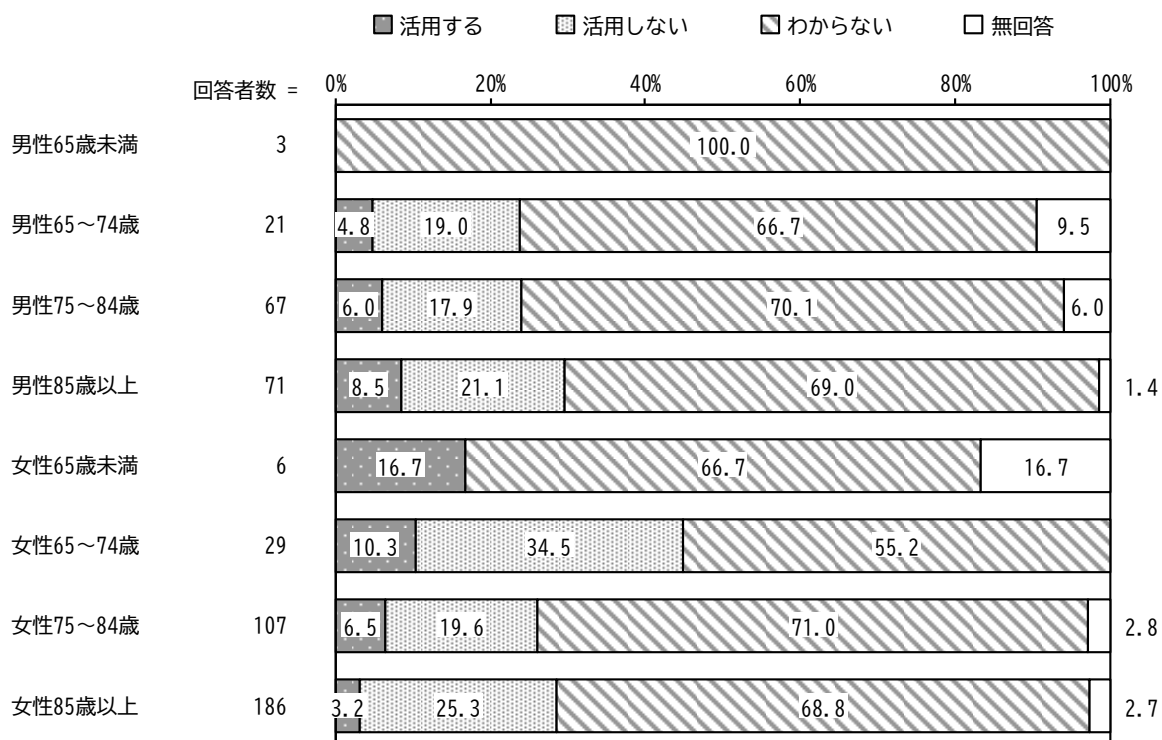
問 23 あなた自身や家族が成年後見制度を利用することになった場合に市民後見人を活用したいと思いますか（1つを選択）

「活用する」の割合が5.6%、「活用しない」の割合が22.5%となっています。
令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



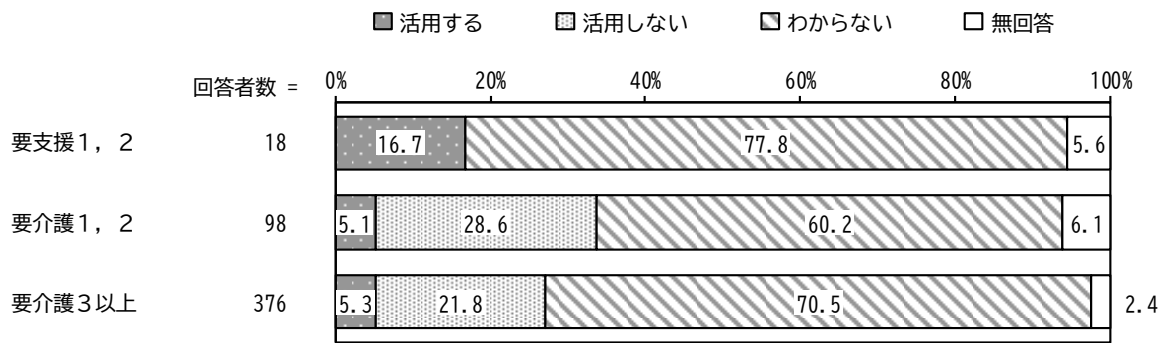
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が下がるほど「活用する」の割合が高くなっています。



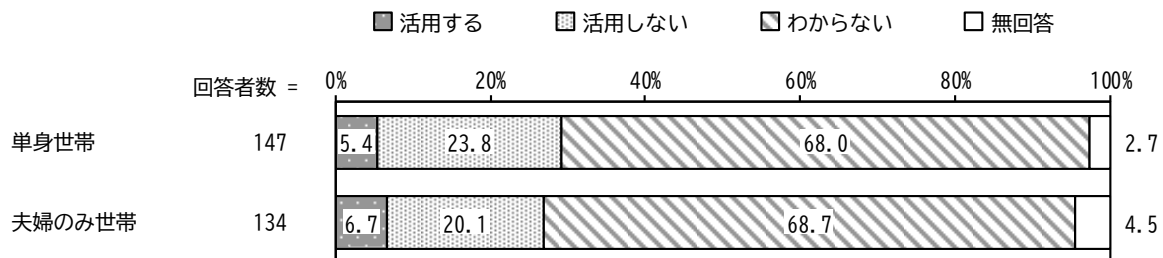
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要支援1，2で「活用する」の割合が高くなっています。



【世帯区分別】

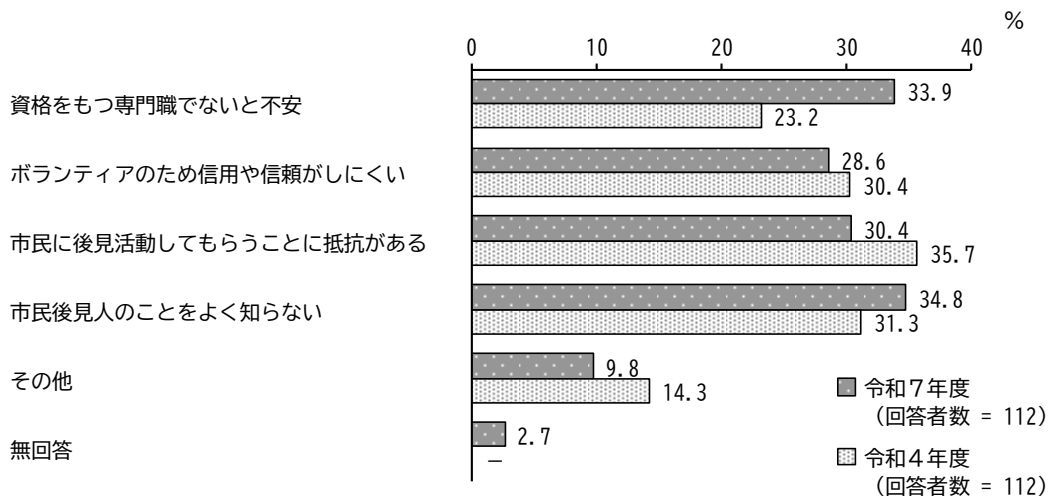
世帯区分別にみると、大きな差はみられません。



問 24 【問 23 で「活用しない」と回答した方のみ】 その理由は何ですか。(いくつでも)

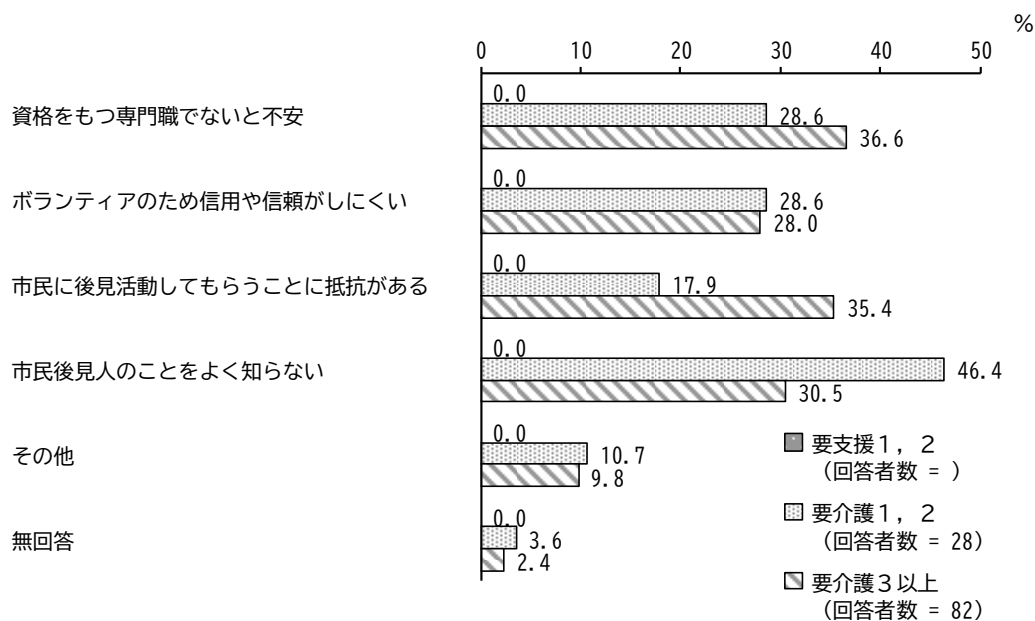
「市民後見人のことをよく知らない」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「資格をもつ専門職でない」と不安の割合が 33.9%、「市民に後見活動してもらうことに抵抗がある」の割合が 30.4%となっています。

令和4年度と比較すると、「資格をもつ専門職でない」と不安の割合が増加しています。一方、「市民に後見活動してもらうことに抵抗がある」の割合が減少しています。



【要介護度区分別】

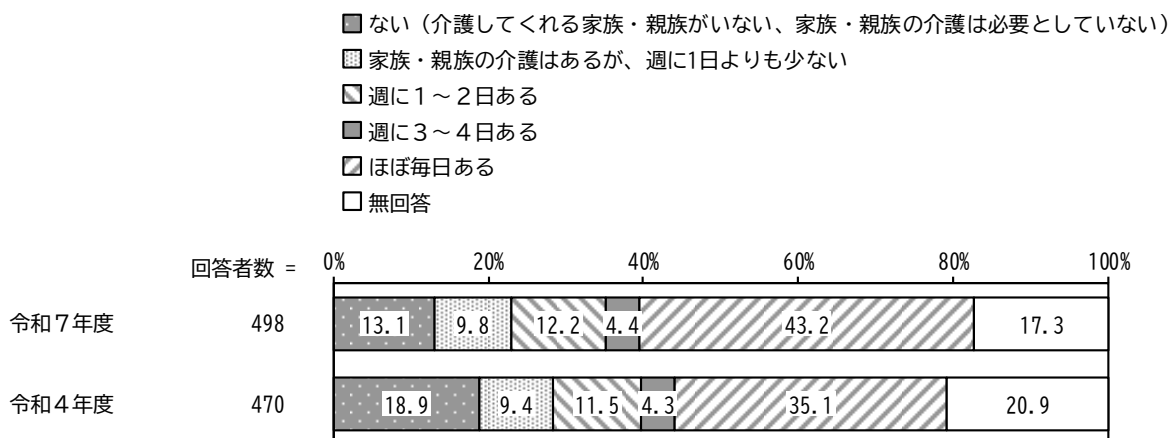
要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「資格をもつ専門職でないと不安」「市民に後見活動してもらうことに抵抗がある」の割合が高くなっています。また、要介護1, 2で「市民後見人のことをよく知らない」の割合が高く、要介護3以上で「資格をもつ専門職でないと不安」「市民に後見活動してもらうことに抵抗がある」の割合が高くなっています。



問 25 ご家族やご親族の方からの介護は週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

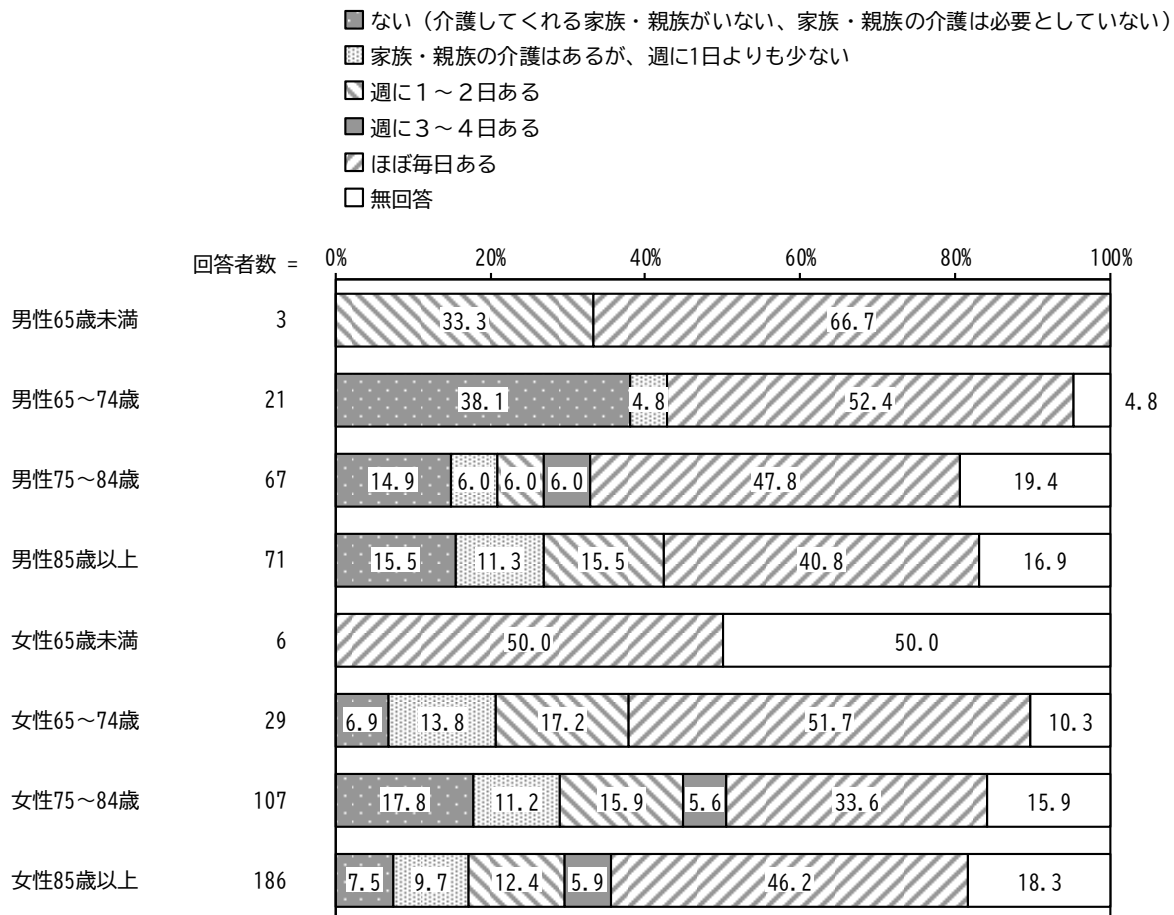
「ほぼ毎日ある」の割合が43.2%と最も高く、次いで「ない（介護してくれる家族・親族がいない、家族・親族の介護は必要としていない）」の割合が13.1%、「週に1～2日ある」の割合が12.2%となっています。

令和4年度と比較すると、「ほぼ毎日ある」の割合が増加しています。一方、「ない（介護してくれる家族・親族がいない、家族・親族の介護は必要としていない）」の割合が減少しています。



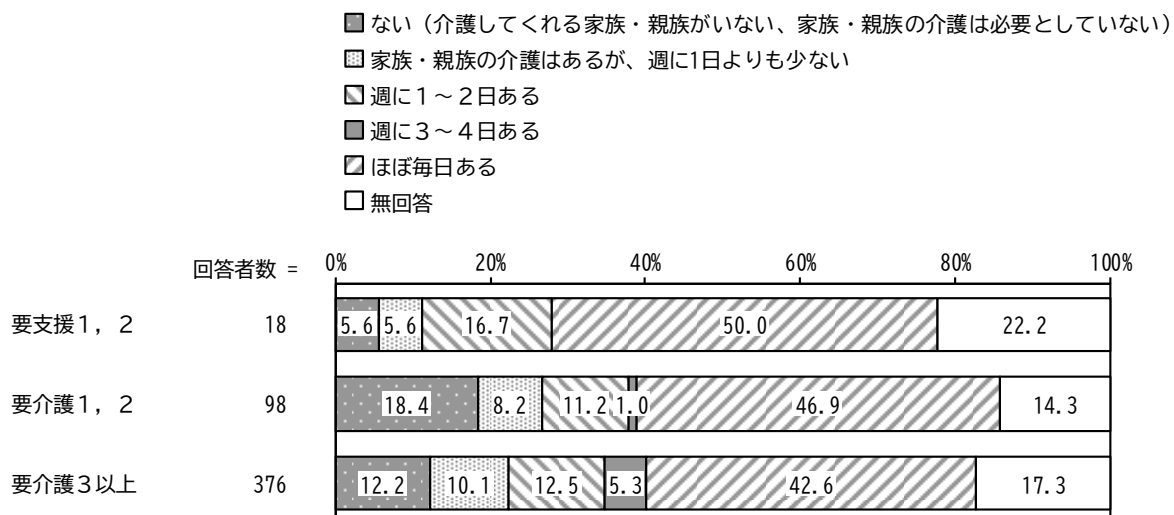
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」の割合が高く、「ほぼ毎日ある」の割合が低く、女性では65～74歳から85歳以上まで年齢が上がるほど「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」の割合が低くなっています。また、男性65～74歳で「ない（介護してくれる家族・親族がいない、家族・親族の介護は必要としていない）」の割合が高くなっています。



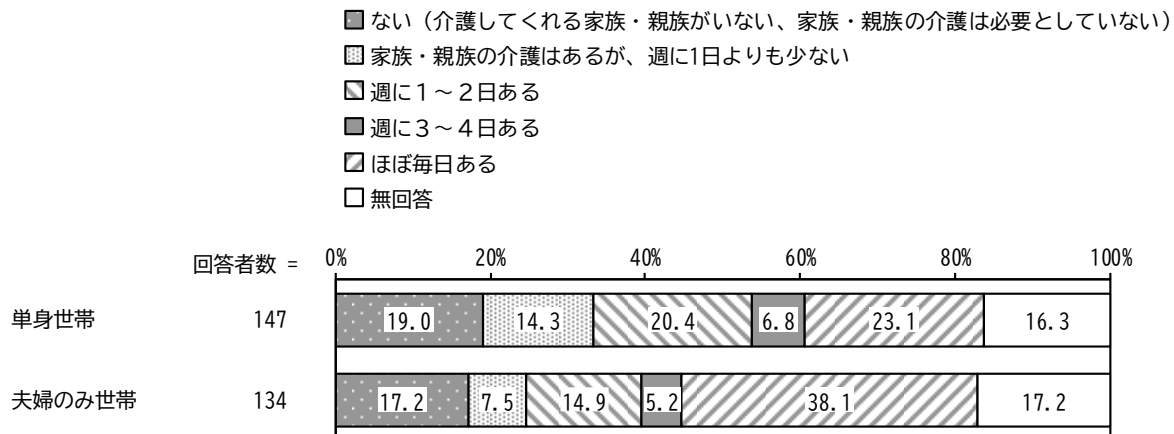
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」の割合が高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、単身世帯で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」の割合が高く、夫婦のみ世帯で「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



問 26 今後、ご本人（調査対象者）が、在宅で生活を続けていくために、必要とする支援や近所等の協力などがありましたら、ご自由にお書きください。

問 26 に関してご意見・ご要望を自由に記述していただき、以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、次の通りとなりました。

分類項目	件数
家族による支援（子ども・親族による訪問・買物等）	17
買物・通院など移動の交通支援	11
訪問医療・訪問看護・ケアマネ等の利用希望や拡充	8
ケアプラン・ヘルパー等サービスの柔軟性・利用しやすさの要望	6
デイサービス等の送迎・付き添い・入浴サービスに関する要望	6
近所付き合い・公民館等地域の協力を頼りにしたい・維持したい	6
費用負担軽減	3
働きながらの介護、老々介護などの介護者（家族）の負担軽減	2
その他	5

※特になし、わからない を除く

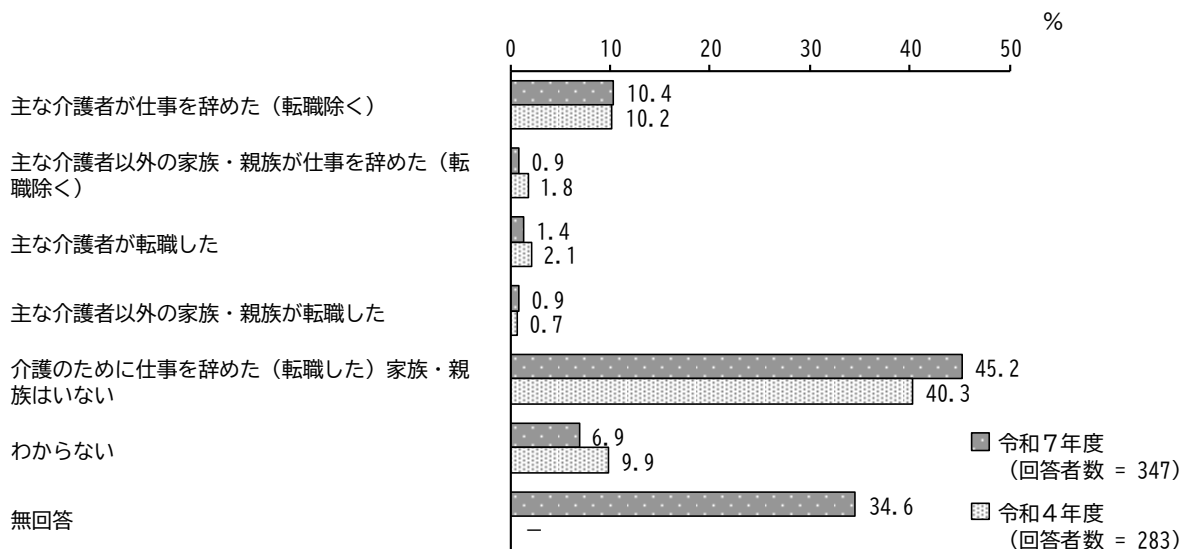
B票 主な介護者の方について

A票の問25で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「ほぼ毎日ある」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

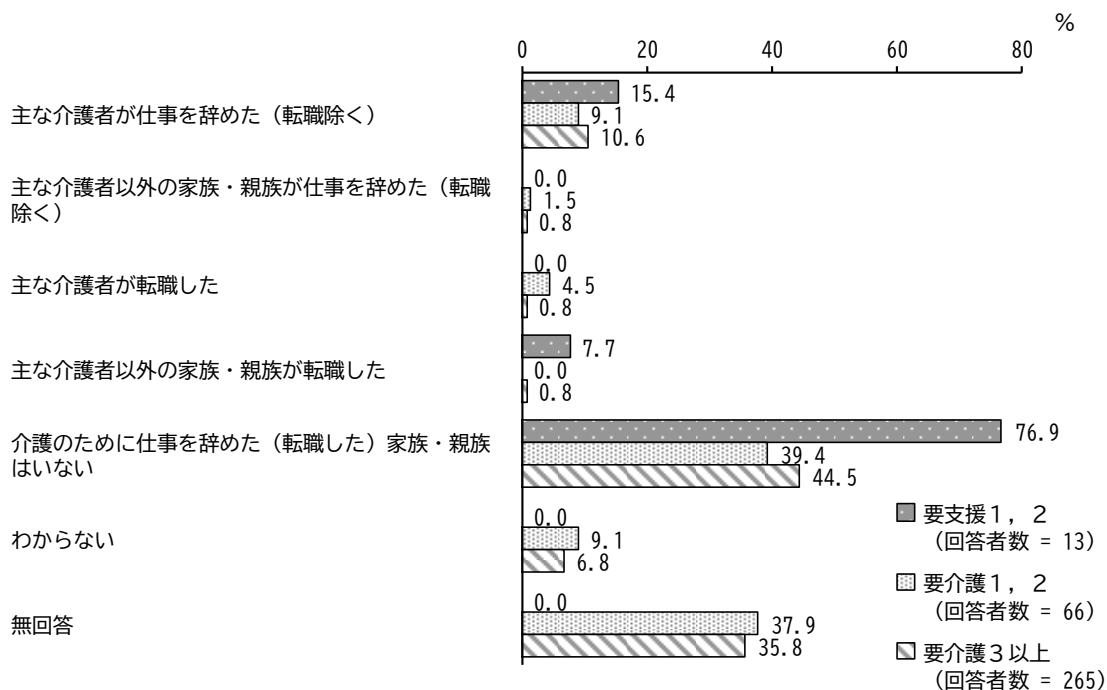
「介護のために仕事を辞めた（転職した）家族・親族はいない」の割合が45.2%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が10.4%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



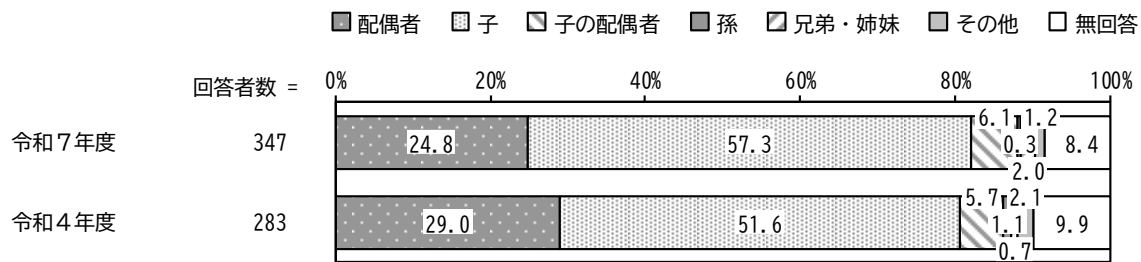
【要介護度区分別】

要介護度区別にみると、要支援1，2で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」「主な介護者以外の家族・親族が転職した」「介護のために仕事を辞めた（転職した）家族・親族はいない」の割合が高くなっています。



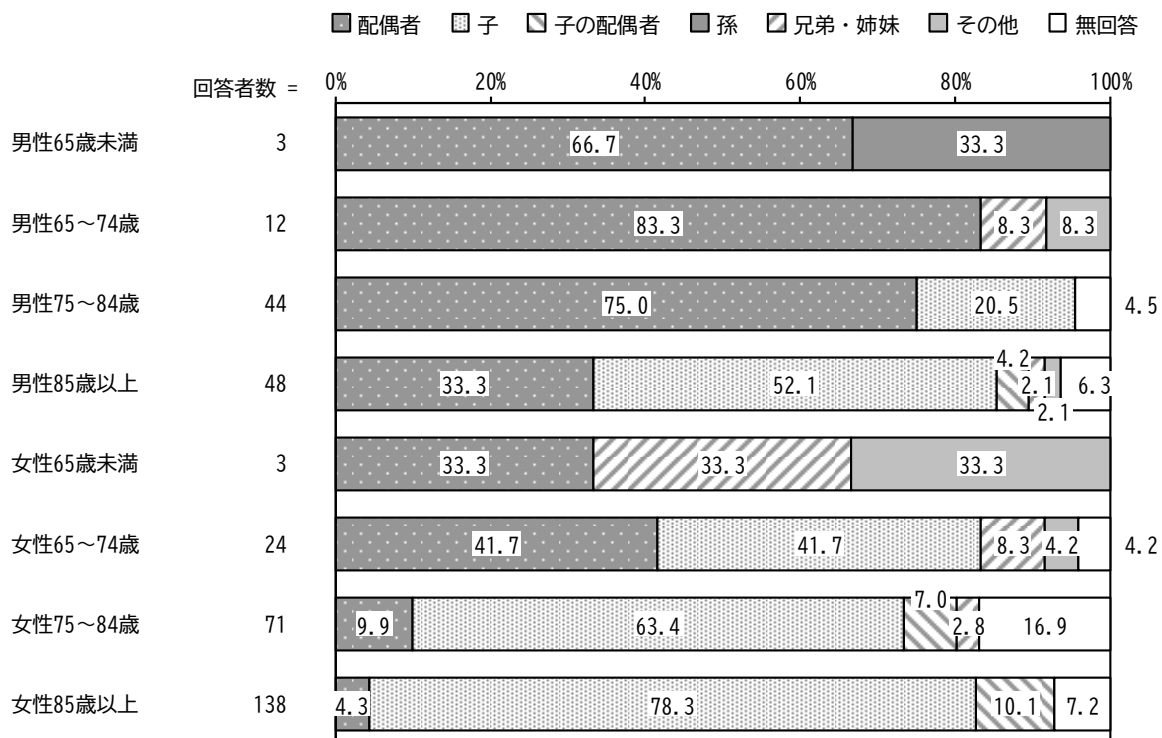
問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

「子」の割合が57.3%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が24.8%となっています。令和4年度と比較すると、「子」の割合が増加しています。



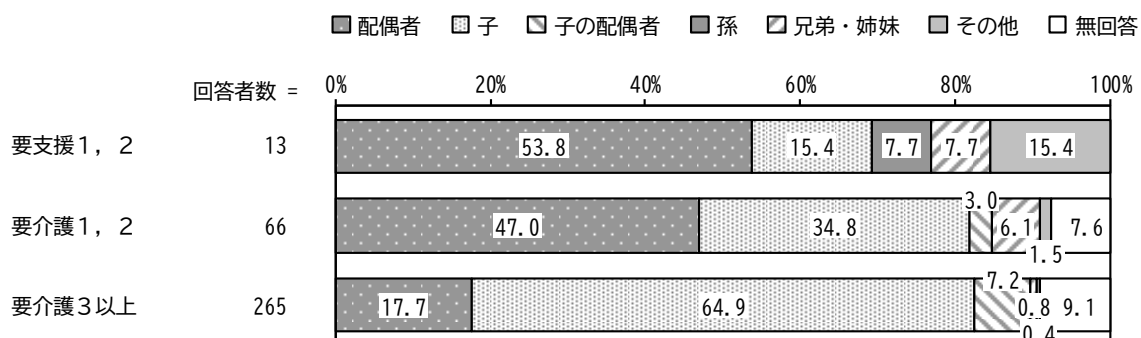
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「子」の割合が高い傾向にあり、女性では「子の配偶者」の割合が高い傾向にあり、「兄弟・姉妹」の割合が低くなっています。



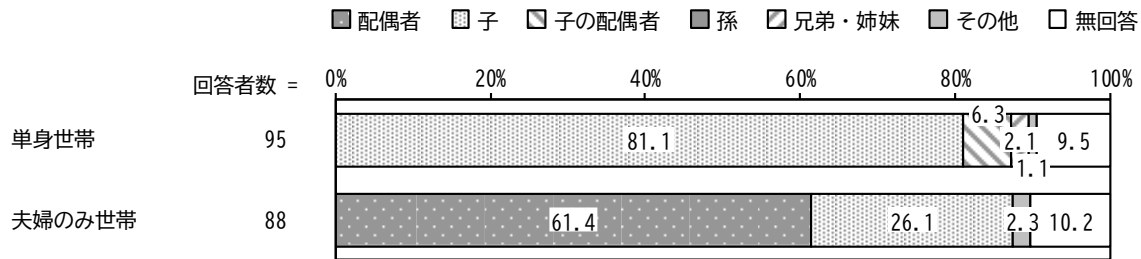
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「子」の割合が高く、「配偶者」の割合が低くなっています。



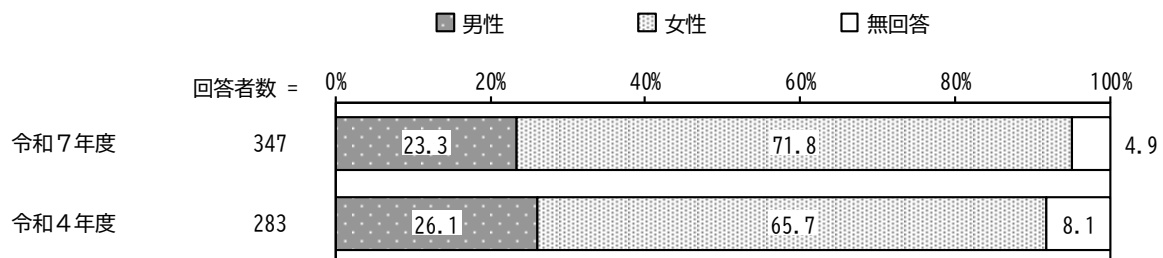
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、単身世帯で「子」「子の配偶者」の割合が高く、夫婦のみ世帯で「配偶者」の割合が高くなっています。



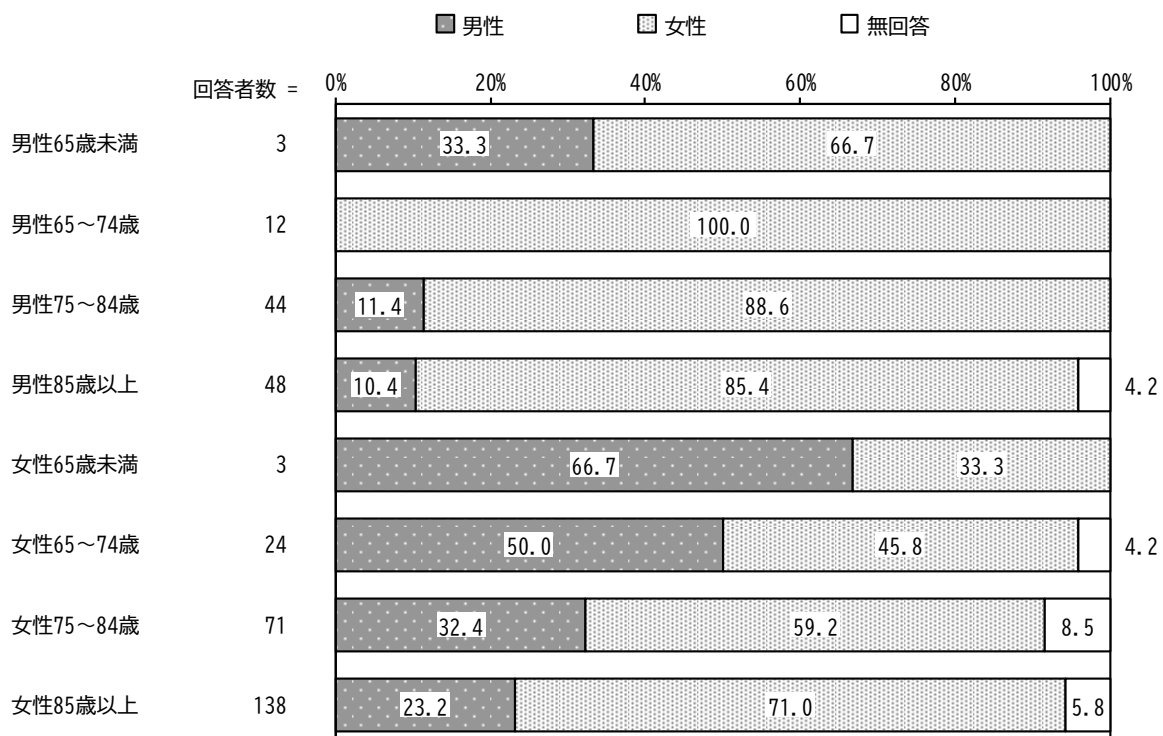
問3 主な介護者の方の性別について、お答えください（1つを選択）

「男性」の割合が23.3%、「女性」の割合が71.8%となっています。
令和4年度と比較すると、「女性」の割合が増加しています。



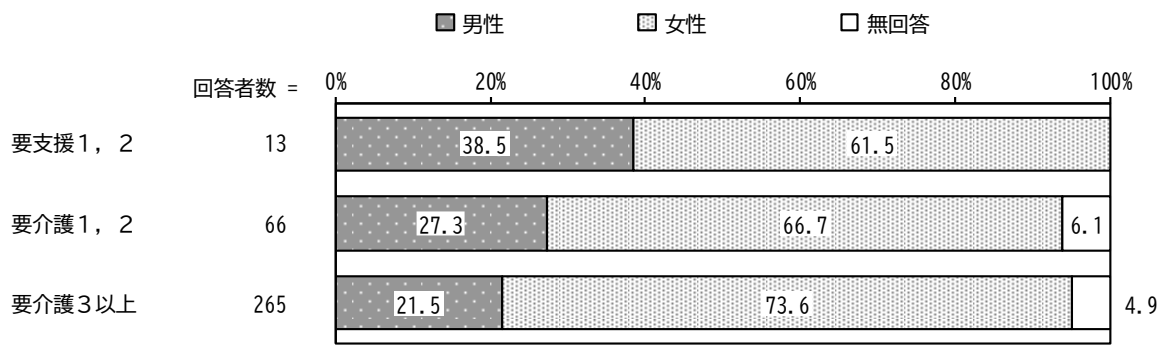
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「女性」の割合が高くなっています。また、女性65～74歳で「男性」の割合が高くなっています。



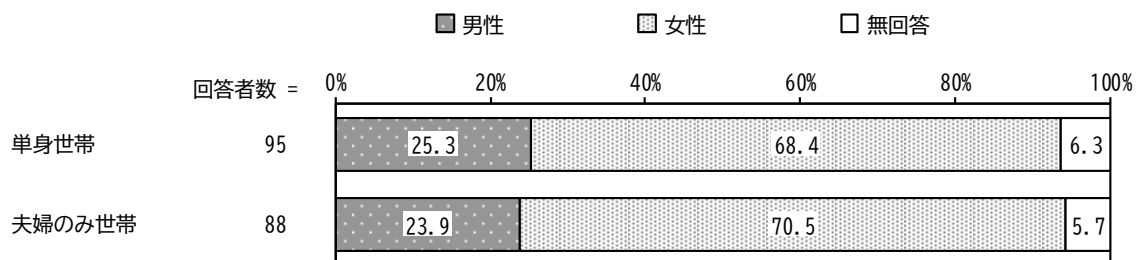
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要介護度区分が上がるほど「女性」の割合が高くなっています。



【世帯区分別】

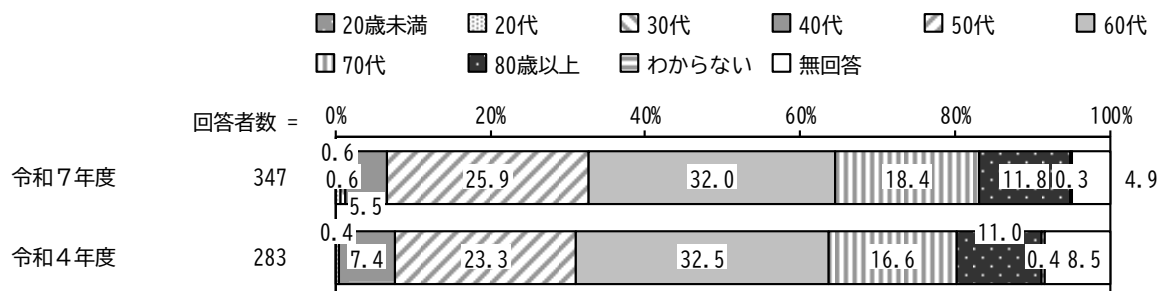
世帯区分別にみると、大きな差はみられません。



問4 主な介護者の方の年齢について、お答えください（1つを選択）

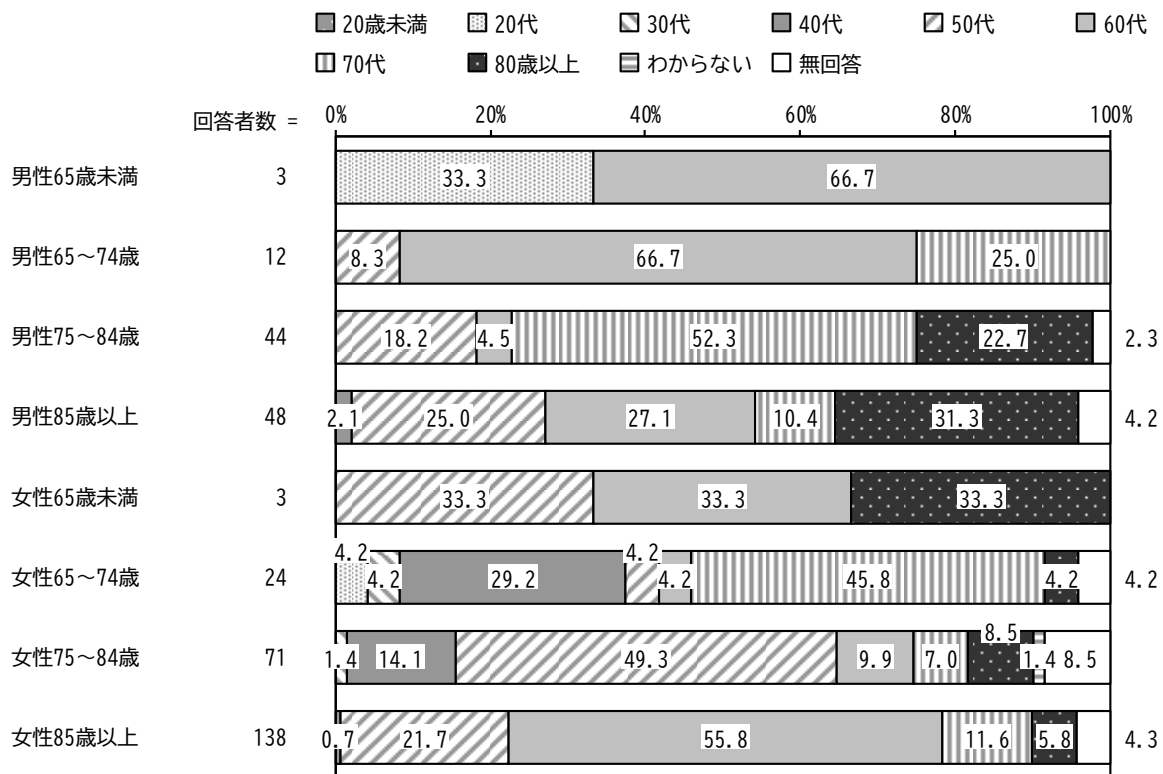
「60代」の割合が32.0%と最も高く、次いで「50代」の割合が25.9%、「70代」の割合が18.4%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



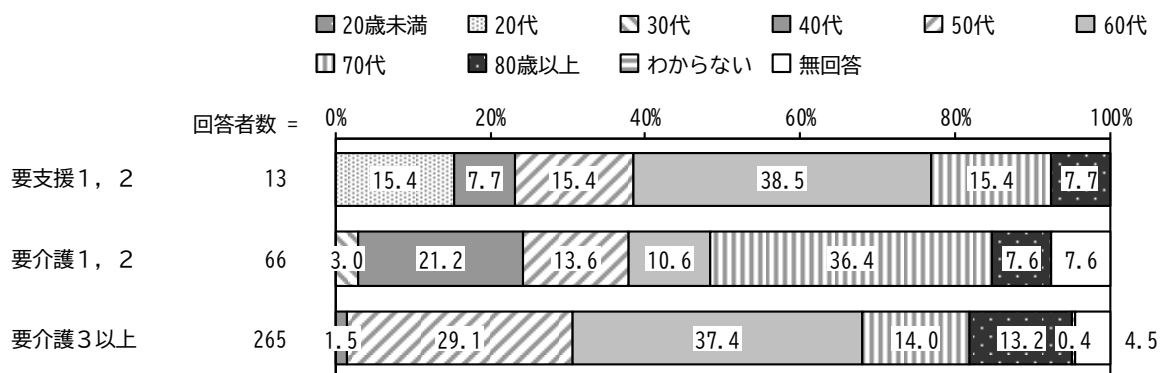
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど「50代」「80歳以上」の割合が高い傾向にあり、女性では65～74歳から85歳以上まで年齢が上がるほど「60代」の割合が高く、「40代」の割合が低くなっています。また、男性75～84歳で「70代」の割合が高くなっています。



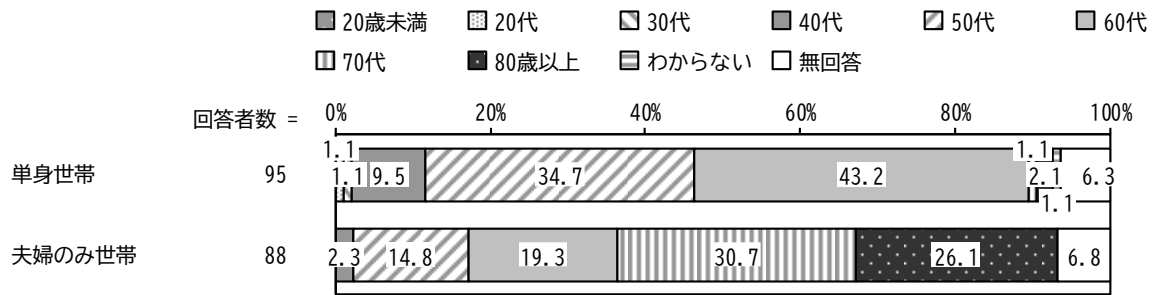
【要介護度区分別】

要介護度区分別にみると、要支援1，2で「20代」、要介護1，2で「40代」「70代」の割合が高く、要支援1，2、要介護1，2で「50代」、要介護1，2で「60代」の割合が低くなっています。



【世帯区分別】

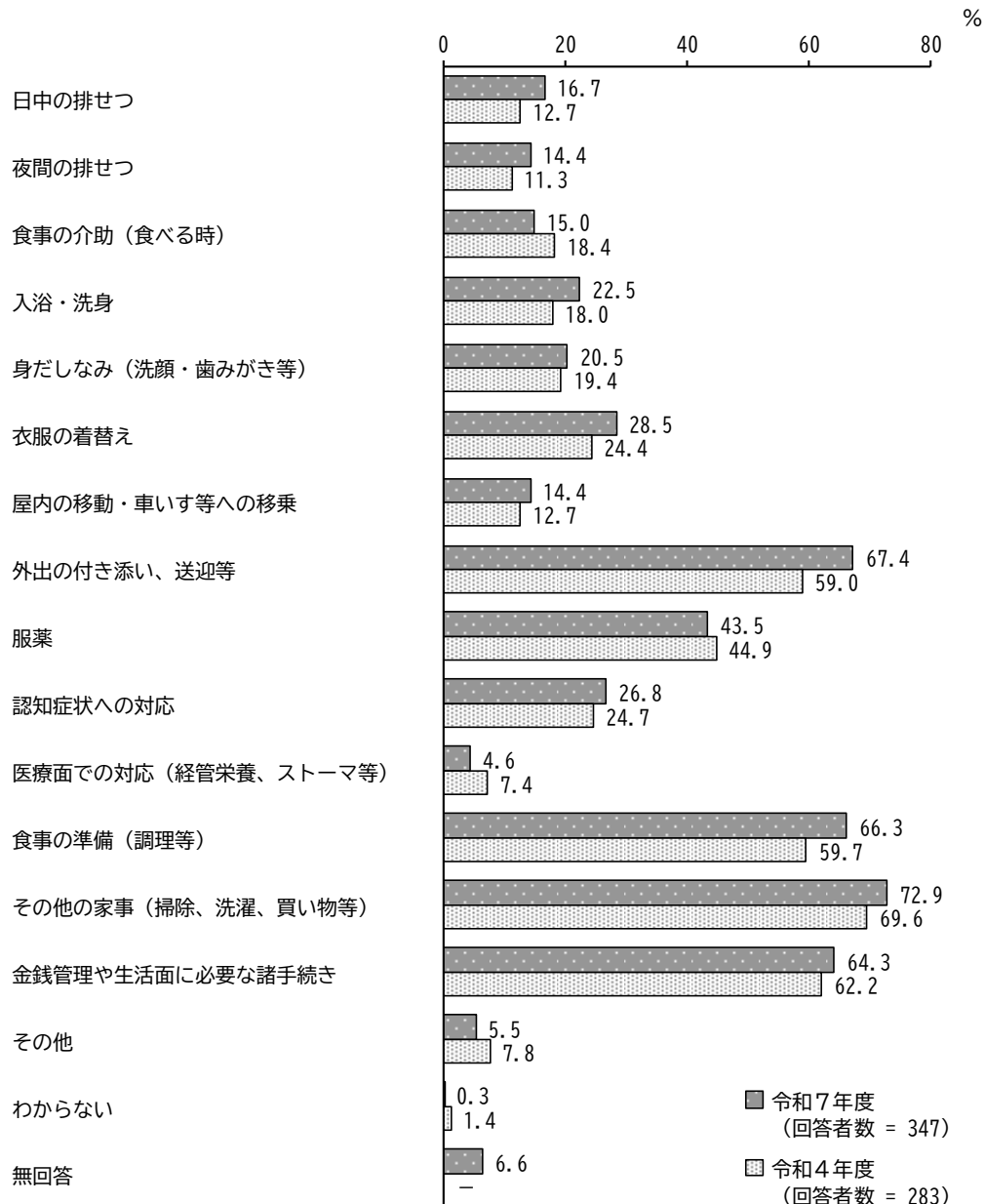
世帯区分別にみると、単身世帯で「40代」「50代」「60代」の割合が高く、夫婦のみ世帯で「70代」「80歳以上」の割合が高くなっています。



問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、お答えください（いくつでも）

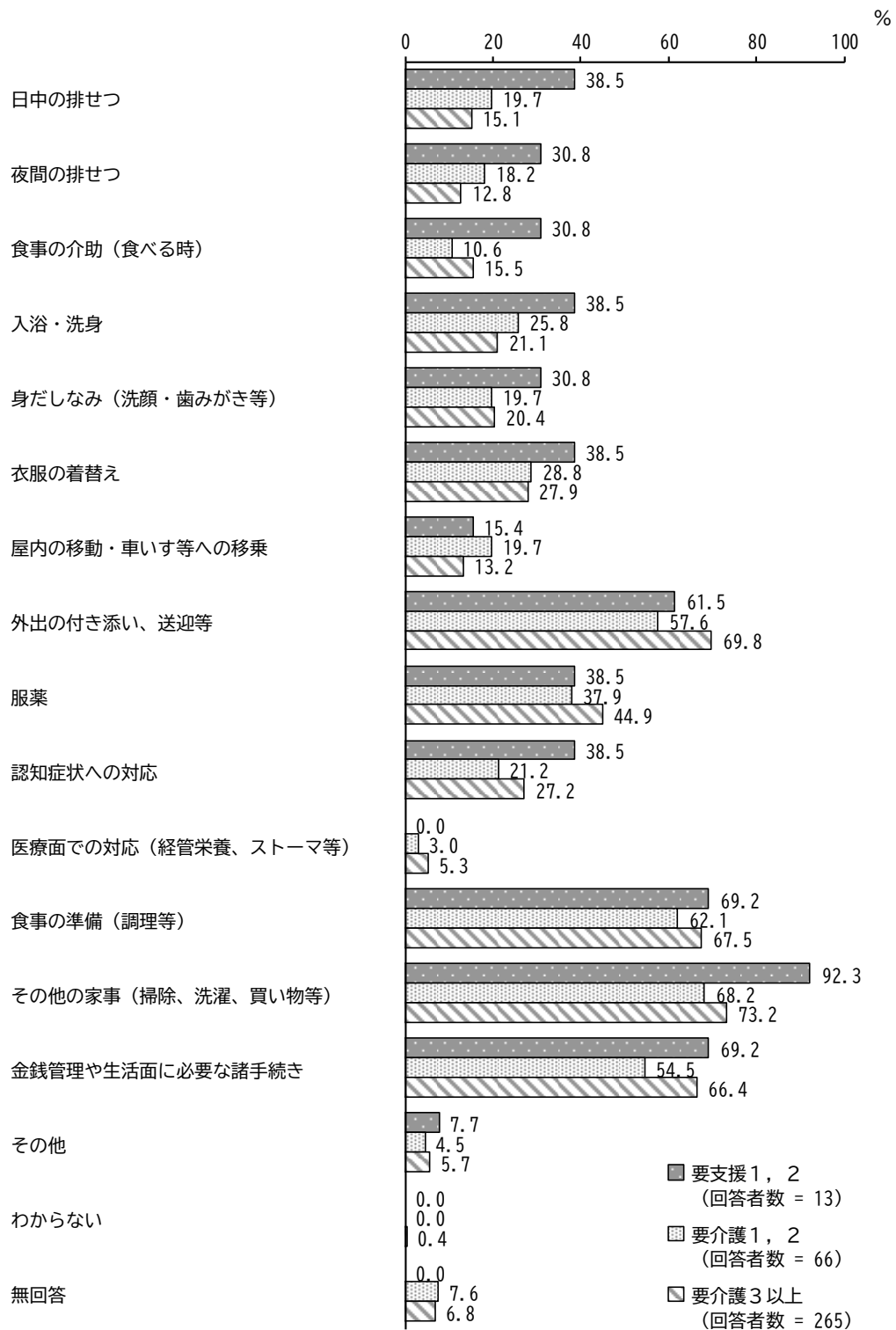
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が72.9%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が67.4%、「食事の準備（調理等）」の割合が66.3%となっています。

令和4年度と比較すると、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」の割合が増加しています。



【要介護度区分別】

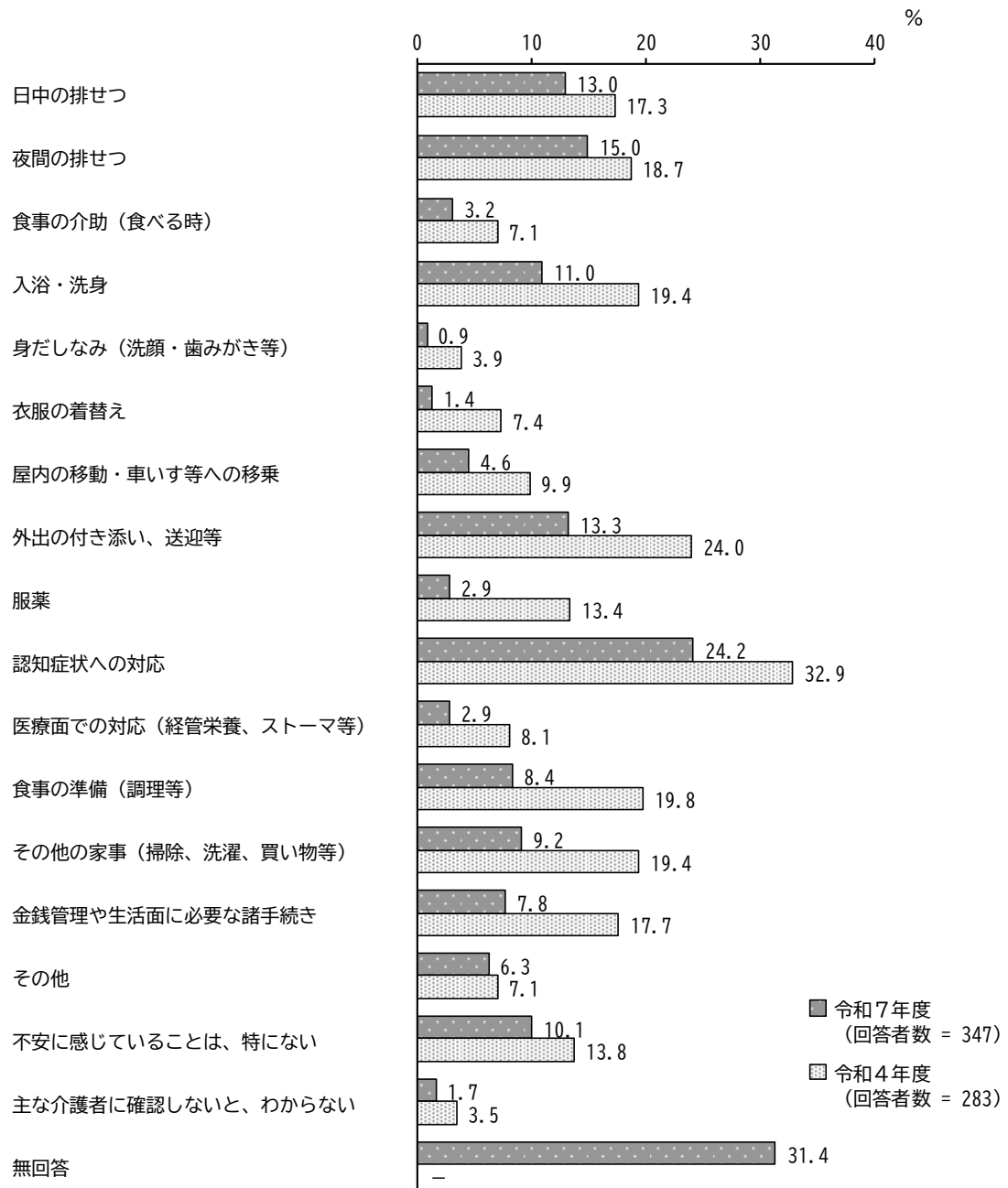
要介護度区分別にみると、要介護度区分が下がるほど「日中の排せつ」「夜間の排せつ」「入浴・洗身」「衣服の着替え」の割合が高くなっています。



問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、お答えください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

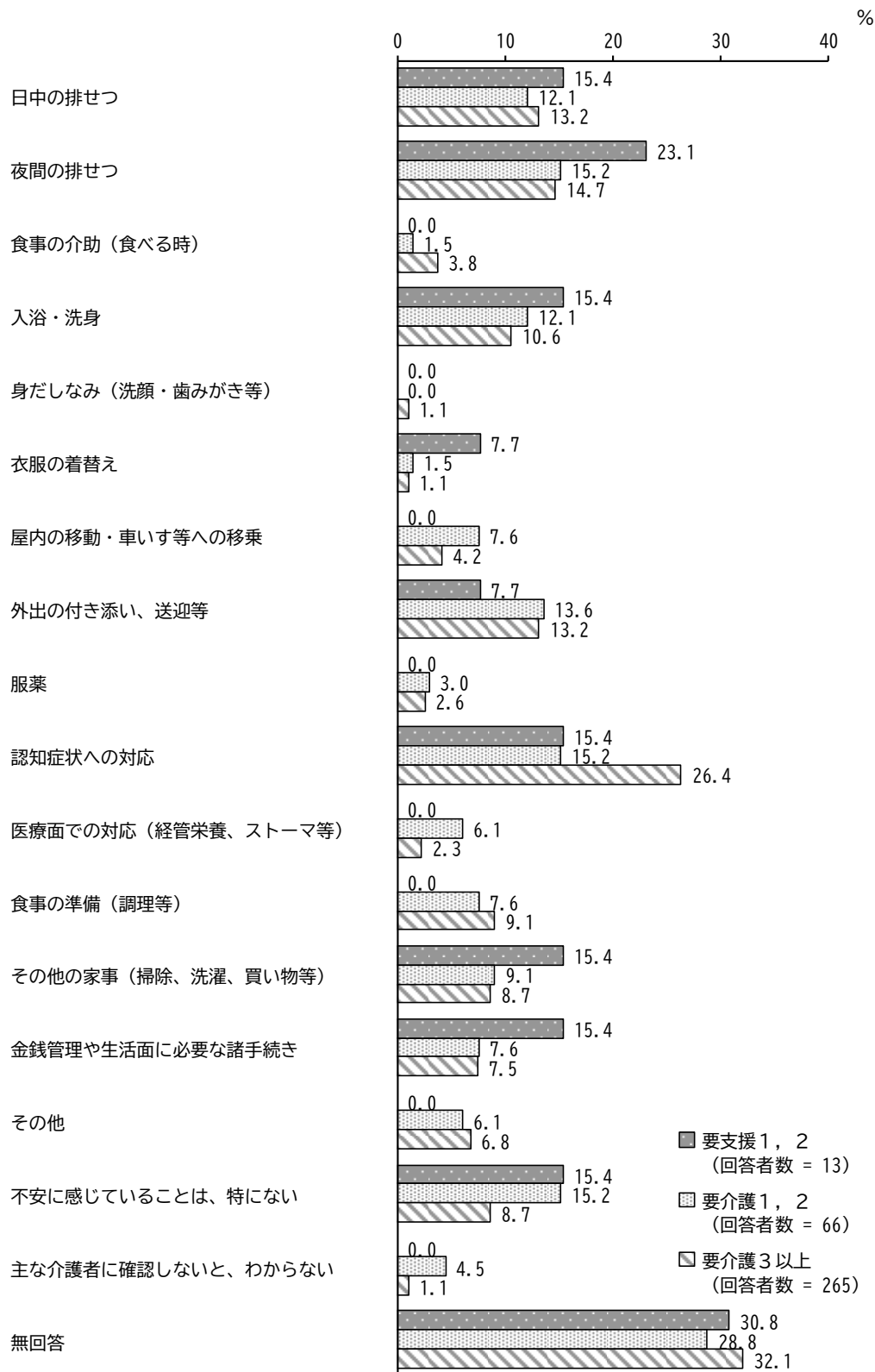
「認知症状への対応」の割合が24.2%と最も高く、次いで「夜間の排せつ」の割合が15.0%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が13.3%となっています。

令和4年度と比較すると、「入浴・洗身」「衣服の着替え」「屋内の移動・車いす等への移乗」「外出の付き添い、送迎等」「服薬」「認知症状への対応」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が減少しています。



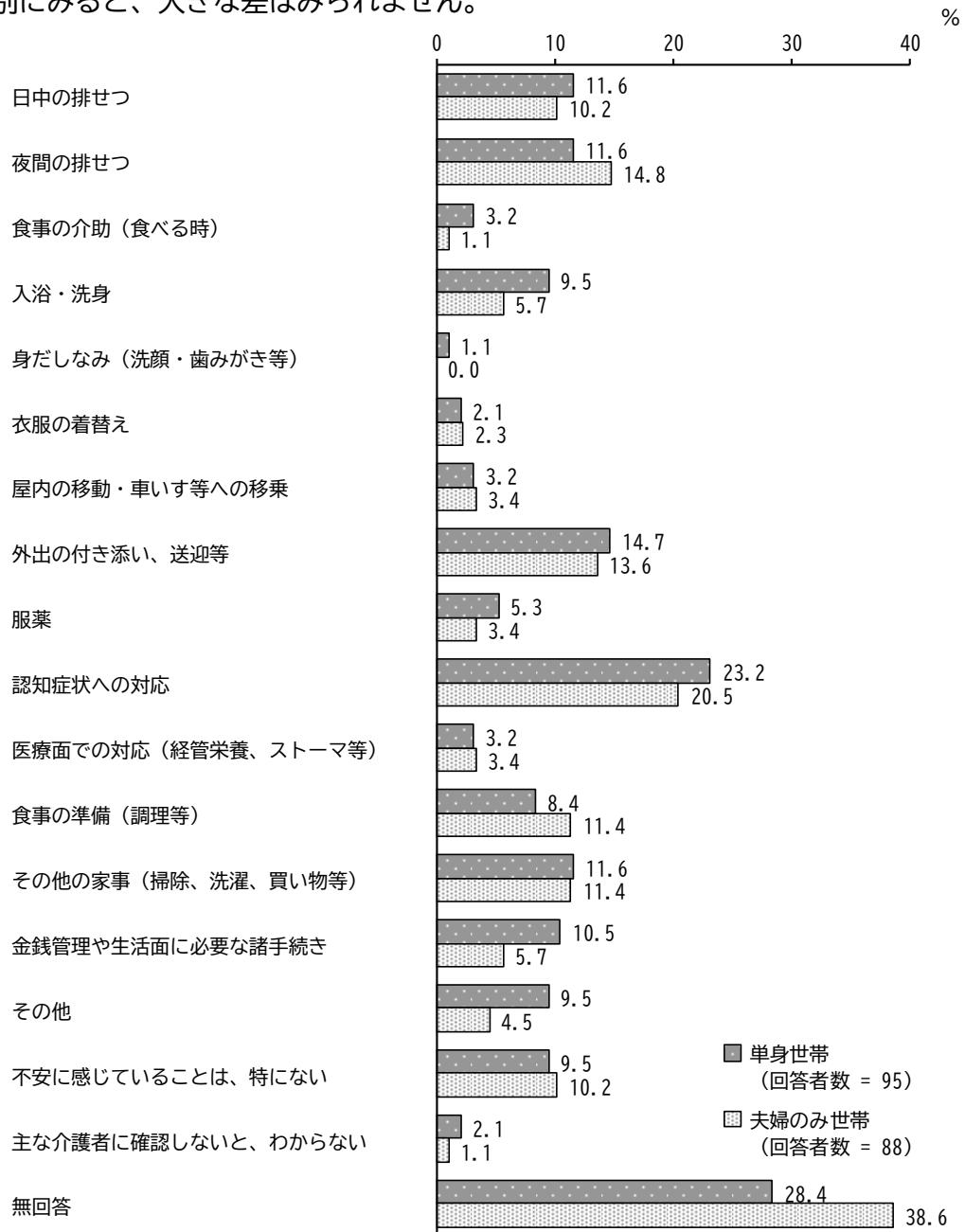
【要介護度区分別】

要介護度区別にみると、要介護度区分が下がるほど「夜間の排せつ」「入浴・洗身」の割合が高くなっています。



【世帯区分別】

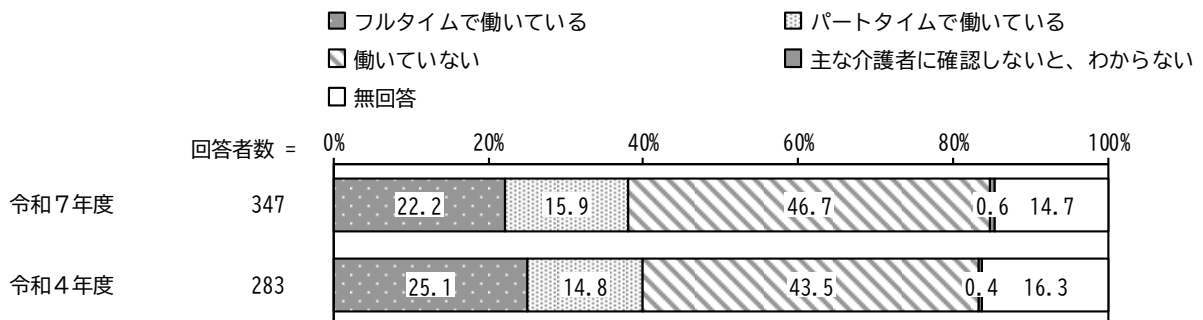
世帯区分別にみると、大きな差はみられません。



問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お答えください（1つを選択）

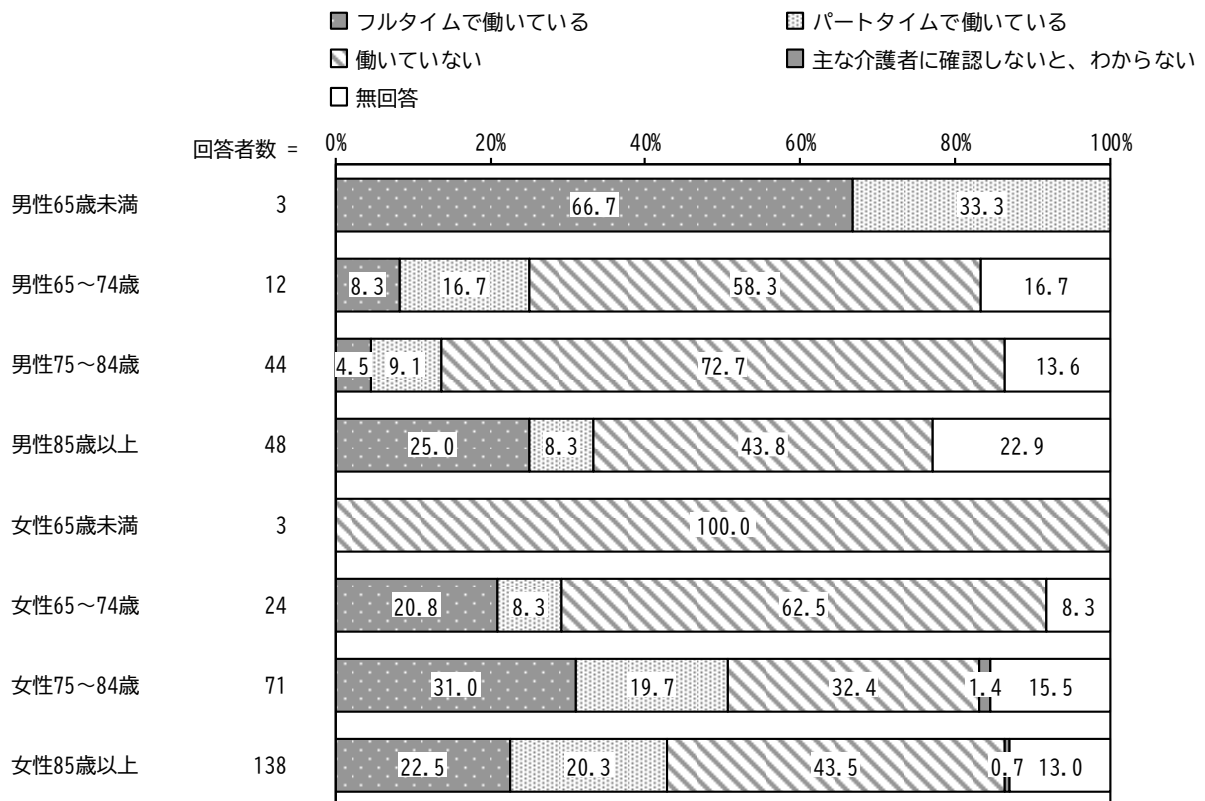
「フルタイムで働いている」の割合が22.2%、「パートタイムで働いている」の割合が15.9%、「働いていない」の割合が46.7%となっています。

令和4年度と比較すると、大きな変化はみられません。



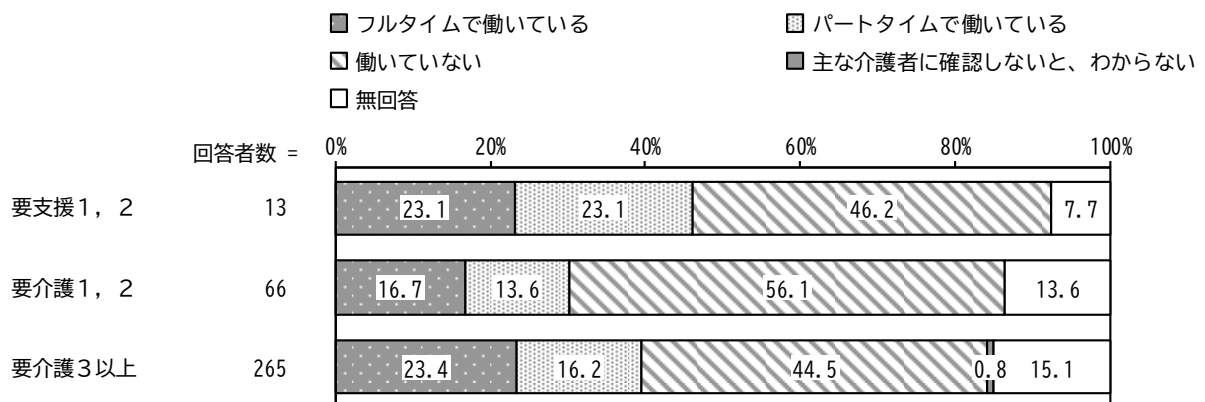
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「パートタイムで働いている」の割合が高くなっています。また、男性75～84歳で「働いていない」の割合が高く、「フルタイムで働いている」の割合が低くなっています。



【要介護度区分別】

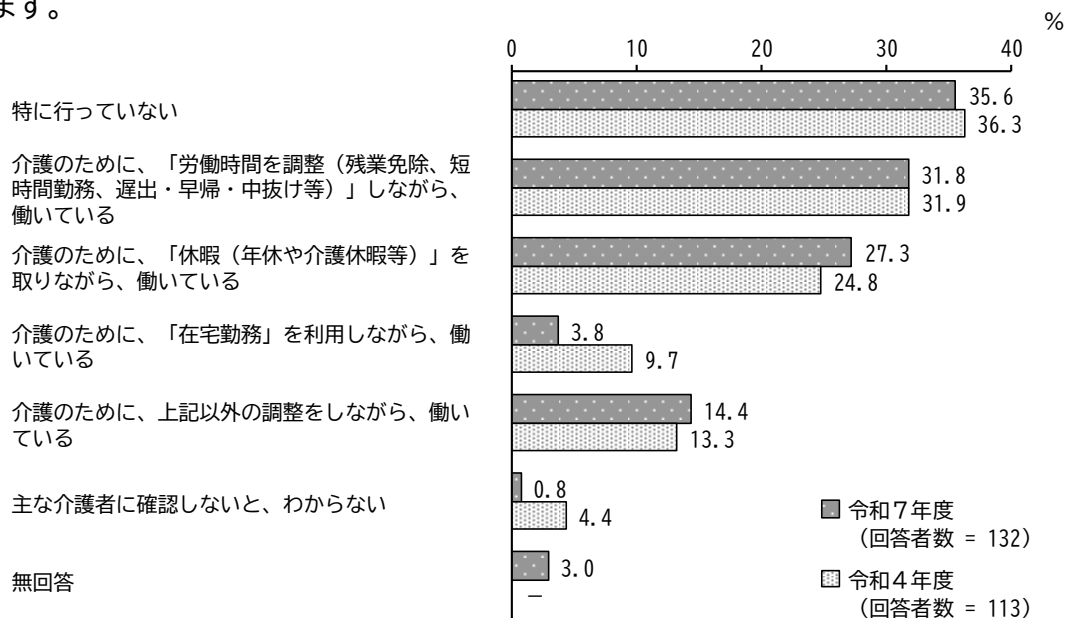
要介護度区分別にみると、要支援1，2で「パートタイムで働いている」、要介護1，2で「働いていない」の割合が高くなっています。



問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（いくつでも）

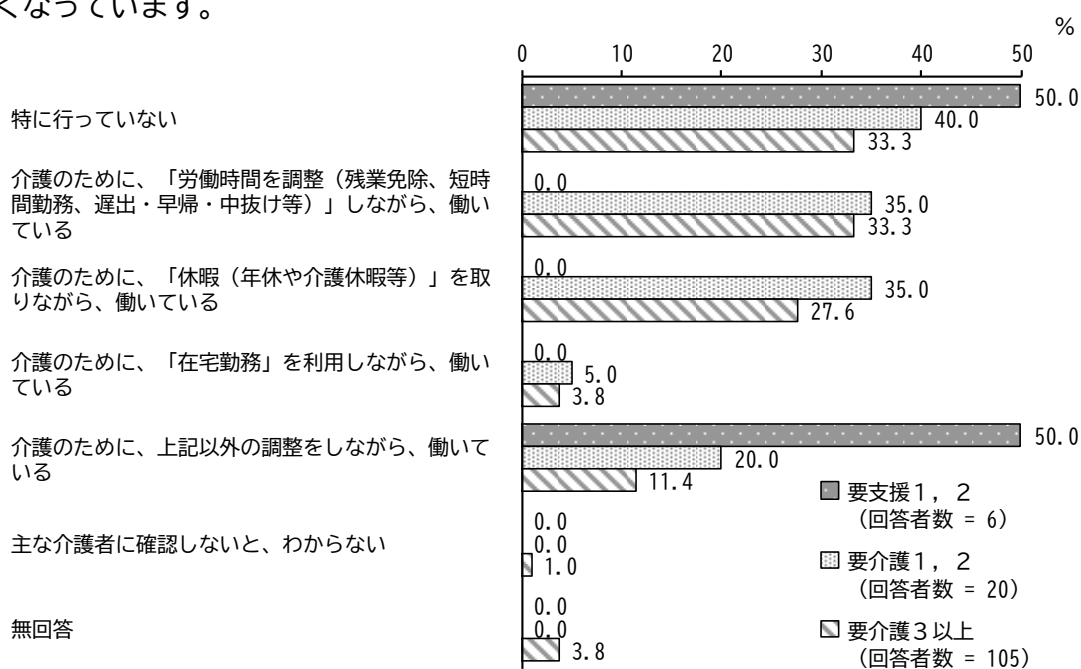
「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が 27.3%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が 14.4%となっています。

令和4年度と比較すると、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」の割合が減少しています。



【要介護度区分別】

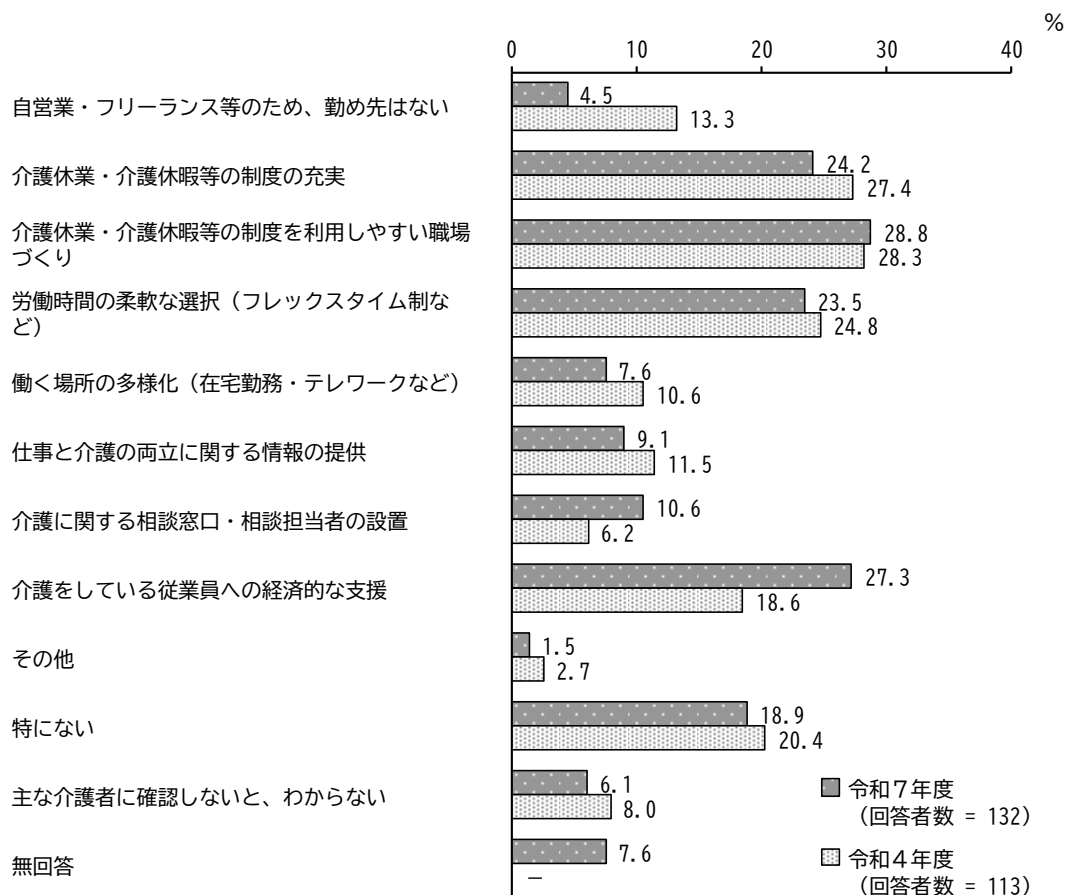
要介護度区別にみると、要介護度区分が下がるほど「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が高くなっています。また、要介護1，2で「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が高くなっています。



問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

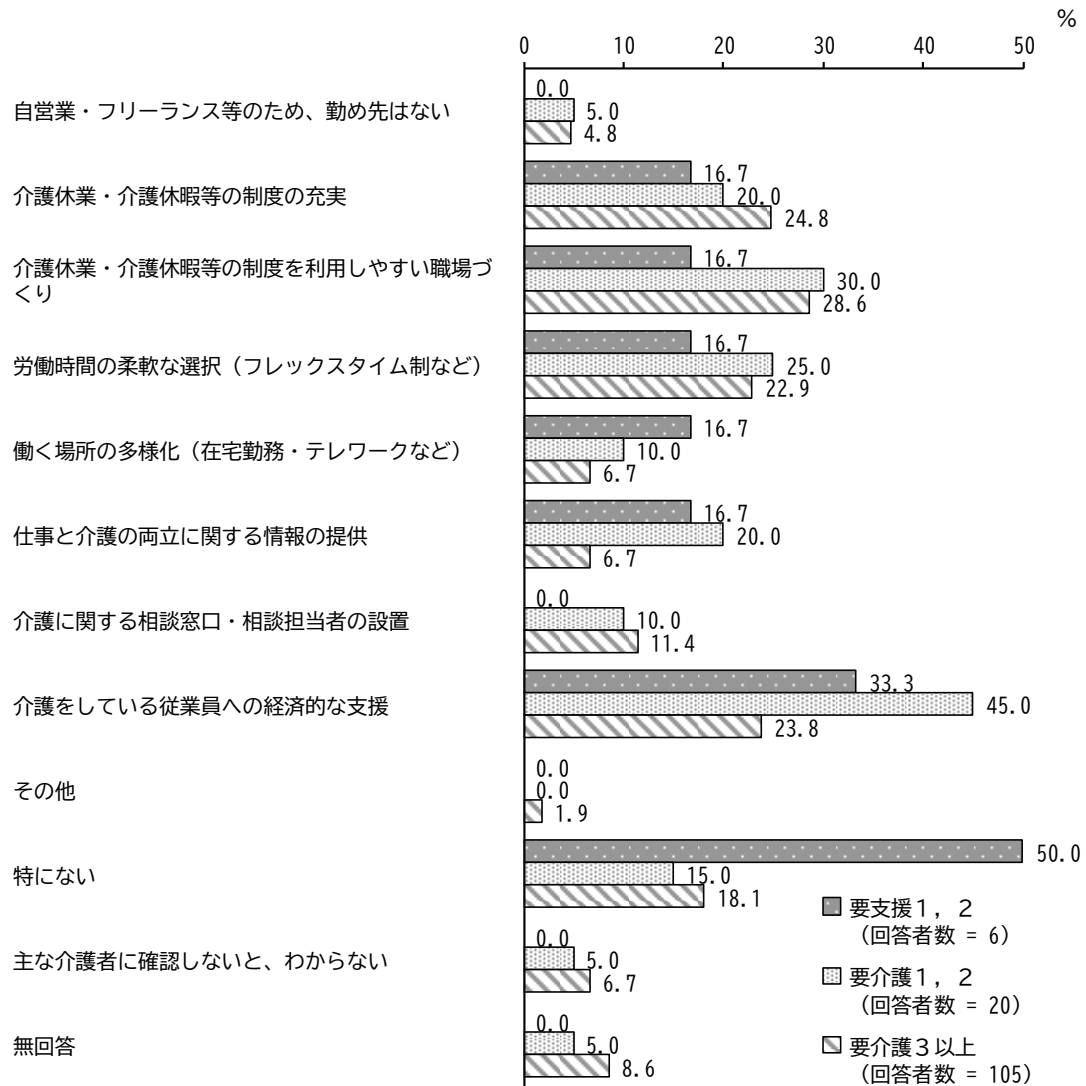
「介護休業・介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」の割合が28.8%と最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が27.3%、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が24.2%となっています。

令和4年度と比較すると、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が増加しています。一方、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」の割合が減少しています。



【要介護度区分別】

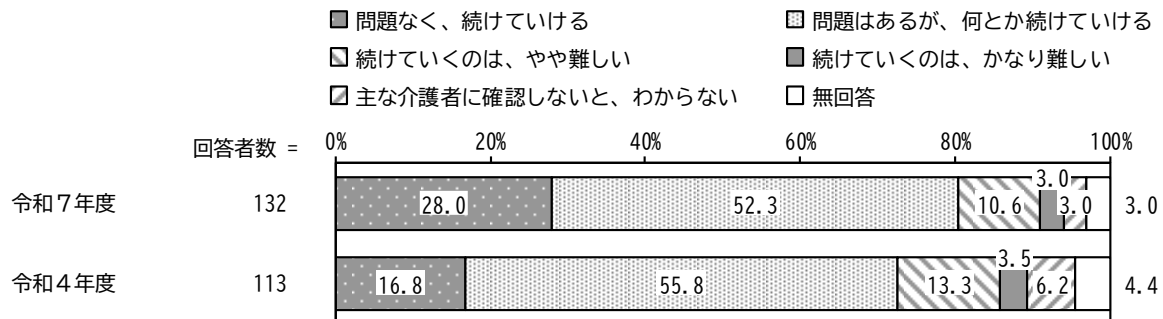
要介護度区分別にみると、要介護3以上から要介護1, 2まで要介護度区分が下がるほど「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高く、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が低くなっています。また、要介護1, 2で「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高くなっています。



問 10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

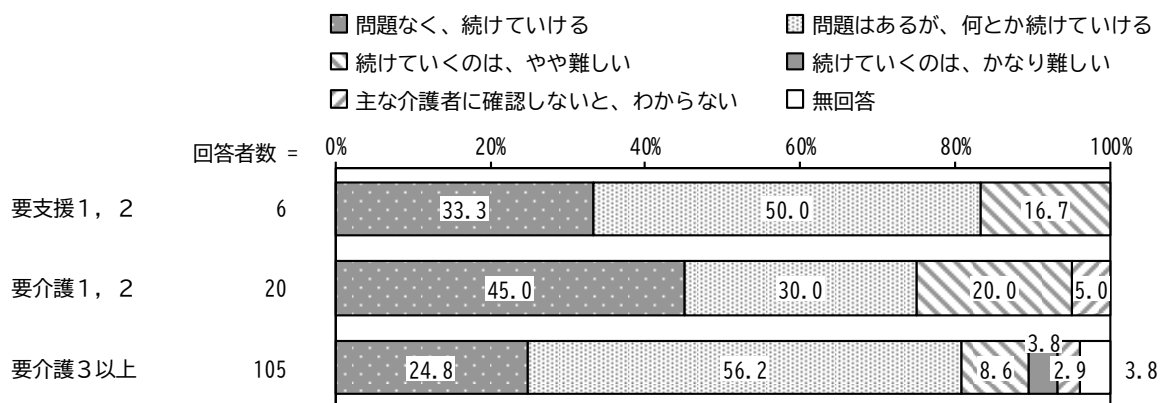
「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 28.0%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が 10.6%となっています。

令和4年度と比較すると、「問題なく、続けていける」の割合が増加しています。



【要介護度区分別】

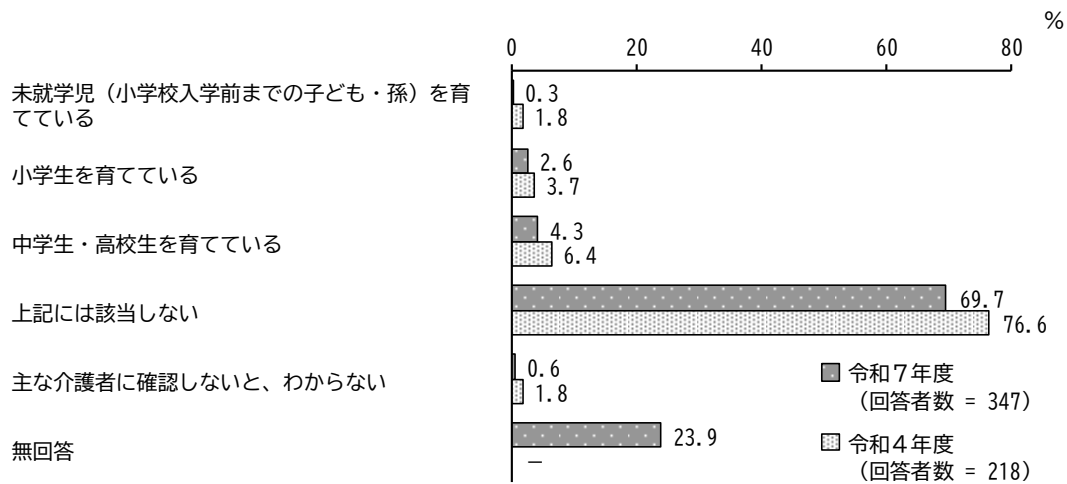
要介護度区分別にみると、要介護3以上から要介護1, 2まで要介護度区分が下がるほど「問題なく、続けていける」「続けていくのは、やや難しい」の割合が高く、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が低くなっています。また、要介護1, 2で「問題なく、続けていける」「続けていくのは、やや難しい」の割合が高く、要介護3以上で「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が高くなっています。



問 11 主な介護者の方は、現在、次の状況に当てはまりますか（いくつでも）

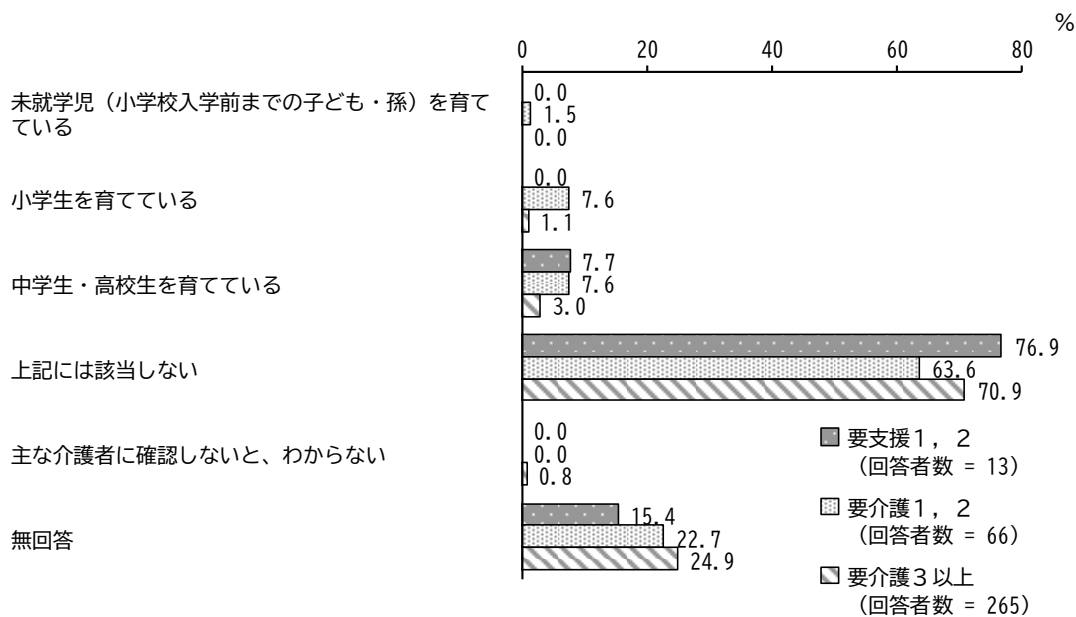
「上記には該当しない」の割合が 69.7%と最も高くなっています。

令和4年度と比較すると、「上記には該当しない」の割合が減少しています。



【要介護度区分別】

要介護度区別にみると、要介護1，2で「小学生を育てている」、要支援1，2で「上記には該当しない」の割合が高くなっています。



問12 【問11で「上記には該当しない」または「主な介護者に確認しないと、わからない」と回答された方のみ】今後、ご本人（調査対象者）が在宅で生活を続けていくために、必要とする支援や近所等の協力などがありましたら、ご自由にお書きください。

問12に関してご意見・ご要望を自由に記述していただき、以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、次の通りとなりました。

分類項目	件数
介護者の負担や健康不安に対する負担軽減	18
近隣の見守り・支え合い（声かけ・玄関解除・民生委員等）	15
家事・生活支援（買い物、ゴミ出し、通院付き添い、外出同行等）	14
情報提供・相談窓口の周知（手続き・サービス案内・認知症時の手続き等）	13
金銭的支援（施設費用・医療費・光熱費・補助等）	13
緊急時・一時代行・レスパイト等の柔軟な支援（急な不在・一時預かり等）	13
デイサービス・ショートステイ等の利用に関する要望（回数・時間・費用）	10
移動・交通支援（福祉タクシー、送迎、ボランティアバス等）	9
見守り機器・安否確認の支援（コールボタン、見守りアプリ、夜間見守り）	4
住宅・バリアフリー・用具の拡充（エレベーター、段差、手摺り、用具貸出・配達等）	5
地域交流・居場所づくり（集まり、喫茶、図書等）	3
その他	7

※特になし、わからない を除く

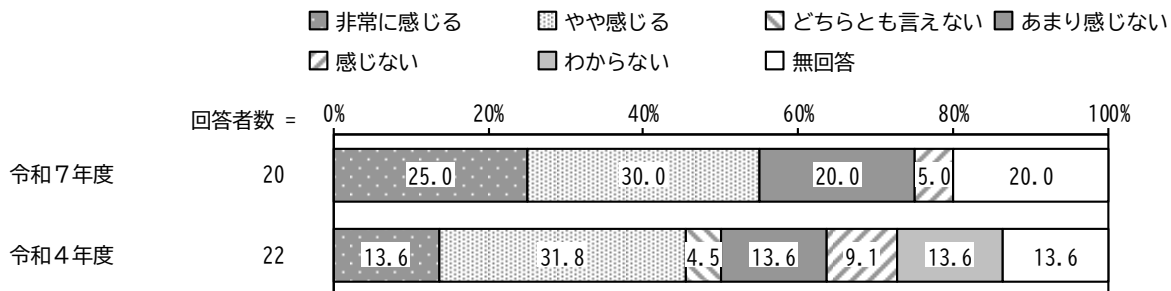
C票 ダブルケアについて

問1 あなたは、ダブルケアを行い、精神的、体力的あるいは経済的に負担を感じますか
(それぞれ1つを選択)

①子育て

「非常に感じる」「やや感じる」を合わせた“感じる”の割合が55.0%、「あまり感じない」「感じない」を合わせた“感じない”の割合が25.0%となっています。

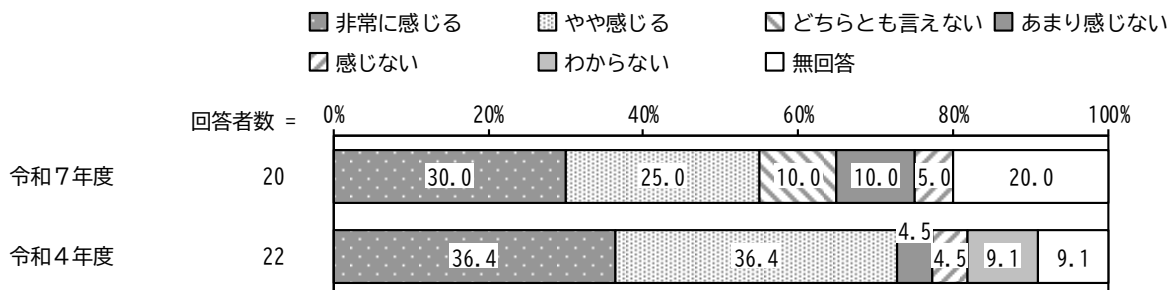
令和4年度と比較すると、“感じる”の割合が増加しています。



②介護

「非常に感じる」「やや感じる」を合わせた“感じる”の割合が55.0%、「あまり感じない」「感じない」を合わせた“感じない”の割合が15.0%となっています。

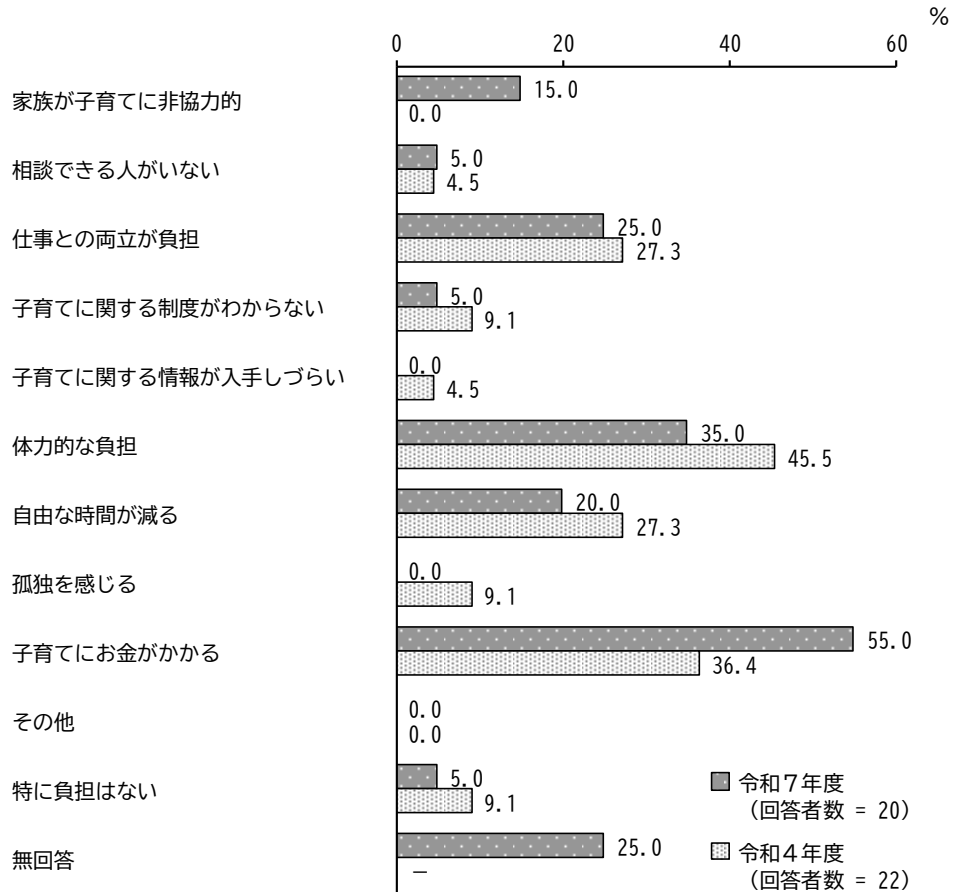
令和4年度と比較すると、“感じる”の割合が減少しています。



問2 あなたが普段の子育てに対して、特に負担を感じることを3つまでお答えください
(3つまで選択可)

「子育てにお金がかかる」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「体力的な負担」の割合が 35.0%、「仕事との両立が負担」の割合が 25.0%となっています。

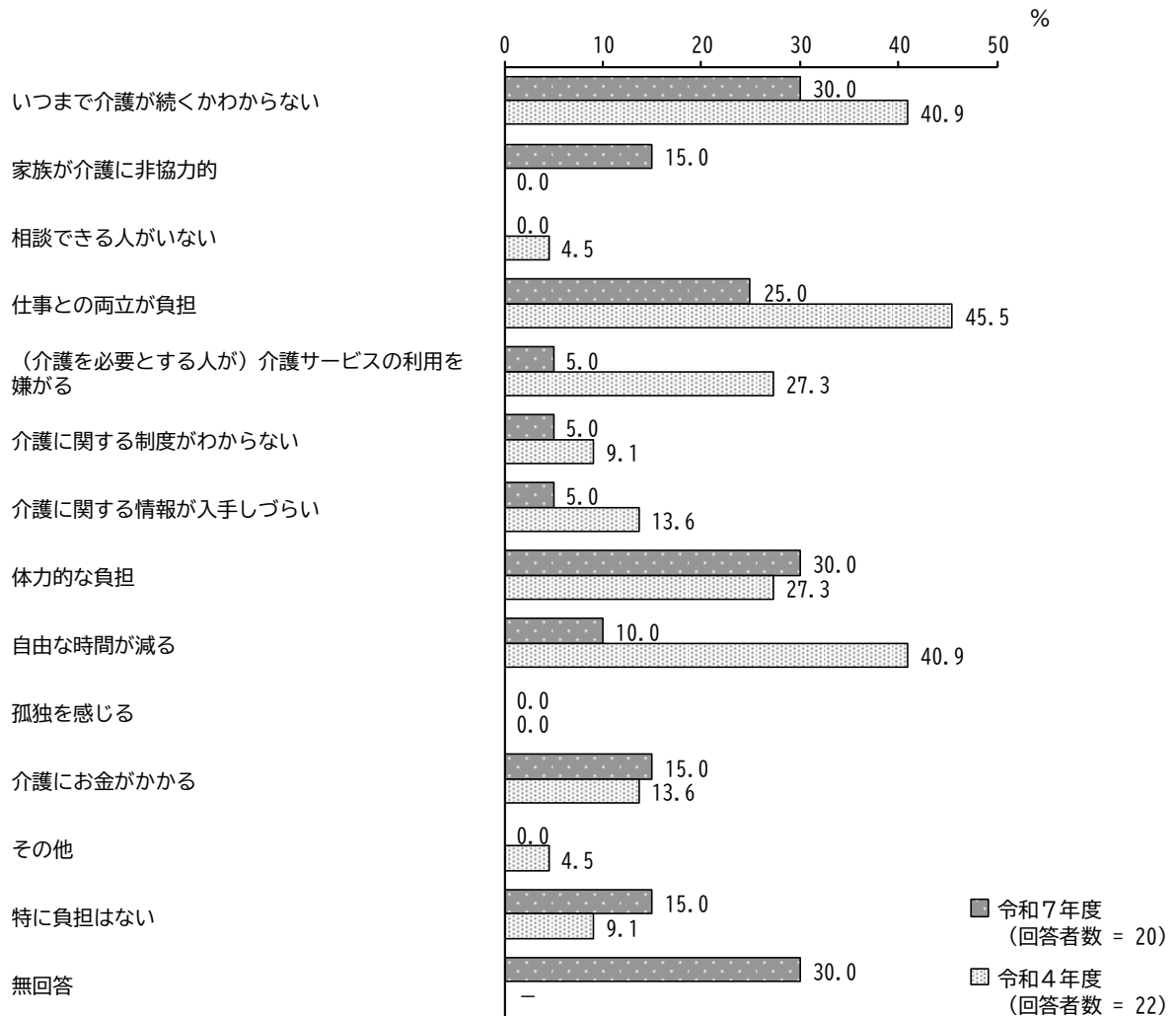
令和4年度と比較すると、「家族が子育てに非協力的」「子育てにお金がかかる」の割合が増加しています。一方、「体力的な負担」「自由な時間が減る」「孤独を感じる」の割合が減少しています。



問3 あなたが介護に対して、特に負担を感じることを3つまでお答えください
(3つまで選択可)

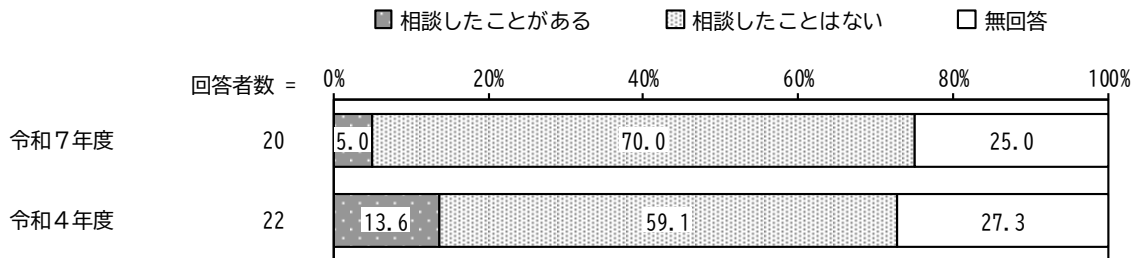
「いつまで介護が続くかわからない」、「体力的な負担」の割合が30.0%と最も高く、次いで「仕事との両立が負担」の割合が25.0%となっています。

令和4年度と比較すると、「家族が介護に非協力的」の割合が増加しています。一方、「いつまで介護が続くかわからない」「仕事との両立が負担」「(介護を必要とする人が)介護サービスの利用を嫌がる」「介護に関する情報が入手しづらい」「自由な時間が減る」の割合が減少しています。



問4 あなたはこれまでに、ダブルケアであることを相談したことはありますか
(1つを選択)

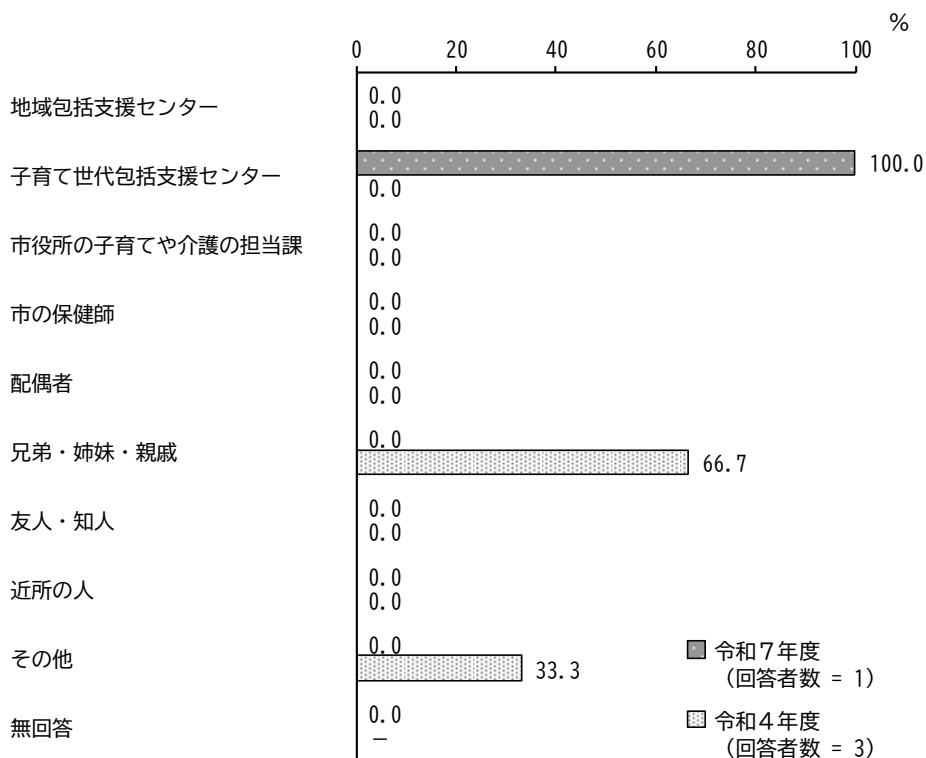
「相談したことがある」の割合が 5.0%、「相談したことはない」の割合が 70.0%となっています。
令和4年度と比較すると、「相談したことはない」の割合が増加しています。



問5 【問4で「相談したことがある」と回答した方のみ】どこ（誰）に相談されましたか
(いくつでも)

「子育て世代包括支援センター」が1件となっています。

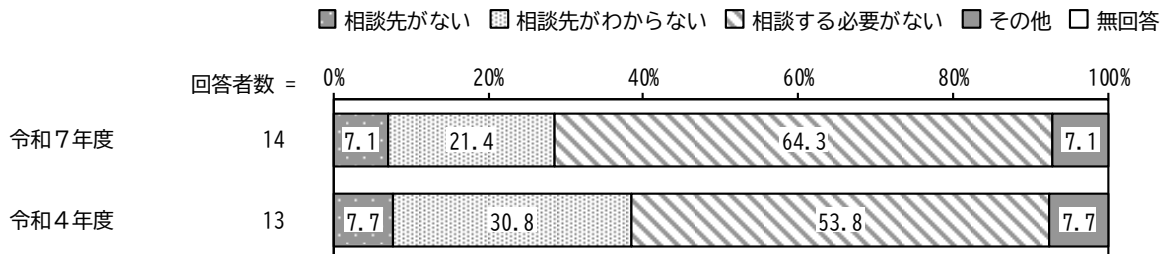
令和4年度と比較すると、「子育て世代包括支援センター」の割合が増加しています。一方、「兄弟・姉妹・親戚」の割合が減少しています。



問6 【問4で「相談したことはない」と回答した方のみ】相談したことがないのはなぜですか（1つを選択）

「相談先がない」の割合が7.1%、「相談先がわからない」の割合が21.4%、「相談する必要がある」の割合が64.3%となっています。

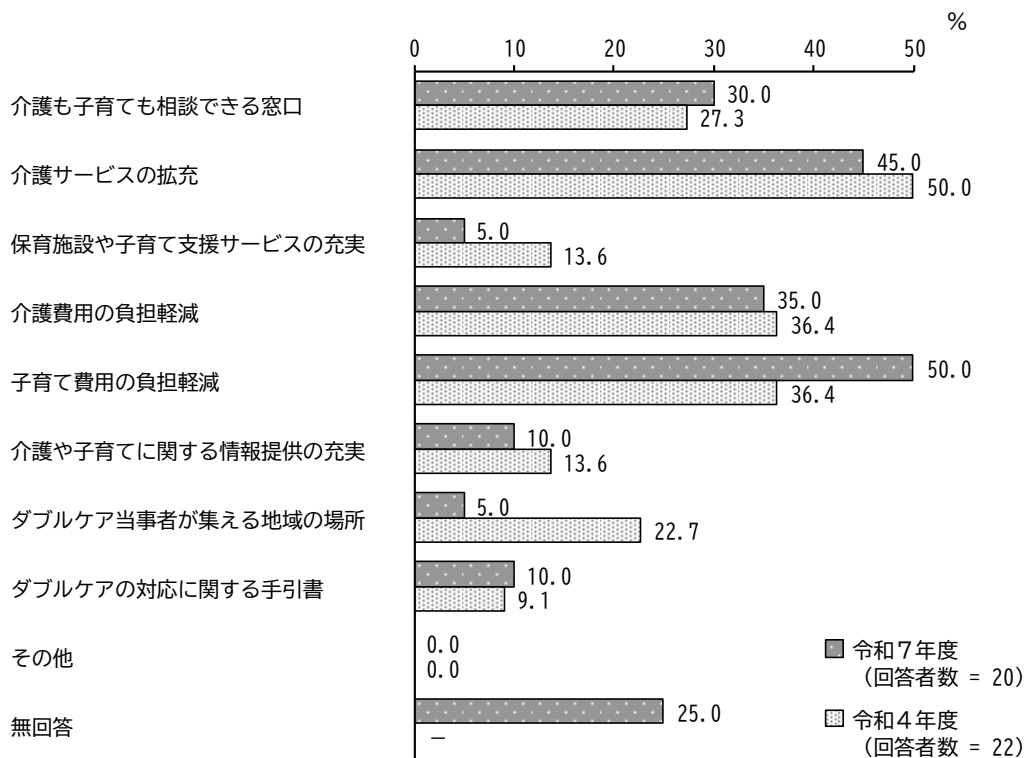
令和4年度と比較すると、「相談する必要がある」の割合が増加しています。一方、「相談先がわからない」の割合が減少しています。



問7 ダブルケアには、どのような支援策が必要だと思いますか（いくつでも）

「子育て費用の負担軽減」の割合が50.0%と最も高く、次いで「介護サービスの拡充」の割合が45.0%、「介護費用の負担軽減」の割合が35.0%となっています。

令和4年度と比較すると、「子育て費用の負担軽減」の割合が増加しています。一方、「保育施設や子育て支援サービスの充実」「ダブルケア当事者が集える地域の場所」の割合が減少しています。



問8 今後、ご本人（調査対象者）が在宅で生活を続けていくために、必要とする支援や近所等の協力などがありましたら、ご自由にお書きください

問8に関してご意見・ご要望を自由に記述していただき、以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、次の通りとなりました。

分類項目	件数
地域での支援・近所との交流（民生委員・ボランティア・ごみ出し等）	3
デイサービスの利用時間・柔軟性・料金・手続きの改善	3
金銭的負担・生活費の不安（介護負担含む）に対する支援	2
日常の健康管理（健康に暮らしたい）	2
認知症ケアの質向上・正確な診断・家族支援の充実	2
認知症の方へのアンケート配布方法の配慮	2
介護支援の案内・情報提供の工夫	2
働く機会・外出の機会や伴走者の希望（社会参加）	1
制度全体・仕組みの改善（社会的視点）	1
その他	2

※特になし、わからない を除く

令和7年度
大野城市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
調査結果報告書

発行年月：令和8年3月

発行：大野城市 介護支援課 事業所指定指導担当

〒816-8510 福岡県大野城市曙町二丁目2-1

電話：092-580-1916